

# Microsoft.AZ-400.v2022-09-01.q253

試験コード : AZ-400  
試験名称 : Designing and Implementing Microsoft DevOps Solutions  
認証ベンダー : Microsoft  
無料問題の数 : 253  
バージョン : v2022-09-01  
ページの閲覧量 : 2003  
問題集の閲覧量 : 80330

<https://www.jpnsshiken.com/shiken/Microsoft.AZ-400.v2022-09-01.q253.html>

## 質問: 1

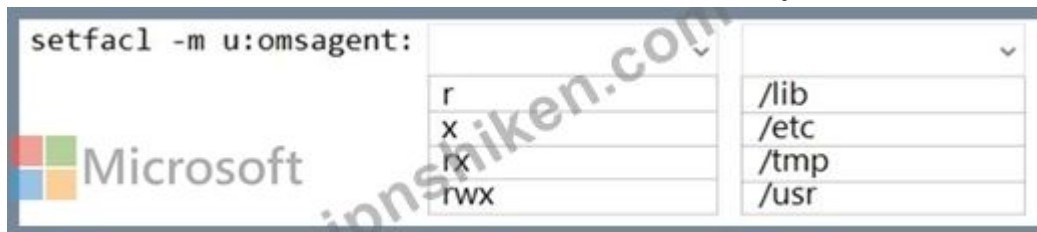
Linuxを実行するVM1という名前のAzure仮想マシンがあります。

必要な状態の構成 (DSC) 拡張機能をVM1に展開することを計画しています。

LogAnalyticsエージェントに適切なディレクトリ権限を付与する必要があります。

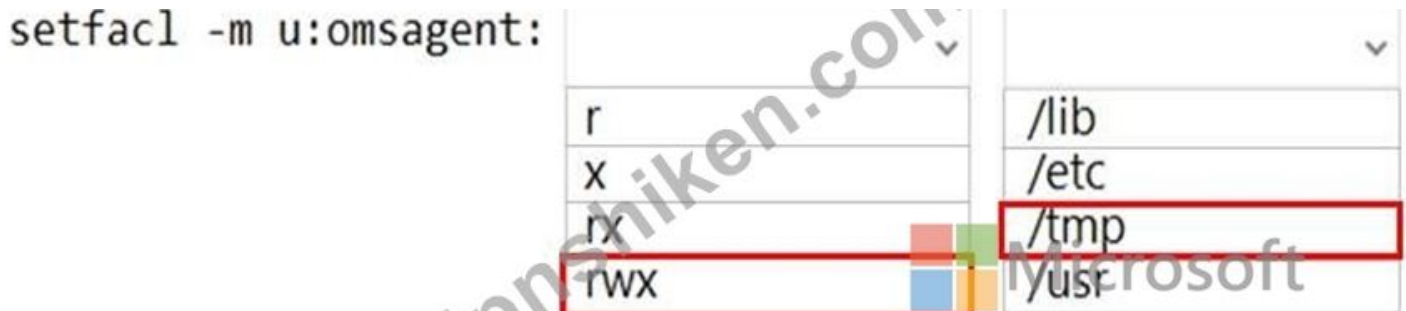
コマンドをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



setfacl -m u:omsagent:	
r	/lib
x	/etc
rx	/tmp
rwx	/usr

正解:



setfacl -m u:omsagent:	
r	/lib
x	/etc
rx	/tmp
rwx	/usr

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/automation/automation-dsc-onboarding>

## 質問: 2

RBAC対応クラスターでHelmandTitle to Azure Kubemets Service (AKS)を使用して、グラフを展開するためのソリューションを推奨する必要があります。

m系列で実行することをお勧めする3つのコマンドはどれですか？回答するには、適切なコマンドをコマンドのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Commands      Answer Area

helm install

kubectl create

helm completion

helm init

helm serve

Microsoft

正解:

Commands      Answer Area

helm install

kubectl create

helm completion

helm init

helm serve

Microsoft

説明

Answer Area

kubectl create

helm init

helm install

Microsoft

ステップ1 :Kubectl create

Helmの構成中に--service-account<NAME>フラグを使用してTillerにサービスアカウントを追加できません（以下の手順2）。前提条件として、事前に設定されているロールとサービスアカウント名を指定するロールバインディングを作成する必要があります。

例 :cluster-adminロールを持つサービスアカウント

```
$ kubectl create -f rbac-config.yaml
```

serviceaccount filler」が作成されました

clusterrolebinding ティラー」が作成されました

```
$ helm init --service-accounttiller
```

ステップ2 :ヘルム初期化

基本的なティラーをAKSクラスターにデプロイするには、helm init コマンドを使用します。

ステップ3 :ヘルムのインストール

Helmを使用してチャートをインストールするには、helm install コマンドを使用して、インストールするチャートの名前を指定します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/kubernetes-helm>

[https://docs.helm.sh/using\\_helm/#tiller-namespaces-and-rbac](https://docs.helm.sh/using_helm/#tiller-namespaces-and-rbac)

### 質問: 3

AzureにMicrosoftASP.NETCore Webアプリがあり、世界中からアクセスできます。

5分ごとにURLpingテストを実行し、特定のAzureリージョンでWebアプリが利用できない場合にアラートを作成する必要があります。ソリューションは開発時間を最小限に抑える必要があります。

あなたは何をすべきか？

- A. AzureApplicationInsightsの可用性テストとアラートを作成します。
- B. 特定のリージョンのAzureServiceHealthアラートを作成します。
- C. AzureMonitorの可用性メトリックとアラートを作成します
- D. Azure関数を記述し、その関数を特定のリージョンにデプロイします。

正解: ([正解を表示します](#))

ApplicationInsightsの可用性テストには次の3つのタイプがあります。

\* URL pingテスト :Azureポータルで作成できる簡単なテスト。

\*マルチステップWebテスト

\*カスタムトラック可用性テスト

注 :Webアプリ/ Webサイトをデプロイした後、定期的なテストを設定して、可用性と応答性を監視できます。Azure Application Insightsは、世界中のポイントから定期的にWebリクエストをアプリケーションに送信します。アプリケーションが応答しない場合、または応答が遅すぎる場合にアラートを出すことができます。

パブリックインターネットからアクセス可能な任意のHTTPまたはHTTPSエンドポイントの可用性テストを設定できます。テストしているWebサイトに変更を加える必要はありません。実際、それはあなたが所有するサイトである必要さえありません。サービスが依存するRESTAPIの可用性をテストできます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/app/monitor-web-app-availability#create-a-url-ping-test>

### 質問: 4


NuGetパッケージを作成しています。

パッケージを開発チームに非公開で配布する予定です。

パッケージを共有し、パッケージを消費できることをテストする必要があります。


順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions	Answer Area
Create a new Azure Artifacts feed.	
Configure a self-hosted agent.	
Publish a package.	
Install a package.	
Connect to an Azure Artifacts feed.	



正解:

Actions	Answer Area
Create an npm package.	Create a NuGet package.
Create an Azure Artifacts feed that uses upstream sources.	Create an Azure Artifacts feed that uses upstream sources.
Modify the configuration files to reference the Azure Artifacts feed.	Create a Microsoft Visual Studio project that includes all the packages.
Run an initial package restore.	
Create a NuGet package.	
Create a Microsoft Visual Studio project that includes all the packages.	



説明

Configure a self-hosted agent.
Create a new Azure Artifacts feed.
Publish a package.
Connect to an Azure Artifacts feed.



手順1 :セルフホストエージェントを構成します。

ビルドは、Microsoftがホストするエージェントで実行されます。

手順2 : 新しいAzureアーティファクトフィードを作成する

Microsoftは、プライベートNuGetフィードを公開および管理するための公式の拡張機能を提供しています。

ステップ3 : パッケージを公開します。

ビルドしたプロジェクトを公開、パックして、NuGetフィードにプッシュします。

手順4 : AzureArtifactsフィードに接続します。

パッケージが利用可能になったら、Visual Studioでフィードを指定し、新しく公開されたパッケージをダウンロードできます。

<https://medium.com/@dan.cokely/creating-nuget-packages-in-azure-devops-with-azure-pipelines-and-yaml-d6fa>

#### 質問: 5

あなたの会社は、JavaベースのプロジェクトのビルドパイプラインとデプロイパイプラインにAzureDevOpsを使用しています。

技術的負債を管理するための戦略を推奨する必要があります。

推奨事項にどのアクションを含める必要がありますか？

A. デプロイメントパイプラインでデプロイメント後の承認を構成します。

B. AzureDevOpsとSonarQubeを統合します。

C. AzureDevOpsとAzureDevTestLabsを統合します。

正解: ([正解を表示します](#))

SonarQubeとAzureDevOpsを使用して技術的負債を管理できます。

注：技術的負債は、顧客価値の前進を非効率的にする開発努力における一連の問題です。技術的負債は、コードを理解しにくく、壊れやすく、変更にかかる時間が長くなり、検証が困難になることで生産性を低下させ、進行を妨げる計画外の作業を生み出します。それらが管理されない限り、技術的負債が蓄積し、ソフトウェアの全体的な品質と長期的な開発チームの生産性を損なう可能性があります。SonarQubeは、コードの静的分析を使用して自動レビューを実行するためのコード品質の継続的な検査のためのオープンソースプラットフォームです。

バグを検出する

コードの臭い

セキュリティの脆弱性

品質を一元化

このラボの内容

参照：

<https://azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/sonarqube/>

#### 質問: 6

Azure DevOpsに、複数のパブリックフィードからのパッケージを使用するプロジェクトがありません。一部のフィードは信頼できません。

パッケージを単一のフィードに統合する必要があります。

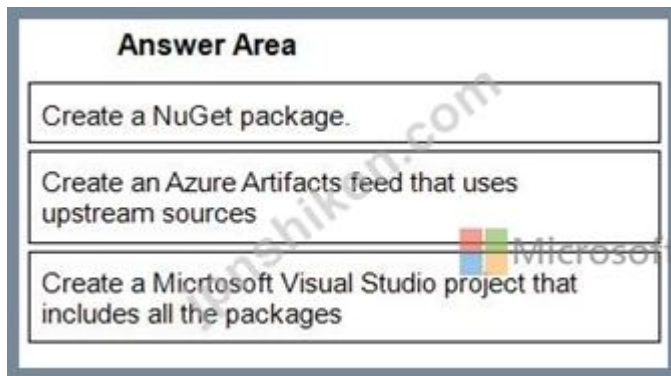
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

The screenshot shows the 'Actions' list in Azure DevOps. The actions are:

- Create an npm package.
- Create an Azure Artifacts feed that uses upstream sources.
- Modify the configuration files to reference the Azure Artifacts feed.
- Run an initial package restore.
- Create a NuGet package.
- Create a Microsoft Visual Studio project that includes all the packages.

The 'Answer Area' is empty. A watermark 'ipnshiken.com' and the Microsoft logo are visible.

正解:



1-NuGetパッケージを作成します。

2-アップストリームソースを使用するAzureArtifactsフィードを作成します

3-すべてのパッケージを含むMicrosoftVisualStudioプロジェクトを作成します。参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/artifacts/how-to/set-up-upstream-sources>

質問: 7

.NETCoreアプリケーションを含むイメージを作成することを計画しています。

次のコードを含むDockerfileファイルがあります。(行番号は参照用にのみ含まれています。)

```
01 FROM microsoft/dotnet:2.1-sdk
02 COPY . /
03 RUN dotnet publish -c Release -o out
04 FROM microsoft/dotnet:2.1-sdk
05 COPY --from=0 /out /
06 WORKDIR /
07 ENTRYPOINT ["dotnet", "app1.dll"]
```

イメージを作成するときは、イメージをできるだけ小さくする必要があります。

ファイルのどの行を変更する必要がありますか？

A. 1

B. 3

C. 4

D. 7

正解: (正解を表示します)

マルチステージビルド (Docker 17.05以降)を使用すると、中間レイヤーとファイルの数を減らすのに苦労することなく、最終的なイメージのサイズを大幅に減らすことができます。

マルチステージビルドでは、Dockerfileで複数のFROMステートメントを使用します。各FROM命令は異なるベースを使用でき、それぞれがビルドの新しいステージを開始します。アーティファクトをあるステージから別のステージに選択的にコピーして、最終的な画像に不要なものをすべて残すことができます。

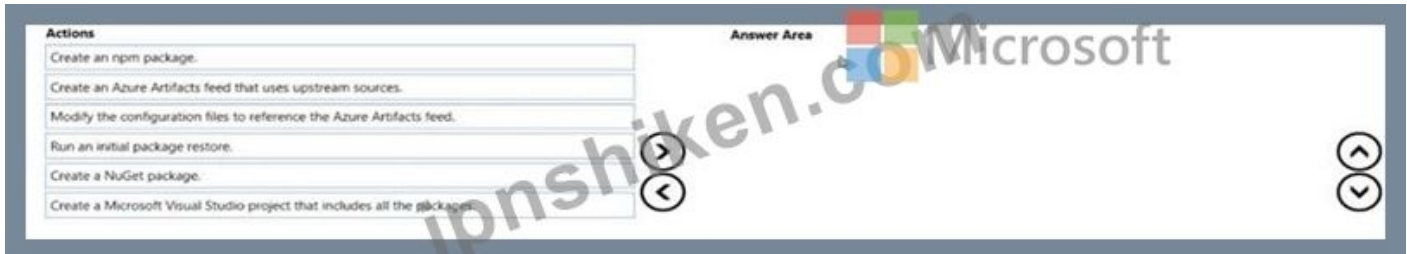
参照 <https://docs.docker.com/develop/develop-images/multistage-build/#use-multi-stage-builds>

質問: 8

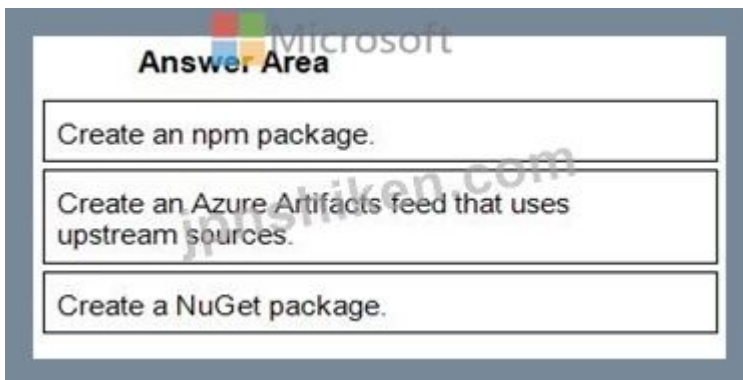
Azure DevOpsに、複数のパブリックフィードからのパッケージを使用するプロジェクトがありません。一部のフィードは信頼できません。

パッケージを単一のフィードに統合する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。



正解:



1-npmパッケージを作成します。

2-アップストリームソースを使用するAzureArtifactsフィードを作成します。

3-NuGetパッケージを作成します。

質問: 9

あなたの会社は、開発者がオープンソースライブラリを導入すると、ライセンスコンプライアンスの問題が発生することを懸念しています。

ビルドパイプラインに自動化されたプロセスを追加して、一般的なオープンソースライブラリがコードベースに追加されたことを検出する必要があります。

何をすべきですか？

- A. Microsoft Visual SourceSafe
- B. コードスタイル
- C. ブラックダック
- D. ジェンキンス
- E. SourceGea
- F. OWASP ZAP

正解: C (コメントを发表する)

オープンソースソフトウェアの保護と管理

Black Duckは、組織がアプリケーションとコンテナのポートフォリオ全体でオープンソースのセキュリティ、ライセンスコンプライアンス、およびコード品質のリスクを特定して軽減するのに役立ちます。

BlackDuckHubとそのTeamFoundationServer (TFS) プラグインを使用すると、ビルドプロセス中にオープンソースのセキュリティの脆弱性を自動的に検出して修正できるため、リスクをプロアクティブに管理できます。統合により、Black Duck Hubポリシー違反が発生したときに、アラートを受信してビルドを失敗させることができます。

注 :WhiteSourceも良い答えですが、ここではオプションではありません。

参照 :

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=black-duck-software.hub-tfs>

#### 質問: 10

あなたのチームはアジャイル開発アプローチを使用しています。

チームのGitリポジトリの分岐戦略を推奨する必要があります。戦略は、次の要件を満たす必要があります。

複数の独立したタスクを並行して処理する機能を提供します。

チェックインされたコードが常にリリース可能な状態のままであることを確認してください。

新しい機能をいつでも放棄できるようにします。

実験を奨励します。

何をお勧めしますか？

- A. 単一の長期実行ブランチ
- B. 複数の長期実行ブランチ
- C. チームメンバーごとに1つのフォーク
- D. 複数の短期間のトピックブランチを持つ単一実行ブランチ

正解: ([正解を表示します](#))

説明

ただし、トピックブランチは、あらゆるサイズのプロジェクトで役立ちます。トピックブランチは、単一の特定の機能または関連する作業のために作成して使用する短期間のブランチです。これは、ブランチを作成してマージするには一般的にコストがかかりすぎるため、VCSでこれまでにやったことのないことです。しかし、Gitでは、ブランチを1日に数回作成、作業、マージ、および削除するのが一般的です。

参照 :

<https://git-scm.com/book/en/v2/Git-Branching-Branching-Workflows>

#### 質問: 11

あなたの会社には、新しいアプリケーション用のプロジェクトがAzureDevOpsにあります。アプリケーションは、WindowsServer2016を実行する複数のAzure仮想マシンに展開されます。

仮想マシンの展開戦略を推奨する必要があります。戦略は、次の要件を満たす必要があります。

\*仮想マシンが構成を構成していることを確認します。

\*仮想マシンを構成するための管理作業を最小限に抑えます。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

- A. AzureResourceManagerテンプレートとWindows用のPowerShellDesiredState Configuration (DSC) 拡張機能

B. デプロイYAMLおよびAzureパイプラインデプロイメントグループ

C. AzureResourceManagerテンプレートとWindows用のカスタムスクリプト拡張機能

D. デプロイYAMLおよびAzureパイプラインステージテンプレート

正解: C ([コメントを发表する](#))

カスタムスクリプト拡張機能は、Azure仮想マシンにスクリプトをダウンロードして実行します。この拡張機能は、展開後の構成、ソフトウェアのインストール、またはその他の構成や管理タスクに役立ちます。

スクリプトは、AzureストレージまたはGitHubからダウンロードするか、拡張機能の実行時にAzureポータルに提供できます。

カスタムスクリプト拡張機能は、Azure Resource Managerテンプレートと統合され、Azure CLI、PowerShell、Azureポータル、またはAzure仮想マシンRESTAPIを使用して実行できます。

不正解：

B :YAMLはAzureパイプラインデプロイメントグループでは機能しません。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-machines/extensions/custom-script-windows>

質問: 12

RG1という名前のリソースグループを含むAzureサブスクリプションがあります。RG1には、次のリソースが含まれています。

\* Windows Serverを実行し、インターネットインフォメーションサービス (IS)がインストールされている4台のAzure仮想マシン

\*Azure仮想マシン上のSQLServer

\*Azureロードバランサー

Azure Pipelinesを使用して、RG1の仮想マシンにアプリケーションをデプロイする必要があります。

順番に実行する必要がある4つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。



正解:



説明

## Create an agent pool

## Create a deployment group

Microsoft  
Execute the Azure Pipelines Agent  
extension to the virtual machines

## Add and configure a deployment group job for the pipeline

ステップ1 :エージェントプールを作成する

Azure Pipelinesは、Microsoftがホストするエージェントを備えたAzurePipelinesという名前の事前定義されたエージェントプールを提供します。

手順2 : 展開グループを作成する

デプロイメントグループを使用すると、デプロイメントのターゲットマシンの論理グループを簡単に定義し、各マシンに必要なエージェントをインストールできます。

手順3 : 仮想マシンにAzure PipelinesAgent拡張機能を実行するAzurePipelinesAgentをインストールするAzureVM拡張機能

手順4 : パイプラインの展開グループジョブを追加して構成する展開グループジョブで定義したタスクを、タスクとジョブ自体に指定する引数に応じて、ターゲットサーバー。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/deployment-groups/howto-provision-deploymen>

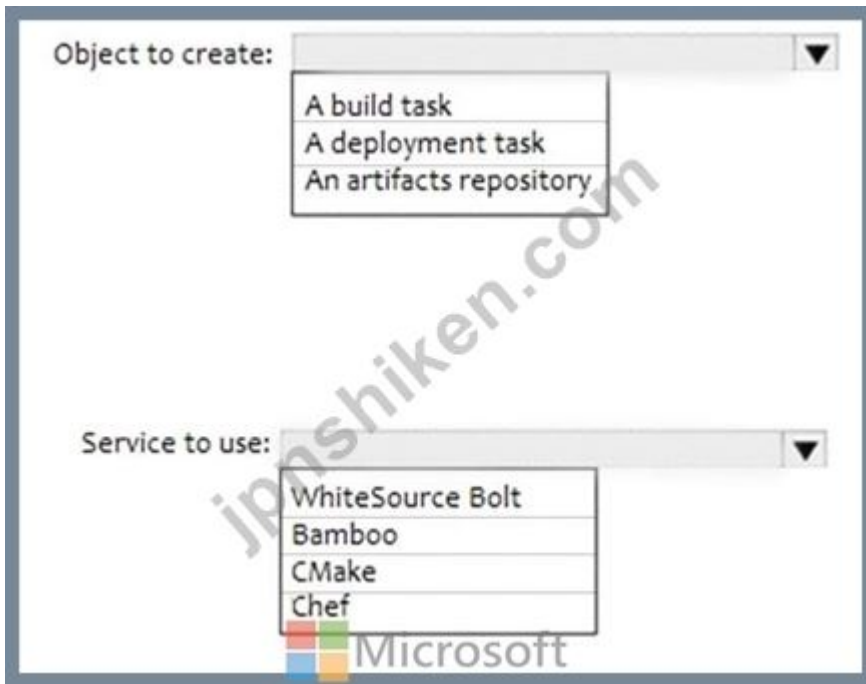
### 質問: 13

ビルドパイプラインを含むAzureDevOpsプロジェクトがあります。ビルドパイプラインは、約50のオープンソースライブラリを使用します。

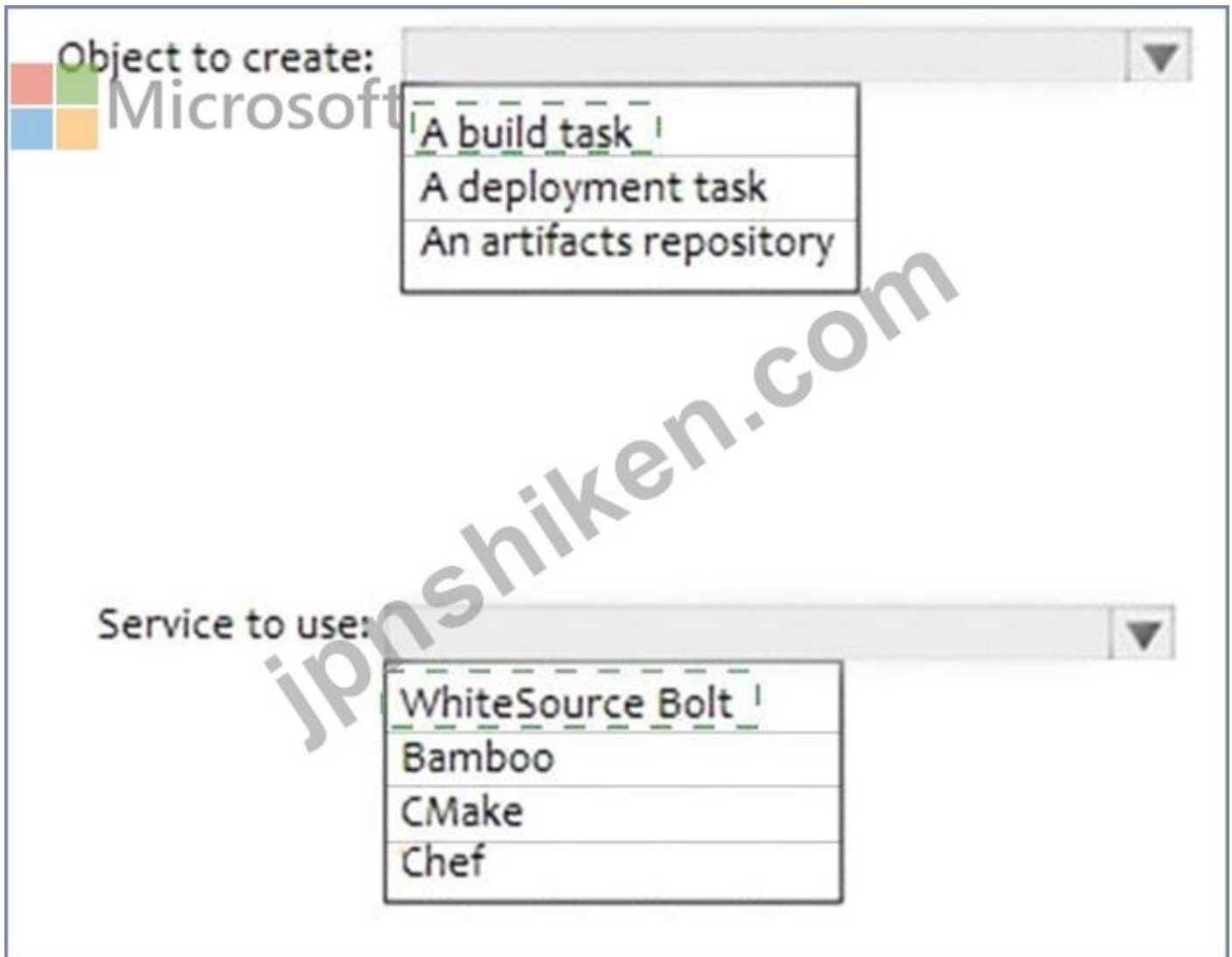
オープンソースライブラリの既知のセキュリティの脆弱性についてプロジェクトをスキャンできることを確認する必要があります。

あなたは何をすべきか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

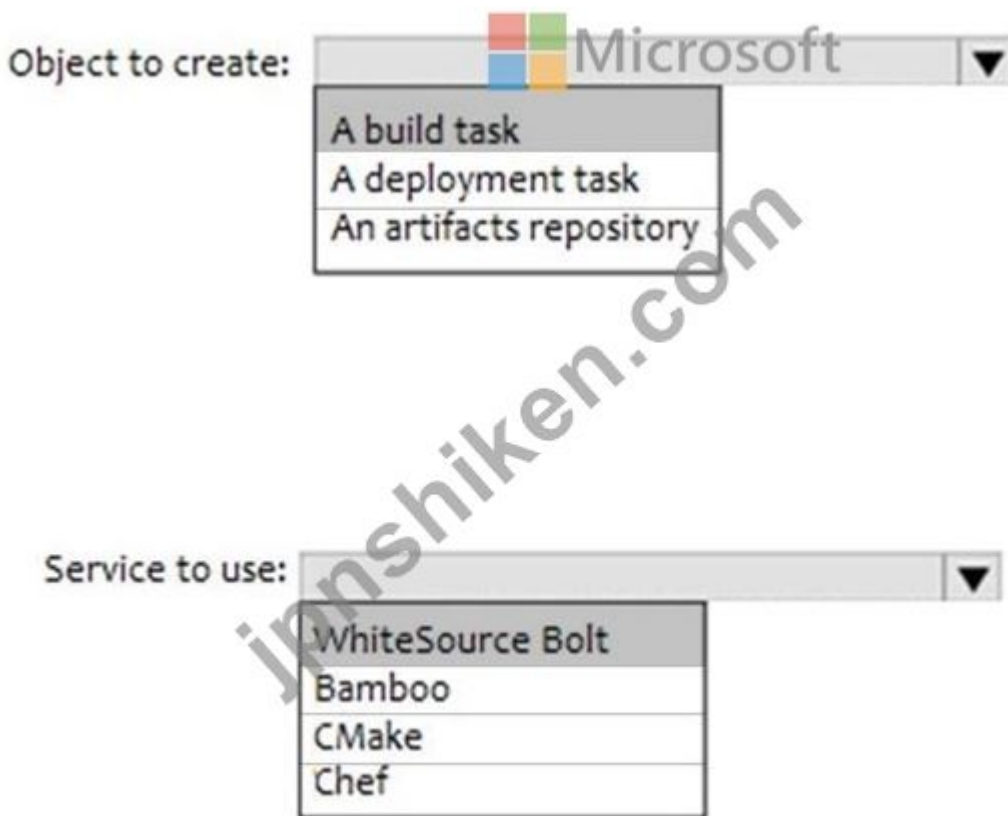
注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



説明



ボックス1 :ビルドタスク

ビルドをトリガーする

AzureDevOpsデモジェネレーターによってプロビジョニングされたJavaコードがあります。WhiteSource Bolt拡張機能を使用して、このコードに存在する脆弱なコンポーネントをチェックします。

\* [パイプライン]タブの[ビルド]セクションに移動し、ビルド定義WhiteSourceBoltを選択し、[キュー]をクリックしてビルドをトリガーします。

\*ビルドの進行状況を表示するには、省略記号をクリックして[ビルド結果の表示]を選択します。

ボックス2 :WhiteSource Bolt

WhiteSourceは、継続的なオープンソースソフトウェアのセキュリティおよびコンプライアンス管理のリーダーです。

WhiteSourceは、プログラミング言語、ビルドツール、または開発環境に関係なく、ビルドプロセスに統合されます。これは、バックグラウンドで自動的、継続的、サイレントに動作し、オープンソースコンポーネントのセキュリティ、ライセンス、および品質を、オープンソースリポジトリのWhiteSourceの絶えず更新されるdenitiveデータベースと照合します。

参照 :

<https://www.azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/whitesource/>

質問: 14

AzureDevOpsに既存のプロジェクトがあります。

プロジェクトのリポジトリとしてGitHubを統合することを計画しています

AzurePipelinesがAzurePipelinesIDで実行されていることを確認する必要があります

どの認証メカニズムを使用する必要がありますか？

- A. GitHubApp
- B. OAuth
- C. パーソナルアクセストークン (PAT)
- D. Azure Active Directory (Azure AD)

正解: ([正解を表示します](#))

GitHubアプリはAzurePipelinesIDを使用します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/repos/github>

質問: 15

Webapp1という名前のAzureWebアプリがあります。

Azure Monitorクエリを使用して、失敗したWebapp1の上位10ページの詳細を示すレポートを作成する必要があります。

クエリをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

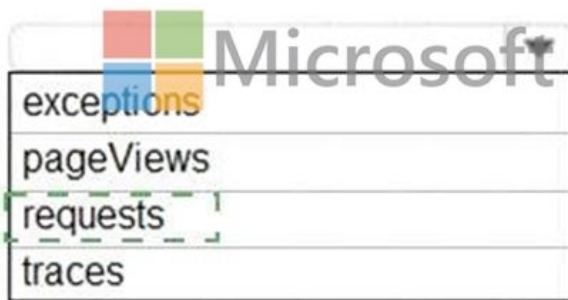
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

exceptions
pageViews
requests
traces

where	duration == 0
	itemType == "availabilityResult"
	resultCode == "200"
	success == false

```
| summarize failedCount=sum(itemCount) by name, resultCode
| top 10 by failedCount desc
| render barchart
```

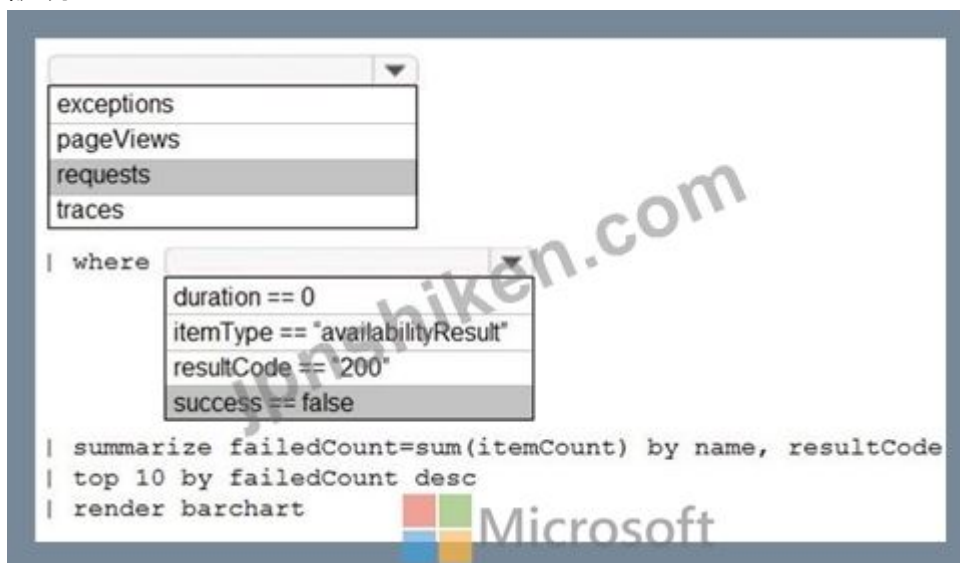
正解:



```
| where  
  duration == 0  
  itemType == "availabilityResult"  
  resultCode == "200"  
  success == false
```

```
| summarize failedCount=sum(itemCount) by name, resultCode  
| top 10 by failedCount desc  
| render barchart
```

### 説明



ボックス1 :リクエスト

失敗したリクエスト (リクエスト/失敗) :  
失敗としてマークされた追跡されたサーバー要求の数。

Kustoコード :

リクエスト

| ここで、success =='False'

ボックス2 : 成功= false

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/platform/app-insights-metrics>

質問: 16

app.contoso.comのカスタムドメインを持つApp1という名前のアプリケーションがあります。  
次の展示に示すように、AzureApplicationInsightsでテストを作成します。

## Create test



### ^ Basic Information

\* Test name

availability ✓

[Learn more about configuring tests against applications hosted behind a firewall](#)

Test type

URL ping test ▼

\* URL ⓘ

https://app.contoso.com ✓

Parse dependent requests ⓘ

Enable retries for availability test failures. ⓘ

Test frequency ⓘ

5 minutes ▼

✓ Test locations

4 location(s) configured

### ^ Success criteria

Test Timeout ⓘ

30 seconds ▼

✓ HTTP response ⓘ

Status code must equal

200

✓ Content match ⓘ

Content must contain

Copyright Contoso

Alerts  
Enabled

Create

ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完了する回答の選択肢を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。


 Microsoft  
The test will execute [answer choice].

every 30 seconds at a random location  
every 30 seconds per location  
every five minutes at a random location  
every five minutes per location

The test will pass if [answer choice]  
within 30 seconds.

App1 responds to an ICMP ping  
the HTML of App1 and the HTML from URLs in <a> tags load  
all the HTML, JavaScripts, and images of App1 load

正解:

 Microsoft  
The test will execute [answer choice].

every 30 seconds at a random location  
every 30 seconds per location  
every five minutes at a random location  
every five minutes per location

The test will pass if [answer choice]  
within 30 seconds.

App1 responds to an ICMP ping  
the HTML of App1 and the HTML from URLs in <a> tags load  
all the HTML, JavaScripts, and images of App1 load

説明

The test will execute [answer choice].

every 30 seconds at a random location  
every 30 seconds per location  
every five minutes at a random location  
every five minutes per location

The test will pass if [answer choice]  
within 30 seconds.

App1 responds to an ICMP ping  
the HTML of App1 and the HTML from URLs in <a> tags load  
all the HTML, JavaScripts, and images of App1 load

ボックス1 :ランダムな場所で5分ごと

テスト頻度：各テスト場所からテストを実行する頻度を設定します。デフォルトの頻度は5分で、テスト場所は5つで、サイトは平均して1分ごとにテストされます。

ボックス2：

依存リクエストの解析：テストリクエストの画像、スクリプト、スタイルファイル、およびテスト対象のWebページの一部であるその他のファイル。記録された応答時間には、これらのファイルの取得にかかった時間が含まれます。テスト全体のタイムアウト内にこれらのリソースのいずれかを正常にダウンロードできない場合、テストは失敗します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/app/monitor-web-app-availability>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード：**JPNshiken**」

質問: 17

Azure DevOpsにプライベートプロジェクトがあり、User1とUser2という名前の2人のユーザーがいます。

次の要件を満たすには、User1とUser2をグループに追加する必要があります。

User1は、コードWikiを作成できる必要があります。


User2はWikiページを編集できる必要があります。

ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

各ユーザーをどのグループに追加する必要がありますか？回答するには、適切なグループを適切なユーザーにドラッグします。各グループは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Groups	Answer Area
Build Administrators	User1: <input type="text"/>
Contributors	User2: <input type="text"/>
Project Administrators	
Project Valid Users	
Stakeholders	



正解:

**Groups**

Build Administrators
Contributors
Project Administrators
Project Valid Users
Stakeholders

**Answer Area**

User1:	Project Administrators
User2:	Contributors

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/project/wiki/wiki-create-repo>

質問: 18

あなたの会社は多層Webアプリケーションを構築しています。

Azure DevOpsを使用し、Azure仮想マシンで本番アプリケーションをホストします。

チームは、新機能のテストに使用する仮想マシンのAzureResourceManagerテンプレートを準備します。

次の要件を満たすステージング環境をAzureで作成する必要があります。

\*Azureホスティングのコストを最小限に抑えます

\*仮想マシンを自動的にプロビジョニングします

\*カスタムAzureResourceManagerテンプレートを使用して、仮想マシンをプロビジョニングします。どうすればよいですか？

**A.** Azure Cloud Shellで、Azure CLIコマンドを実行して、ステージングリソースグループ内の新しい仮想マシンを作成および削除します。

**B.** Azure DevOpsで、リリースパイプラインに新しいタスクを構成してAzureクラウドサービスにデプロイします。

**C.** Azure Cloud Shellから、Azure PowerShellコマンドを実行して、ステージングリソースグループ

プ内の新しい仮想マシンを作成および削除します。

D. Azure DevOpsで、リリースパイプラインに新しいタスクを構成して、AzureDevTestLabsで仮想マシンを作成および削除します。

正解: D (コメントを发表する)

AzureDevOpsにインストールされているAzureDevTestLabs Tasks拡張機能を使用して、CI/CDビルドおよびリリースパイプラインをAzureDevTestLabsと簡単に統合できます。拡張機能は、次の3つのタスクをインストールします。

\*VMを作成する

\*VMからカスタムイメージを作成する

\*VMを削除します

このプロセスにより、たとえば、特定のテストタスクの「ゴールデンイメージ」をすばやく展開し、テストの終了時にそれを削除することが簡単になります。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/lab-services/devtest-lab-integrate-ci-cd-vsts>

質問: 19

投資計画アプリケーションスイートのリリース保持ポリシーをどのように構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

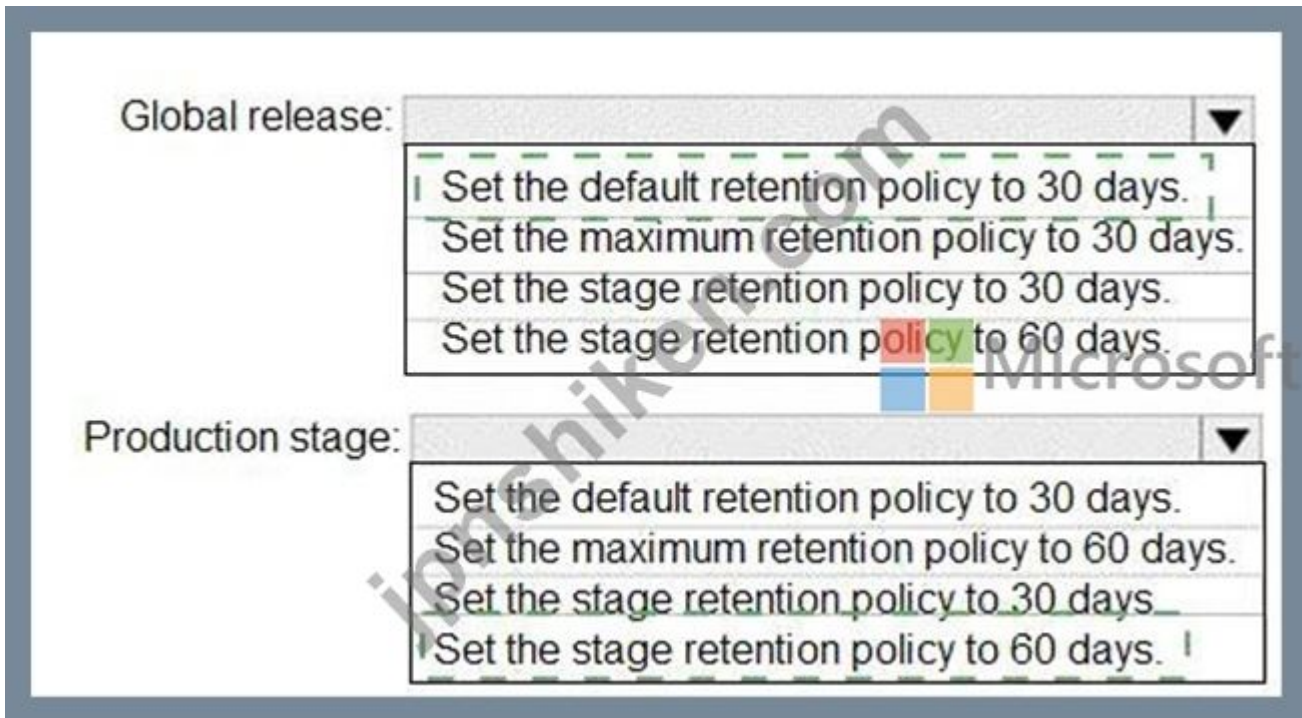
Global release:

- Set the default retention policy to 30 days.
- Set the maximum retention policy to 30 days.
- Set the stage retention policy to 30 days.
- Set the stage retention policy to 60 days.

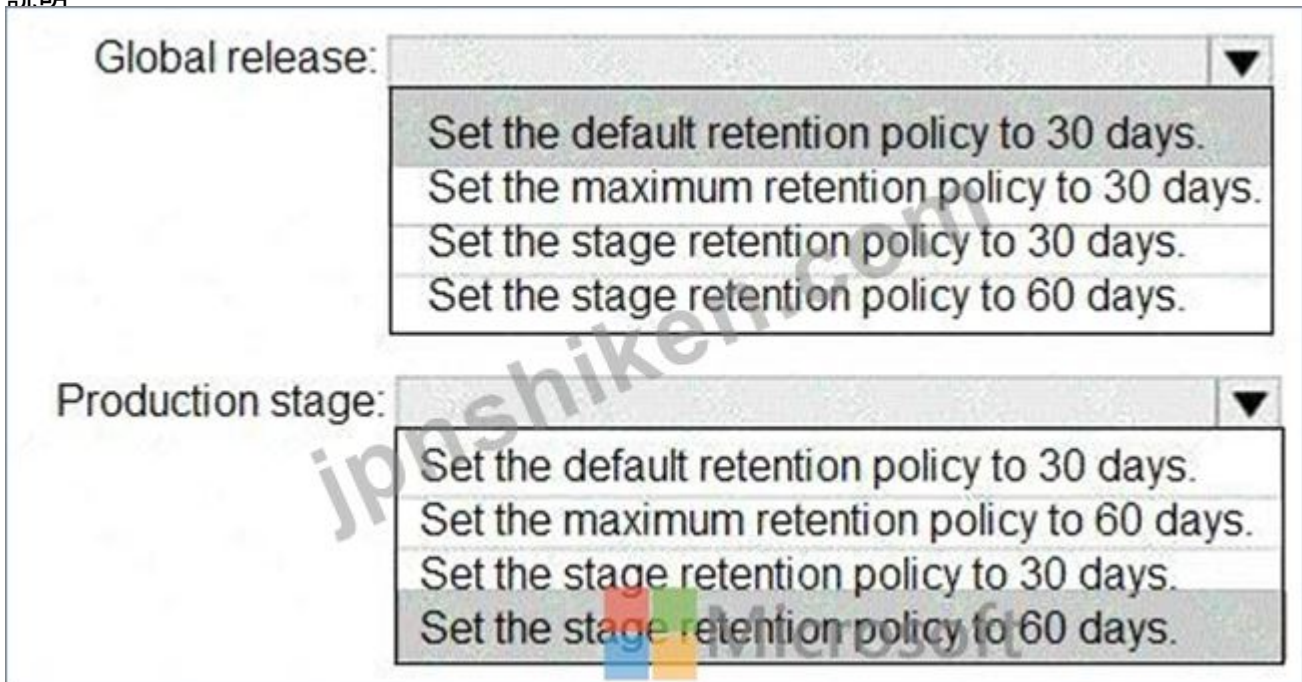
Production stage:

- Set the default retention policy to 30 days.
- Set the maximum retention policy to 60 days.
- Set the stage retention policy to 30 days.
- Set the stage retention policy to 60 days.

正解:



#### 説明



シナリオ :デフォルトでは、60日間保持する必要がある本番リリースを除いて、すべてのリリースを30日間使用可能にする必要があります。

ボックス1 :デフォルトの保持ポリシーを30日に設定します

グローバルデフォルト保持ポリシーは、すべてのビルドパイプラインのデフォルト保持値を設定します。ビルドパイプラインの作成者は、これらの値をオーバーライドできます。

ボックス2 :ステージ保持ポリシーを60日に設定します

特定のステージにデプロイされたリリースをさらに保持することをお勧めします。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/policies/retention>

#### 質問: 20

あなたの会社は、3つのモバイルアプリケーションのスイートを作成しています。

アプリケーションビルドへのアクセスを制御する必要があります。ソリューションは組織レベルで管理する必要があります何を使用する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。


注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Groups to control the build access:

Active Directory groups
Azure Active Directory groups
Microsoft Visual Studio App Center distribution groups

Group type:

Private
Public
Shared



正解:

Groups to control the build access:

Active Directory groups
Azure Active Directory groups
Microsoft Visual Studio App Center distribution groups

Group type:

Private
Public
Shared



質問: 21

投資計画枯渇スイートのリリース保持ポリシーをどのように確認する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Required secrets:

- Certificate
- Personal access token
- Shared Access Authorization token
- Username and password

Storage location:

- Azure Data Lake
- Azure Key Vault
- Azure Storage with HTTP access
- Azure Storage with HTTPS access

正解:

Required secrets:

- Certificate
- Personal access token
- Shared Access Authorization token
- Username and password

Storage location:

- Azure Data Lake
- Azure Key Vault
- Azure Storage with HTTP access
- Azure Storage with HTTPS access

Explanation:

ストレージサービスに対して行われるすべてのリクエストは、パブリックアクセスまたは署名されたアクセスに利用できるようになっているBLOBまたはコンテナリソースに対するリクエストでない限り、承認する必要があります。リクエストを承認するための1つのオプションは、共有キーを使用することです。

シナリオ :モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービスを呼び出すことができる必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介した基本認証のみをサポートします。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されます。もう1つは顧客が使用します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/rest/api/storageservices/authorize-with-shared-key>

**質問: 22**

Azure ReposのGitリポジトリを使用して、Webアプリケーションのソースコードを管理します。

開発者は、変更をマスターブランチに直接コミットします。

次の要件を満たす変更管理手順を実装する必要があります。

マスターブランチを保護する必要があり、最初に機能ブランチに新しい変更を組み込む必要があります。

変更は、各マージの前に、少なくとも1人のリリースマネージャーによってレビューおよび承認される必要があります。

プルリクエストを使用して、変更をマスターブランチに取り込む必要があります。

Azureリポジトリで何を構成する必要がありますか？

D18912E1457D5D1DDCBD40AB3BF70D5D

- A. マスターブランチのブランチポリシー
- B. プロジェクト設定のサービス
- C. プロジェクト設定のデプロイメントプール
- D. マスターブランチのブランチセキュリティ

正解: ([正解を表示します](#))

説明

ブランチポリシーは、チームが開発の重要なブランチを保護するのに役立ちます。ポリシーは、チームのコード品質と変更管理基準を適用します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/git/branch-policies>

**質問: 23**

開発チームは、Microsoft Visual Studio統合開発環境 (IDE)を使用して新しいWebソリューションを構築しています。

すべての開発者がカスタムパッケージを利用できるようにする必要があります。パッケージは一元管理する必要があり、最新バージョンはVisualStudioで自動的に使用できるようにする必要があります。

実行する必要がある3つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. パッケージをフィードに公開します。
- B. AzureArtifactsで新しいフィードを作成します。
- C. パッケージをGitリポジトリにアップロードします。
- D. パッケージのURLをVisualStudioの環境設定に追加します。
- E. VisualStudioのNuGetパッケージマネージャー設定にパッケージURLを追加します。
- F. AzureリポジトリにGitリポジトリを作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参照 :

Explanation:

B :Azure DevOps (以前のVSTS)インスタンス内でカスタムNuGetパッケージフィードを使用することにより、組織内でパッケージを簡単に配布できるようになります。

新しいフィードを作成することから始めます。

A :ビルドしたプロジェクトを公開、パックして、NuGetフィードにプッシュできます。

E :プライベートNuGetフィードを消費します

Azure DevOpsの[パッケージ]領域に戻り、フィードを選択して[フィードに接続]をクリックします。フィードの説明がいくつか表示されますが、設定はかなり簡単です。

パッケージのソースURLをコピーし、Visual Studioに移動し、NuGetパッケージマネージャーを開き、その設定に移動して、新しいソースを追加するだけです。派手な名前を選択し、ソースURLを挿入します。終わり。

NuGetパッケージマネージャーでパッケージを検索すると、そこに表示され、インストールの準備ができています。

右上の選択ボックスから適切なフィード (またはすべてのフィード)を選択してください。

参照 :

[https://medium.com/medialesson/get-started-with-private-nuget-feeds-in-azure-](https://medium.com/medialesson/get-started-with-private-nuget-feeds-in-azure-devops-8c7b5f022a68)

[devops-8c7b5f022a68](https://medium.com/medialesson/get-started-with-private-nuget-feeds-in-azure-devops-8c7b5f022a68)テストレット1ケーススタディこれはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するために必要なだけ多くの試験時間を使用することができます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。あなたはあなたが提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。各質問は、このケーススタディの他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることを注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、独立系ソフトウェアベンダー (SV)です。Litwareには、本社と5つの支社があります。

既存の環境

## アプリケーションアーキテクチャ

同社の主なアプリケーションは、VB.NETで記述されたロジックを使用するASP.NET Webフォームに基づく単一のモノリシック退職基金管理システムです。アプリケーションのいくつかの新しいセクションはC#で書かれています。

アプリケーションのバリエーションは、個々の顧客向けに作成されています。現在、アプリケーションのコードベースには80を超えるライブコードブランチがあります。

このアプリケーションは、Microsoft Visual Studioを使用して開発されました。ソースコードは、本社のTeam Foundation Server (TFS)に保存されています。ブランチオフィスは、TFSプロキシサーバーを使用してソースコードにアクセスします。

## アーキテクチャ上の問題

Litwareは、顧客向けの新しいコードの作成に重点を置いています。既存のコードをリファクタリングまたは削除するためのリソースは提供されていません。依存関係は個々の開発者には明らかではないため、コードベースの変更には長い時間がかかります。

コードのマージ操作には数か月かかることが多く、多くの開発者が関与します。コードをマージすると、見つけて解決するのが難しいバグが頻繁に発生します。

顧客は、退職基金管理システムの所有コストが継続的に増加していると報告しています。

無関係なコードをマージする必要があるため、コードの小さな変更でさえコストがかかります。

顧客は、バグ報告が非常に複雑であると報告しています。

## 要件

### 計画された変更

Litwareは、投資計画のための新しいアプリケーションスイートの開発を計画しています。投資計画アプリケーションでは、既存の退職基金管理システムとのわずかな統合のみが必要になります。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されます。もう1つは顧客が使用します。

Litwareは、よりアジャイルな開発方法論に移行することを計画しています。共有コードは一連のパッケージに抽出されます。

Litwareは、内部クラウド変換プロセスを開始し、適切な場合はいつでもクラウドベースのサービスを使用することを計画しています。

Litwareは、顧客のバグレポートを常に待つのではなく、障害の検出に積極的になりたいと考えています。

## 技術要件

会社の投資計画アプリケーションスイートは、次の要件を満たしている必要があります。

- ファイアウォールを介した新しい着信接続は最小限に抑える必要があります。

- Developersという名前のグループのメンバーは、パッケージをインストールできる必要があります。

- すべての権限の割り当てには、最小特権の原則を使用する必要があります。

- 新しい機能を単独で開発することをサポートする分岐戦略を使用する必要があります。

チームリーダーという名前のグループのメンバーは、新しいパッケージを作成し、  
パッケージフィードの権限。

Visual Studio App Centerを使用して、モバイルアプリケーションのクラッシュと  
使用中のデバイスタイプ。

デフォルトでは、すべてのリリースは30日間利用可能である必要があります。ただし、本番リリースは30日間利用可能である必要があります。

60日間保管してください。

コードの品質とリリースの品質は重要です。リリース中、展開は次の間に進めてはなりません

アクティブなバグがリリースに対してログに記録されているかどうかをステージングします。

モバイルアプリケーションは、既存の退職基金の株価サービスを呼び出すことができる必要があります

マネジメントシステム。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介した基本認証のみをサポートします。

テストサーバーに必要なオペレーティングシステムの構成は毎週変更されます。Azure Automation

状態構成を使用して、サーバーが定期的に作成およびチェックされるたびに、各テストサーバーのオペレーティングシステムが同じように構成されていることを確認する必要があります。

現在の技術的な問題

テストサーバーは、最初に展開されたときに正しく構成されていますが、時間の経過とともに構成がドリフトします。Azure AutomationStateConfigurationは構成の修正に失敗します。

Azure Automation State Configurationノードは、次のコマンドを使用して登録されます。

```
Register-AzureRmAutomationDscNode
  -ResourceGroupName 'TestResourceGroup'
  -AutomationAccountName 'LitwareAutomationAccount'
  -AzureVMName $vname
  -ConfigurationMode 'ApplyOnly'
```

#### 質問: 24

あなたの会社は、すべてのAzureWebアプリを5時間ごとにバックアップする必要がある新しいコンプライアンス戦略を実装することを計画しています。

5時間ごとにaz400-11566895-mainという名前のAzureWebアプリをリソースグループのAzureStorageアカウントにバックアップする必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

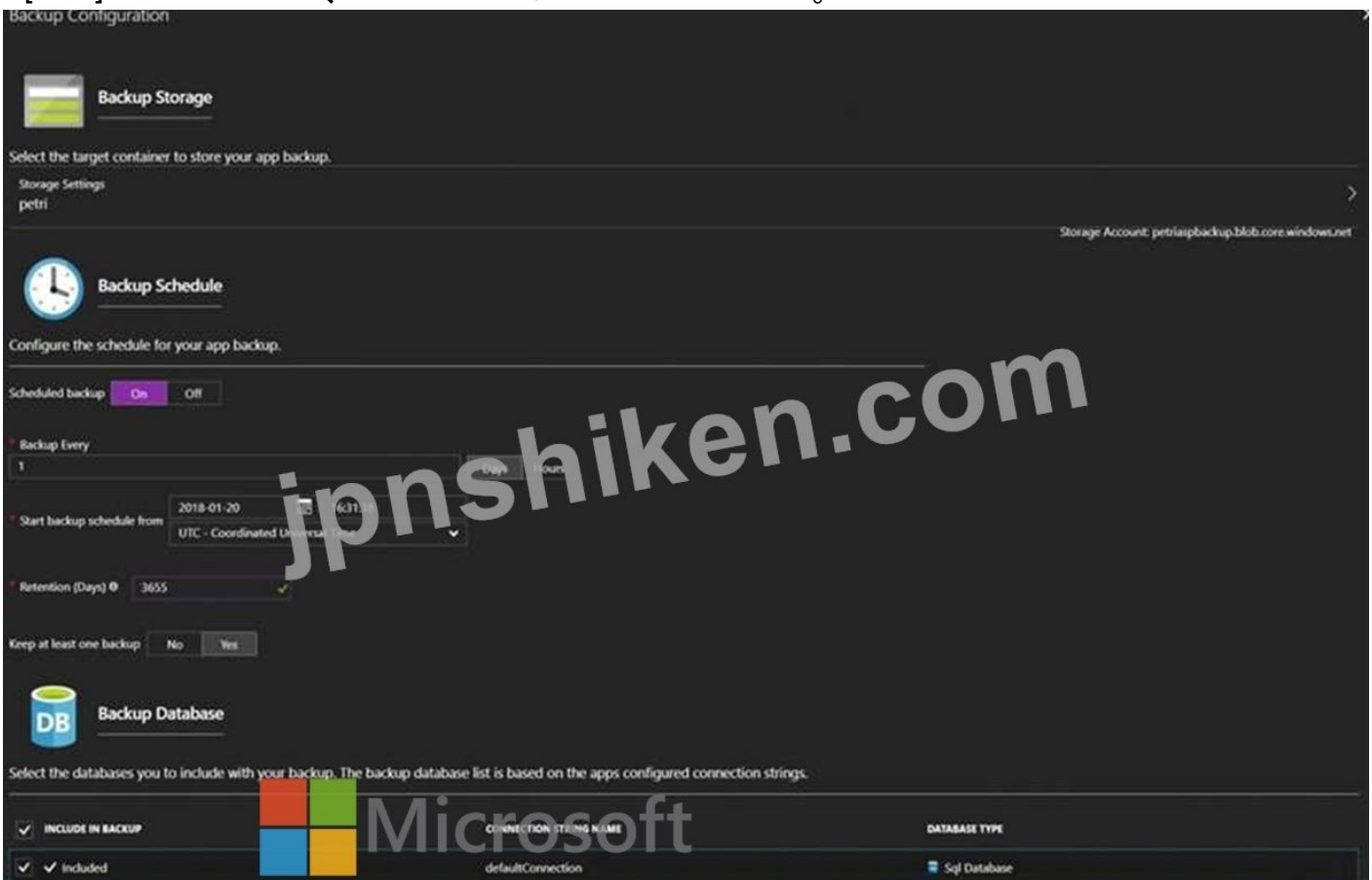
正解:

以下の解決策を参照してください。

説明

ストレージアカウントの準備ができれば、WebアプリまたはAppServiceでバックアップを構成できます。

- \*保護するAppServiceaz400-11566895-mainをAzureポータルで開き、[設定]>[バックアップ]を参照します。[構成]をクリックすると、[バックアップ構成]ブレードが表示されます。
- \*ストレージアカウントを選択します。
- \*+をクリックして、プライベートコンテナを作成します。このコンテナには、WebアプリまたはAppServiceにちなんで名前を付けることができます。
- \*コンテナを選択します。
- \*バックアップをスケジュールする場合は、[スケジュールバックアップ]を[オン]に設定し、スケジュールを構成します :5回ごと
- \* 時間
- \*保持を選択します。0は、バックアップを削除しないことを意味することに注意してください。
- \*少なくとも1つのバックアップを常に保持する必要があるかどうかを決定します。
- \*接続されているデータベースをWebアプリのバックアップに含めるかどうかを選択します。
- \* [保存]をクリックして、バックアップ構成を完成させます。



参照：

<https://petri.com/backing-azure-app-service>

#### 質問: 25

あなたの会社はTeamFoundationServer 2013 (TFS 2013)を使用しています。

AzureDevOpsへの移行を計画しています。

次の要件を満たす移行戦略を推奨する必要があります。

TeamFoundationバージョン管理チェンジセットの日付を保持します

作業項目の改訂の変更日を保持します

移行の労力を最小限に抑える

すべてのTFSアーティファクトを移行します

何をお勧めしますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

On the TFS server:

- Install the TFS Java SDK.
- Upgrade TFS to the most recent RTW release.
- Upgrade to the most recent version of PowerShell Core.

To perform the migration:

- Copy the assets manually.
- Use public API-based tools.
- Use the TFS Database Import Service.
- Use the TFS Integration Platform.

正解:

On the TFS server:

- Install the TFS Java SDK.
- Upgrade TFS to the most recent RTW release.
- Upgrade to the most recent version of PowerShell Core.

To perform the migration:

- Copy the assets manually.
- Use public API-based tools.
- Use the TFS Database Import Service.
- Use the TFS Integration Platform.

質問: 26

AppCenterを使用してモバイルデバイス用のAzureDevOps戦略を実装しています。

リリースへのアクセスを制御するために配布グループを使用することを計画しています。

次の表に示す配布グループを作成する必要があります。

Name	Use
Group1	Application testers who are invited by email
Group2	Early release users who use unauthenticated public links
Group3	Application testers for all the apps of your company

各グループにどのタイプの配布グループを使用する必要がありますか？答えるには、適切なグループタイプを正しい場所にドラッグします。各グループタイプは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area

Private

Public

Shared

Group1:

Group2:

Group3:

正解:

Answer Area

Private

Public

Shared

Group1: Private

Group2: Public

Group3: Shared

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/appcenter/distribution/groups>

質問: 27

.NETCoreアプリケーションを含むイメージを作成することを計画しています。

次のコードを含むDockerfileファイルがあります。(行番号は参照用にのみ含まれています。)

```
01 FROM microsoft/dotnet:2.1-sdk
02 COPY ./
03 RUN dotnet publish -c Release -o out
04 FROM microsoft/dotnet:2.1-sdk
05 COPY -from=0 /out /
06 WORKDIR /
07 ENTRYPOINT ["dotnet", "app.dll"]
```

イメージを作成するときは、イメージをできるだけ小さくする必要があります。

ファイルのどの行を変更する必要がありますか？

A. 1

B. 3

C. 4

D. 7

正解: **A** ([コメントを發表する](#))

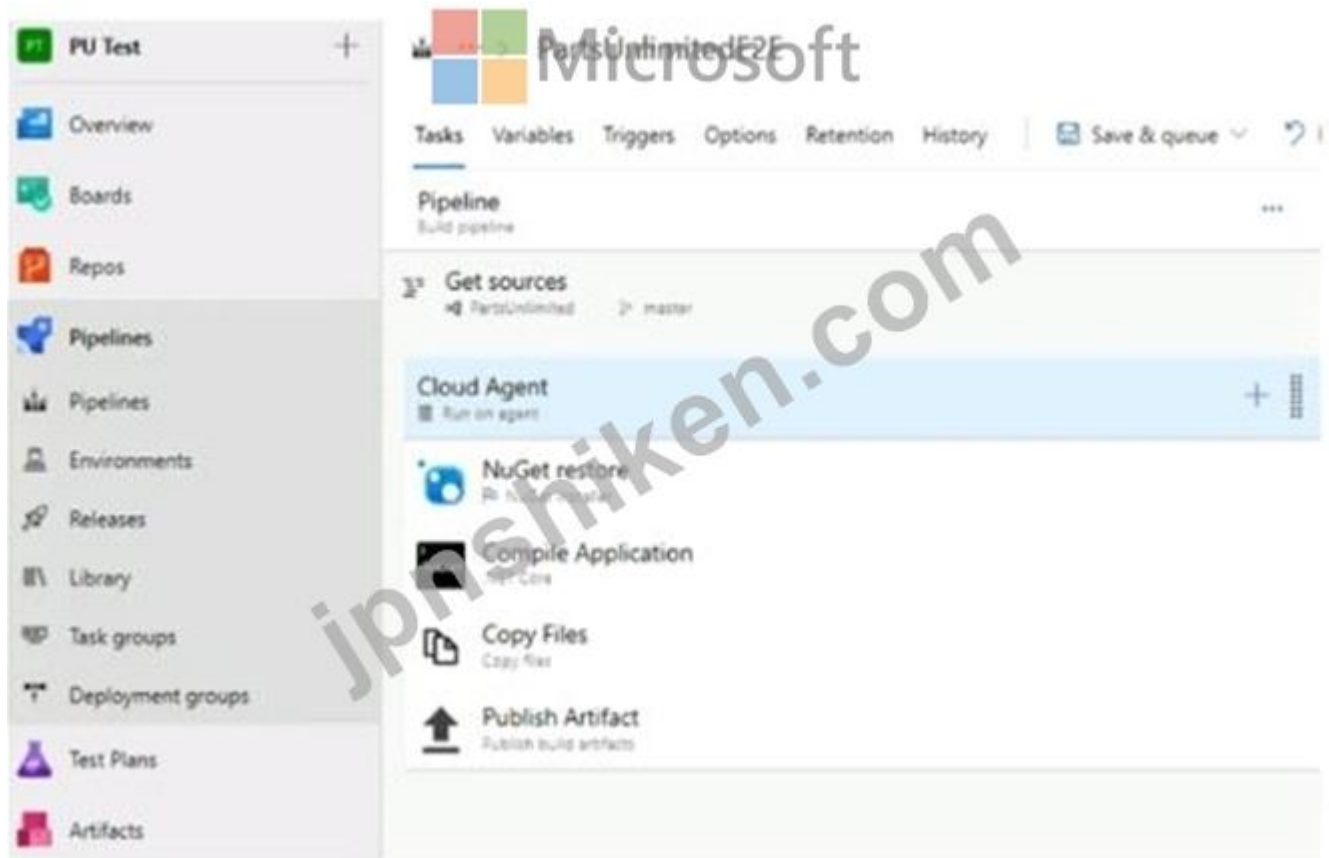
マルチステージビルド (Docker 17.05以降)を使用すると、中間レイヤーとファイルの数を減らすのに苦労することなく、最終的なイメージのサイズを大幅に減らすことができます。

マルチステージビルドでは、Dockerfileで複数のFROMステートメントを使用します。各FROM命令は異なるベースを使用でき、それぞれがビルドの新しいステージを開始します。アーティファクトをあるステージから別のステージに選択的にコピーして、最終的な画像に不要なものをすべて残すことができます。

参照 <https://docs.docker.com/develop/develop-images/multistage-build/#use-multi-stage-builds>

質問: 28

次の展示に示すAzureDevOpsパイプラインがあります。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完了する回答の選択肢を選択します。

**Answer Area**



正解:



参照：

<https://azuredevopslabs.com/labs/azuredevops/continuousintegration/>

### 質問: 29

Contosoという名前のAzureDevOps組織とAzureサブスクリプションがあります。サブスクリプションには、VMSS1という名前のAzure仮想マシンスケールセットと、LB1という名前のAzure標準ロードバランサーが含まれています。

LB1は、着信要求をVMSS1インスタンス全体に分散します。

Azure DevOpsを使用して、App1という名前のWebアプリを構築し、App1をVMSS1にデプロイします。App1はHTTPS経由でのみアクセス可能であり、クライアント証明書を使用して相互認証を要求するように構成されています。

App1のヘルスチェックを実装するためのソリューションを推奨する必要があります。ソリューションは、次の要件を満たしている必要があります。

\*VMSS1の個々のインスタンスがアップグレード操作に適格かどうかを識別します。

\*管理作業を最小限に抑えます。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

- A. アプリケーションヘルス拡張機能
- B. カスタムスクリプト拡張
- C. AzureLoadBalancerヘルスプローブ
- D. AzureMonitorの自動スケール

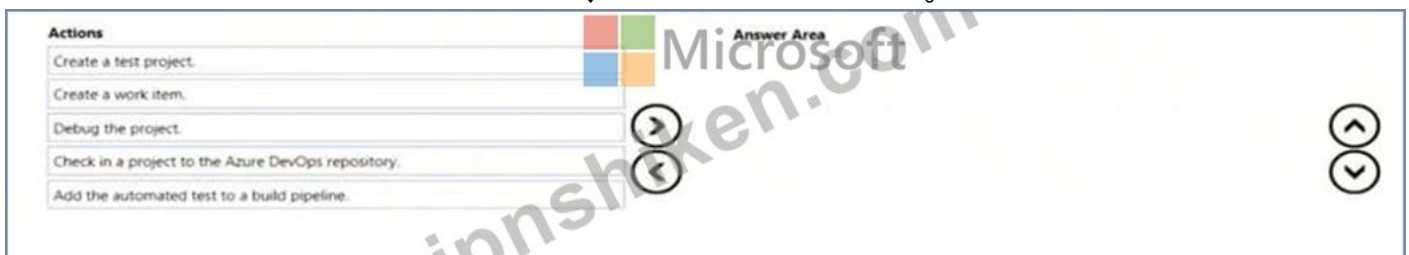
正解: ([正解を表示します](#))

### 質問: 30

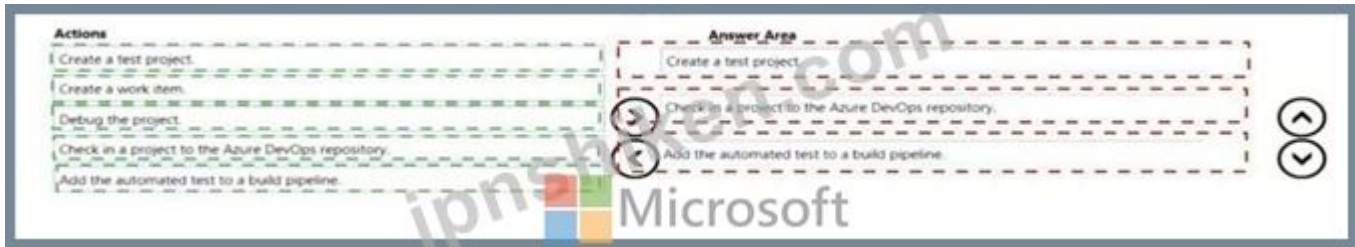
AzureDevOpsには保護機能があります。

自動テストをテストケースに関連付ける必要があります。

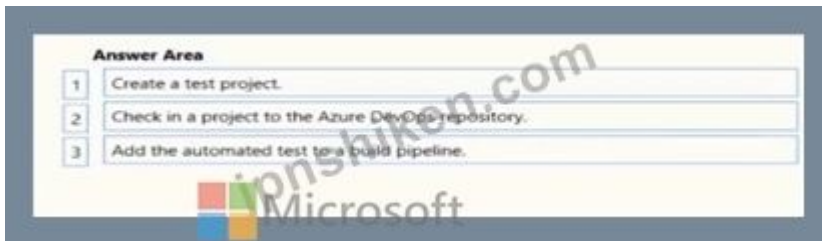
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。



正解:



## 説明



自動テストをテストケースに関連付けるプロセスは次のとおりです。

\*自動テストを含むテストプロジェクトを作成します。どのような種類のテストがサポートされていますか？

\*テストプロジェクトをAzureDevOpsまたはTeamFoundationServer (TFS) リポジトリにチェックインします。

\*プロジェクトのビルドパイプラインを作成し、自動テストが含まれていることを確認します。まだXAMLビルドを使用している場合の違いは何ですか？

\* Visual StudioEnterpriseまたはProfessional2017以降のバージョンを使用して、以下に示すように自動テストをテストケースに関連付けます。テストケースは、定義したビルドを使用するテストプランに追加されている必要があります。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/test/associate-automated-test-with-test-case>

## 質問: 31

WindowsServer2019のServerCoreインストールで実行されるサーバーアプリケーションを展開しています。

Azureキーボールドとシークレットを作成します。

サードパーティ統合のAPIシークレットを保護するには、キーボールドを使用する必要があります。

実行する必要がある3つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. キーボールドのRBACを構成します。
- B. キーボールドにアクセスするようにアプリケーションを変更します。
- C. KeyVaultアクセスポリシーを構成します。
- D. Azure Desired State Configuration (DSC) 拡張機能を展開します。
- E. システムによって割り当てられたマネージドIDを使用する仮想マシンをデプロイします。

正解: ([正解を表示します](#))

BE :Azureにデプロイされたアプリは、AzureリソースのマネージドIDを利用できます。これによ

り、アプリに保存されている資格情報 (アプリケーションIDとパスワード/クライアントシークレット)なしでAzureAD認証を使用してAzureKeyVaultで認証できます。

C :

- 1.[アクセスポリシーの追加]を選択します。
- 2.シークレット権限を開き、アプリに取得権限と一覧権限を付与します。
3. [プリンシパルの選択]を選択し、登録済みのアプリを名前を選択します。[選択]ボタンを選択します。
- 4.[OK]を選択します。
- 5.[保存]を選択します。
- 6.アプリをデプロイします。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/aspnet/core/security/key-vault-configuration> 継続的インテグレーションテストの実装1ケーススタディこれはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するために必要なだけ多くの試験時間を使用することができます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。あなたはあなたが提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Contoso、Ltd.は、シカゴに本社を置く製造会社です。

既存の環境

Contosoは、Azure DevOpsの原則を実装することにより、IT開発および運用プロセスを改善することを計画しています。ContosoにはAzureサブスクリプションがあり、AzureDevOps組織を作成します。

AzureDevOps組織には次のものが含まれます。

\* Docker拡張機能

\* WindowsServer2016を実行する10台のAzure仮想マシンを含むPool7という名前の展開プール

AzureサブスクリプションにはAzureAutomationアカウントが含まれています。

要件

計画された変更

Contosoは、次の表に示すように、AzureDevOpsでプロジェクトを作成することを計画しています。

Project name	Project details
Project 1	Project1 will provide support for incremental builds and third-party SDK components
Project 2	Project2 will use an automatic build policy. A small team of developers named Team2 will work independently on changes to the project. The Team2 members will not have permissions to Project2.
Project 3	Project3 will be integrated with SonarQube
Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
Project 5	Project5 will contain a Git repository in Azure Repos and a continuous integration trigger that will initiate a build in response to any change except for changes within /folder1 of the repository.
Project 6	Project6 will provide support for build and deployment pipelines. Deployment will be allowed only if the number of current work items representing active software bugs is 0.
Project 7	Project7 will contain a target deployment group named Group7 that maps to Pool7. Project7 will use Azure Automation State Configuration to maintain the desired state of the computers in Group7.

技術要件

Contosoは、次の技術要件を識別します。

\*Project1のビルドエージェントを実装します。

\*可能な限り、Azureリソースを使用してください。

\*非推奨のテクノロジーの使用は避けてください。

\*Project2のコードフロー戦略を実装します。

-Team2がProject2のプルリクエストを送信できるようにします。

-Team2がProject2のコピーへの変更に対して独立して作業できるようにします。

-Project2のコピーに対してTeam2によって実行される中間変更には、Project2のビルドポリシーで定義されているものと同じ制限が適用されることを確認してください。

\*可能な限り、自動化を実装し、管理作業を最小限に抑えます。

\*計画された変更に基づいて、Project3、Project5、Project6、およびProject7を実装します。

\* Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerRegistryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

**質問: 32**

あなたの会社にはAzureサブスクリプションがあります。

会社では、サブスクリプション内のすべてのリソースグループに、組織という名前のタグがContosoの値に設定されている必要があります。

タグ付けの要件を満たすためにポリシーを実装する必要があります。

ポリシーをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

```
{
  "policyRule": {
    "if": {
      "allOf": [
        {
          "field": "type",
          "equals": "MicrosoftResources/deployments",
        },
        {
          "not": {
            "field": "tags['organization']",
            "equals": "Contoso"
          }
        }
      ]
    },
    "then": {
      "effect": "Deny",
      "details": [
        {
          "field": "tags['organization']",
          "value": "Contoso"
        }
      ]
    }
  }
}
```



Microsoft

ipnshiken.com

正解:

```
{
  "policyRule": {
    "if": {
      "allOf": [
        {
          "field": "type",
          "equals":
            [
              "MicrosoftResources/deployments",
              "MicrosoftResources/subscriptions",
              "MicrosoftResources/subscriptions/resourceGroups"
            ]
        },
        {
          "not": {
            "field": "tags['organization']",
            "equals": "Contoso"
          }
        }
      ]
    },
    "then": {
      "effect":
        [
          "Deny",
          "DeployIfNotExists"
        ],
      "details": [
        {
          "field": "tags['organization']",
          "value": "Contoso"
        }
      ]
    }
  }
}
```



説明

```

    "policyRule": {
      "if": {
        "allOf": [
          {
            "field": "type",
            "equals":
              
          },
          {
            "not": {
              "field": "tags['organization']",
              "equals": "Contoso"
            }
          }
        ]
      },
      "then": {
        "effect":
          
        "details": [
          {
            "field": "tags['organization']",
            "value": "Contoso"
          }
        ]
      }
    }
  },
}

```

ボックス1 : Microsoft.Resources / subsets/resourceGroups」

ボックス2 : 拒否」、

サンプルリソースグループにタグとその値を適用します

},

"policyRule" {

"もしも" :{

"すべての" :[

{

"フィールド" : "タイプ",

"等しい" : "Microsoft.Resources / subsets / resourceGroups"

},

{

"いいえ" :{

"フィールド" : "[concat ('tags[' , parameters ('tagName') , ''])]",

"等しい" : "[parameters ('tagValue')]"

```

}
}
]
},
"それから" : {
  効果」 : 拒否」
}
}
}
}
}

```

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/governance/policy/samples/enforce-tag-on-resource-groups>

**質問: 33**

Azure Kubernetes Service (AKS) クラスタがあります。  
 Azure DevOpsを使用して、アプリケーションをクラスターにデプロイする必要があります。  
 順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions	Answer Area
Create a service account in the cluster.	<div style="border: 1px solid red; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid red; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid red; height: 40px;"></div>
Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).	
Add an Azure Function App for Container task to the deployment pipeline.	
Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.	
Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.	
Configure RBAC roles in the cluster.	

正解:

## Actions



Microsoft

## Answer Area

Create a service account in the cluster.

Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).

Add an Azure Function App for Container task to the deployment pipeline.

Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.

Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.

Configure RBAC roles in the cluster.

Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).

Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.

Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.

### Explanation:

Linuxエージェント、Docker、Helmを活用することで、CI/CDパイプラインをセットアップして Azure DevOpsを使用してKubernetesクラスターにアプリをデプロイできます。

手順1 :Azure Active Directory (Azure AD)でサービス原則を作成する

ACRおよびAKSと対話する必要がある特定のAzureロールを持つ3つの特定のサービスプリンシパルを割り当てる必要があります。

Azure DevOpsパイプライン用の特定のサービスプリンシパルを作成して、ACRのイメージとチャートをプッシュおよびプルできるようにします。

Azure DevOpsパイプライン用の特定のサービスプリンシパルを作成して、AKSにアプリケーションをデプロイできるようにします。

ステップ2 :Helmパッケージを追加し、デプロイパイプラインにタスクをデプロイします  
これは、コンテナを使用したDevOpsワークフローです。



手順3 :DockerComposeタスクをデプロイパイプラインに追加します。

Dockerfileファイルは、Dockerが利用するスクリプトであり、アプリをパッケージ化して新しいDockerイメージを作成するために、ベースイメージに対してアクションを自動的に実行するために、さまざまなコマンド（命令と引数が連続してリストされます）。

参照：

<https://cloudblogs.microsoft.com/opensource/2018/11/27/tutorial-azure-devops-setup-cicd-pipeline-kubernetes-docker-helm/>

#### 質問: 34

プライベートGitHubリポジトリがあります。

Azureボード上のリポジトリのコミットステータスを表示する必要があります。

あなたは最初に何をすべきですか？

- A. GitHubでGitHubアクションを作成します。
- B. AzurePipelinesアプリをGitHubリポジトリに追加します。
- C. GitHubアカウントの多要素認証 (MFA)を構成します。
- D. AzureBoardsアプリをリポジトリに追加します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

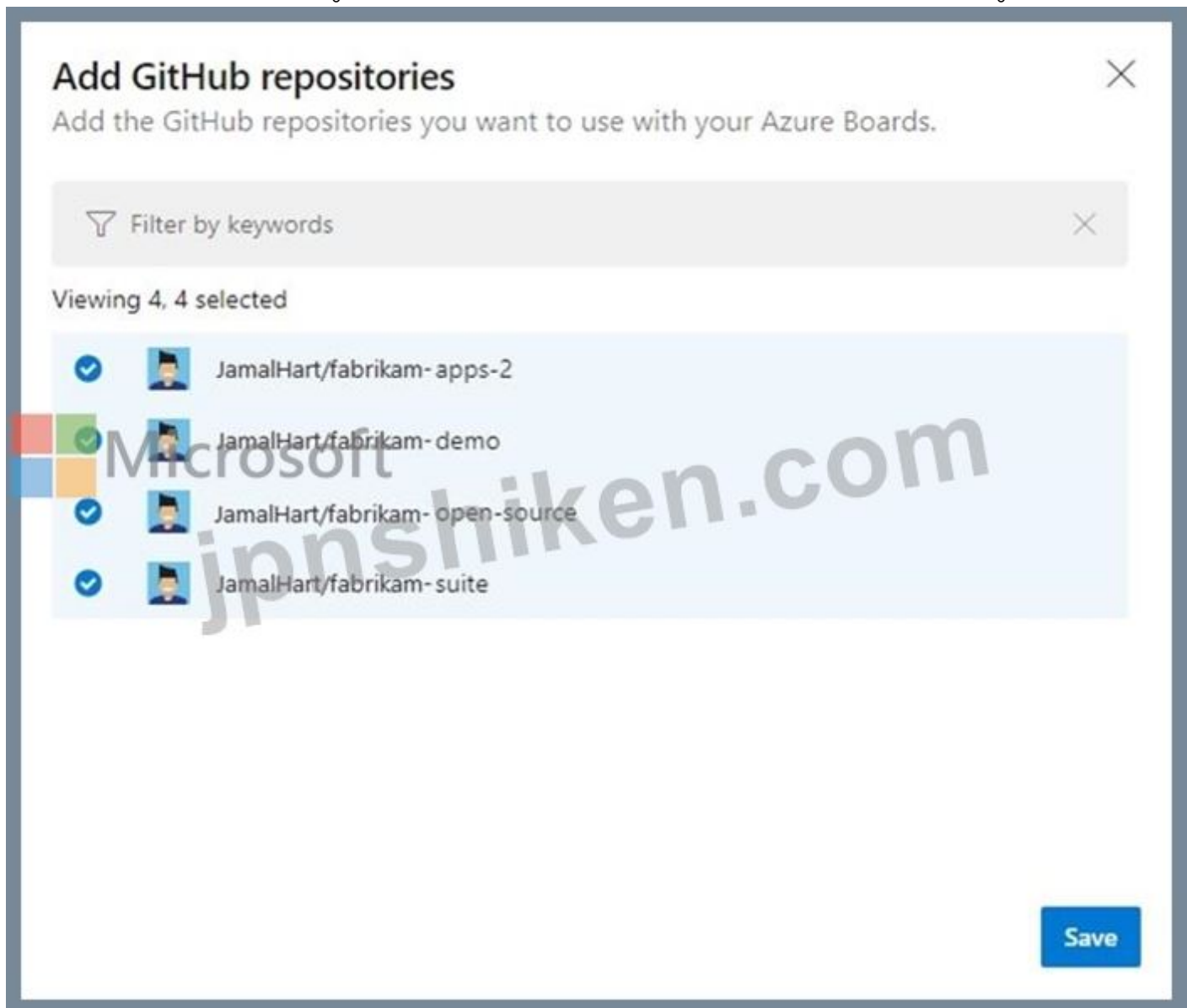
Azure BoardsをGitHub.comに接続するには、AzureBoardsから接続して構成します。または、GitHubからAzureBoardsアプリをインストールして構成します。どちらの方法も合理化されており、個人ではなくアプリを介した認証と操作をサポートしています。

注（以下のステップ4を参照）：

GitHub接続を追加します。

\*Azureボードにサインインします。

- \* ①)プロジェクト設定を選択し、②)GitHub接続を選択してから、③)GitHubアカウントを接続します。
- \* Azure BoardsからGitHubに初めて接続する場合は、GitHubクレデンシャルを使用してサインインするように求められます。接続するリポジトリの管理者であるアカウントを選択します。
- \* [GitHubリポジトリの追加]ダイアログが自動的に表示され、管理者であるすべてのGitHub.comリポジトリが選択されます。統合に参加したくないリポジトリの選択を解除します。



参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/boards/github/connect-to-github>

### 質問: 35

あなたの会社にはAzureDevOpsプロジェクトがあります。

プロジェクトのソースコードはオンプレミスリポジトリに保存され、オンプレミスビルドサーバーで使用されます。

Azure DevOpsを使用して、セルフホストエージェントを使用してビルドサーバーのビルドプロセスを制御することを計画しています。

セルフホストエージェントを実装する必要があります。

エージェントをダウンロードしてビルドサーバーにインストールします。

次に実行する必要がある2つのアクションはどれですか。それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

- A. Azureから、共有アクセス署名 (SAS)を作成します。
- B. ビルドサーバーから証明書を作成し、その証明書をAzureStorageにアップロードします。
- C. ビルドサーバーから証明書を作成し、その証明書をAzureKeyVaultにアップロードします。
- D. DevOpsから、パーソナルアクセストークン (PAT)を作成します。
- E. ビルドサーバーからconfig.cmdを実行します。

正解: ([正解を表示します](#))

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/agents/v2-windows?view=azure-devops> (PATを取得し、構成を実行します)

### 質問: 36

あなたの会社はソース管理にGitHubを使用しています。同社には、コードレビューを実行するチームがあります。

コードレビューの割り当てを自動化する必要があります。ソリューションは、次の要件を満たしている必要があります。

未解決の割り当てが最も少ないチームメンバーへのコードレビューの割り当てを優先します。

各チームメンバーが30日間で同数のコードレビューを実行するようにします。

チームリーダーへのコードレビューの割り当てを防止します。

実行する必要がある2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. クリア特定のチームメンバーを割り当てないでください。
- B. [チームメンバーを割り当てる場合は、チーム全体に通知しない]を選択します。
- C. [特定のチームメンバーを割り当てない]を選択します。
- D. ルーティングアルゴリズムをラウンドロビンに設定します。
- E. ルーティングアルゴリズムを負荷分散に設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

A :チームの特定のメンバーを常にスキップするには、[特定のチームメンバーを割り当てない]を選択します。次に、常にスキップする1人以上のチームメンバーを選択します。この場合、チームリーダーを選択します。

E : 負荷分散アルゴリズムは、各メンバーの最近のレビューリクエストの総数に基づいてレビュー担当者を選択し、各メンバーの未処理のレビューの数を考慮します。負荷分散アルゴリズムは、各チームメンバーが30日間で同数のプルリクエストを確認するようにします。

不正解 :

D :ラウンドロビンアルゴリズムは、最新のレビューリクエストを受け取った人に基づいてレビューアを選択し、現在の未解決のレビューの数に関係なく、チームのすべてのメンバーを交互

に切り替えることに焦点を当てます。

参照：

<https://docs.github.com/en/organizations/organizing-members-into-teams/managing-code-review-assignment-for-your-team>

### 質問: 37

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、定められた目標を達成する可能性のある固有の解決策が含まれています。いくつかの質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

条件を含む承認プロセスがあります。この条件では、リリースを展開する前に、チームリーダーがリリースを承認する必要があります。

あなたは、承認が8時間以内に行われなければならないと述べているポーキーを持っています。

承認に2時間以上かかる場合にのみ、展開がわかります。

承認に数時間以上かかる場合にのみ、展開が失敗するようにする必要があります。

解決策展開後の条件から、展開後の承認のタイムアウト設定を変更します。

これは目標を達成していますか？

A. いいえ

B. はい

正解: ([正解を表示します](#))

### 質問: 38

5分間の評価でaz400-9940427-mainという名前のAzureWebアプリのピーク平均応答時間が5秒を超える場合は、通知を作成する必要があります。通知は `https://contoso.com/notify` Webhookをトリガーする必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

正解:

1.MicrosoftAzureポータルを開きます

2. Azureアカウントにログインし、App Serviceに移動して、[監視]の下を確認すると、アラートが表示されます。

3.[アラートルールの追加]を選択します

4.以下のようにアラートルールを設定し、[OK]をクリックします。

出典 :メトリクスに関するアラート


リソースグループ :az400-9940427-main

リソース :az400-9940427-メイン

しきい値 :5

期間 :過去分間

Webhook :`https://contoso.com/notify`

Add an alert rule 

\* Threshold ⓘ

1

bytes/second

\* Period ⓘ

Over the last 5 minutes ▼

Email service and co-administrators

Additional administrator email

*Additional administrator email*

**Webhook ⓘ**

*HTTP or HTTPS endpoint to route alerts to*

[Learn more about configuring webhooks](#)

OK

参照：

<https://azure.microsoft.com/es-es/blog/webhooks-for-azure-alerts/>

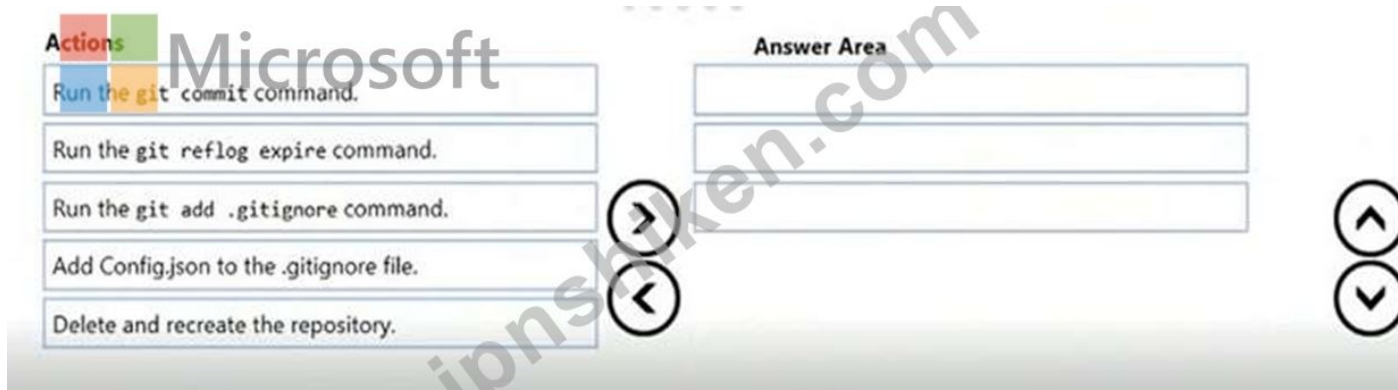
### 質問: 39

大規模なエンタープライズアプリケーションのGitリポジトリを管理します。

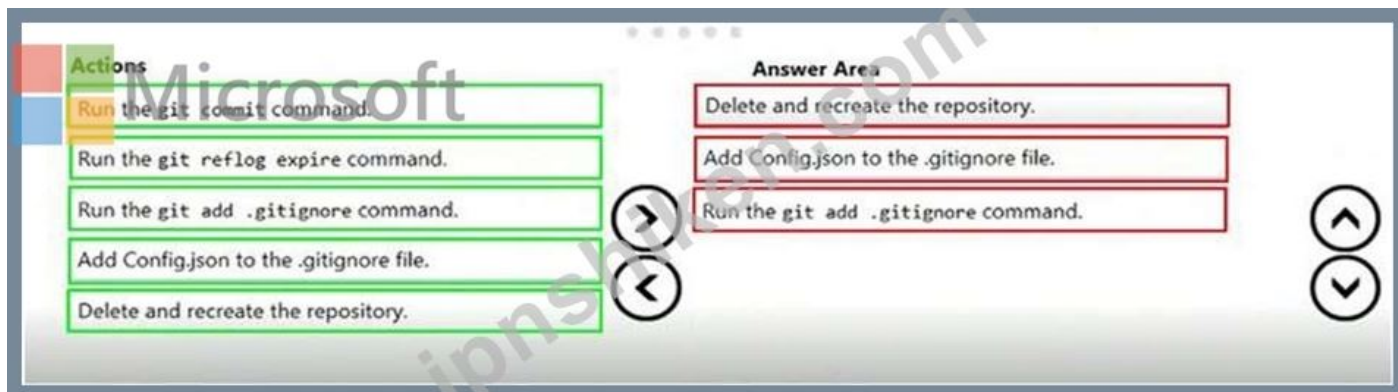
アプリケーションの開発中に、Config.jsonという名前のファイルを使用します。

アプリケーションへの変更がコミットされるたびに、Config.jsonがソース管理にコミットされないようにする必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。



正解:



Explanation:

手順1 :リポジトリを削除して再作成します。

ステップ2 :Config.jsonを.gitignoreファイルに追加します

.gitignoreの各行は、パターンに一致するファイルまたはファイルのセットを除外します。

例 :

#単一のファイルを無視する

Config.json

ステップ3 :git add .gitignoreコマンドを実行します

最初のコミットでは、基本的にUntrackedからStagedに移動します。ステージングでは、例として、移動するファイルを指定するか、パターンを指定する必要があります。

参照 :

<http://hermit.no/how-to-find-the-best-gitignore-for-visual-studio-and-azure-devops/>

<https://geohernandez.net/how-to-add-an-existing-repository-into-azure-devops-repo-with-git/>

質問: 40

次の展示に示すように、AzureDevOpsリリースパイプラインがあります。

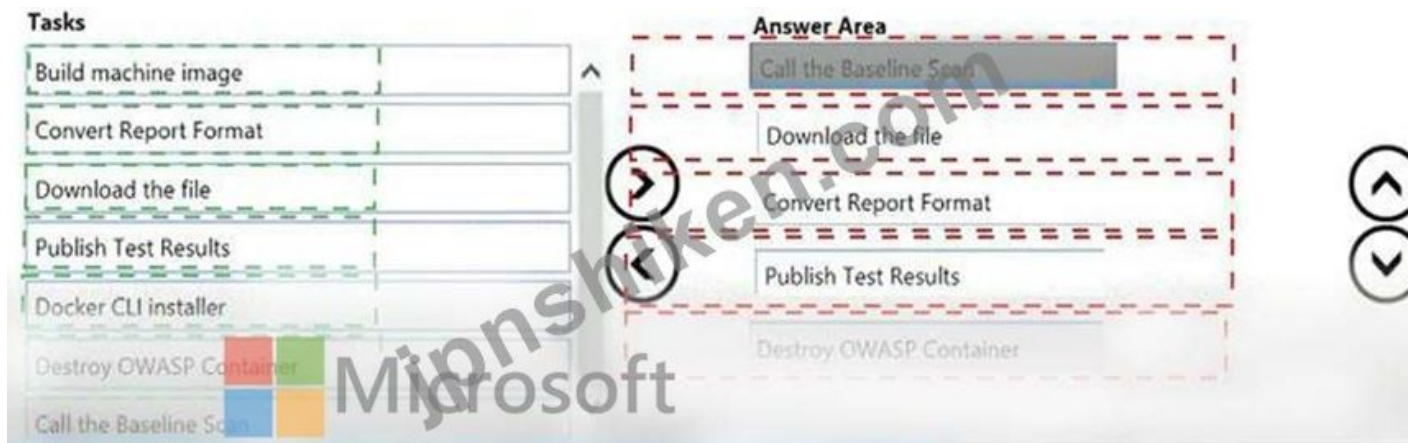


セキュリティテスト用にOWASPZAPを構成するには、パイプラインを完了する必要があります。どの5つのAzureCLIタスクを順番に追加する必要がありますか？回答するには、タスクのリスト

から回答領域にタスクを移動し、正しい順序に並べます。



正解:



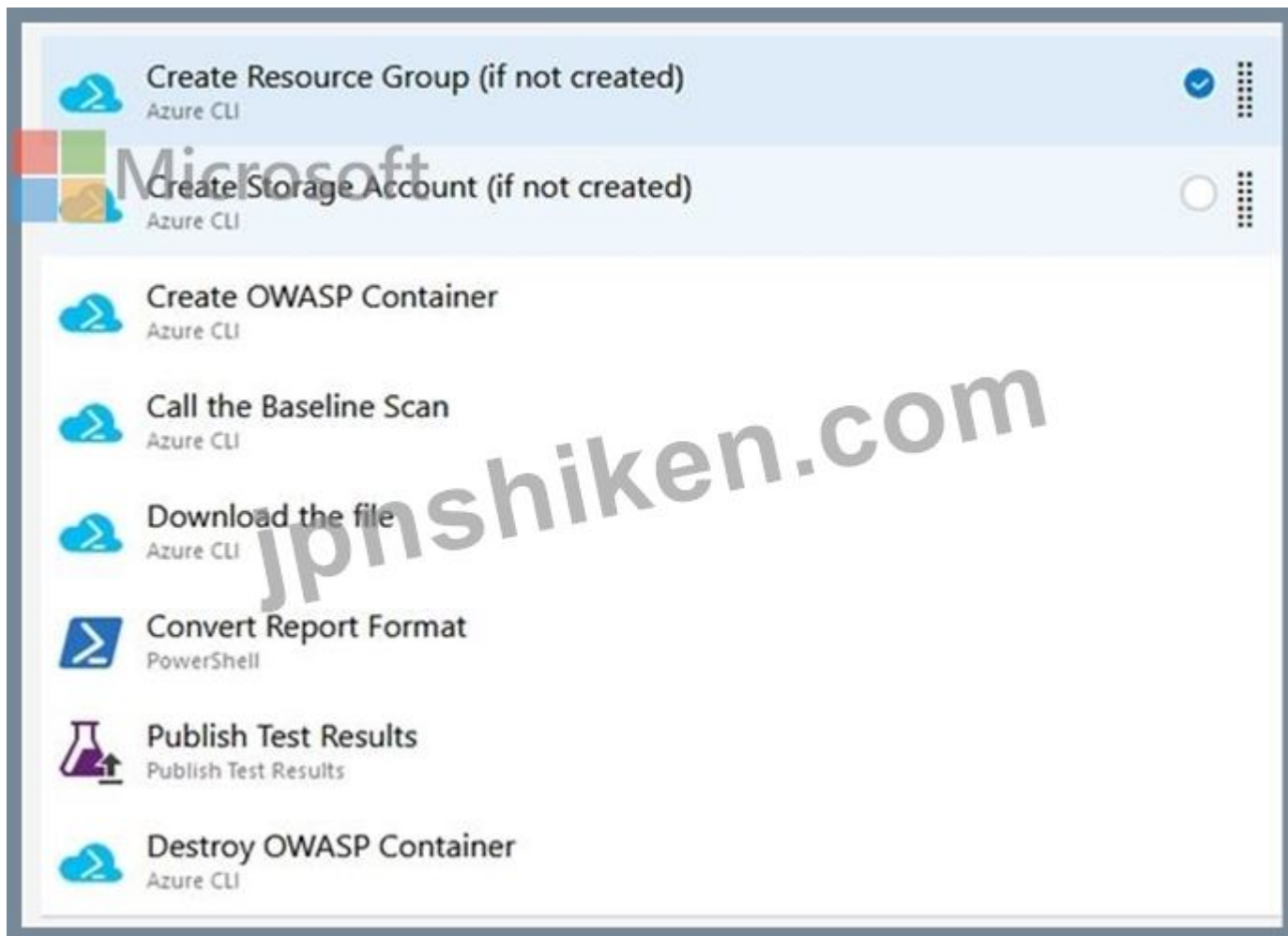
説明



リリースパイプラインの定義

リリースパイプラインのアプリケーション部分が構成されたら、セキュリティスキャン部分を定義できます。この例では、これは8つのタスクで構成され、主にAzure CLIタスクを使用してACIインスタンス（およびサポート構造）を作成および使用します。

特に指定されていない場合、すべてのAzure CLIタスクは、既定の構成オプションを使用するインラインタスクです。



参照：

<https://devblogs.microsoft.com/premier-developer/azure-devops-pipelines-leveraging-owasp-zap-in-the-release-p>

#### 質問: 41

プロジェクトAzureDevOpsがあります。

AzureResourceManagerテンプレートを使用してリソースをデプロイするビルドパイプラインを作成することを計画しています。テンプレートは、AzureKeyVaultに保存されているシークレットを参照します。

Yuは、テンプレートの展開中にキーボールドのリソースIDを動的に生成できることを確認する必要があります。

テンプレートには何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

```

"resources": [
  {
    "apiversion": "2018-05-01",
    "name": "secrets",
    "type": [
      "Microsoft.KeyVault/vaults",
      "Microsoft.Resources/deployment",
      "Microsoft.Subscription/subscriptions"
    ]
    "properties": {
      "mode": "Incremental",
      "template": {
        "deployment":
        "template":
        "templateLink":
      }
    }
  }
]

```

```

contentVersion": "1.0.0.0",
"uri": "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
concat('./nested/sqlserver.json',
parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"
},
"parameters": {
  "secret": {
    "reference": {
      "keyVault": {
        "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
parameters('vaultResourceGroupName'),
'Microsoft.KeyVault/vaults',
parameters('vaultName'))]"
      },
      "secretName": "[parameters('secretName')]"
    }
  }
}
}
}
}
}
],

```

正解:

```

"resources": [
  {
    "apiversion": "2018-05-01",
    "name": "secrets",
    "type": "Microsoft.Resources/deployment",
    "properties": {
      "mode": "Incremental",
      "templateLink": {
        "uri": "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
concat('./nested/sqlserver.json',
parameters('_artifactsLocationSasToken')))]",
        "contentVersion": "1.0.0.0",
        "parameters": {
          "secret": {
            "reference": {
              "keyVault": {
                "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
parameters('vaultResourceGroupName'),
'Microsoft.KeyVault/vaults',
parameters('vaultName'))]"
              },
              "secretName": "[parameters('secretName')]"
            }
          }
        }
      }
    }
  }
],

```

#### 質問: 42

投資計画アプリケーションスイートの開発者グループとチームリーダーグループに割り当てる必要があるパッケージフィードアクセスレベルはどれですか？答えるには、適切なアクセスレベルを正しいグループにドラッグします。

各アクセスレベルは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Access Levels	Answer Area
Collaborator	Developers: <input type="text"/>
Contributor	Team Leaders: <input type="text"/>
Owner	
Reader	

正解:

説明

Developers:	<input type="text" value="Reader"/>
Team Leaders:	<input type="text" value="Owner"/>

ボックス1 :リーダー

Developersという名前のグループのメンバーは、パッケージをインストールできる必要があります。

フィードには、所有者、寄稿者、共同編集者、読者の4つのレベルのアクセス権があります。所有者は、個人、チーム、グループなど、あらゆる種類のIDをあらゆるアクセスレベルに追加できます。

ボックス2 : 所有者

チームリーダーという名前のグループのメンバーは、新しいパッケージを作成し、パッケージフィードの権限を編集できる必要があります。

Permission	Reader	Collaborator	Contributor	Owner
List and restore/install packages	✓	✓	✓	✓
Save packages from upstream sources		✓	✓	✓
Push packages			✓	✓
Unlist/deprecate packages			✓	
Delete/unpublish package				✓
Edit feed permissions				✓
Rename and delete feed				✓

**質問: 43**

RBACが有効になっているAzureKubernetesService (AKS) クラスタをプロビジョニングします。クライアントアプリケーションのHelmチャートがあります。

クラスタでHelmとTillerを構成し、チャートをインストールする必要があります。

順番に実行することをお勧めする3つのコマンドはどれですか？回答するには、適切なコマンドをコマンドのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

**Commands**



`helm install`

`kubectl create`

`helm completion`

`helm init`

`helm serve`

正解:

## Commands

## Answer Area

Diagram illustrating the matching of commands between a list of commands and an answer area. The 'Commands' list contains: helm install, kubectl create, helm completion, helm init, helm serve. The 'Answer Area' contains: kubectl create, helm init, helm install. Arrows indicate that 'helm completion' and 'helm init' from the Commands list match 'helm install' in the Answer Area.

Explanation:

ステップ1 :Kubectl create

Helmの構成中に--service-account<NAME>フラグを使用してTillerにサービスアカウントを追加できます（以下の手順2）。前提条件として、事前に設定されているロールとサービスアカウント名を指定するロールバインディングを作成する必要があります。

例 :cluster-adminロールを持つサービスアカウント

```
$ kubectl create -f rbac-config.yaml
```

serviceaccount filler」が作成されました

clusterrolebinding 「リラー」が作成されました

```
$ helm init --service-accounttiller
```

ステップ2 :ヘルム初期化

基本的なティラーをAKSクラスターにデプロイするには、helminitコマンドを使用します。

ステップ3 :ヘルムのインストール

Helmを使用してチャートをインストールするには、helm installコマンドを使用して、インストールするチャートの名前を指定します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/kubernetes-helm>

[https://docs.helm.sh/using\\_helm/#tiller-namespaces-and-rbac](https://docs.helm.sh/using_helm/#tiller-namespaces-and-rbac)

### 質問: 44

Azure DevOpsにプライベートプロジェクトがあり、User1とUser2という名前の2人のユーザーがいます。

次の要件を満たすには、User1とUser2をグループに追加する必要があります。

User1は、コードWikiを作成する必要があります。

User2はWikiページを編集する必要があります。


ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

各ユーザーをどのグループに追加する必要がありますか？回答するには、適切なグループを適切なユーザーにドラッグします。各グループは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグする

か、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Groups	Answer Area
Build Administrators	User1: <input type="text"/>
Contributors	User2: <input type="text"/>
Project Administrators	
Project Valid Users	
Stakeholders	



正解:

Groups	Answer Area
Build Administrators	User1: <input type="text" value="Project Administrators"/>
Contributors	User2: <input type="text" value="Contributors"/>
Project Administrators	
Project Valid Users	
Stakeholders	



参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/project/wiki/wiki-create-repo>

#### 質問: 45

AzureDevOpsでプロジェクトを作成する予定です。複数の開発者がプロジェクトに取り組みます。開発者は頻繁にオフラインで作業し、オフライン中にプロジェクト履歴全体にアクセスする必要があります。

どのバージョン管理ソリューションを使用する必要がありますか？

- A. TortoiseSVN
- B. TeamFoundationバージョン管理
- C. Subversion
- D. Git

正解: D (コメントを发表する)

説明

Git履歴 :ファイル履歴はクライアント開発マシンに複製され、サーバーに接続されていない場合でも表示できます。VisualStudioおよびWebポータルで履歴を表示できます。

注 Azure Reposは、GitとTeam Foundationバージョン管理 (TFVC)の2種類のバージョン管理をサポートしています。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/tfvc/comparison-git-tfvc>

質問: 46

現在の技術的な問題を解決するには、Register-AzureRmAutomationDscNodeコマンドをどのように実行する必要がありますか？

A)

Change the value of the ConfigurationMode parameter.

B)

Add the DefaultProfile parameter.

C)

Add the AllowModuleOverwrite parameter.

D)

Replace the Register-AzureRmAutomationDscNode cmdlet with Register-AzureRmAutomationScheduledRunbook.

A. オプションA

B. オプションD

C. オプションB

D. オプションC


正解: B ([コメントを发表する](#))

有効的なAZ-400問題集はJPNTTest.com提供され、AZ-400試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新AZ-400試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここでAZ-400問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> 625問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

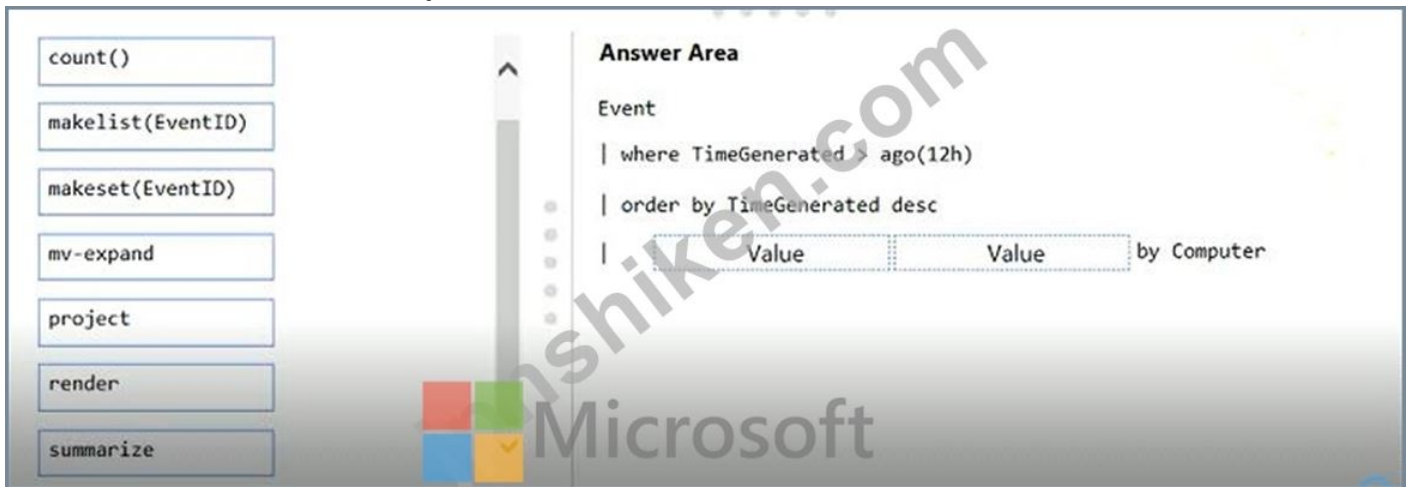
質問: 47

WindowsServer2019を実行するAzure仮想マシンがいくつかあります。

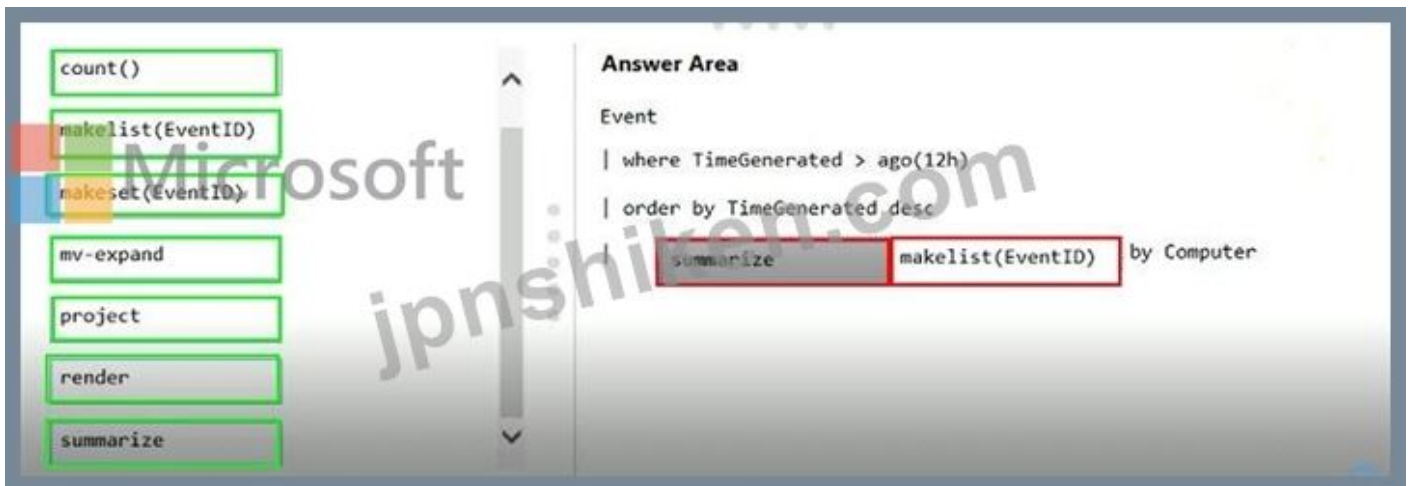
次の表に示すように、各仮想マシンの個別のイベントIDを識別する必要があります。

Name	Event ID
VM1	[704,701,1501,1500,1085]
VM2	[326,105,302,301,300,102]
...	...  Microsoft

Azure Monitorクエリをどのように完了する必要がありますか？答えるには、適切な値を正しい場所にドラッグします。各値は、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。



正解:



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/log-query/advanced-aggregations>

質問: 48

定められた目標を達成する可能性のある独自のソリューション。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。このセクションの質問に回答すると、その質問に戻ることができなくなります。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

クラウドでホストされるJenkinsサーバーと新しいAzureDevOpsデプロイメントを統合します。開発者がAzureReposのブランチに変更をコミットしたときに、Jenkinsに通知を送信するにはAzureDevOpsが必要です。

解決策 :ビルド完了イベントを使用するサービスフックサブスクリプションを作成します。これは目標を満たしていますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 49

現在、DevOpsプロセスの一部としてJIRA、Jenkins、およびOctopusを使用しています。

これらのツールの代わりにAzureDevOpsを使用する予定です。

各ツールを置き換えるためにどのAzureDevOpsサービスを使用する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

JIRA:

▼

- Boards
- Build pipelines
- Release pipelines
- Repos

Jenkins:

▼

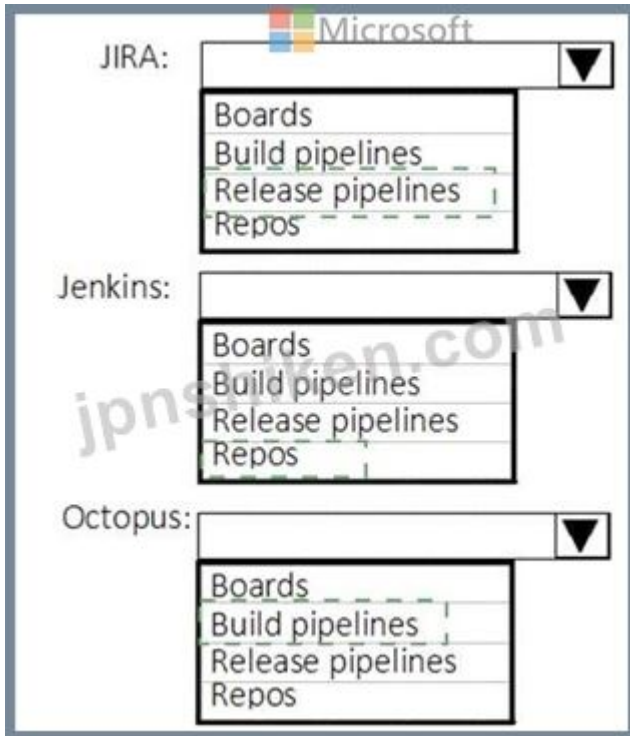
- Boards
- Build pipelines
- Release pipelines
- Repos

Octopus:

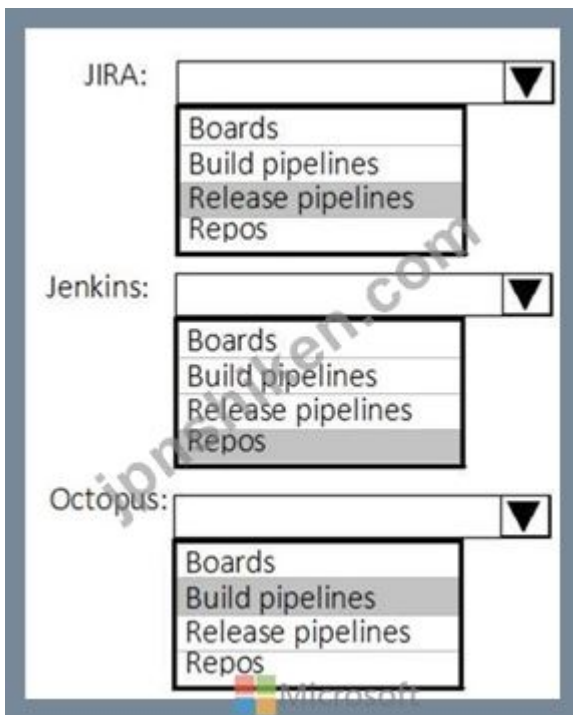
▼

- Boards
- Build pipelines
- Release pipelines
- Repos

正解:



説明



JIRA パイプラインをリリース

AtlassianのJiraSoftwareは、チームがソフトウェアリリースを計画、追跡、および管理するのに役立つ人気のあるアプリケーションです。一方、Octopus Deployは、チームが開発および運用プロセスを高速で反復可能かつ信頼性の高い方法で自動化するのに役立ちます。これらを組み合わせることで、チームはアイデアから本番環境までのソフトウェアパイプラインをエンドツーエンドで把握できるようになります。

ジェンキンス :リポジトリ

JenkinsをAzurePipelinesと統合する1つの方法は、JenkinsでCIジョブを個別に実行することです。これには、JenkinsでのCIパイプラインの構成と、ソースコードがリポジトリまたはブランチにプッシュされたときにCIプロセスを呼び出すAzureDevOpsでのWebフックの構成が含まれま

す。

タコ パイプラインを構築する

参照：

<https://octopus.com/blog/octopus-jira-integration>

<https://www.azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/jenkins/>

### 質問: 50

あなたの会社は、次のエンドポイントにアプリケーションをデプロイすることを計画しています。

Azureでホストされている10台の仮想マシン

オンプレミスのデータセンター環境でホストされる10台の仮想マシン

すべての仮想マシンには、AzurePipelinesエージェントがあります。


アプリケーションをエンドポイントにデプロイするためのリリース戦略を実装する必要があります。

アプリケーションをエンドポイントにデプロイするために何を使用することをお勧めしますか？

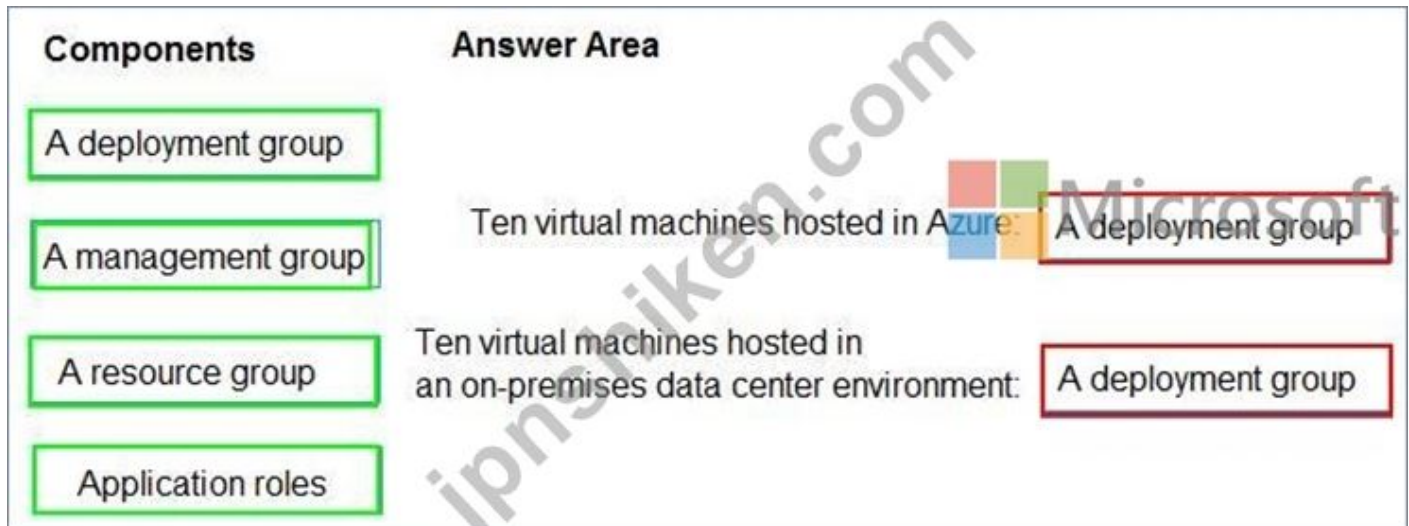
答えるには、適切なコンポーネントを正しいエンドポイントにドラッグします。各コンポーネントは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Components	Answer Area
<input type="checkbox"/> A deployment group	Ten virtual machines hosted in Azure: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> A management group	
<input type="checkbox"/> A resource group	Ten virtual machines hosted in an on-premises data center environment: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> Application roles	



正解:



参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/deployment-groups>

#### 質問: 51

AzureDevOpsにプライベートプロジェクトがあります。

プロジェクトマネージャーがプロジェクトの進行状況を報告するためのカスタム作業項目クエリを作成できることを確認する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

プロジェクトマネージャーをどのセキュリティグループに追加する必要がありますか？

- A. プロジェクトコレクション管理者
- B. リーダー
- C. プロジェクト管理者
- D. 寄稿者

正解: D ([コメントを發表する](#))

コントリビューターには、プロジェクトコードベースとワークアイテムの追跡に完全に貢献する権限があります。彼らが持っていない主な権限、またはリソースを管理または管理する権限。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/organizations/security/permissions>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/organizations/security/permissions-access-work-tracking?view=azure-devops#queries-and-semantic-search>

#### 質問: 52

注：この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

あなたの会社はAzureDevOpsを使用して、アプリケーションのビルドおよびリリースプロセスを管理しています。

アプリケーションのソース管理にはGitリポジトリを使用します。  
マスターブランチの履歴ボリュームを減らすプルリクエスト戦略を実装する必要があります。  
解決策：早送りマージを使用するプルリクエスト戦略を実装します。  
これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

早送りマージなしはこのオプションは、プルリクエストが閉じたときにソースブランチのコミット履歴をマージし、ターゲットブランチにマージコミットを作成します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/git/branch-policies>

質問: 53

Project2のコードフロー戦略をAzureDevOpsに実装する必要があります。  
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

The screenshot shows the 'Actions' list on the left and the 'Answer Area' on the right. The 'Actions' list contains the following items from top to bottom: 'Create a repository', 'Add a build policy for the fork.', 'Create a branch.', 'Add a build policy for the master branch.', 'Add an application access policy.', and 'Create a fork.'. The 'Answer Area' is currently empty. A large watermark 'jpnshiken.com' is overlaid on the image.

正解:

The screenshot shows the 'Actions' list on the left and the 'Answer Area' on the right. The 'Actions' list contains the same items as in the previous screenshot. The 'Answer Area' contains three items from top to bottom: 'Create a repository', 'Add a build policy for the master branch.', and 'Create a branch.'. A large watermark 'jpnshiken.com' is overlaid on the image.

質問: 54

GitHubリポジトリ用のAzurePipelinesのパイプラインを含むContosoAppという名前のAzureDevOpsにプロジェクトがあります。Contoso Appのパイプラインで障害が発生したとき

に、開発者がMicrosoft Teamsの通知を確実に受信するようにする必要があります。Teamsで何を実行する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area

@azure pipelines

feedback	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/
signin	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_build
subscribe	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_packaging
subscriptions	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_work-items

正解:

Answer Area

@azure pipelines

feedback	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/
signin	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_build
<u>subscribe</u>	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_packaging
subscriptions	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_work-items

説明

Answer Area

@azure pipelines

subscribe

https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/\_build

質問: 55

Project4を実装する必要があります。

あなたは最初に何をすべきですか？

- A. DockerfileファイルにFROM命令を追加します。
- B. ビルドアーティファクトのコピーと公開タスクをビルドパイプラインに追加します。
- C. Dockerタスクをビルドパイプラインに追加します。
- D. DockerfileファイルにMAINTAINER命令を追加します。

正解: (正解を表示します)

説明

シナリオ :Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerRegistryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
-----------	--

Azure Container Registry Tasksコマンドを使用して、Azure内でネイティブにDockerコンテナイメージをすばやくビルド、プッシュ、および実行し、内部ループ開発サイクルをクラウドにオフロードする方法を示します。ACR Tasksは、Azure Container Registry内の一連の機能であり、コンテナのライフサイクル全体でコンテナイメージを管理および変更するのに役立ちます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/container-registry/container-registry-quickstart-task-cli>

質問: 56

あなたの会社は、開発者がオープンソースライブラリを導入すると、ライセンスコンプライアンスの問題が発生することを懸念しています。

ビルドパイプラインに自動化されたプロセスを追加して、一般的なオープンソースライブラリが

コードベースに追加されたことを検出する必要があります。

何を使うべきですか？

A. SourceGear Vault

B. ジェンキンス

C. Microsoft Visual SourceSafe

D. WhiteSource Bolt

正解: ([正解を表示します](#))

WhiteSourceは、AzureDevOpsおよびAzureDevOpsServerとの統合のために特別に開発された軽量のオープンソースセキュリティおよび管理ソリューションであるWhiteSourceBoltを提供します。

注 :WhiteSourceは、継続的なオープンソースソフトウェアのセキュリティおよびコンプライアンス管理のリーダーです。

WhiteSourceは、プログラミング言語、ビルドツール、または開発環境に関係なく、ビルドプロセスに統合されます。これは、バックグラウンドで自動的、継続的、サイレントに動作し、オープンソースコンポーネントのセキュリティ、ライセンス、および品質を、オープンソースリポジトリのWhiteSourceの絶えず更新される決定的なデータベースに対してチェックします。

参照 :

<https://www.azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/whitesource/>

DevOps開発プロセスを実装する

テストレット1

ケーススタディ

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するために必要なだけ多くの試験時間を使用することができます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。あなたはあなたが提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。各質問は、このケーススタディの他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

## 概要

Litware、Inc.は、独立系ソフトウェアベンダー (SV) です。Litwareには、本社と5つの支社があります。

## 既存の環境

### アプリケーションアーキテクチャ

同社の主なアプリケーションは、VB.NETで記述されたロジックを使用するASP.NET Webフォームに基づく単一のモノリシック退職基金管理システムです。アプリケーションのいくつかの新しいセクションはC#で書かれています。

アプリケーションのバリエーションは、個々の顧客向けに作成されています。現在、アプリケーションのコードベースには80を超えるライブコードブランチがあります。

このアプリケーションは、Microsoft Visual Studioを使用して開発されました。ソースコードは、本社のTeam Foundation Server (TFS)に保存されています。ブランチオフィスは、TFSプロキシサーバーを使用してソースコードにアクセスします。

### アーキテクチャ上の問題

Litwareは、顧客向けの新しいコードの作成に重点を置いています。既存のコードをリファクタリングまたは削除するためのリソースは提供されていません。依存関係は個々の開発者には明らかではないため、コードベースの変更には長い時間がかかります。

コードのマージ操作には数か月かかることが多く、多くの開発者が関与します。コードをマージすると、見つけて解決するのが難しいバグが頻繁に発生します。

顧客は、退職基金管理システムの所有コストが継続的に増加していると報告しています。無関係なコードをマージする必要があるため、コードの小さな変更でさえコストがかかります。

顧客は、バグ報告が非常に複雑であると報告しています。

## 要件

### 計画された変更

Litwareは、投資計画のための新しいアプリケーションスイートの開発を計画しています。投資計画アプリケーションでは、既存の退職基金管理システムとのわずかな統合のみが必要になります。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されます。もう1つは顧客が使用します。

Litwareは、よりアジャイルな開発方法論に移行することを計画しています。共有コードは一連のパッケージに抽出されます。

Litwareは、内部クラウド変換プロセスを開始し、適切な場合はいつでもクラウドベースのサービスを使用することを計画しています。

Litwareは、顧客のバグレポートを常に待つのではなく、障害の検出に積極的になりたいと考えています。

### 技術要件

会社の投資計画アプリケーションスイートは、次の要件を満たしている必要があります。

\*ファイアウォールを介した新しい着信接続は最小限に抑える必要があります。

\* Developersという名前のグループのメンバーは、パッケージをインストールできる必要があります

ます。

\*すべての権限の割り当てには、最小特権の原則を使用する必要があります。

\*新しい機能を単独で開発することをサポートする分岐戦略を使用する必要があります。

\*チームリーダーという名前のグループのメンバーは、新しいパッケージを作成し、パッケージフィードの権限を編集できる必要があります。

\* Visual Studio App Centerを使用して、モバイルアプリケーションのクラッシュと使用中のデバイスタイプのレポートを一元化する必要があります。

\*デフォルトでは、60日間保持する必要がある本番リリースを除き、すべてのリリースを30日間使用可能にする必要があります。

\*コードの品質とリリースの品質は重要です。リリース中にアクティブなバグがリリースに対してログに記録されている場合、リリース中に展開をステージ間で進めてはなりません。

\*モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービスを呼び出すことができる必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介した基本認証のみをサポートします。

\*テストサーバーに必要なオペレーティングシステムの構成は毎週変更されます。Azure Automation State Configurationを使用して、サーバーが定期的に作成およびチェックされるたびに、各テストサーバーのオペレーティングシステムが同じように構成されていることを確認する必要があります。

現在の技術的な問題

テストサーバーは、最初に展開されたときに正しく構成されていますが、時間の経過とともに構成がドリフトします。

Azure AutomationStateConfigurationは構成の修正に失敗します。

Azure Automation State Configurationノードは、次のコマンドを使用して登録されます。

```
Register-AzureRmAutomationDscNode  
-ResourceGroupName 'TestResourceGroup'  
-AutomationAccountName 'LitwareAutomationAccount'  
-AzureVMName $vname  
-ConfigurationMode 'ApplyOnly'
```

質問: 57

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Azure Resource Managerテンプレートを使用して、Azureリソースをデプロイするリリースパイプラインを作成することを計画しています。リリースパイプラインは、次のリソースを作成します。

2つのリソースグループ

1つのリソースグループに4つのAzure仮想マシン

他のリソースグループにある2つのAzureSQLデータベース

リソースをデプロイするためのソリューションを推奨する必要があります。

解決策 :すべてのリソースをデプロイする単一のスタンドアロンテンプレートを作成します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

リソースグループごとに1つずつ、合計2つのテンプレートを使用し、テンプレートをリンクします。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-group-linked-templates>

#### 質問: 58

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

条件を含む承認プロセスがあります。この条件では、リリースを展開する前に、チームリーダーがリリースを承認する必要があります。

承認は8時間以内に行う必要があるというポリシーがあります。

承認に2時間以上かかると、展開が失敗することがわかります。

承認に8時間以上かかる場合にのみ、展開が失敗することを確認する必要があります。

解決策 :デプロイメント後の条件から、デプロイメント後の承認のタイムアウト設定を変更します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

代わりに、展開前の条件を使用してください。

代わりに承認の代わりにゲートを使用してください。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/approvals/gates>

#### 質問: 59

Contosoという名前のAzureDevOps組織があります。

次の要件を満たす認証メカニズムを推奨する必要があります。

\*Gitからの認証をサポート

\*認証中に資格情報を提供する必要性を最小限に抑えます

何をお勧めしますか？

- A. Azure Active Directory (Azure AD)の管理対象ID
- B. Azure DevOpsのパーソナルアクセストークン (PAT)
- C. Azure Active Directory (Azure AD)のユーザーアカウント
- D. AzureDevOpsの代替クレデンシャル

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

パーソナルアクセストークン (PAT)を使用すると、ユーザー名とパスワードを直接使用しなくても、AzureDevOpsとTeamFoundation Server (TFS)にアクセスできます。これらのトークンには、作成されたときからの有効期限があります。アクセスできるデータの範囲を制限できます。システムにSSHキーがまだ設定されていない場合、またはクレデンシャルによって付与されるアクセス許可を制限する必要がある場合は、PATを使用して認証します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/git/auth-overview>

質問: **60**

AzureDevOpsのプロジェクトにブランチポリシーがあります。ポリシーでは、コードが常に正常にビルドされる必要があります。

コードのコンパイルに失敗した場合でも、特定のユーザーが常に変更をマスターブランチにマージできるようにする必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

あなたは何をするべきか？

- A. リポジトリのセキュリティ設定から、ユーザーのアクセス制御を変更します。
- B. ブランチのセキュリティ設定から、ユーザーのアクセス制御を変更します。
- C. ユーザーをBuildAdministratorsグループに追加します。
- D. ユーザーをProjectAdministratorsグループに追加します

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

場合によっては、ポリシー要件をバイパスして、ブランチポリシーが満たされていない場合でも、変更をブランチに直接プッシュしたり、プルリクエストを完了したりできるようにする必要があります。このような状況では、前のリストから必要な権限をユーザーまたはグループに付与します。この権限は、プロジェクト全体、リポジトリ、または単一のブランチにスコープできます。この権限を他のGit権限と一緒に管理します。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/git/branch-policies>

質問: **61**

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質

問はレビュー画面に表示されません。

クラウドでホストされるJenkinsサーバーと新しいAzureDevOpsデプロイメントを統合します。開発者がAzureReposのブランチに変更をコミットしたときに、Jenkinsに通知を送信するにはAzureDevOpsが必要です。

解決策 :コードプッシュイベントを使用するサービスフックサブスクリプションを作成します。これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: [A \(コメントを發表する\)](#)

説明

Explanation:

Jenkinsを使用して、AzureDevOpsServicesとTFSのサービスフックを作成できます。

コードがGitリポジトリにプッシュされると、コードプッシュイベントがトリガーされます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/service-hooks/services/jenkins>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/service-hooks/events>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%**ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **62**

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

クラウドでホストされるJenkinsサーバーと新しいAzureDevOpsデプロイメントを統合します。開発者がAzureReposのブランチに変更をコミットしたときに、Jenkinsに通知を送信するにはAzureDevOpsが必要です。

解決策 :コードプッシュイベントを使用するサービスフックサブスクリプションを作成します。これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参照 :

Explanation:

Jenkinsを使用して、AzureDevOpsServicesとTFSのサービスフックを作成できます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/service-hooks/services/jenkins>

質問: 63

Azure Kubernetes Service (AKS) クラスターがあります。

Azure DevOpsを使用して、アプリケーションをクラスターにデプロイする必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

**Actions**

- Create a service account in the cluster.
- Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).
- Add an Azure Function App for Container task to the deployment pipeline.
- Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.
- Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.
- Configure RBAC roles in the cluster.

**Answer Area**

Three empty rectangular boxes for the answer.

正解:

## Answer Area

### Actions

Create a service account in the cluster.

Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).

Add an Azure Function App for Container task to the deployment pipeline.

Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.

Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.

Configure RBAC roles in the cluster.

Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).

Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.

Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.

### 説明

Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).

Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.

Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.

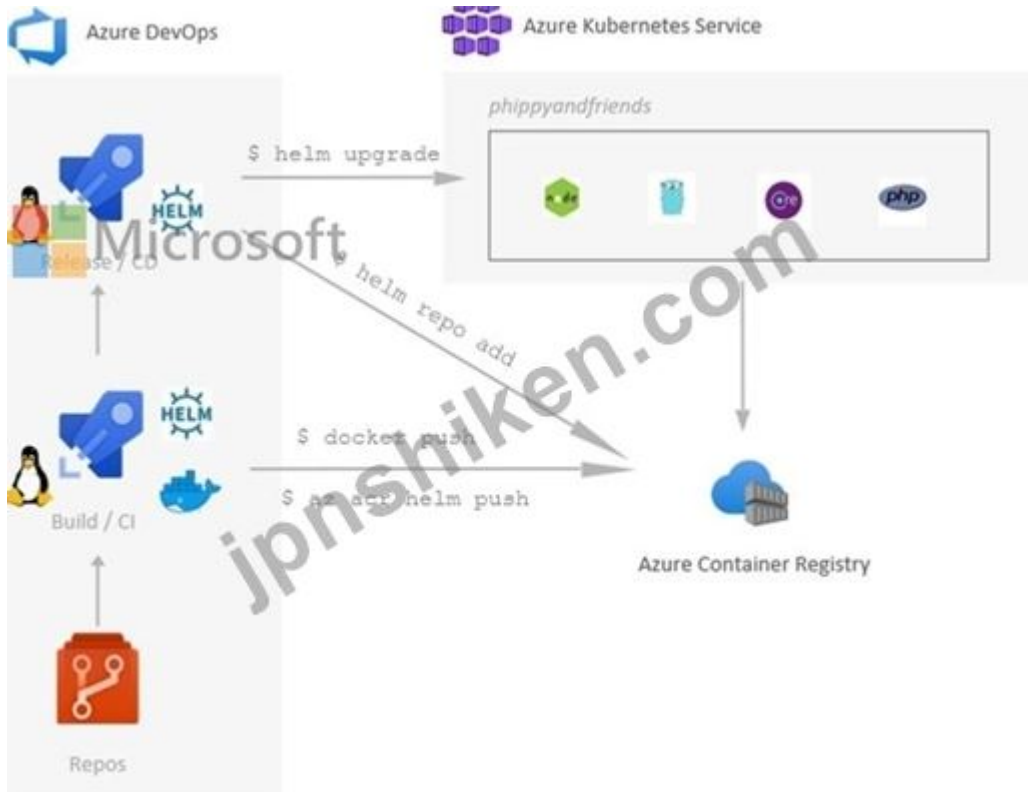
Linuxエージェント、Docker、Helmを活用することで、CI/CDパイプラインをセットアップして Azure DevOpsを使用してKubernetesクラスターにアプリをデプロイできます。

ステップ1 (Azure Active Directory (Azure AD)でサービス原則を作成するACRおよびAKSと対話する必要がある特定のAzureロールを持つ3つの特定のサービスプリンシパルを割り当てる必要があります。

Azure DevOpsパイプライン用の特定のサービスプリンシパルを作成して、ACRのイメージとチャートをプッシュおよびプルできるようにします。

Azure DevOpsパイプライン用の特定のサービスプリンシパルを作成して、AKSにアプリケーションをデプロイできるようにします。

ステップ2 Helmパッケージを追加し、デプロイパイプラインにタスクをデプロイします。これは、コンテナを使用したDevOpsワークフローです。



手順3 :DockerComposeタスクをデプロイパイプラインに追加します。

Dockerfileファイルは、Dockerが利用するスクリプトであり、アプリをパッケージ化して新しいDockerイメージを作成するために、ベースイメージに対してアクションを自動的に実行するために、さまざまなコマンド（命令と引数が連続してリストされます）。

参照：

<https://cloudblogs.microsoft.com/opensource/2018/11/27/tutorial-azure-devops-setup-cicd-pipeline-kubernetes-d>

#### 質問: 64

AzureDevOpsを使用してiOSアプリケーションを開発しています。

アプリケーションを一般に公開せずに、10台のデバイスで手動でアプリケーションをテストする必要があります。

実行する必要がある2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. MicrosoftIntuneデバイスコンプライアンスポリシーを作成します。
- B. 内部認証局 (CA) から各デバイスに証明書を展開します。
- C. アプリケーションをiTunesストアに登録します。
- D. デバイスをMicrosoftIntuneにオンボードします。
- E. アプリケーションの新しいリリースを配布します。
- F. AppleDeveloperポータルにデバイスのIDに登録します。

正解: ([正解を表示します](#))

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/appcenter/distribution/auto-provisioning>

質問: 65

Group7のコンピューター用にAzureAutomationを構成する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

The screenshot shows the 'Actions' list on the left and the 'Answer Area' on the right. The actions are:

- Run the `Import-AzureRmAutomationDscConfiguration` Azure PowerShell cmdlet.
- Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of `.ps1`.
- Run the `New-AzureRmResourceGroupDeployment` Azure PowerShell cmdlet.
- Run the `Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob` Azure PowerShell cmdlet.
- Create an Azure Resource Manager template file that has an extension of `.json`.

The 'Answer Area' is currently empty. A watermark 'ipshiken.com' is visible across the image.

正解:

The screenshot shows the 'Actions' list on the left and the 'Answer Area' on the right. The actions in the 'Answer Area' are:

- Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of `.ps1`.
- Run the `Import-AzureRmAutomationDscConfiguration` Azure PowerShell cmdlet.
- Run the `Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob` Azure PowerShell cmdlet.

The 'Actions' list on the left has the first three actions highlighted in green, indicating they are the correct ones to be moved. A watermark 'ipshiken.com' is visible across the image.

Explanation:

手順1 : 拡張子が.ps1のDesired State Configuration (DSC) 構成ファイルを作成します。

手順2 : Import-AzureRmAutomationDscConfiguration Azure Powershellコマンドレットを実行する

Import-AzureRmAutomationDscConfigurationコマンドレットは、APSの望ましい状態の構成

(DSC) 構成をAzureAutomationにインポートします。単一のDSC構成を含むAPSスクリプトのパ

スを指定します。

例 :

```
PS C:\> Import-AzureRmAutomationDscConfiguration -AutomationAccountName "Contoso17"-
```

```
ResourceGroupName "ResourceGroup01" -SourcePath "C:\DSC\client.ps1" -Forceこのコマン
```

```
ドは、client.ps1という名前のファイルのDSC構成をContoso17。このコマンドは、Forceパラメ
```

```
ータを指定します。既存のDSC構成がある場合は、このコマンドがそれを置き換えます。
```

```
手順3 : Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob Azure PowerShellを実行す
```

```
るStart-AzureRmAutomationDscCompilationJobコマンドレットは、Azure AutomationでAPSの必
```

要な状態の構成 (DSC) 構成をコンパイルします。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurermsautomation/import-azurermsautomationdscconfiguration>

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurermsautomation/start-azurermsautomationdsccompilationjob>

質問: 66

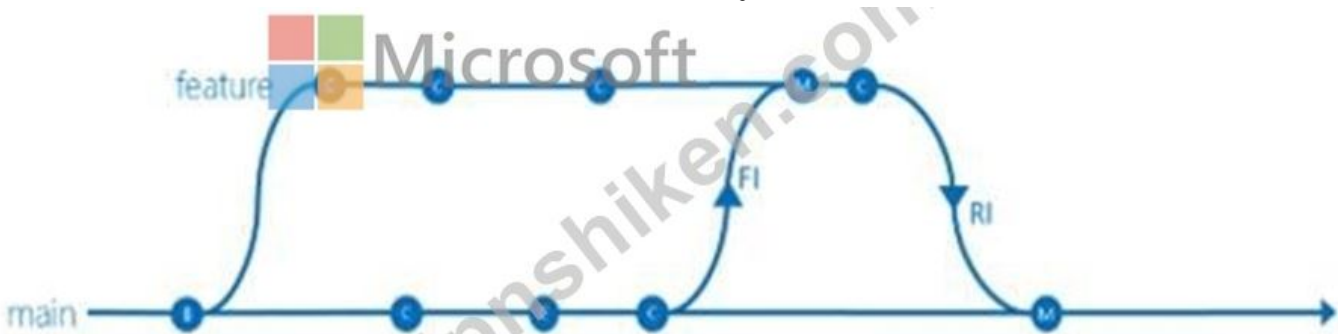
投資計画アプリケーションスイートに推奨する分岐戦略はどれですか？

- A. リリース分離
- B. メインのみ
- C. 開発の分離
- D. 機能の分離

正解: C ([コメントを發表する](#))

説明

シナリオ：新しい機能を単独で開発することをサポートする分岐戦略を使用する必要があります。機能の分離は、開発の分離の特別な派生物であり、示されているように、メインから、または開発ブランチから1つ以上の機能ブランチを分岐できます。



特定の機能に取り組む必要がある場合は、機能ブランチを作成することをお勧めします。

既存の環境

Litware, Inc. e独立系ソフトウェアベンダー (SV) Litwareには、本社と5つの支社があります。

アプリケーションアーキテクチャ

同社の主な用途は、V8.NETで記述されたロジックを使用するASP.NET Webフォームに基づく単一のモノリシック退職基金管理システムです。アプリケーションのいくつかの新しいセクションはC#で書かれています。

アプリケーションのバリエーションは、個々の顧客向けに作成されています。現在、アプリケーションのコードベースには80を超えるコードブランチがあります。

このアプリケーションは、Microsoft Visual Studioを使用して開発されました。ソースコードは、本社のTeam Foundation Server (TFS)に保存されています。ブランチオフィスは、TFSプロキシサーバーを使用してソースコードにアクセスします。

アーキテクチャ上の問題

Litwareは、顧客向けの新しいコードの作成に重点を置いています。既存のコードをリファクタリングまたは削除するためのリソースは提供されていません。コードベースの変更には長い時間が

かかります。ASの依存関係は個々の開発者には明らかではありません。

コードのマージ操作には数か月かかることが多く、多くの開発者が関与します。コードをマージすると、見つけて解決するのが難しいバグが頻繁に発生します。

顧客は、退職基金管理システムの所有コストが継続的に増加していると報告しています。無関係なコードをマージする必要があるため、コードの小さな変更でさえコストがかかります。

## 要件

### 計画された変更

Litwareは、投資計画のための新しいアプリケーションスイートの開発を計画しています。投資計画アプリケーションでは、東部の退職基金管理システムとのわずかな統合のみが必要になります。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されます。もう1つは顧客が使用します。

Litwareは、よりアジャイルな開発方法論に移行することを計画しています。共有コードは一連のパッケージに抽出されます。

Litwareは、内部クラウド変換プロセスを開始し、適切な場合はいつでもクラウドベースのサービスを使用することを計画しています。

Litwareは、顧客のバグレポートを常に求めているのではなく、障害の検出に積極的になりたいと考えています。

### 技術要件

会社の投資計画アプリケーションスイートは、次の技術要件を満たす必要があります。

\*ファイアウォールを介した新しい着信接続は最小限に抑える必要があります。

\* Developersという名前のグループのメンバーは、パッケージをインストールできる必要があります。

\*すべての権限の割り当てには最小特権の原則を使用する必要があります

\*新しい機能を単独で開発することをサポートする分岐戦略を使用する必要があります。

\*チームリーダーという名前のグループのメンバーは、新しいパッケージを作成し、パッケージフィードの権限を編集できる必要があります

\* Visual Studio App Centerを使用して、モバイルアプリケーションのクラッシュと使用中のデバイスタイプのレポートを一元化する必要があります。

\*デフォルトでは、すべてのApp Centerを使用して、モバイルアプリケーションのクラッシュと使用中のデバイスタイプのレポートを一元化する必要があります。

\*コードの品質とリリースの品質は重要です。リリース中にアクティブなバグがリリースに対してログに記録されている場合、リリース中に展開をステージ間で進めてはなりません。

\*モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービス呼び出すことができる必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHUPSを介した基本認証のみをサポートします。

\*テストサーバーに必要なオペレーティングシステムの構成は毎週変更されます。Azure

Automation State Configurationを使用して、サーバーが定期的に作成およびチェックされるたびに、各テストサーバーのオペレーティングシステムが同じように構成されていることを確認する

必要があります。

現在の技術

テストサーバーは、最初に展開されたときに正しく構成されていますが、時間の経過とともに構成がドリフトします。Azure AutomationStateConfigurationは構成の修正に失敗します。

Azure Automation State Configurationノードは、次のコマンドを使用して登録されます。

```
PS C:\> az automation dsc node create --name MyVM --resource-group TestResourceGroup --automation-account-name MyAutomationAccount --vm-name MyVM --configuration-mode ApplyOnly
```

### 質問: 67

az400-11566895-kvという名前のAzureKeyVaultに格納されているシークレットに安全にアクセスするには、VM1という名前の仮想マシンを構成する必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

**A.** Windows仮想マシン (VM)にシステムによって割り当てられたマネージドIDを使用して、AzureKeyVaultにアクセスできます。

\*Azureポータルにサインインします

\*仮想マシンVM1を見つけます。

\*アイデンティティを選択

\*ステータスをオンに設定して、VM1のシステム割り当てIDを有効にします。



注 :システムによって割り当てられた管理対象IDを有効にすると、ワンクリックで操作できます。VMの作成中、または既存のVMのプロパティで有効にすることができます。

**B.** Windows仮想マシン (VM)にシステムによって割り当てられたマネージドIDを使用して、AzureKeyVaultにアクセスできます。

\*Azureポータルにサインインします

\*仮想マシンVM1を見つけます。

\*アイデンティティを選択

\*ステータスをオンに設定して、VM1のシステム割り当てIDを有効にします。



注 :システムによって割り当てられた管理対象IDを有効にすると、ワンクリックで操作できます。VMの作成中、または既存のVMのプロパティで有効にすることができます。

正解: ([正解を表示します](#))

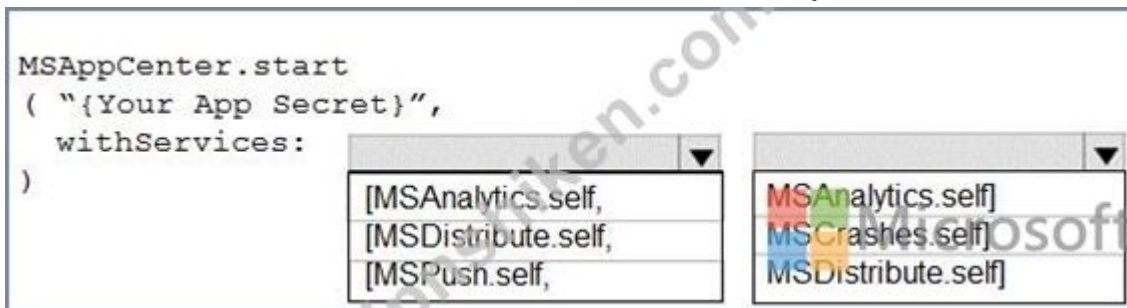
参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/active-directory/managed-identities-azure-resources/tutorial-windows-vm-access-nonaad>

質問: 68

モバイルアプリケーションでAppCenterを初期化するためのコードをどのように完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注 :それぞれの正しい選択は1ポイントの価値があります。



正解:



Explanation:

シナリオ :Visual Studio App Centerを使用して、モバイルアプリケーションのクラッシュと使用中のデバイスタイプのレポートを一元化する必要があります。App Centerを使用するには、使用するサービスにオプトインする必要があります。つまり、デフォ

ルトではサービスは開始されず、SDKの起動時に各サービスを明示的に呼び出す必要があります。

次の行を挿入して、didFinishLaunchingWithOptionsメソッドのアプリのAppDelegateクラスでSDKを開始します。

```
MSAppCenter.start (“{Your App Secret}”, withServices [MSAnalytics.self, MSCrashes.self])
```

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/appcenter/sdk/getting-started/ios>

## 質問: 69

### シミュレーション

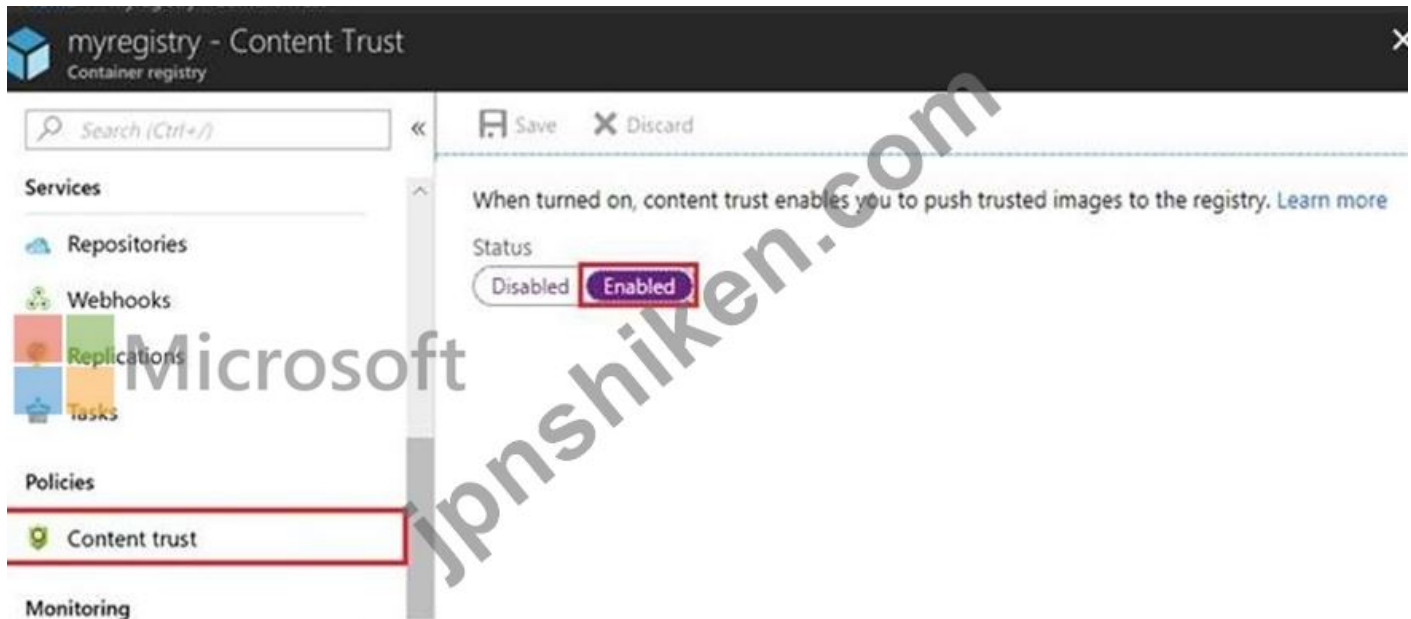
署名されたイメージをaz4009940427acr1という名前のAzureContainerRegistryインスタンスに格納するように計画します。

計画されたイメージをサポートするには、az4009940427acr1のSKUを変更する必要があります。

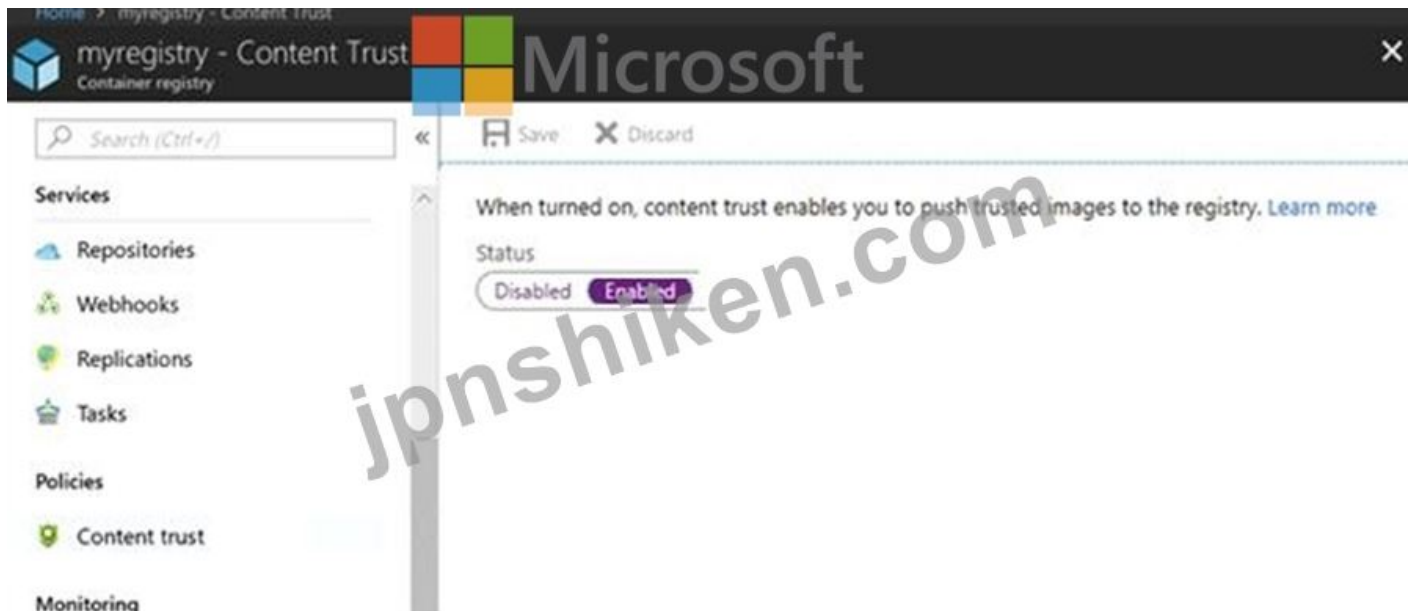
ソリューションはコストを最小限に抑える必要があります。

このタスクを完了するには、Microsoft Azureポータルにサインインします。

- A. 1. Microsoft Azureポータルを開き、az4009940427acr1という名前のAzureContainerRegistryインスタンスを選択します。
2. [ポリシー]で、[コンテンツの信頼]>[有効]>[保存]を選択します。



- B. 1. Microsoft Azureポータルを開き、az4009940427acr1という名前のAzureContainerRegistryインスタンスを選択します。
2. [ポリシー]で、[コンテンツの信頼]>[有効]>[保存]を選択します。



正解: ([正解を表示します](#))

参照 :

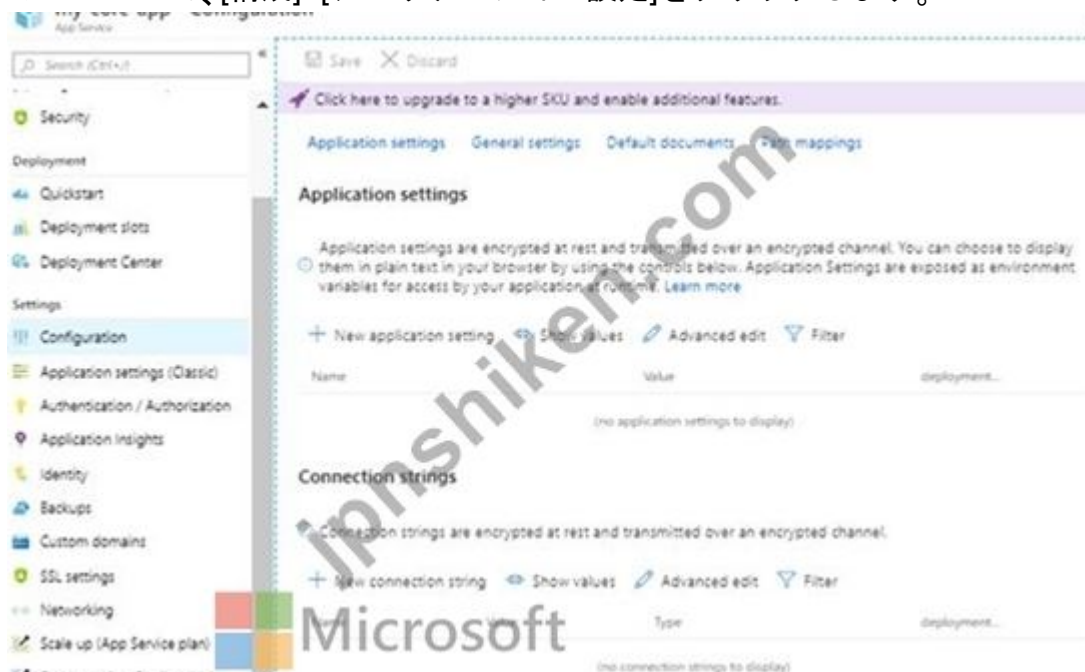
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/container-registry/container-registry-content-trust>

質問: 70

シミュレーション

MAX\_ITEMS」という名前の環境変数を含むように、az400-9940427-mainという名前の AzureWeb アプリを構成する必要があります。環境変数の値は50でなければなりません。このタスクを完了するには、Microsoft Azureポータルにサインインします。

A. 1. Azureポータルで、az400-9940427-メインアプリの管理ページに移動します。アプリの左側のメニューで、[構成]>[アプリケーション設定]をクリックします。



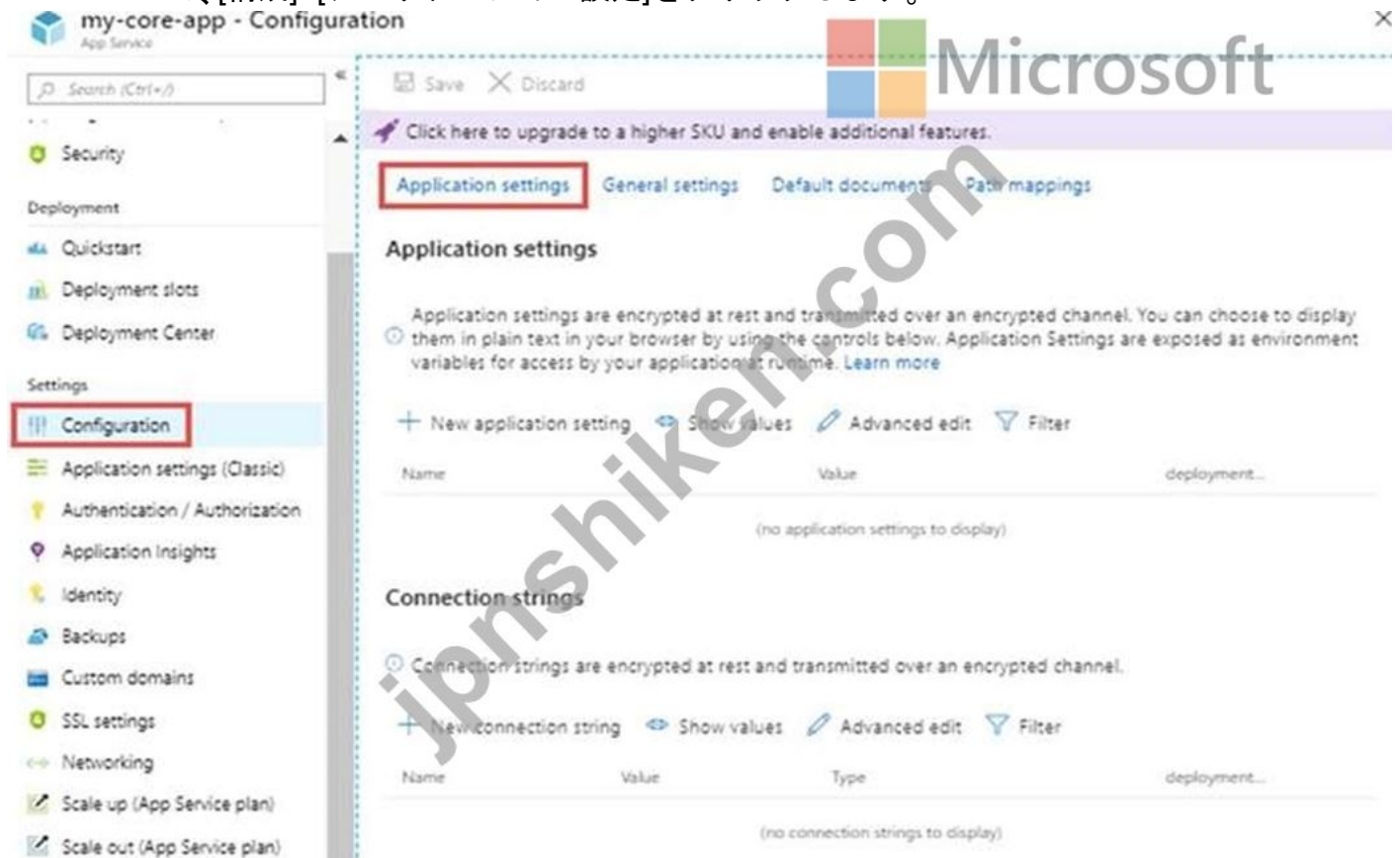
2.[新しいアプリケーション設定]をクリックします

3.次のように入力します。

\*名前 :MAX\_ITEMS

\*値 :50

B. 1. Azureポータルで、az400-9940427-メインアプリの管理ページに移動します。アプリの左側のメニューで、[構成]>[アプリケーション設定]をクリックします。



2.[新しいアプリケーション設定]をクリックします

3.次のように入力します。

\*名前 :MAX\_ITEMS

\*値 :50

正解: [\(正解を表示します\)](#)

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/configure-common>

質問: 71

あなたの会社は、App1という名前の複雑なアプリのソースコード管理システムとしてGitを使用しています。

App1に新しい機能を追加する予定です。

新しい機能の分岐モデルを設計する必要があります。

分岐モデルでは、どの分岐ライフタイムと分岐時間を使用する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Branch lifetime:  ▼

Long-lived

Short-lived

Microsoft

Branch type:  ▼

Master

Feature

Integration

正解:

Branch lifetime:  ▼

Long-lived

Short-lived

Microsoft

Branch type:  ▼

Master

Feature

Integration

説明

Branch lifetime:  ▼

Long-lived

Short-lived

Branch type:  ▼

Master

Feature

Integration

Microsoft

ブランチの存続期間：短命

ブランチタイプ：機能

機能ブランチは、単一の展開よりも開発寿命が長くなる可能性のある新しい機能または拡張機能を開発するときに使用されます。開発を開始するとき、この機能がリリースされる展開がわからない場合があります。機能ブランチがいつ終了しても、常にマスターブランチにマージされます。参照：

<https://gist.github.com/digitaljhelms/4287848>

### 質問: 72

Azure Kubernetes Service (AKS) を使用して、Docker Trusted Registry でホストされているイメージからデプロイされたコンテナをホストすることを計画しています。

プロビジョニングと AKS への接続のためのソリューションを推奨する必要があります。このソリューションでは、AKS が RBAC 対応であり、カスタムサービスプリンシパルを使用していることを確認する必要があります。

順番に実行することをお勧めする 3 つのコマンドはどれですか？回答するには、適切なコマンドをコマンドのリストから回答領域に移動し、それらを円錐形の順序で配置します。

Commands

- kubectl create
- az role assignment create
- az aks get-credentials
- az ad sp create-for-rbac
- az aks create

Answer Area

2

3

Microsoft

jpnstikken.com

正解:

Answer Area

Microsoft

az acr create

az ad sp create-for-rbac

kubectl create

jpnstikken.com

1-az acr create

2-az ad sp create-for-rbac

3-kubectl create

参照：

<https://thorsten-hans.com/how-to-use-private-azure-container-registry-with-kubernetes>

### 質問: 73

あなたの会社は Azure DevOps にプロジェクトを持っています。

展開が保留されているビルドが複数ある場合は、最新のビルドのみが展開されるようにする必要があります。

何をすべきですか？

A. デプロイメントキューの設定

B. 展開条件

C. ゲートを解放します

D. プルリクエストトリガー

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

説明

参照 :

[https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/process/stages?  
tabs=classic&view=azure-devops#queui](https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/process/stages?tabs=classic&view=azure-devops#queui)

質問: 74

プロジェクトAzureDevOpsがあります。

AzureResourceManagerテンプレートを使用してリソースをデプロイするビルドパイプラインを作成することを計画しています。テンプレートは、AzureKeyVaultに保存されているシークレットを参照します。

Yuは、テンプレートの展開中にキーボールドのリソースIDを動的に生成できることを確認する必要があります。

テンプレートには何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

```

"resources": [
  {
    "apiversion": "2018-05-01",
    "name": "secrets",
    "type": [
      "Microsoft.KeyVault/vaults",
      "Microsoft.Resources/deployment",
      "Microsoft.Subscription/subscriptions"
    ],
    "properties": {
      "mode": "Incremental",
      "template": {
        "deployment": {
          "template": {
            "templateLink":

```

```

contentVersion": "1.0.0.0",
  "uri": "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
concat('./nested/sqlserver.json',
parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"
},
"parameters": {
  "secret": {
    "reference": {
      "keyVault": {
        "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
parameters('vaultResourceGroupName'),
'Microsoft.KeyVault/vaults',
parameters('vaultName'))]"
      },
      "secretName": "[parameters('secretName')]"
    }
  }
}
}
}
}
],

```

正解:

```
"resources": [
  {
    "apiversion": "2018-05-01",
    "name": "secrets",
    "type": "Microsoft.KeyVault/vaults",
    "properties": {
      "mode": "Incremental",
      "templateLink": "deployment"
    }
  },
  {
    "contentVersion": "1.0.0.0",
    "uri": "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
      concat('./nested/sqlserver.json',
        parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"
  },
  {
    "parameters": {
      "secret": {
        "reference": {
          "keyVault": {
            "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
              parameters('vaultResourceGroupName'),
              'Microsoft.KeyVault/vaults',
              parameters('vaultName'))]"
          },
          "secretName": "[parameters('secretName')]"
        }
      }
    }
  }
],
```

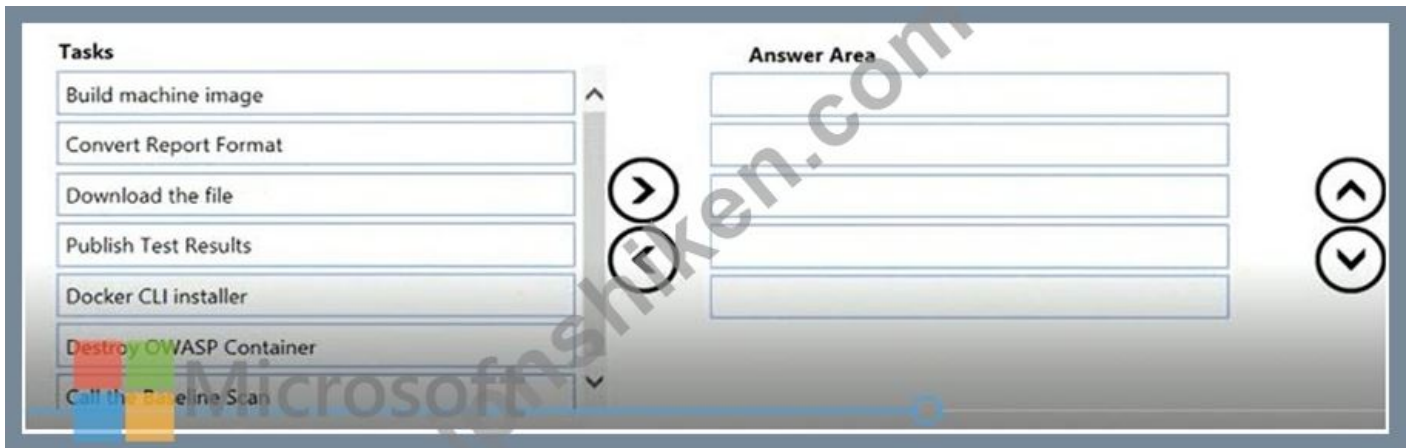


**質問: 75**

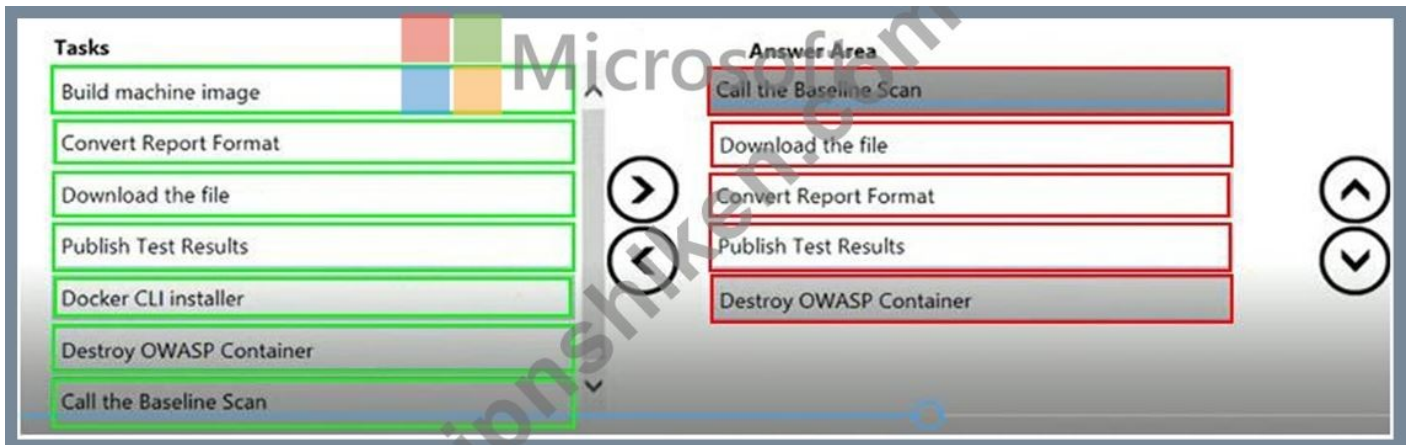
次の展示に示すように、AzureDevOpsリリースパイプラインがあります。



セキュリティテスト用にOWASPZAPを構成するには、パイプラインを完了する必要があります。どの5つのAzureCLIタスクを順番に追加する必要がありますか？回答するには、タスクのリストから回答領域にタスクを移動し、正しい順序に並べます。



正解:



Explanation:

リリースパイプラインの定義

リリースパイプラインのアプリケーション部分が構成されたら、セキュリティスキャン部分を定義できます。この例では、これは8つのタスクで構成され、主にAzure CLIタスクを使用してACIインスタンス（およびサポート構造）を作成および使用します。

特に指定されていない場合、すべてのAzure CLIタスクは、既定の構成オプションを使用するインラインタスクです。



参照：

<https://devblogs.microsoft.com/premier-developer/azure-devops-pipelines-leveraging-owasp-zap-in-the-release-pipeline/>

質問: 76

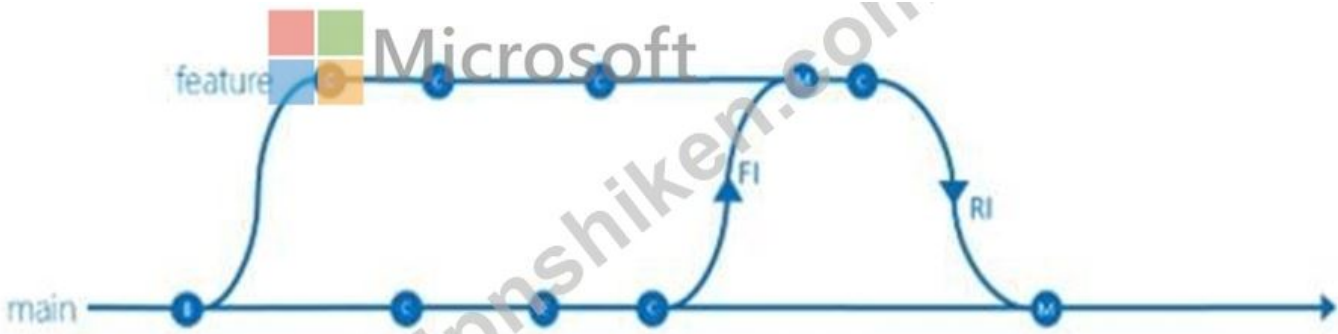
投資計画アプリケーションスイートに推奨する分岐戦略はどれですか？

- A. リリース分離
- B. メインのみ
- C. 開発の分離
- D. 機能の分離

正解: ([正解を表示します](#))

説明

シナリオ：新しい機能を単独で開発することをサポートする分岐戦略を使用する必要があります。機能の分離は、開発の分離の特別な派生物であり、示されているように、メインから、または開発ブランチから1つ以上の機能ブランチを分岐できます。



特定の機能に取り組む必要がある場合は、機能ブランチを作成することをお勧めします。

有効的なAZ-400問題集はJPNTTest.com提供され、AZ-400試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新AZ-400試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここでAZ-400問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> 625問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 77

プロジェクトAzureDevOpsがあります。

AzureResourceManagerテンプレートを使用してリソースをデプロイするビルドパイプラインを作成することを計画しています。

テンプレートは、AzureKeyVaultに保存されているシークレットを参照します。

Yuは、テンプレートの展開中にキーボールドのリソースIDを動的に生成できることを確認する必要があります。

テンプレートには何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

```
"resources": [
  {
    "apiversion": "2018-05-01",
    "name": "secrets",
    "type": 

|                                         |
|-----------------------------------------|
| ▼                                       |
| "Microsoft.KeyVault/vaults",            |
| "Microsoft.Resources/deployment".       |
| "Microsoft.Subscription/subscriptions". |


    "properties": {
      "mode": "Incremental",
      

|                |
|----------------|
| ▼              |
| "deployment"   |
| "template"     |
| "templateLink" |

 : {
```

```
contentVersion": "1.0.0.0",
  "uri": "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
concat('./nested/sqlserver.json',
parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"
},
"parameters": {
  "secret": {
    "reference": {
      "keyVault": {
        "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
parameters('vaultResourceGroupName'),
'Microsoft.KeyVault/vaults',
parameters('vaultName'))]"
      },
      "secretName": "[parameters('secretName')]"
    }
  }
}
},
],
```

正解:

```

"resources": [
{
  "apiversion": "2018-05-01",
  "name" : "secrets",
  "type": 

```

- Microsoft.KeyVault/vaults
- Microsoft.Resources/deployment
- Microsoft.Subscription/subscriptions

```

"properties": {
  "mode" : "Incremental",

```

```

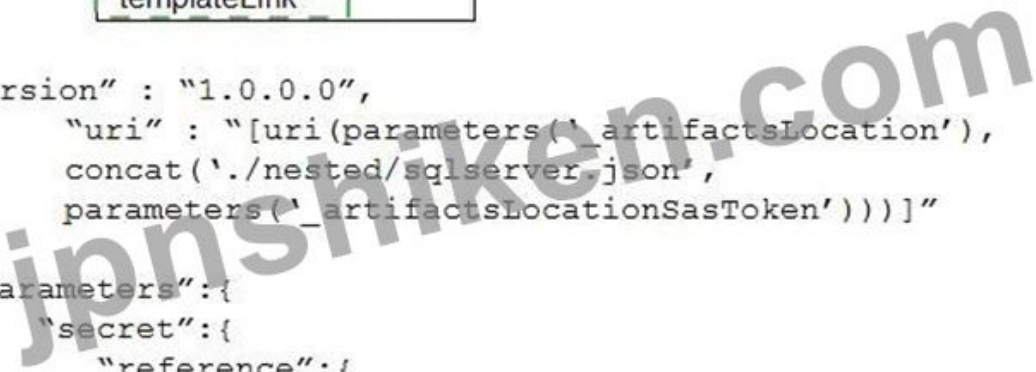
 : {
  "deployment"
  "template"
  "templateLink"
}

```

```

contentVersion" : "1.0.0.0",
  "uri" : "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
concat('./nested/sqlserver.json',
parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"
},
"parameters": {
  "secret": {
    "reference": {
      "keyVault": {
        "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
parameters('vaultResourceGroupName'),
'Microsoft.KeyVault/vaults',
parameters('vaultName'))]"
      },
      "secretName": "[parameters('secretName')]"
    }
  }
}
],

```



説明

```

"resources": [
  {
    "apiversion": "2018-05-01",
    "name": "secrets",
    "type": "Microsoft.KeyVault/vaults",
    "properties": {
      "mode": "Incremental",
      "template": "deployment",
      "templateLink": ""
    }
  }
]
contentVersion : "1.0.0.0",
uri : "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
concat('./nested/sqlserver.json',
parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"

```

```

"parameters": {
  "secret": {
    "reference": {
      "keyVault": {
        "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
parameters('vaultResourceGroupName'),
'Microsoft.KeyVault/vaults',
parameters('vaultName'))]"
      },
      "secretName": "[parameters('secretName')]"
    }
  }
}

```



**質問: 78**

プロジェクトAzureDevOpsがあります。  
 AzureResourceManagerテンプレートを使用してリソースをデプロイするビルドパイプラインを作成することを計画しています。  
 テンプレートは、AzureKeyVaultに保存されているシークレットを参照します。  
 Yuは、テンプレートの展開中にキーボルトのリソースIDを動的に生成できることを確認する必要があります。  
 テンプレートには何を含める必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。  
 注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

```

"resources": [
  {
    "apiversion": "2018-05-01",
    "name" : "secrets",
    "type":

```

▼
"Microsoft.KeyVault/vaults",
"Microsoft.Resources/deployment".
"Microsoft.Subscription/subscriptions".

```

"properties": {
  "mode" : "Incremental",

```

▼	:	{
"deployment"		
"template"		
"templateLink"		

```

contentVersion" : "1.0.0.0",
  "uri" : "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
concat('./nested/sqlserver.json',
parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"
},
"parameters": {
  "secret": {
    "reference": {
      "keyVault": {
        "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
parameters('vaultResourceGroupName'),
'Microsoft.KeyVault/vaults',
parameters('vaultName'))]"
      },
      "secretName": "[parameters('secretName')]"
    }
  }
}
},
]

```



正解:

```

"resources": [
  {
    "apiversion": "2018-05-01",
    "name" : "secrets",
    "type": 
    "properties": {
      "mode" : "Incremental",
       : {
        "deployment"
        "template"
        "templateLink"
      }
    }
  },
  {
    "contentVersion" : "1.0.0.0",
    "uri" : "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
concat('./nested/sqlserver.json',
parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"
  },
  "parameters": {
    "secret": {
      "reference": {
        "keyVault": {
          "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
parameters('vaultResourceGroupName'),
'Microsoft.KeyVault/vaults',
parameters('vaultName'))]"
        },
        "secretName": "[parameters('secretName')]"
      }
    }
  }
}
],

```



説明

```
    "resources": [
      {
        "apiversion": "2018-05-01",
        "name": "secrets",
        "type": "Microsoft.KeyVault/vaults",
        "properties": {
          "mode": "Incremental",
          "template": {
            "deployment": {
              "contentVersion": "1.0.0.0",
              "uri": "[uri(parameters('_artifactsLocation'),
                concat('./nested/sqlserver.json',
                  parameters('_artifactsLocationSasToken')))]"
            }
          }
        }
      }
    ]
  },
  "parameters": {
    "secret": {
      "reference": {
        "keyVault": {
          "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
            parameters('vaultResourceGroupName'),
              'Microsoft.KeyVault/vaults',
                parameters('vaultName'))]"
        },
        "secretName": "[parameters('secretName')]"
      }
    }
  }
}
```

```
    "parameters": {
      "secret": {
        "reference": {
          "keyVault": {
            "id": "[resourceId(parameters('vaultSubscription'),
              parameters('vaultResourceGroupName'),
                'Microsoft.KeyVault/vaults',
                  parameters('vaultName'))]"
          },
          "secretName": "[parameters('secretName')]"
        }
      }
    }
  }
}
```



質問: 79

AzureApplicationInsightsの可用性テストを構成します。

可用性が低下した場合は、会社のカスタマーサービス部門に電子メールで通知する必要があります。

メールとフォローアップアクションを処理するAzureロジックアプリを作成します。

ロジックアプリを呼び出すには、どのタイプのトリガーを使用する必要がありますか？

- A. ApiConnectionトリガー
- B. HTTPWebhookトリガー
- C. HTTPトリガー
- D. リクエストトリガー

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 80

Azure Pipelinesを使用して、ビルドパイプラインを管理します。ソースコードを保存するGitHubと、依存関係を管理するDependabot。

App1という名前のアプリがあります。

Dependabotは、更新が必要なApp1の依存関係を検出します。

アップデートを適用するには、最初に何をする必要がありますか？

- A. コミットを実行します。
- B. プルリクエストを作成します。
- C. プルリクエストを承認します
- D. ブランチを作成します。

正解: **C (コメントを發表する)**

Dependabotは、依存関係の更新を定期的にチェックするための便利なツールです。Dependabotは、プロジェクトを最新の状態に保つのに役立つため、技術的負債を削減し、パッチがリリースされたときにセキュリティの脆弱性を即座に適用できます。Dependabotはどのように機能しますか？

\*Dependabotは定期的に依存関係をチェックして更新を確認します

\*更新が見つかった場合、Dependabotは、このアップグレードと承認のためのプルリクエストを使用して新しいブランチを作成します

\*新しいプルリクエストを確認し、テストに合格したことを確認し、コードを確認して、変更をマージできるかどうかを判断します

参照：

<https://samlearnsazure.blog/2019/12/20/github-using-dependabot/>

#### 質問: 81

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、行き詰まった目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合があり、クジラの他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、そのセクションに戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。クラウドでホストされているJenkinsサーバーと新しい

AzureDevOpsdeploymentを統合します。

開発者がAzureReposのブランチに変更をコミットしたときに、Jenkinsに通知を送信するにはAzureDevOpsが必要です。

解決策 :ビルドパイプラインにトリガーを追加します。

これは目標を達成していますか？

- A. はい
- B. いいえ

正解: **(正解を表示します)**

Jenkinsを使用して、AzureDevOpsServicesとTFSのサービスフックを作成できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/service-hooks/services/jenkins>

**質問: 82**

署名されたイメージをaz4009940427acr1という名前のAzureContainerRegistryインスタンスに格納するように計画します。

計画されたイメージをサポートするには、az4009940427acr1のSKUを変更する必要があります。

ソリューションはコストを最小限に抑える必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

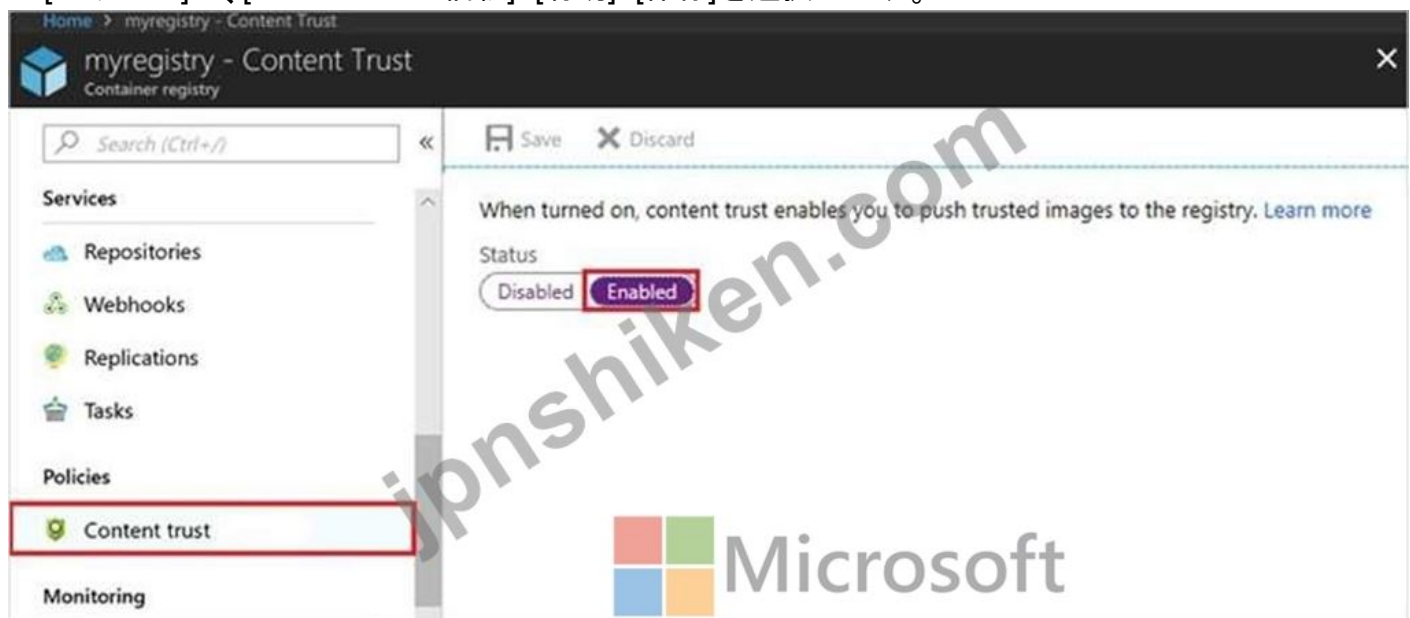
正解:

以下の解決策を参照してください。

説明

1. Microsoft Azureポータルを開き、az4009940427acr1という名前のAzureContainerRegistryインスタンスを選択します。

2. [ポリシー]で、[コンテンツの信頼]>[有効]>[保存]を選択します。



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/container-registry/container-registry-content-trust>

**質問: 83**

RBACが有効になっているAzureKubernetesService (AKS) クラスタをプロビジョニングします。クライアントアプリケーションのHelmチャートがあります。

クラスタでHelmとTillerを構成し、チャートをインストールする必要があります。

順番に実行することをお勧めする3つのコマンドはどれですか？回答するには、適切なコマンドをコマンドのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Commands	Answer Area
helm install	
kubectl create	
helm completion	
helm init	
helm serve	

Navigation arrows: Right arrow between 'helm completion' and 'helm init'; Left arrow between 'helm completion' and 'helm init'; Up arrow above 'helm completion'; Down arrow below 'helm completion'.

正解:

Commands	Answer Area
helm install	kubectl create
kubectl create	helm init
helm completion	helm install
helm init	
helm serve	

Navigation arrows: Right arrow between 'helm completion' and 'helm init'; Left arrow between 'helm completion' and 'helm init'; Up arrow above 'helm completion'; Down arrow below 'helm completion'.

説明

kubectl create
helm init
helm install

## ステップ1 :Kubectl create

Helmの構成中に--service-account<NAME>フラグを使用してTillerにサービスアカウントを追加できません（以下の手順2）。前提条件として、事前に設定されているロールとサービスアカウント名を指定するロールバインディングを作成する必要があります。

例 :cluster-adminロールを持つサービスアカウント

```
$ kubectl create -f rbac-config.yaml
```

serviceaccount filler」が作成されました

clusterrolebinding ティラー」が作成されました

```
$ helm init --service-accounttiller
```

## ステップ2 :ヘルム初期化

基本的なティラーをAKSクラスターにデプロイするには、helminitコマンドを使用します。

## ステップ3 :ヘルムのインストール

Helmを使用してチャートをインストールするには、helm installコマンドを使用して、インストールするチャートの名前を指定します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/kubernetes-helm>

[https://docs.helm.sh/using\\_helm/#tiller-namespaces-and-rbac](https://docs.helm.sh/using_helm/#tiller-namespaces-and-rbac)

## 質問: 84

あなたは3人の顧客のためのプロジェクトを計画しています。次の表に、各顧客が推奨する作業項目のプロセスを示します。

Customer name	Preferred process
Litware, Inc.	Track product backlog items (PBIs) and bugs on the Kanban board. Break the PBIs down into tasks on the task board.
Contoso, Ltd.	Track user stories and bugs on the Kanban board. Track the bugs and tasks on the task board.
A. Datum Corporation	Track requirements, change requests, risks, and reviews.

お客様はすべて、作業項目の管理にAzureDevOpsを使用することを計画しています。

顧客ごとにどの作業項目プロセスを使用する必要がありますか？回答するには、適切な作業項目プロセスを適切な顧客にドラッグします。各作業項目プロセスは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

### Processes

- Agile
- CMMI
- Scrum
- XP

### Answer Area

Litware

Contoso:

A. Datum:

- 
- Microsoft
- 

正解:

### Processes

- Agile
- CMMI
- Scrum
- XP

### Answer Area

Litware

Contoso:

A. Datum:

- Scrum
- Agile
- CMMI

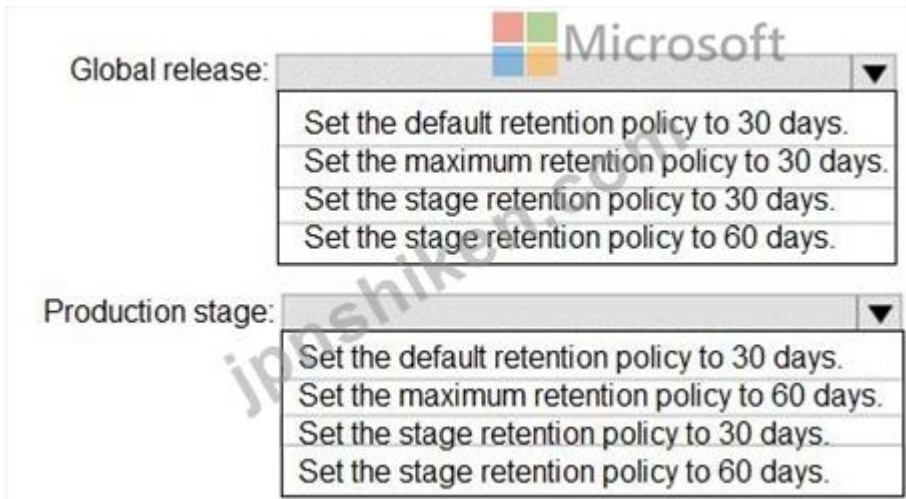
参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/boards/work-items/guidance/choose-process?view=azure-devops>

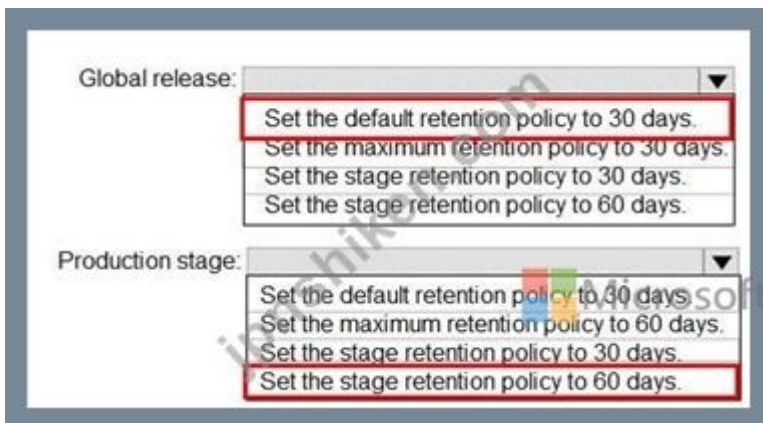
質問: 85

投資計画アプリケーションスイートのリリース保持ポリシーをどのように構成する必要がありますか? 回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注: 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/policies/retention>

トピック2、Contoso

既存の環境

Contoso、Ltd.は、シカゴに本社を置く製造会社です。

要件

Contosoは、Azure DevOpsの原則を実装するIT開発および運用プロセスを改善することを計画しています。ContosoにはAzureサブスクリプションがあり、Azure DevOps組織を作成します。

Azure DevOps組織には次のものが含まれます。

Docker拡張機能

Windows Server 2016を実行する10台のAzure仮想マシンを含むPool7という名前の展開プール。

Azureサブスクリプションには、Azure Automationアカウントが含まれています。

計画された変更

Contosoは、次の表に示すように、Azure DevOpsでプロジェクトを作成することを計画しています。

Project name	Project details
Project 1	Project1 will provide support for incremental builds and third-party SDK components
Project 2	Project2 will use an automatic build policy. A small team of developers named Team2 will work independently on changes to the project. The Team2 members will not have permissions to Project2.
Project 3	Project3 will be integrated with SonarQube
Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
Project 5	Project5 will contain a Git repository in Azure Reports and a continuous integration trigger that will initiate a build in response to any change except for changes within /folder1 of the repository.
Project 6	Project6 will provide support for build and deployment pipelines. Deployment will be allowed only if the number of current work items representing active software bugs is 0.
Project 7	Project7 will contain a target deployment group named Group7 that maps to Pool7. Project7 will use Azure Automation State Configuration to maintain the desired state of the computers in Group7.

#### 技術要件

Contosolは、次の技術要件を識別します。

- \*ビルドエージェントrotProject1を実装します。
- \*可能な限り、Azureリソースを使用してください
- \*廃止されたテクノロジーの使用は避けてください
- \*Project2のコードフロー戦略を実装します。
- \*チーム2がProject2のプルリクエストを送信できるようにします。
- \*チーム2がプロジェクトのコピーへの変更に独立して取り組むことができるようにしますか？
- \* Project2のコピーに対してTram2によって実行される中間変更には、Project2のビルドポリシーで無視されたものと同じ制限が適用されることを確認してください。
- \* いつでも可能なとき。自動化を実装し、管理作業を最小限に抑えます。
- \*計画された変更に基づいて、Protect3、Project5、Project6、およびProject7を実装します。
- \* Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerReentryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

#### 質問: 86

AppCenterを使用してモバイルデバイス用のAzureDevOps戦略を実装しています。

リリースへのアクセスを制御するために配布グループを使用することを計画しています。

次の表に示す配布グループを作成する必要があります。

Microsoft	Use
Group1	Application testers who are invited by email
Group2	Early release users who use unauthenticated public links
Group3	Application testers for all the apps of your company

各グループにどのタイプの配布グループを使用する必要がありますか？答えるには、適切なグ

グループタイプを正しい場所にドラッグします。各グループタイプは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

The screenshot shows the Microsoft Answer Area interface. On the left, there are three buttons labeled "Private", "Public", and "Shared". On the right, there are three input boxes labeled "Group1:", "Group2:", and "Group3:". The interface is titled "Microsoft Answer Area".

正解:

The screenshot shows the Microsoft Answer Area interface with the correct solution. The "Private" button is dragged into the "Group1:" input box, the "Public" button is dragged into the "Group2:" input box, and the "Shared" button is dragged into the "Group3:" input box. The interface is titled "Microsoft Answer Area".

説明



ボックス1 :プライベート

App Centerでは、配布グループはデフォルトでプライベートです。このグループで利用可能なリリースにアクセスできるのは、電子メールで招待されたテスターのみです。

ボックス2 : 公開

パブリックリンクからの認証されていないインストールを有効にするには、ディストリビューショングループをパブリックにする必要があります。

ボックス3 : 共有

共有配布グループは、単一の組織内の複数のアプリ間で共有されるプライベートまたはパブリック配布グループです。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/appcenter/distribution/groups>

質問: 87

ホームページのページ読み込みパフォーマンスに基づいてトリガーされるアラートを作成することを計画しています。

次の展示に示すように、ApplicationInsightsログクエリがあります。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完了する回答の選択肢を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

To create an alert based on the page load experience of most users, the alerting level must be based on [answer choice].

	▼
percentile_duration_50	
percentile_duration_90	
percentile_duration_95	
threshold	

To only create an alert when authentication error occurs on the server, the query must be filtered on [answer choice].

	▼
item Type	
resultCode	
source	
success	

正解:

To create an alert based on the page load experience of most users, the alerting level must be based on [answer choice].

To only create an alert when authentication error occurs on the server, the query must be filtered on [answer choice].

	▼
percentile_duration_50	
percentile_duration_90	
percentile_duration_95	
threshold	

	▼
item Type	
resultCode	
source	
success	

説明

To create an alert based on the page load experience of most users, the alerting level must be based on [answer choice].

	▼
percentile_duration_50	
percentile_duration_90	
percentile_duration_95	
threshold	

To only create an alert when authentication error occurs on the server, the query must be filtered on [answer choice].

	▼
item Type	
resultCode	
source	
success	

ボックス1 percentile\_duration\_95

ボックス2 : 成功

例えば -

リクエスト

| プロジェクト名、URL、成功

| ここで、success == "False"

これにより、指定した時間範囲内にAppInsightsで失敗したすべてのリクエストが返されます。

参照：

<https://devblogs.microsoft.com/premier-developer/alerts-based-on-analytics-query-using-custom-log-search/>

#### 質問: 88

あなたの会社には、Azure DevOpsプロジェクトにリリースパイプラインがあります。

Helmパッケージとデプロイタスクを使用して、Azure Kubernetes Services (AKS) クラスターにデプロイすることを計画しています。

計画された展開では、AKS名前空間にサービスをインストールする必要があります。

どのサービスをインストールする必要がありますか？

A. Azure Container Registry

B. チャート

C. Kubectl

D. 耕うん機

正解: (正解を表示します)

HelmをRBAC対応のAKSクラスターに展開する前に、Tillerサービスのサービスアカウントとロールバインディングが必要です。

不正解：

C : Kubectlは、Kubernetesクラスターに対してコマンドを実行するためのコマンドラインインターフェイスです。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/kubernetes-helm>

#### 質問: 89

あなたの会社はTeam Foundation Server 2013 (TFS 2013)を使用しています。

Azure DevOpsへの移行を計画しています。

次の要件を満たす移行戦略を推奨する必要があります。

\*Team Foundationバージョン管理チェンジセットの日付を保持します

\*作業項目の改訂の変更日を保持します

\*移行の労力を最小限に抑える

\*すべてのTFSアーティファクトを移行します

何をお勧めしますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

On the TFS server:

- Install the TFS Java SDK.
- Upgrade TFS to the most recent RTW release.
- Upgrade to the most recent version of PowerShell Core.

To perform the migration:

- Copy the assets manually.
- Use public API-based tools.
- Use the TFS Database Import Service.
- Use the TFS Integration Platform.

正解:

The screenshot shows the same two dropdown menus as above. In the 'On the TFS server' menu, all three options are highlighted with a green border. In the 'To perform the migration' menu, the first three options are highlighted with a green border, while the last option is not.

説明

The screenshot shows the same two dropdown menus. A red box highlights the following options: 'Install the TFS Java SDK.', 'Upgrade TFS to the most recent RTW release.', 'Upgrade to the most recent version of PowerShell Core.', 'Copy the assets manually.', 'Use public API-based tools.', and 'Use the TFS Database Import Service.'

ボックス1 :TFSを最新のRTMリリースにアップグレードします。

Team Foundation Serverデータベースを移行するための主要な前提条件の1つは、データベーススキーマのバージョンをAzureDevopsServicesに現在デプロイされているものにできるだけ近づけることです。

ボックス2 :TFSデータベースインポートサービスを使用する

移行プロジェクトのフェーズ3では、TeamFoundationServerをAzureDevopsServicesのデータ

ベースインポートサービスでサポートされているバージョンの1つにアップグレードします。  
参照 :TeamFoundationServerからAzureDevopsServicesへの移行ガイド

**質問: 90**

あなたの会社はJavaで新しいソリューションを構築しています。  
同社は現在、SonarQubeサーバーを使用して.NETソリューションのコードを分析しています。  
Javaソリューションのコード品質を分析および監視する必要があります。  
どのタスクタイプをビルドパイプラインに追加する必要がありますか？

- A. Grunt
- B. シェフ
- C. Maven
- D. ガルプ

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

SonarQubeは、コードの改善領域を特定するために使用できる静的アナライザーのセットです。  
これにより、プロジェクトの技術的負債を分析し、将来的に追跡することができます。MavenおよびGradleビルドタスクを使用すると、新規または既存のAzureDevOpsServicesビルドタスクで最小限のセットアップでSonarQube分析を実行できます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/java/sonarqube?view=azure-devops>


**質問: 91**

Project1のビルドエージェントを実装する手順を推奨する必要があります。  
順番に実行することをお勧めする3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions	Answer Area
Sign in to Azure DevOps by using an account that is assigned the Administrator service connection security role.	
Install the Azure Pipelines agent on on-premises virtual machine.	
Create a personal access token in the Azure DevOps organization of Contoso.	
Install and register the Azure Pipeline's agent on an Azure virtual machine.	
Sign in to Azure DevOps by using an account that is assigned the agent-pool administrator role.	

正解:

Actions	Answer Area
Sign in to Azure DevOps by using an account that is assigned the Administrator service connection security role.	Sign in to Azure DevOps by using an account that is assigned the Administrator service connection security role.
Install the Azure Pipelines agent on on-premises virtual machine.	Install the Azure Pipelines agent on on-premises virtual machine.
Create a personal access token in the Azure DevOps organization of Contoso.	Create a personal access token in the Azure DevOps organization of Contoso.
Install and register the Azure Pipelines agent on an Azure virtual machine.	
Sign in to Azure DevOps by using an account that is assigned the agent pool administrator role.	



Explanation:

シナリオ :

Project 1	Project1 will provide support for incremental builds and third-party SDK components
-----------	---

手順1 : 管理者サービス接続のセキュリティロールが割り当てられているアカウントを使用して、AzureDevopsにサインインします。

注 [エージェントフェーズ]で、[サービスファブリックアプリケーションの展開]をクリックします。[Docker設定]をクリックし、[Docker設定の構成]をクリックします。[レジストリクレデンシャルソース]で、[AzureResourceManagerサービス接続]を選択します。次に、Azureサブスクリプションを選択します。

ステップ2 パーソナルアクセストークンを作成します。

マシンがエージェントプール（読み取り、管理）スコープで作成されたプールに参加できるようにするには、パーソナルアクセストークンまたはPATが必要です。

手順3 Azure仮想マシンにAzurePipelinesエージェントをインストールして登録します。

クラスターでAzurePipelineエージェントを実行することにより、種類に関係なく、あらゆるサービスをテストできます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/service-fabric/service-fabric-tutorial-deploy-container-app-with-cicd-vsts>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアク

セス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> 625問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 92

あなたの会社は、Azure Application Insightsを使用して、ユーザーの行動がアプリケーションにどのように影響するかを理解したいと考えています。

各動作を分析するには、どのアプリケーションインサイトツールを使用する必要がありますか？

答えるには、適切なツールを正しい動作にドラッグします。各ツールは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Tools	Answer Area
Impact	Feature usage: <input type="text"/>
User Flows	User actions by day: <input type="text"/>
Users	The effect that the performance of the application has on the usage of a page or a feature: <input type="text"/>

正解:

Tools	Answer Area
Impact	Feature usage: <input type="text"/>
User Flows	User actions by day: <input type="text"/>
Users	The effect that the performance of the application has on the usage of a page or a feature: <input type="text"/>

説明

Feature usage:



Microsoft

User Flows

User actions by day:

Users

The effect that the performance of the application has on the usage of a page or a feature:

Impact

ボックス1 :ユーザーフロー

ユーザーフローツールは、ユーザーがサイトのページと機能の間をどのように移動するかを視覚化します。次のような質問に答えるのに最適です。

ユーザーはどのようにしてサイトのページから移動しますか？

ユーザーはあなたのサイトのページをクリックしますか？

ユーザーがあなたのサイトから最も離れている場所はどこですか？

ユーザーが同じアクションを何度も繰り返す場所がありますか？

ボックス2 :ユーザー

ボックス3 : 影響

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/app/usage-flows>

### 質問: 93

あなたの会社は、次のエンドポイントにアプリケーションをデプロイすることを計画しています。

\*Azureでホストされている10台の仮想マシン

\*オンプレミスのデータセンター環境でホストされる10台の仮想マシンすべての仮想マシンにAzurePipelinesエージェントがあります。

アプリケーションをエンドポイントにデプロイするためのリリース戦略を実装する必要があります。

アプリケーションをエンドポイントにデプロイするために何を使用することをお勧めしますか？

答えるには、適切なコンポーネントを正しいエンドポイントにドラッグします。各コンポーネントは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

**Components**      **Answer Area**      Microsoft

A deployment group

A management group

A resource group

Application roles

Ten virtual machines hosted in Azure:

Ten virtual machines hosted in an on-premises data center environment:

正解:

**Components**      **Answer Area**

A deployment group

A management group

A resource group

Application roles

Ten virtual machines hosted in Azure: A deployment group

Ten virtual machines hosted in an on-premises data center environment: A deployment group

Microsoft

説明

Ten virtual machines hosted in Azure: A deployment group

Ten virtual machines hosted in an on-premises data center environment: A deployment group

Microsoft

ボックス1：展開グループ

AzureパイプラインまたはTFSリリースパイプラインを作成するときに、展開グループを使用してジョブの展開ターゲットを指定できます。

ターゲットマシンがAzureVMの場合、各VMにAzure Pipelines Agent Azure VM拡張機能をインストールするか、リリースパイプラインでAzure Resource Group Deploymentタスクを使用して展開グループを動的に作成することにより、すばやく簡単に準備できます。

ボックス2：展開グループ

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/deployment-groups>

質問: 94

AzureDevOpsでプロジェクトを作成する予定です。複数の開発者がプロジェクトに取り組みます。開発者は頻繁にオフラインで作業し、オフライン中にプロジェクト履歴全体にアクセスする

必要があります。

どのバージョン管理ソリューションを使用する必要がありますか？

- A. Subversion
- B. TeamFoundationバージョン管理
- C. Git
- D. TortoiseSVN

正解: C ([コメントを发表する](#))

質問: 95

単体テストを含む完全なMicrosoft.NETFrameworkソリューションを開発しています。

ビルドパイプラインの一部としてC#コードのコード品質検証を実行するようにSonarQubeを構成する必要があります。

順番に実行する必要がある4つのタスクはどれですか？回答するには、適切なタスクをタスクのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions Commands Cmdlets Statements	Answer Area
Run Code Analysis	
Visual Studio Test	
Publish Build Artifacts	
Visual Studio Build	
Prepare Analysis Configuration	

正解:

Actions Commands Cmdlets Statements	Answer Area
Run Code Analysis	Prepare Analysis Configuration
Visual Studio Test	Visual Studio Build
Publish Build Artifacts	Visual Studio Test
Visual Studio Build	Run Code Analysis
Prepare Analysis Configuration	

説明



#### ステップ1 : 分析構成を準備する

ビルドを実行する前に必要なすべての設定を構成するには、分析構成タスクを準備します。このタスクは必須です。

.NETソリューションまたはJavaプロジェクトの場合、MSBuild、Maven、およびGradleタスクとシームレスに統合するのに役立ちます。

#### ステップ2 : VisualStudioビルド

次の順序を尊重するようにタスクを並べ替えます。

MSBuildまたはVisualStudioBuildタスクの前に分析構成タスクを準備します。

#### ステップ3 : VisualStudioテスト

次の順序を尊重するようにタスクを並べ替えます。

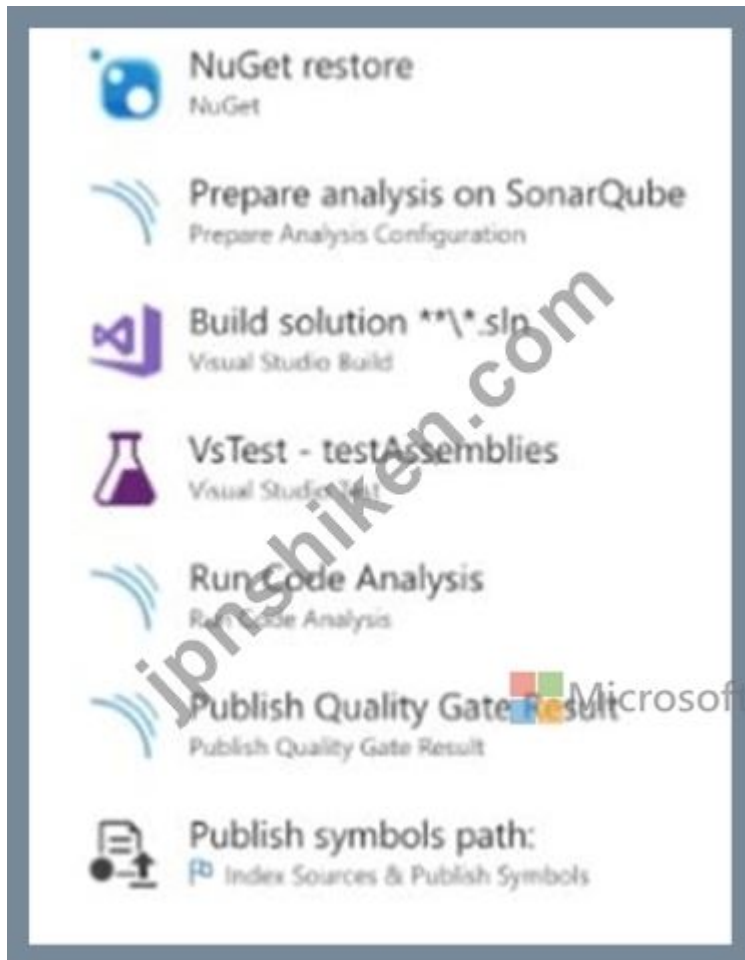
VisualStudioテストタスクの後にコード分析タスクを実行します。

#### ステップ4 : コード分析を実行する

コード分析タスクを実行して、ソースコードの分析を実際に行います。

スキャナーはMaven/Gradleビルドの一部として実行されるため、このタスクはMavenまたはGradleプロジェクトには必要ありません。

ノート :



参照：

<https://docs.sonarqube.org/display/SCAN/Analyzing+with+SonarQube+Extension+for+VSTS-TFS>

質問: 96

多層アプリケーションをデプロイするAzureResourceManagerテンプレートがあります。展開を実行するユーザーが、アプリケーションで使用されるアカウントの資格情報と接続文字列を表示できないようにする必要があります。

何を使うべきですか？

- A. Azure Key Vault
- B. Web.configファイル
- C. Appsettings.jsonファイル
- D. AzureStorageテーブル
- E. AzureResourceManagerパラメーターファイル

正解: ([正解を表示します](#))

展開中にパラメーターとして安全な値 (パスワードなど) を渡す必要がある場合は、AzureKeyVaultから値を取得できます。パラメータファイルのキーボールドとシークレットを参照して値を取得します。キーボールドIDのみを参照するため、値が公開されることはありません。キーボールドは、デプロイ先のリソースグループとは異なるサブスクリプションに存在する可能性があります。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-manager-keyvault-parameters>

### 質問: 97

az400-11566895-kvという名前のAzureKeyVaultに格納されているシークレットに安全にアクセスするには、VM1という名前の仮想マシンを構成する必要があります。

このタスクを完了するには、Microsoft Azureポータルにサインインします。

正解:

以下の解決策を参照してください。

説明

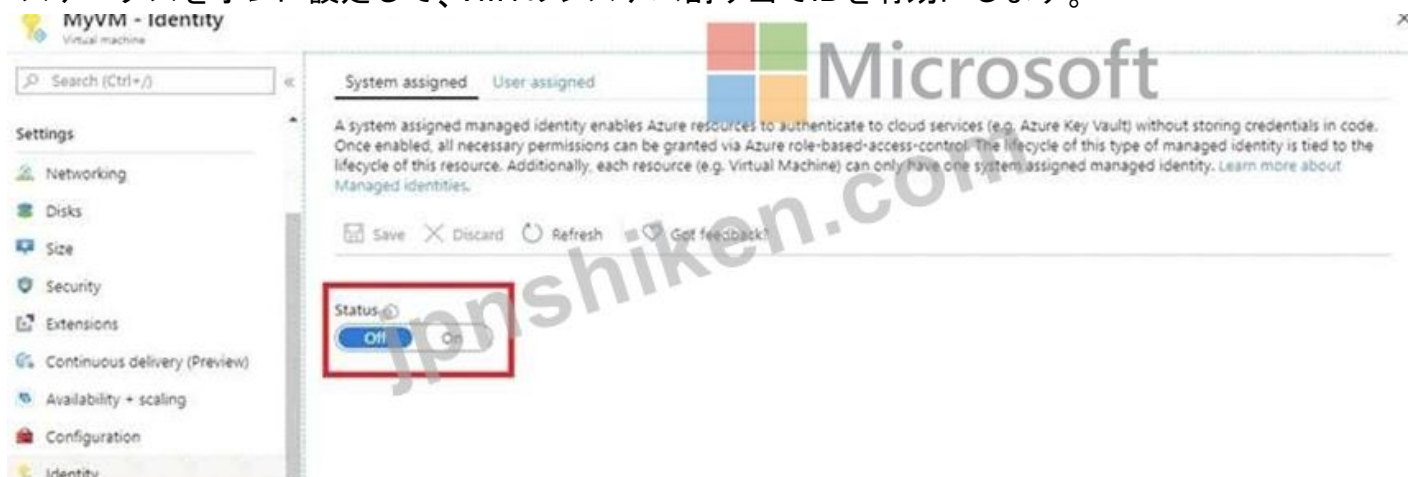
Windows仮想マシン (VM) にシステムによって割り当てられたマネージドIDを使用して、AzureKeyVaultにアクセスできます。

\*Azureポータルにサインインします

\*仮想マシンVM1を見つけます。

\*アイデンティティを選択

\*ステータスをオンに設定して、VM1のシステム割り当てIDを有効にします。



注 :システムによって割り当てられた管理対象IDを有効にすると、ワンクリックで操作できます。VMの作成中、または既存のVMのプロパティで有効にすることができます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/active-directory/managed-identities-azure-resources/tutorial-windows-vm>

### 質問: 98

Azure Kubernetes Service (AKS) クラスタがあります。

Azure DevOpsを使用して、アプリケーションをクラスタにデプロイする必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

**Actions**



Microsoft

**Answer Area**

- Create a service account in the cluster.
- Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).
- Add an Azure Function App for Container task to the deployment pipeline.
- Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.
- Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.
- Configure RBAC roles in the cluster.

正解:

**Actions**

Microsoft

- Create a service account in the cluster.
- Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).
- Add an Azure Function App for Container task to the deployment pipeline.
- Add a Helm package and deploy a task to the deployment pipeline.
- Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.
- Configure RBAC roles in the cluster.

**Answer Area**

- Create a service principal in Azure Active Directory (Azure AD).
- Add an Azure Function App for Container task to the deployment pipeline.
- Add a Docker Compose task to the deployment pipeline.

参照 :

<https://cloudblogs.microsoft.com/opensource/2018/11/27/tutorial-azure-devops-setup-cicd-pipeline-kubernetes-docker-helm/>

**質問: 99**

あなたの会社には、Subscription1という名前のAzureサブスクリプションがあります。Subscription1は、contoso.comという名前のAzureActiveDirectoryテナントに関連付けられています。

Subscription1でAzureKubernetesServices (AKS) クラスタをプロビジョニングし、contoso.comのIDを参照するRBACロールを使用してクラスタのアクセス許可を設定する必要があります。

どの3つのオブジェクトを順番に作成する必要がありますか？回答するには、適切なオブジェクトをオブジェクトのリストから回答領域に移動し、正しい順序で配置します。

**Answer Area**

**Objects**

- a system-assigned managed identity
- a cluster
- an application registration in contoso.com
- an RBAC binding

Microsoft

正解:

**Answer Area**

**Objects**

- a system-assigned managed identity
- a cluster
- an application registration in contoso.com
- an RBAC binding

- a cluster
- a system-assigned managed identity
- an RBAC binding

Microsoft

説明

- a cluster
- a system-assigned managed identity
- an RBAC binding

Microsoft

ステップ1 AKSクラスターを作成する

ステップ2 :システムによって割り当てられた管理対象ID

RBACバインディングを作成するには、最初にAzureADオブジェクトIDを取得する必要があります。

\*Azureポータルにサインインします。

\* ページ上部の検索フィールドに「AzureActiveDirectory」と入力します。

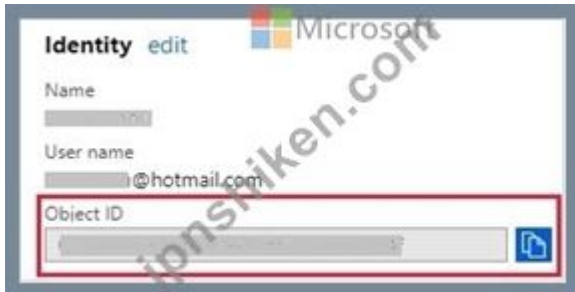
\* Enterをクリックします。

\* [管理]メニューで、[ユーザー]を選択します。

\* 名前フィールドで、アカウントを検索します。

\* [名前]列で、アカウントへのリンクを選択します。

\* [ID]セクションで、オブジェクトIDをコピーします。



ステップ3 :RBACバインディング

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/developer/ansible/aks-configure-rbac>

質問: 100

投資計画アプリケーションスイートのリリースパイプラインにコード品質制限を実装するには、何を使用する必要がありますか？

- A. トリガー
- B. 展開前の承認
- C. 導入後の承認
- D. 展開ゲート

正解: D ([コメントを發表する](#))

トピック2、ケーススタディの概要

既存の環境

Contoso、Ltd.は、シカゴに本社を置く製造会社です。

要件

Contosoは、AzureDevOpsの原則を実装するIT開発および運用プロセスを改善することを計画しています。ContosoにはAzureサブスクリプションがあり、AzureDevOps組織を作成します。

AzureDevOps組織には次のものが含まれます。

Docker拡張機能

WindowsServer2016を実行する10台のAzure仮想マシンを含むPool7という名前の展開プール。

Azureサブスクリプションには、AzureAutomationアカウントが含まれています。

計画された変更

Contosoは、次の表に示すように、AzureDevOpsでプロジェクトを作成することを計画しています。

Project name	Project details
Project 1	Project1 will provide support for incremental builds and third-party SDK components
Project 2	Project2 will use an automatic build policy. A small team of developers named Team2 will work independently on changes to the project. The Team2 members will not have permissions to Project2.
Project 3	Project3 will be integrated with SonarQube
Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
Project 5	Project5 will contain a Git repository in Azure Reports and a continuous integration trigger that will initiate a build in response to any change except for changes within /folder1 of the repository.
Project 6	Project6 will provide support for build and deployment pipelines. Deployment will be allowed only if the number of current work items representing active software bugs is 0.
Project 7	Project7 will contain a target deployment group named Group7 that maps to Pool7. Project7 will use Azure Automation State Configuration to maintain the desired state of the computers in Group7.

#### 技術要件

Contosolは、次の技術要件を識別します。

- \*ビルドエージェントProject1を実装します。
- \*可能な限り、Azureリソースを使用してください
- \*廃止されたテクノロジーの使用は避けてください
- \*Project2のコードフロー戦略を実装します。
- \*チーム2がProject2のプルリクエストを送信できるようにします。
- \*チーム2がプロジェクトのコピーへの変更に独立して取り組むことができるようにしますか？
- \* Project2のコピーに対してTram2によって実行される中間変更には、Project2のビルドポリシーで無視されたものと同じ制限が適用されることを確認してください。
- \* いつでも可能なとき。自動化を実装し、管理作業を最小限に抑えます。
- \*計画された変更に基づいて、Project3、Project5、Project6、およびProject7を実装します。
- \* Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerRegistryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

#### 質問: 101

次の表に示すアプリ用にYAMLベースのAzureパイプラインを設計しています。

Name	Platform	Release requirements
App1	Azure virtual machine	Replace a fixed set of existing instances of the previous version of App1 with instances of the new version of the app in each iteration.
App2	Azure Kubernetes Service (AKS) cluster	Roll out a limited deployment of the new version of App2 to validate the functionality of the app. Once testing is successful, expand the rollout.

各アプリのYAML戦略値を構成する必要があります。このソリューションでは、アプリのダウンタイムを最小限に抑える必要があります。

アプリごとにどの値を設定する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

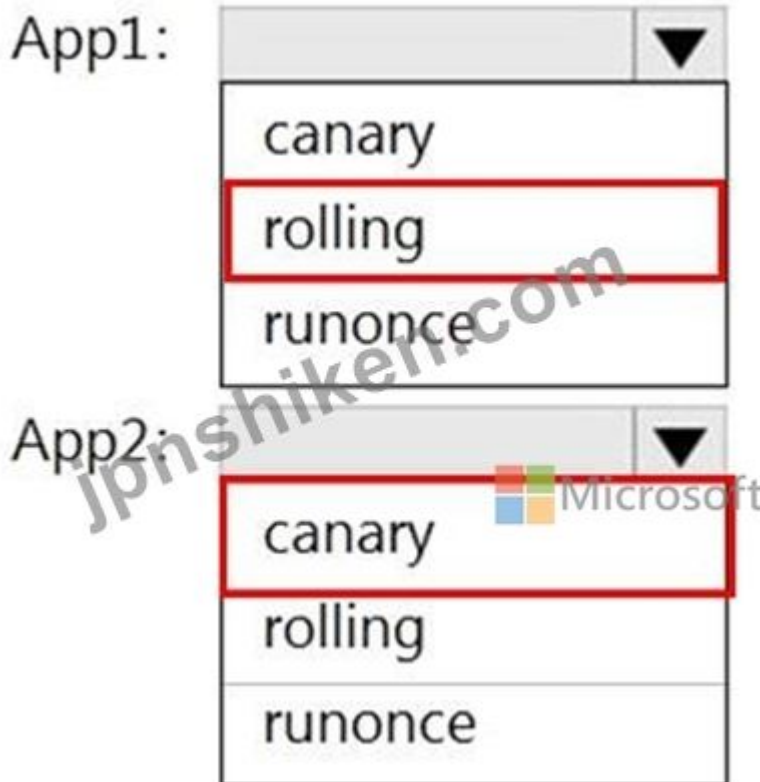
App1: Microsoft ▼

- canary
- rolling
- runonce

App2: ▼

- canary
- rolling
- runonce

正解:



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/process/deployment-jobs>

**質問: 102**

あなたの会社はAzureDevOpsにプロジェクトを持っています。  
 AzureResourceManagerテンプレートを使用してリソースをデプロイするリリースパイプラインを作成することを計画しています。  
 テンプレートは、AzureKeyVaultに格納されているシークレットを参照します。  
 展開中にキーボールドに保存されているシークレットにアクセスするためのソリューションを推奨する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。  
 推奨事項には何を含める必要がありますか？答えるには、適切な構成を正しいターゲットにドラッグします。各構成は、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。  
 注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。




正解:

Configurations	Answer Area
an Azure Key Vault access policy	Restrict access to delete the key vault: RBAC
a personal access token (PAT)	Restrict access to the secrets in Key Vault by using: RBAC
RBAC	



説明



Restrict access to delete the key vault: RBAC

Restrict access to the secrets in Key Vault by using: RBAC

ボックス1 :RBAC

管理プレーンのアクセス制御はRBACを使用します。

管理プレーンは、次のようなキーボールド自体に影響を与える操作で構成されます。

\*キーボールドの作成または削除。

\*サブスクリプション内のボールドのリストを取得します。

\* Key Vaultのプロパティ (\$SKUやタグなど)を取得しています。

\*キーとシークレットへのユーザーとアプリケーションのアクセスを制御するKeyVaultアクセスポリシーを設定します。

ボックス2 :RBAC

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-manager-tutorial-use-key-vault>

質問: 103

RBAC対応のAzureKubernetsService (AKS) 実装があります。AKS実装でコンテナを実行するために、ホストされた開発環境としてAzureコンテナインスタンスを使用することを計画しています。

AKSでコンテナを実行するためのホスト環境としてAzureコンテナインスタンスを呼び出す必要があります。

m系列を実行する必要がある3つのアクションはどれですか？

回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions	Answer Area
Run helm init.	
Run az aks install-connector.	
Create a YAML file.	
Run az role assignment create	
Run kubectl apply.	

Microsoft

正解:

**ACTIONS**

- Run helm init.
- Run az aks install-connector.
- Create a YAML file.
- Run az role assignment create
- Run kubectl apply.

**Answer Area**

Microsoft

- Create a YAML file.
- Run kubectl apply.
- Run helm init.

説明

Microsoft

- Create a YAML file.
- Run kubectl apply
- Run helm init.

ステップ1 :YAMLファイルを作成します。

AKSクラスターでRBACが有効になっている場合は、Tillerで使用するためのサービスアカウントとロールバインディングを作成する必要があります。

サービスアカウントとロールバインディングを作成するには、rbac-virtual-kubelet.yamlという名前のファイルを作成します。ステップ2 kubectlapplyを実行します。

サービスアカウントを適用し、kubectl applyを使用してバインドし、rbac-virtual-kubelet.yamlファイルを指定します。

ステップ3 helminitを実行します。

ティラーサービスアカウントを使用するようにHelmを構成します。

```
helm init --service-accounttiler
```

これで、引き続きVirtualKubeletをAKSクラスターにインストールできます。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/virtual-kubelet>

#### 質問: 104

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

あなたの会社の主任開発者は、新しいアプリケーション機能の追加には、蓄積された技術的負債が大きいため、予想よりも時間がかかると報告しています。

累積された技術的負債を減らすために変更を推奨する必要があります。

解決策 :コードの結合と依存関係のサイクルを減らすことをお勧めしますか？

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: [\(正解を表示します\)](#)

代わりに、コードの複雑さを減らします。

注 : 技術的負債とは、アプリケーションの存続期間中に行われた次善の技術的決定の累積です。最終的には、物事を変えることがますます難しくなります。ITイニシアチブが停止するのを見るのは「ギアの砂」です。

参照 :

<https://dzone.com/articles/fight-through-the-pain-how-to-deal-with-technical>

<https://www.devopsgroup.com/blog/five-ways-devops-helps-with-technical-debt/>

#### 質問: 105

Contosoという名前のAzureDevOps組織とAzureサブスクリプションがあります。

Azure DevOpsを使用して、App1という名前のWebアプリをビルドおよびデプロイします。Azure Monitorは、App1がサーバー側のエラーを生成するたびに生成されるアラートにตอบสนองして電子メール通知を生成するように構成されています。

Azure Monitorアラートが生成されるたびに、Microsoft Teamsで通知を受信する必要があります。

実行する必要がある2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

A. AzureDevOpsトリガーを持つAzureロジックアプリを作成します。

B. AzureMonitorの診断設定を変更します。

- C. HTTPリクエストトリガーを持つAzureロジックアプリを作成します。
- D. AzureMonitorワークブックを作成します。
- E. AzureMonitorでアクショングループを変更します。

正解: ([正解を表示します](#))

#### 質問: 106

D. \Deploy.jsonという名前のテンプレートをDeploy-lod9940427という名前のリソースグループにデプロイすることを計画しています。

次の要件を満たすようにテンプレートを変更してから、テンプレートを展開する必要があります。

\*合計256個のIPアドレスのみをサポートするには、アドレス空間を減らす必要があります。

\*合計64個のIPアドレスのみをサポートするには、サブネットアドレススペースを減らす必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

正解:

以下の解決策を参照してください。

説明

- 1.ポータルにサインインし、
- 2.テンプレートDeploy-lod9940427を選択します
3. [テンプレートの編集]を選択し、JSONテンプレートコードをコードウィンドウに貼り付けます。
- 4.合計256個のIPアドレスのみをサポートするために、ASddressPrefixesを10.0.0.0/24に変更します。

```
addressSpace " {" addressPrefixes " {" 10.0.0.0/24 "}]、
```

- 5.firstSubnetアドレスプレフィックスを10.0.0.0/26に変更して、合計64個のIPアドレスのみをサポートします。

```
"サブネット" {
```

```
{
```

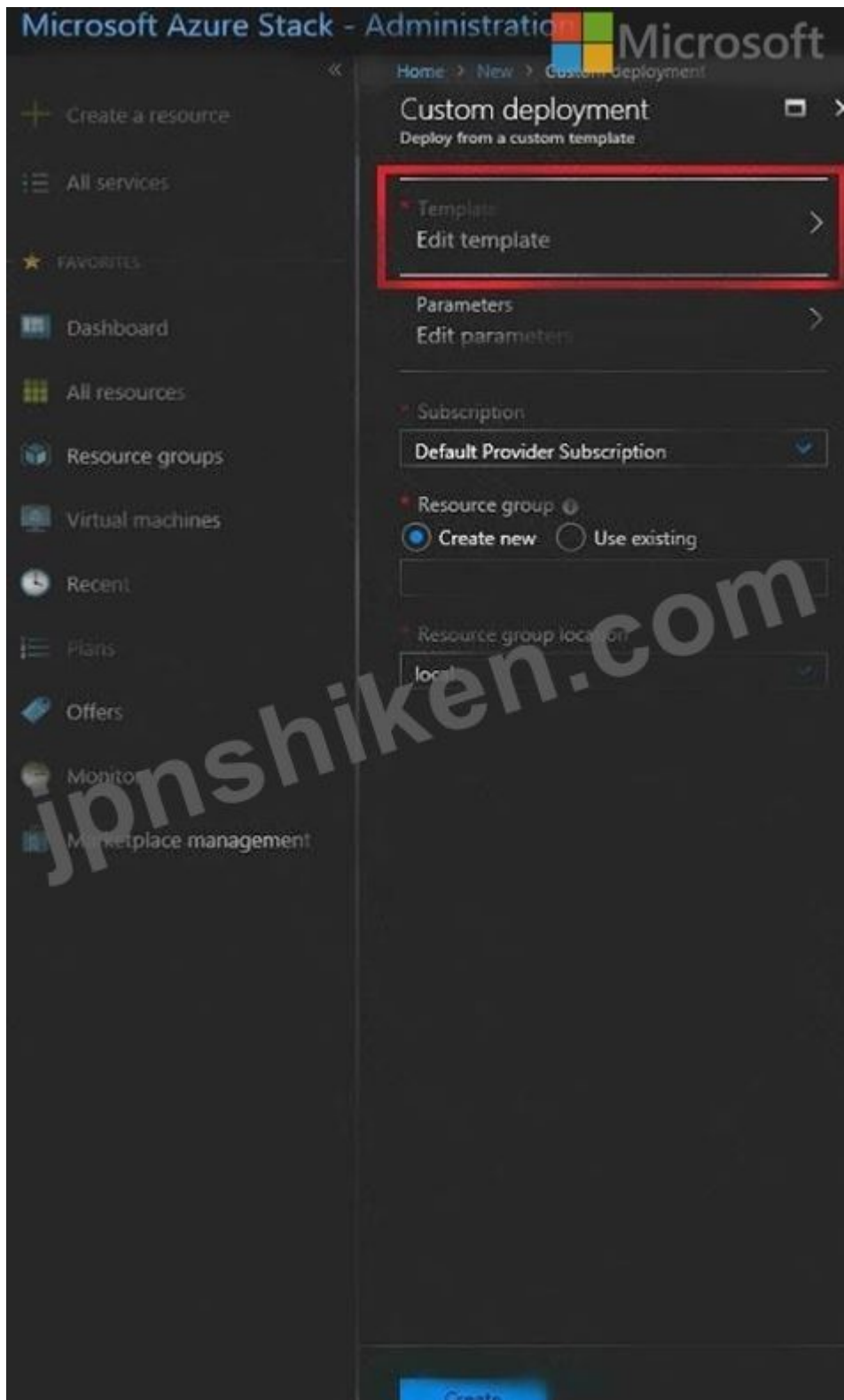
```
"名前" : "firstSubnet"、
```

```
"プロパティ" {
```

```
"addressPrefix" : "10.0.0.0/24"
```

```
}
```

- 6.[保存]を選択します。



7. [パラメーターの編集]を選択し、表示されているパラメーターの値を指定して、[OK]を選択します。

8.[サブスクリプション]を選択します。使用するサブスクリプションを選択し、[OK]を選択します。

9.リソースグループを選択します。既存のリソースグループを選択するか、新しいリソースグループを作成して、[OK]を選択します。

### Custom deployment

Deploy from a custom template

Template  
**Edit template**

Parameters  
**Edit parameters**

Subscription  
Default Provider Subscription

Resource group   
 Create new  Use existing

test-rg

Resource group location  
[Location]

Create

jpnsshiken.com

Create a resource

All services

FAVORITES

Dashboard

All resources

Resource groups

Virtual machines

Recent

Plans

Offers

Marketplace management

10.[作成]を選択します。ダッシュボードの新しいタイルは、テンプレートの展開の進行状況を追跡します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure-stack/user/azure-stack-deploy-template-portal?view=azs-1908>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/architecture/building-blocks/extending-templates/update-resource>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%**ディスカウント、特別な割引コード：**JPNshiken**」

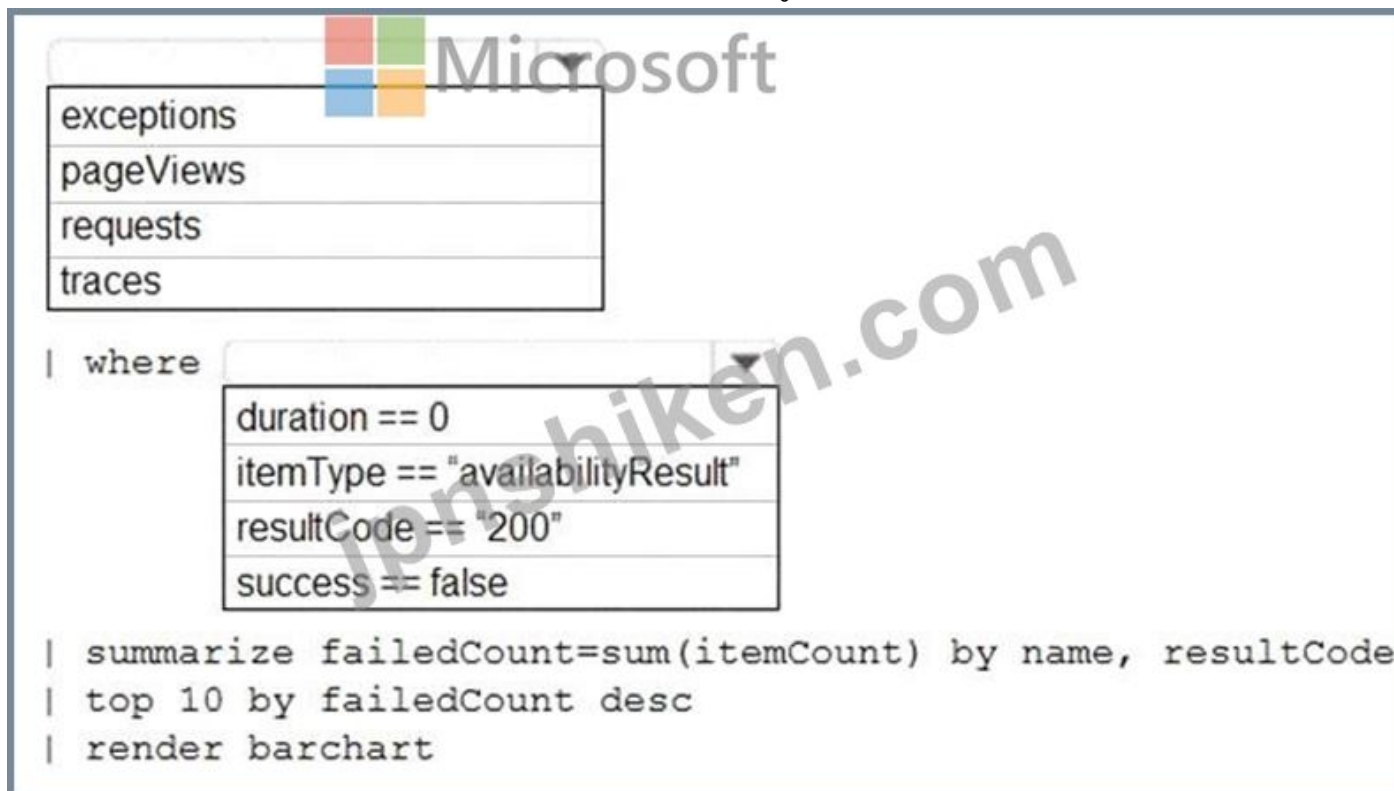
質問: 107

Webapp1という名前のAzureWebアプリがあります。

Azure Monitorクエリを使用して、失敗したWebapp1の上位10ページの詳細を示すレポートを作成する必要があります。

クエリをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



The screenshot shows the Azure Monitor query editor interface. At the top, there is a Microsoft logo and a list of metrics: exceptions, pageViews, requests, and traces. Below this, there is a 'where' clause with a dropdown menu showing the following filters: duration == 0, itemType == "availabilityResult", resultCode == "200", and success == false. At the bottom, the Kusto query is displayed: | summarize failedCount=sum(itemCount) by name, resultCode | top 10 by failedCount desc | render barchart

正解:

exceptions
pageViews
requests
traces

```
| where
  duration == 0
  itemType == "availabilityResult"
  resultCode == "200"
  success == false
```

```
| summarize failedCount=sum(itemCount) by name, resultCode
| top 10 by failedCount desc
| render barchart
```



説明



ボックス1 :リクエスト

失敗したリクエスト (リクエスト/失敗) :  
失敗としてマークされた追跡されたサーバー要求の数。

Kustoコード :

リクエスト

| ここで、success =='False'

ボックス2 : 成功= false

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/platform/app-insights-metrics>

質問: 108

az400-11566895-mainという名前のAzureWebアプリにCI/CD戦略を実装することを計画してい

ます。

az400-11566895-mainのステージング環境を構成する必要があります。

このタスクを完了するには、Microsoft Azureポータルにサインインします。

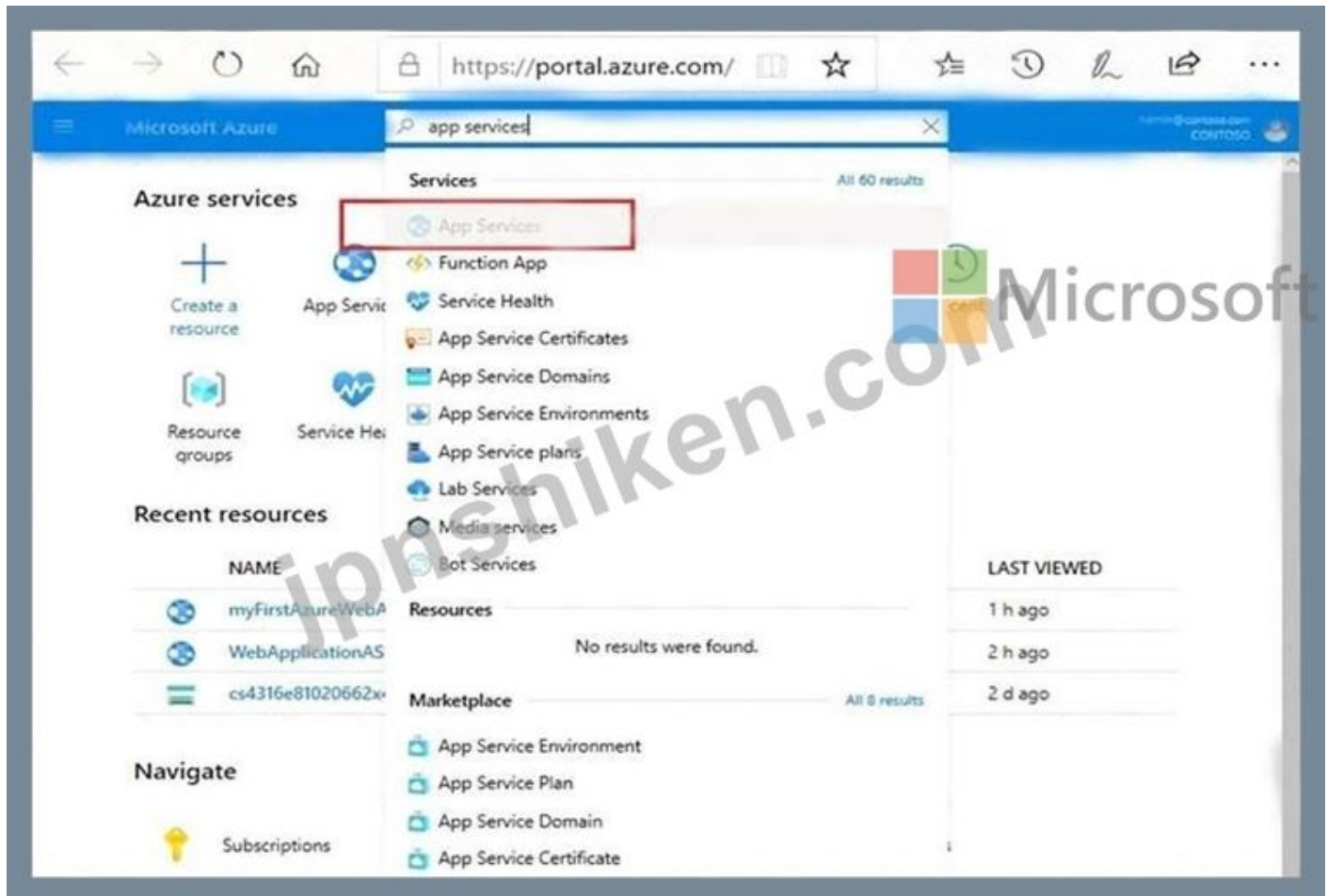
正解:

以下の解決策を参照してください。

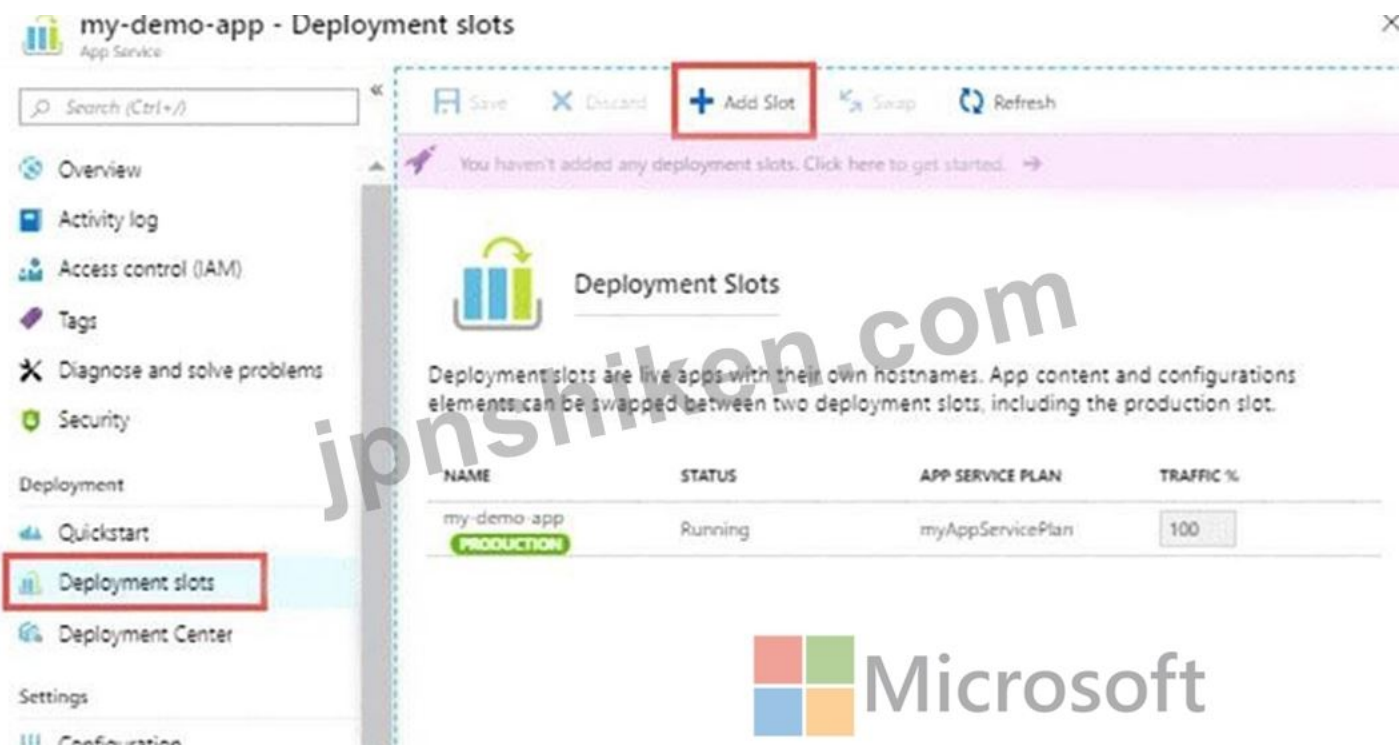
説明

スロットを追加する

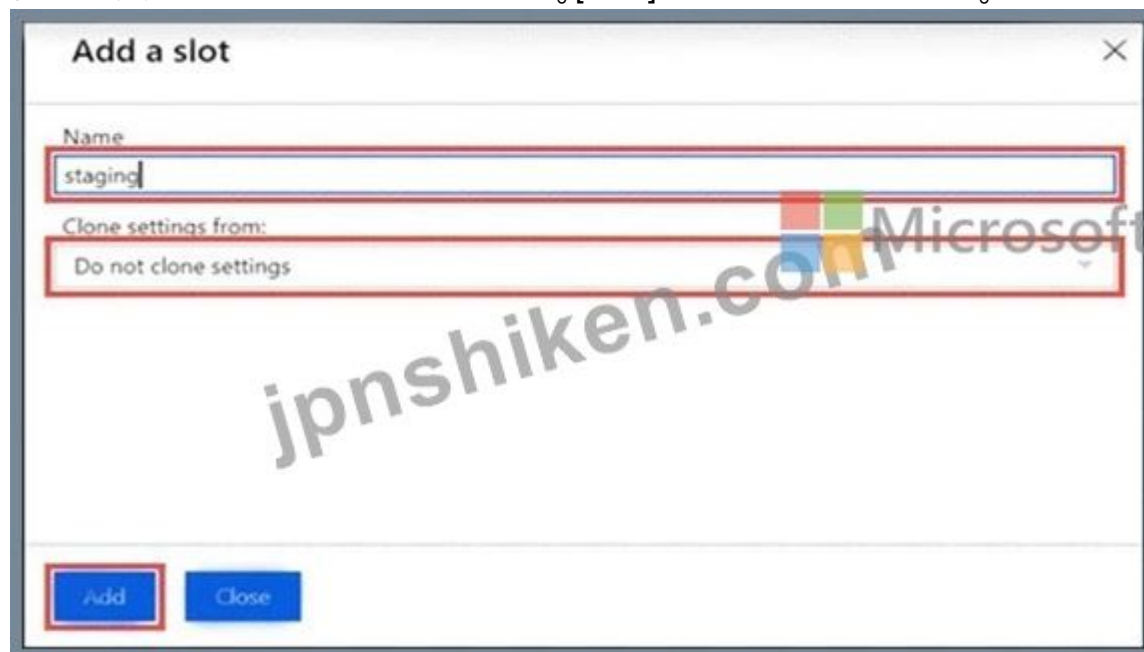
1. Azureポータルで、App Servicesを検索して選択し、アプリaz400-11566895-mainを選択します。



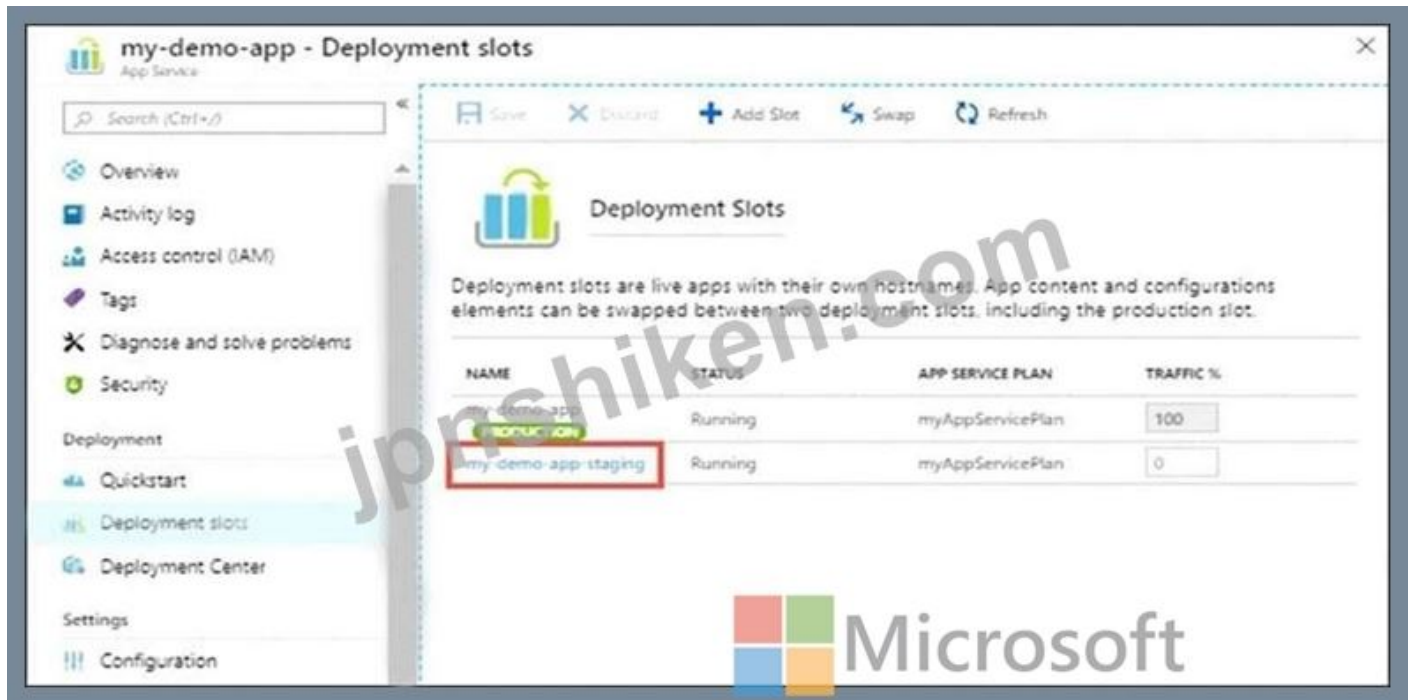
2. 左側のペインで、[展開スロット]>[スロットの追加]を選択します。



3. [スロットの追加]ダイアログボックスで、スロットに名前を付け、別の展開スロットからアプリ構成を複製するかどうかを選択します。[追加]を選択して続行します。



4. スロットを追加したら、[閉じる]を選択してダイアログボックスを閉じます。これで、新しいスロットが[展開スロット]ページに表示されます。



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/deploy-staging-slots>

#### 質問: 109

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Javaアプリケーションのビルドプロセスの統合戦略を推奨する必要があります。ソリューションは、次の要件を満たしている必要があります。

\*ビルドはオンプレミスの依存関係管理システムにアクセスする必要があります。

\*ビルド出力は、サーバーアーティファクトとしてAzureDevOpsに保存する必要があります。

\*ソースコードはAzureDevOpsのGitリポジトリに保存する必要があります。

解決策 :オンプレミスマシンでOctopusTentacleを構成します。ビルドパイプラインでパッケージアプリケーションタスクを使用します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: A (コメントを发表する)

Octopus Deployは、ASP.NET Webアプリケーション、Javaアプリケーション、NodeJSアプリケーション、およびカスタムスクリプトの複数の環境への展開を簡単に自動化できる自動展開サーバーです。

Octopusは、Windows、Mac、Linuxなどのさまざまなプラットフォームにインストールできます。また、VSTSやGITを含むほとんどのバージョン管理ツールと統合することもできます。

ソフトウェアをWindowsサーバーに展開するときは、軽量エージェントサービスであるTentacleをWindowsサーバーにインストールして、Octopusサーバーと通信できるようにする必要があります。

展開プロセスを定義する場合、最も一般的なステップタイプはパッケージステップです。この手順では、パッケージ化されたアプリケーションを1つ以上のデプロイメントターゲットにデプロイします。

パッケージを展開するときは、パッケージの展開先のマシンの役割を選択する必要があります。

参照：

<https://octopus.com/docs/deployment-examples/package-deployments>

<https://explore.emtecinc.com/blog/octopus-for-automated-deployment-in-devops-models>

#### 質問: 110

あなたの会社は、ビルドにクラウドでホストされているJenkinsを使用しています。

JenkinsがAzureリポジトリからソースコードを取得できることを確認する必要があります。

実行する必要がある3つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. JenkinsでWebhookを作成します。
- B. Team Foundation Server (TFS) プラグインをJenkinsに追加します。
- C. Jenkinsアカウントにドメインを追加します。
- D. AzureDevOpsアカウントに個人用アクセストークンを作成します。
- E. AzureDevOpsでサービスフックを作成します。

正解: **B,D,E** ([コメントを发表する](#))

説明/参照：

Explanation:

B : Jenkinsの組み込みGitプラグインまたはTeam Foundation Serverプラグインは、数分ごとにTeam Servicesリポジトリをポーリングし、変更が検出されたときにジョブをキューに入れることができます。

D : Azure DevOps / Visual Studio Team Servicesを使用してアクセストークンを作成し、使用しますE :より緊密な統合が必要な場合、Team Servicesはそれを実現するための2つの追加の方法を提供します (1) Jenkinsサービスフックと2) Jenkinsビルドおよびリリースタスク。) 参照：

<https://blogs.msdn.microsoft.com/devops/2017/04/25/vsts-visual-studio-team-services-integration-with-jenkins/>

<http://www.aisoftwarellc.com/blog/post/how-to-setup-automated-builds-using-jenkins-and-visual-studio-team-foundation-server/2044>

#### 質問: 111

計画された変更をサポートするには、既存のDevOpsツールを置き換える必要があります。

何を扱うべきですか？答えるには、適切なツールを正しいターゲットにドラッグします。各ツールは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテン

ツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

### Tools

- Azure Boards
- Azure Artifacts
- GitHub Actions
- Azure Pipelines
- Azure Test Plans
- GitHub repositories

### Answer Area

- Trello: Tool
- Bamboo: Tool
- BitBucket: Tool



正解:

### Tools

- Azure Boards
- Azure Artifacts
- GitHub Actions
- Azure Pipelines
- Azure Test Plans
- GitHub repositories

### Answer Area

- Trello: Azure Boards
- Bamboo: Azure Pipelines
- BitBucket: GitHub repositories



参照 :

<https://www.trustradius.com/compare-products/azure-devops-services-vs-trello>

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ms-vsts.vss-services-bamboo>

<https://www.c-sharpcorner.com/article/cicd-implementation-for-an-azure-function-app-using-atlassian-bamboo-server/>

あなたの会社には4つのプロジェクトがあります。各プロジェクトのバージョン管理要件を次の表に示します。

Project	Requirement
Project 1	Project leads must be able to restrict access to individual files and folders in the repository.
Project 2	The version control system must enforce the following rules before merging any changes to the main branch: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Changes must be reviewed by at least two project members.</li> <li>• Changes must be associated to at least one work team.</li> </ul>
Project 3	The project members must be able to work in Azure Repos directly from Xcode.
Project 4	The release branch must only be viewable or editable by the project leads.

すべてのプロジェクトでAzureリポジトリを使用する予定です。

プロジェクトごとにどのバージョン管理システムを使用する必要がありますか？答えるには、適切なバージョン管理システムを正しいプロジェクトにドラッグします。各バージョン管理システムは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

**Version Control Systems**      **Answer Area**

Git	Project 1:	<input type="text"/>
Perforce	Project 2:	<input type="text"/>
Subversion	Project 3:	<input type="text"/>
Team Foundation Version Control	Project 4:	<input type="text"/>

正解:

**Version Control Systems**      **Answer Area**

Git	Project 1:	Team Foundation Version Control
Perforce	Project 2:	Git
Subversion	Project 3:	Subversion
Team Foundation Version Control	Project 4:	Git

説明

**Answer Area**

Project 1:

Project 2:

Project 3:

Project 4:  

ボックス1 :TeamFoundationのバージョン管理

TFVCを使用すると、きめ細かいアクセス許可を適用し、アクセスをファイルレベルに制限できません。

ボックス2 :Git

Gitは、新しいプロジェクトのデフォルトのバージョン管理プロバイダーです。TFVCで集中型のバージョン管理機能が特に必要な場合を除いて、プロジェクトのバージョン管理にはGitを使用する必要があります。

ボックス3 :Subversion

注 :Xcodeは、Apple Box 4によって開発されたソフトウェア開発ツールのスイートを含むmacOSの統合開発環境 (IDE)です。Git注 :PERFORCE :マルチテナントの性質により、多くのグループがバージョン管理されたファイルで作業できます。サーバーは、ファイルコンテンツのMD5ハッシュの中央データベースの変更を、記述的なメタデータとともに追跡し、ハッシュを介して検証できるファイルバージョンのマスターリポジトリを個別に保持します。

参照 :

<https://searchitoperations.techtarget.com/definition/Perforce-Software>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/git/share-your-code-in-git-xcode>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/tfvc/overview>

**質問: 113**

あなたの会社にはAzureサブスクリプションがあります。

会社では、サブスクリプション内のすべてのリソースグループに、組織という名前のタグがContosoの値に設定されている必要があります。

タグ付けの要件を満たすためにポリシーを実装する必要があります。

ポリシーをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

```
{
  "policyRule": {
    "if": {
      "allOf": [
        {
          "field": "type",
          "equals":
            {
              "MicrosoftResources/deployments"
              "MicrosoftResources/subscriptions"
              "MicrosoftResources/subscriptions/resourceGroups"
            }
        },
        {
          "not": {
            "field": "tags['organization']",
            "equals": "Contoso"
          }
        }
      ]
    },
    "then": {
      "effect":
        {
          "details": [
            {
              "field": "tags['organization']",
              "value": "Contoso"
            }
          ]
        }
    }
  }
}
```



Microsoft

正解:

```

{
  "policyRule": {
    "if": {
      "allOf": [
        {
          "field": "type",
          "equals": "Microsoft.Resources/subscriptions/resourceGroups"
        },
        {
          "not": {
            "field": "tags['organization']",
            "equals": "Contoso"
          }
        }
      ]
    },
    "then": {
      "effect": "Deny",
      "details": [
        {
          "field": "tags['organization']",
          "value": "Contoso"
        }
      ]
    }
  }
}

```

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/governance/policy/samples/enforce-tag-on-resource-groups>

**質問: 114**

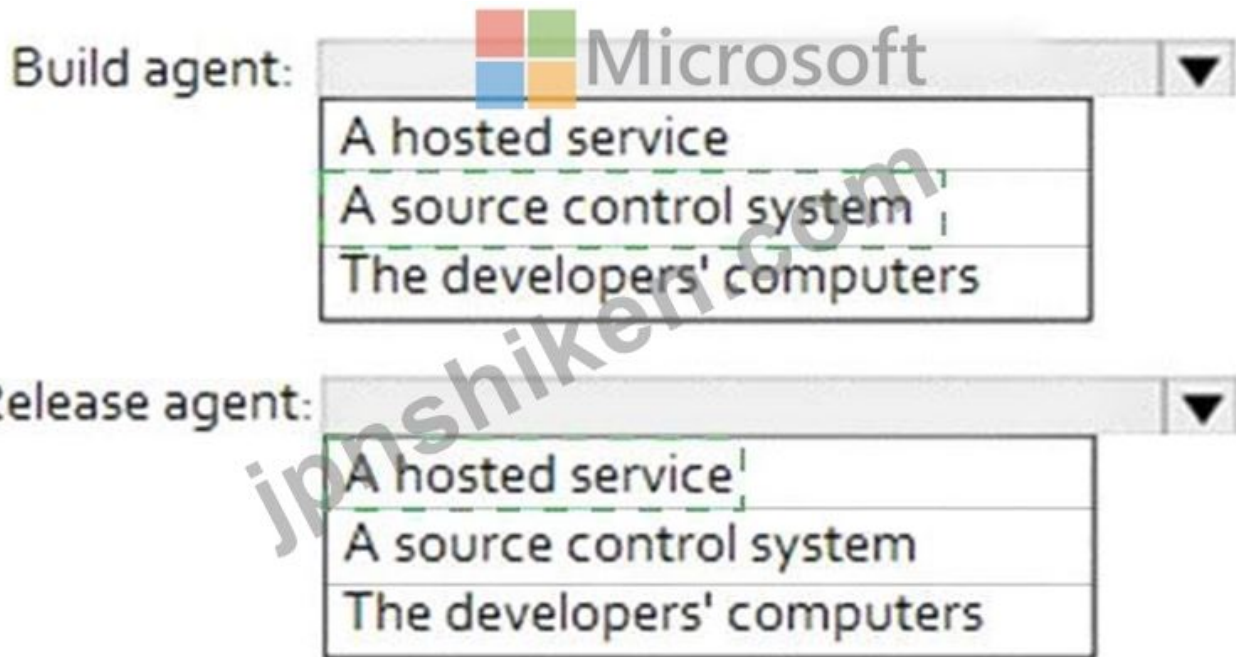
投資計画アプリケーションスイートのビルドおよびリリースエージェントはどこで実行する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

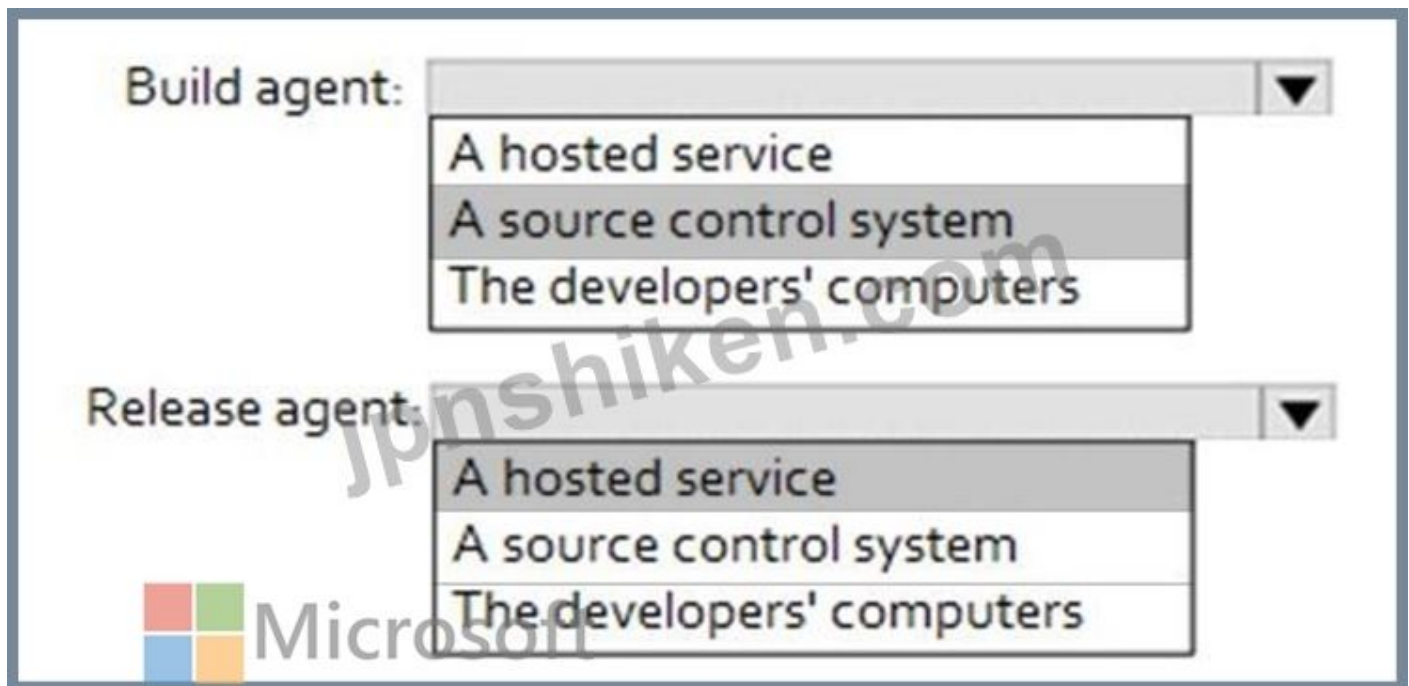
Build agent:  A hosted service  
 A source control system  
 The developers' computers

Release agent:  A hosted service  
 A source control system  
 The developers' computers

正解:



#### 説明



#### ボックス1 :ソース管理システム

バージョン管理システムとも呼ばれるソース管理システムを使用すると、開発者はコードで共同作業を行い、変更を追跡できます。ソース管理は、マルチ開発者プロジェクトにとって不可欠なツールです。

#### ボックス2 :ホステッドサービス

XcodeアプリまたはXamarin.iOSプロジェクトをビルドしてデプロイするには、少なくとも1つのmacOSエージェントが必要です。パイプラインがAzure Pipelinesにあり、Microsoftがホストするエージェントがニーズを満たしている場合は、自己ホスト型のmacOSエージェントのセットアップをスキップできます。

シナリオ：投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用

されます。もう1つは顧客が使用します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/agents/v2-osx?view=azure-devops>

質問: 115

RBAC対応クラスターでHelmandTitle to Azure Kubemets Service AKS)を使用して、グラフを展開するためのソリューションを推奨する必要があります。

m系列で実行することをお勧めする3つのコマンドはどれですか？回答するには、適切なコマンドをコマンドのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Commands	Answer Area
helm install	
kubectl create	
helm completion	
helm init	
helm serve	

正解:

Commands	Answer Area
helm install	kubectl create
kubectl create	helm init
helm completion	helm install
helm init	
helm serve	

Explanation:

ステップ1 :Kubectl create

Helmの構成中に--service-account<NAME>フラグを使用してTillerにサービスアカウントを追加できます（以下の手順2）。前提条件として、事前に設定されているロールとサービスアカウント名を指定するロールバインディングを作成する必要があります。

例 :cluster-adminロールを持つサービスアカウント

```
$ kubectl create -f rbac-config.yaml
serviceaccount tiller」が作成されました
clusterrolebinding ティラー」が作成されました
```

```
$ helm init --service-accounttiller
```

ステップ2 :ヘルム初期化

基本的なティラーをAKSクラスターにデプロイするには、helminitコマンドを使用します。

ステップ3 :ヘルムのインストール

Helmを使用してチャートをインストールするには、helm installコマンドを使用して、インストールするチャートの名前を指定します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/kubernetes-helm>

[https://docs.helm.sh/using\\_helm/#tiller-namespaces-and-rbac](https://docs.helm.sh/using_helm/#tiller-namespaces-and-rbac)

#### 質問: 116

Pool7のコンピューター用にAzureAutomationを構成する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序で配置します。

The screenshot shows an interactive interface with two main sections: 'Actions' and 'Answer Area'. The 'Actions' list contains the following items from top to bottom:

- Run the New-AzureRmResourceGroupDeployment Azure PowerShell cmdlet.
- Create an Azure Resource Manager template file that has an extension of .json.
- Run the Import-AzureRmAutomationDscConfiguration Azure PowerShell cmdlet.
- Run the Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob Azure PowerShell cmdlet.
- Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of .ps1.

The 'Answer Area' contains three numbered boxes (1, 2, 3) and navigation arrows (left, right, up, down). A watermark 'ipnshiken.com' is visible across the interface.

正解:

Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of.ps1.

Run the Import-....

Run the start-...

- 1-拡張子が.ps1のDesiredStateConfiguration (DSC) 構成ファイルを作成します。
- 2-インポートを実行します-..
- 3-スタートを実行します-..

#### 質問: 117

あなたの会社はAzureDevOpsを使用しています。

Azure Active Directoryにアカウントを持っているユーザーのみが、AzureDevOps環境にアクセスできます。

オンプレミスネットワークに接続されているデバイスのみがAzureDevOps環境にアクセスできるようにする必要があります。

あなたは何をすべきか？

- A. すべてのユーザーに利害関係者のアクセスレベルを割り当てます。
- B. Azure Active Directoryで、危険なサインインを構成します。
- C. Azure DevOpsで、プロジェクト設定でセキュリティを構成します。
- D. Azure Active Directoryで、条件付きアクセスを構成します。

正解: D ([コメントを發表する](#))

条件付きアクセスは、AzureActiveDirectoryの機能です。条件付きアクセスを使用すると、条件に基づいてクラウドアプリにアクセスするための自動アクセス制御決定を実装できます。

条件付きアクセスポリシーは、第1要素認証が完了した後に適用されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/active-directory/conditional-access/overview>

#### 質問: 118

RBAC対応クラスターでHelmandTitle to Azure Kubemets Service (AKS)を使用して、グラフを展開するためのソリューションを推奨する必要があります。

m系列で実行することをお勧めする3つのコマンドはどれですか？回答するには、適切なコマンドをコマンドのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

## Commands

## Answer Area

helm install

kubectl create

helm completion

helm init

helm serve



正解:

## Commands

## Answer Area

helm install

kubectl create

helm completion

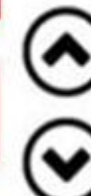
helm init

helm serve

kubectl create

helm init

helm install



Explanation:

ステップ1 :Kubectl create

Helmの構成中に--service-account<NAME>フラグを使用してTillerにサービスアカウントを追加できます（以下の手順2）。前提条件として、事前に設定されているロールとサービスアカウント名を指定するロールバインディングを作成する必要があります。

例 :cluster-adminロールを持つサービスアカウント

```
$ kubectl create -f rbac-config.yaml
```

serviceaccount filler」が作成されました

clusterrolebinding ティラー」が作成されました

```
$ helm init --service-accounttiler
```

ステップ2 :ヘルム初期化

基本的なティラーをAKSクラスターにデプロイするには、helminitコマンドを使用します。

ステップ3 :ヘルムのインストール

Helmを使用してチャートをインストールするには、helm installコマンドを使用して、インストールするチャートの名前を指定します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/kubernetes-helm>

[https://docs.helm.sh/using\\_helm/#tiller-namespaces-and-rbac](https://docs.helm.sh/using_helm/#tiller-namespaces-and-rbac)

### 質問: 119

あなたの会社には、4つのチームに割り当てられた60人の開発者がいます。各チームには15人のメンバーがいます。

同社はアジャイル開発手法を採用しています。

共通の目標を達成するために協力しながら、各チームがそれぞれの作業を所有するように、開発チームの作業を構成する必要があります。

チームが自律的に実行できるようにするには、分類法のどの部分を使用する必要がありますか？

- A. 機能とタスク
- B. イニシアチブとエピック
- C. 叙事詩と特徴
- D. ストーリーとタスク

正解: ([正解を表示します](#))

機能は通常、ソフトウェアの出荷可能なコンポーネントを表します。

機能、例 :

\*新しいワークハブに表示オプションを追加します

\*モバイルショッピングカートを追加する

\*テキストアラートをサポート

\*新しいルックアンドフィールでWebポータルを更新します

ユーザーストーリーとタスクは、作業を追跡するために使用されます。チームは、要件またはタスクとして、バグの追跡方法を選択できます。不正解 :

B、C : 叙事詩は、達成すべきビジネスイニシアチブを表しています。

叙事詩、例 :

\*カスタマーエンゲージメントを高める

\*ユーザーエクスペリエンスを改善および簡素化する

\*パフォーマンスを向上させるために新しいアーキテクチャを実装する

\*将来の成長をサポートするようにアプリケーションを設計する

\*外部サービスとの統合をサポート

\*モバイルアプリをサポートする

参照 :

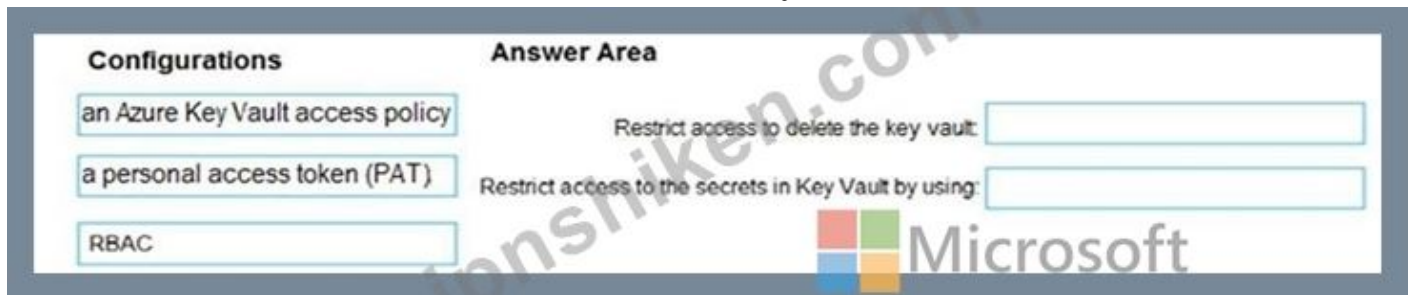
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/boards/backlogs/define-features-epics>

**質問: 120**

あなたの会社はAzureDevOpsにプロジェクトを持っています。  
AzureResourceManagerテンプレートを使用してリソースをデプロイするリリースパイプラインを作成することを計画しています。

テンプレートは、AzureKeyVaultに格納されているシークレットを参照します。  
展開中にキーボールドに保存されているシークレットにアクセスするためのソリューションを推奨する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。  
推奨事項には何を含める必要がありますか？答えるには、適切な構成を正しいターゲットにドラッグします。各構成は、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



ボックス1 :RBAC

管理プレーンのアクセス制御はRBACを使用します。

管理プレーンは、次のようなキーボールド自体に影響を与える操作で構成されます。

\*キーボールドの作成または削除。

\*サブスクリプション内のボールドのリストを取得します。

\* Key Vaultのプロパティ (\$SKUやタグなど)を取得しています。

\*キーとシークレットへのユーザーとアプリケーションのアクセスを制御するKeyVaultアクセスポリシーを設定します。

ボックス2 :RBAC

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-manager-tutorial-use-key-vault>

**質問: 121**

Azure仮想マシンを使用する新しいアプリケーションをデプロイしています。

仮想マシンでDesiredStateConfiguration (DSC) 拡張機能を使用することを計画しています。

仮想マシンに常に同じWindows機能がインストールされていることを確認する必要があります。順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

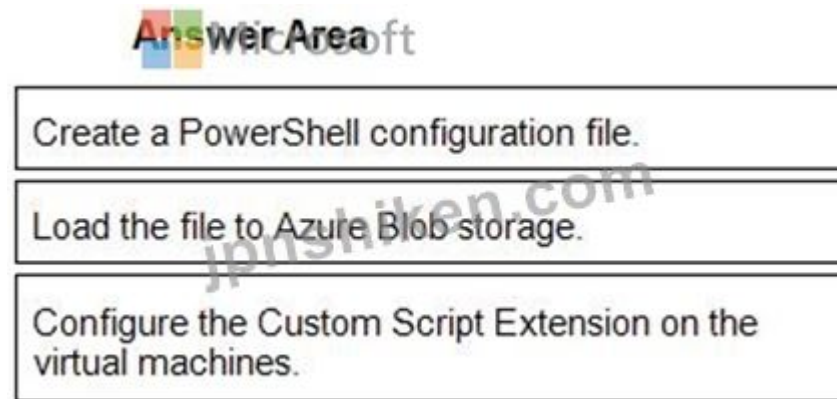


The screenshot shows a list of actions on the left and an answer area on the right. The actions are:

- Load the file to Azure Files.
- Create a PowerShell configuration file.
- Create a YAML configuration file.
- Configure the Custom Script Extension on the virtual machines.
- Configure the DSC extension on the virtual machines.
- Load the file to Azure Blob storage.

The answer area is currently empty. Navigation arrows are visible on the right side of the interface.

正解:



The answer area shows the correct order of actions:

- Create a PowerShell configuration file.
- Load the file to Azure Blob storage.
- Configure the Custom Script Extension on the virtual machines.

- 1-PowerShell構成ファイルを作成します。
- 2-ファイルをAzureBlobストレージにロードします。
- 3-仮想マシンでカスタムスクリプト拡張機能を構成します。

Explanation:

手順1 :PowerShell構成ファイルを作成する

単純なPowerShellDSC構成ファイルを作成します。

手順2 :ファイルをAzureBlobストレージに読み込む

モジュールをパッケージ化して、パブリックにアクセス可能なBLOBコンテナURLに公開しま

す。ステップ3 : 仮想マシンでカスタムスクリプト拡張機能を構成します。

カスタムスクリプト拡張機能は、Azure仮想マシンにスクリプトをダウンロードして実行します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/automation/automation-dsc-getting-started>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-machines/extensions/custom-script-windows>

有効的なAZ-400問題集はJPNTTest.com提供され、AZ-400試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新AZ-400試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここでAZ-400問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> 625問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 122

Pool7のコンピューター用にAzureAutomationを構成する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序で配置します。

The screenshot shows an interface with two main sections: 'Actions' on the left and 'Answer Area' on the right. The 'Actions' list contains five items, each with a description and the command used. The 'Answer Area' has three numbered slots (1, 2, 3) with arrows pointing left and right, and up and down arrows on the right side. A watermark 'jpnshiken.com' is visible across the image.

正解:

The screenshot shows the 'Answer Area' with three slots. The first slot contains the text 'Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of .ps1.'. The second slot contains the text 'Run the Import-...'. The third slot contains the text 'Run the Start-...'. A watermark 'jpnshiken.com' is visible across the image.

1-拡張子が.ps1のDesiredStateConfiguration (DSC) 構成ファイルを作成します。

2-インポートを実行します-..

3-スタートを実行します-..

質問: 123

Project4を実装する必要があります

A. DockerfileファイルにFROM命令を追加します。

あなたは最初に何をすべきですか？

B. ビルトアーティファクトのコピーと公開タスクをビルドパイプラインに追加します。

C. Dockerタスクをビルドパイプラインに追加します。

D. DockerfileファイルにMAINTAINER命令を追加します。

正解: C (コメントを發表する)

シナリオ :Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerRegistryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
-----------	--

Azure Container Registry Tasksコマンドを使用して、Azure内でネイティブにDockerコンテナイメージをすばやくビルド、プッシュ、および実行し、内部ループ開発サイクルをクラウドにオフロードする方法を示します。ACR Tasksは、Azure Container Registry内の一連の機能であり、コンテナのライフサイクル全体でコンテナイメージを管理および変更するのに役立ちます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/container-registry/container-registry-quickstart-task-cli>

質問: 124

AzureDevOpsのダッシュボードのプロジェクトメトリックを推奨する必要があります。

各指標に対してどのチャートウィジェットを推奨する必要がありますか？回答するには、適切なグラフウィジェットを正しい指標にドラッグします。各グラフウィジェットは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Chart Widgets      Answer Area

Burndown	The elapsed time from the creation of work items to their completion:	<input type="text"/>
Cycle Time		
Lead Time	The elapsed time to complete work items once they are active:	<input type="text"/>
Velocity	The remaining work:	<input type="text"/>

正解:

## Chart Widgets

## Answer Area

Burndown

Cycle Time

Lead Time

Velocity

The elapsed time from the creation of work items to their completion:

The elapsed time to complete work items once they are active:

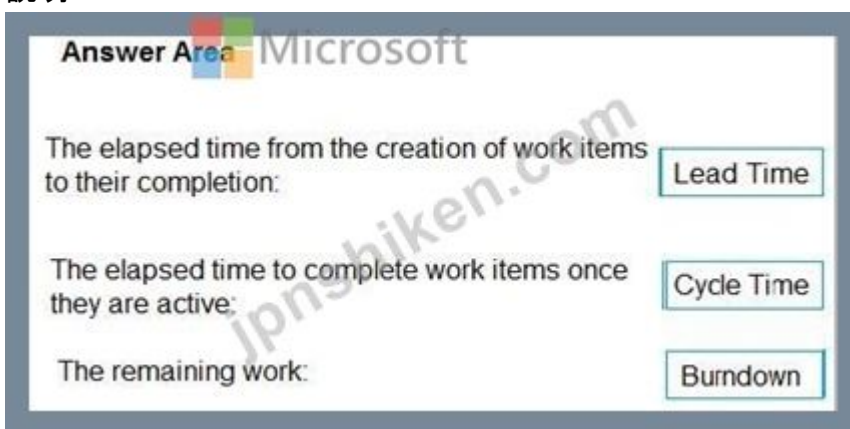
The remaining work:

Lead Time

Cycle Time

Burndown

### 説明



ボックス1 :リードタイム

リードタイムは、作業項目の作成から完了までに経過した合計時間を測定します。

ボックス2 :サイクルタイム

サイクルタイムは、チームが積極的に作業を開始してから作業項目を完了するのにかかる時間を測定します。

ボックス3 :バーンダウン

アジャイルダウンチャートは、特定の期間内の残りの作業に焦点を当てています。

### 質問: 125

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

クラウドでホストされるJenkinsサーバーと新しいAzureDevOpsデプロイメントを統合します。開発者がAzureReposのブランチに変更をコミットしたときに、Jenkinsに通知を送信するにはAzureDevOpsが必要です。

解決策 :ビルドパイプラインにトリガーを追加します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

Jenkinsを使用して、AzureDevOpsServicesとTFSのサービスフックを作成できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/service-hooks/services/jenkins>

質問: **126**

Azureパイプラインにビルドパイプラインがあります。

Slackアプリ統合を作成します。

#Developmentという名前のSlackチャンネルにビルド通知を送信する必要があります。

あなたは最初に何をすべきですか？

A. サービス接続を構成します。

B. サービスフックサブスクリプションを作成します。

C. プロジェクトレベルの通知を作成します。

D. グローバル通知を作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

Slackを使用してAzureDevOpsのサービスフックを作成し、完了したビルド、コードの変更、プルリクエスト、リリース、作業項目の変更など、AzureDevOps組織のイベントに応じてSlackにメッセージを投稿します。

ノート：

1. プロジェクトのサービスフックページに移動します。

エラー！ハイパーリンク参照が無効です。[サブスクリプションの作成]を選択します。

3. Slackチャンネルに表示するイベントの種類を選択します。

4. 作成したSlack統合からWebフックURLを貼り付け、[完了]を選択します。

5. これで、構成したイベントがプロジェクトで発生すると、チームのSlackチャンネルに通知が表示されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/service-hooks/services/slack>

質問: **127**

Azure DevOpsを使用して、ビルドパイプラインとリリースパイプラインを管理します。管理対象環境全体がAzureに存在します。

AzureKeyVaultシークレットにアクセスするためのサービスエンドポイントを構成する必要があります。ソリューションは、次の要件を満たしている必要があります。

\*シークレットがAzureDevOpsによって取得されていることを確認します。

\*AzureDevOpsで資格情報とトークンを永続化することは避けてください。

サービスエンドポイントをどのように構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Service connection type:  ▼

Azure Resource Manager
Generic service
Team Foundation Server / Azure Pipelines service connection

Authentication/authorization method for the connection: ▼

Azure Active Directory OAuth 2.0
Grant authorization
Managed Service Identity Authentication

正解:


Service connection type:  ▼

Azure Resource Manager
Generic service
Team Foundation Server / Azure Pipelines service connection

Authentication/authorization method for the connection: ▼

Azure Active Directory OAuth 2.0
Grant authorization
Managed Service Identity Authentication

説明

Service connection type:  ▼

Azure Resource Manager
Generic service
Team Foundation Server / Azure Pipelines service connection

Authentication/authorization method for the connection: ▼

Azure Active Directory OAuth 2.0
Grant authorization
Managed Service Identity Authentication

ボックス1 :AzurePipelinesサービス接続

ボックス2 :マネージドサービスID認証

Azure Active Directory (Azure AD)のAzureリソース機能の管理対象IDは、AzureADで自動的に管理されるIDをAzureサービスに提供します。IDを使用して、コードにクレデンシャルがなくても、KeyVaultを含むAzureAD認証をサポートする任意のサービスに対して認証できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/tasks/deploy/azure-key-vault>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/active-directory/managed-identities-azure-resources/overview>

質問: 128

投資計画アプリケーションスイートの開発者グループとチームリーダーグループに割り当てる必要があるパッケージフィードアクセスレベルはどれですか？答えるには、適切なアクセスレベルを正しいグループにドラッグします。

各アクセスレベルは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Access Levels

Answer Area

Collaborator

Contributor

Owner

Reader

Developers:

Team Leaders:

正解:

Access Levels

Answer Area

Collaborator

Contributor

Owner

Reader

Developers: Reader

Team Leaders: Owner

説明

Developers: Reader

Team Leaders: Owner

ボックス1:リーダー

Developersという名前のグループのメンバーは、パッケージをインストールできる必要があります。

フィードには、所有者、寄稿者、共同編集者、読者の4つのレベルのアクセス権があります。所有者は、個人、チーム、グループなど、あらゆる種類のIDをあらゆるアクセスレベルに追加できます。

ボックス2：所有者

チームリーダーという名前のグループのメンバーは、新しいパッケージを作成し、パッケージフィードの権限を編集できる必要があります。

Permission	Reader	Collaborator	Contributor	Owner
List and restore/install packages	✓	✓	✓	✓
Save packages from upstream sources		✓	✓	✓
Push packages			✓	✓
Unlist/deprecate packages				✓
Delete/unpublish package				✓
Edit feed permissions				✓
Rename and delete feed				✓

質問: 129

大規模なエンタープライズアプリケーションのGitリポジトリを管理します。

リポジトリのデータサイズを最小化する必要があります。

コマンドをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area

```
git gc --aggressive --auto --force --no-prune now
git prune merge prune rebase reset --expire now
```

正解:



説明



質問: 130

Azure Pipelinesでビルドパイプラインを設計しています。

パイプラインには、自己ホスト型エージェントが必要です。ビルドパイプラインは1日1回実行され、完了するまでに30分かかります。

エージェントの計算タイプを推奨する必要があります。ソリューションはコストを最小限に抑える必要があります。

何をお勧めしますか？

- A. Azure仮想マシン
- B. Azure仮想マシンのスケールセット
- C. Azure Kubernetes Service (AKS) クラスター
- D. Azureコンテナインスタンス

正解: D (コメントを发表する)

パイプラインがAzure Pipelinesにある場合は、Microsoftがホストするエージェントを使用してジョブを実行するための便利なオプションがあります。Microsoftがホストするエージェントを使用すると、メンテナンスとアップグレードが自動的に行われます。パイプラインを実行するたびに、新しい仮想マシンを取得します。仮想マシンは、1回の使用後に破棄されます。Microsoftがホストするエージェントは、VM上またはコンテナ内で直接ジョブを実行できます。

注: Microsoftがホストするエージェントを無料で試すことができます。

参照:

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/agents/hosted>

質問: 131

次の表に示すように、2つのアプリケーションのリリース戦略を定義しています。

Application name	Goal
App1	Failure of App1 has a major impact on your company. You need a small group of users, who opted in to a testing App1, to test new releases of the application.
App2	You need to minimize the time it takes to deploy new releases of App2, and you must be able to roll back as quickly as possible.

各アプリケーションにどのリリース戦略を使用する必要がありますか？答えるには、適切なリリース戦略を正しいアプリケーションにドラッグします。各リリース戦略は、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ページ間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

### Release Strategies

Blue/Green deployment

Canary deployment

Rolling deployment

### Answer Area:

App1:

App2:

正解:

App1:

Canary deployment

App2:

Rolling deployment

App1 :カナリアの展開

カナリアデプロイメントでは、本番インフラストラクチャのごく一部に新しいアプリケーションコードをデプロイします。

アプリケーションがリリースのためにサインオフされると、少数のユーザーのみがそのアプリケーションにルーティングされます。これにより、影響が最小限に抑えられます。

エラーが報告されていない場合、新しいバージョンはインフラストラクチャの残りの部分に徐々に展開できます。

App2 :ローリングデプロイメント :

ローリングデプロイメントでは、アプリケーションの新しいバージョンが徐々に古いバージョンに置き換わります。実際の展開は、一定期間にわたって行われます。その間、機能やユーザーエクスペリエンスに影響を与えることなく、新旧のバージョンが共存します。このプロセスにより、古いコンポーネントと互換性のない新しいコンポーネントを簡単にロールバックできます。

質問: 132

次の要件を満たすには、Azure DevOps エージェントプールへのアクセスを構成する必要があります。

ビルドまたはリリースパイプラインを作成するときは、プロジェクトエージェントプールを使用します。

組織のエージェントプールとエージェントを表示します。

最小特権の原則を使用します。

Azure DevOps 組織とプロジェクトに必要なロールメンバーシップはどれですか？回答するには、適切なロールメンバーシップを正しいターゲットにドラッグします。各役割のメンバーシップは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/agents/pools-queues>

質問: 133

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べら

れた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Azure Resource Managerテンプレートを使用して、Azureリソースをデプロイするリリースパイプラインを作成することを計画しています。リリースパイプラインは、次のリソースを作成します。

\*2つのリソースグループ

\*1つのリソースグループに4つのAzure仮想マシン

\*他のリソースグループにある2つのAzureSQLデータベース

リソースをデプロイするためのソリューションを推奨する必要があります。

解決策 2つのリンクされたテンプレートを持つメインテンプレートを作成します。各テンプレートは、それぞれのグループにリソースをデプロイします。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

ソリューションをデプロイするには、単一のテンプレートまたは多くの関連テンプレートを含むメインテンプレートのいずれかを使用できます。関連するテンプレートは、メインテンプレートからリンクされている個別のファイル、またはメインテンプレート内にネストされているテンプレートのいずれかです。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-group-linked-templates>

質問: 134

投資計画アプリケーションスイートの開発者グループとチームリーダーグループに割り当てる必要があるパッケージフィードアクセスレベルはどれですか？答えるには、適切なアクセスレベルを正しいグループにドラッグします。

各アクセスレベルは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Access Levels  Answer Area

Collaborator

Contributor


Owner

Reader

Developers:

Team Leaders:

正解:

Actions  Answer Area

Create a repository

Add a build policy for the fork.

Create a branch.

Add a build policy for the master branch.

Add an application access policy.

Create a fork.

Create a repository

Add a build policy for the master branch.

Create a branch.

説明

Developers:

Team Leaders:

ボックス1 :リーダー

Developersという名前のグループのメンバーは、パッケージをインストールできる必要があります。

フィードには、所有者、寄稿者、共同編集者、読者の4つのレベルのアクセス権があります。所有者は、個人、チーム、グループなど、あらゆる種類のIDをあらゆるアクセスレベルに追加できます。

ボックス2 : 所有者

チームリーダーという名前のグループのメンバーは、新しいパッケージを作成し、パッケージフィードの権限を編集できる必要があります。

Permission	Reader	Collaborator	Contributor	Owner
List and restore/install packages	✓	✓	✓	✓
Save packages from upstream sources		✓	✓	✓
Push packages			✓	✓
Unlist/deprecate packages			✓	✓
Delete/unpublish package				✓
Edit feed permissions				✓
Rename and delete feed				✓

**質問: 135**

あなたの会社は、次のエンドポイントにアプリケーションをデプロイすることを計画しています。

\*Azureでホストされている10台の仮想マシン。

\*オンプレミスのデータセンター環境でホストされる10台の仮想マシンすべての仮想マシンには、AzurePipelinesエージェントがあります。

アプリケーションをエンドポイントにデプロイするためのリリース戦略を実装する必要があります。

アプリケーションをエンドポイントにデプロイするために何を使用することをお勧めしますか？

答えるには、適切なコンポーネントを正しいエンドポイントにドラッグします。

各コンポーネントは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間またはすぐに分割バーをドラッグする必要がある場合があります。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントに相当します。

**Components**

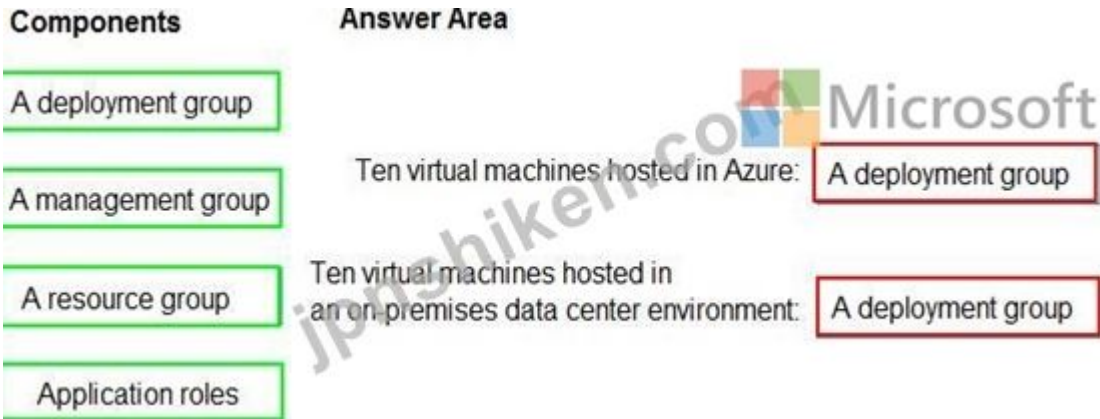
- A deployment group
- A management group
- A resource group
- Application roles

**Answer Area**

Ten virtual machines hosted in Azure:

Ten virtual machines hosted in an on-premises data center environment:

正解:



Explanation:

ボックス1：展開グループ

AzureパイプラインまたはTFSリリースパイプラインを作成するときに、展開グループを使用してジョブの展開ターゲットを指定できます。

ターゲットマシンがAzureVMの場合、各VMにAzure Pipelines Agent Azure VM拡張機能をインストールするか、リリースパイプラインでAzure Resource Group Deploymentタスクを使用して展開グループを動的に作成することにより、すばやく簡単に準備できます。

ボックス2：展開グループ

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/deployment-groups>

質問: 136

あなたの会社はインシデント管理にServiceNowを使用しています。

Azureで実行されるアプリケーションを開発します。

アプリケーションが認証に失敗した場合、会社はServiceNowでチケットを生成する必要があります。

どのAzureLogAnalyticsソリューションを使用する必要がありますか？

- A. ApplicationInsightsコネクタ
- B. 自動化と制御
- C. ITサービス管理コネクタ (ITSM)
- D. インサイトとアナリティクス

正解: ([正解を表示します](#))

説明

ITサービス管理コネクタ (ITSMC)を使用すると、AzureとサポートされているITサービス管理 (ITSM) 製品サービスを接続できます。

ITSMCは、以下のITSMツールとの接続をサポートします。

ServiceNow

システムセンターサービスマネージャー

プロヴァンス

チャーウエル

ITSMCを使用すると、次のことができます

Azureアラート (メトリックアラート、アクティビティログアラート、およびログ分析アラート)に基づいて、ITSMツールで作業項目を作成します。

オプションで、インシデントを同期し、リクエストデータをITSMツールからAzureLogAnalyticsワークスペースに変更できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/platform/itsmc-overview>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 137

認証を必要とするMicrosoftASP.NETアプリケーションを構築しています。Azure Active Directory (Azure AD)を使用してユーザーを認証する必要があります。あなたは最初に何をすべきですか？

- A. AzureADでアプリ登録を作成します。
- B. アプリケーションから新しいOAuthトークンを作成します。
- C. SAMLエンドポイントを使用するようにアプリケーションを構成します。
- D. エンタープライズアプリケーションをユーザーとグループに割り当てます。
- E. AzureSQLデータベースにメンバーシップデータベースを作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 138

AzureWebAppsフロントエンドとAzureSQLDatabaseバックエンドの多層アプリケーションがあります。

テレメトリデータをキャプチャして保存するためのソリューションを推奨する必要があります

a. ソリューションは、次の要件を満たしている必要があります。

- \*ベースラインを識別するためのアドホッククエリの使用をサポートします。
- \*ベースラインのメトリックを超えたときにアラートをトリガーします。
- \*アプリケーションとデータベースのメトリックを中央の場所に保存します。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

- A. Azure Application Insights
- B. AzureSQLデータベースIntelligentInsights
- C. Azureイベントハブ
- D. Azure Log Analytics

正解: ([正解を表示します](#))

Azure SQLやWebサイト (Web Apps)などのAzure Platform as a Service (PaaS) リソースは、パフォーマンスメトリックデータをLogAnalyticsにネイティブに送信できます。

プレミアムプランは最大12か月のデータを保持し、優れたベースライン機能を提供します。Azureポータルでは、ログ分析に保存されているデータを分析するためと、アドホック分析のためのクエリを作成するための2つのオプションを利用できます。

#### 質問: 139

AzureDevOpsを使用してiOSアプリケーションを開発しています。

アプリケーションを一般に公開せずに、10台のデバイスで手動でアプリケーションをテストする必要があります。

実行する必要がある2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. MicrosoftIntuneデバイスコンプライアンスポリシーを作成します。
- B. 内部認証局 (CA) から各デバイスに証明書を展開します。
- C. アプリケーションをiTunesストアに登録します。
- D. デバイスをMicrosoftIntuneにオンボードします。
- E. アプリケーションの新しいリリースを配布します。
- F. AppleDeveloperポータルにデバイスのIDに登録します。

正解: ([正解を表示します](#))

B：次の手順に従って、デバイスを登録します。

[デバイスの登録]ボタンを選択します。

AppleDeveloperポータルで使用されているユーザー名とパスワードの入力を求めるダイアログが表示されます。

Appleのユーザー名とパスワードでサインインすると、AppCenterはプロビジョニングされていないデバイスをApple開発者アカウントとリリースプロビジョニングプロファイルの両方に追加します。

オプションで、.p12ファイルをアップロードしてアプリに再署名し、新しく追加されたデバイスに配布できます。.p12ファイルを生成する方法の詳細をお読みください。

F：デバイスを登録するということは、デバイスをApple Developer Portalのデバイスのリストの一部にして、プロビジョニングプロファイルに含めることができるようにすることを意味します。

不正解：

C：一般公開の準備ができたときにのみ、アプリケーションをiTunesストアに登録してください。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/appcenter/distribution/auto-provisioning>

#### 質問: 140

AzureDevOpsにプライベートプロジェクトがあります。

プロジェクトマネージャーがプロジェクトの進行状況を報告するためのカスタム作業項目クエリを作成できることを確認する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

プロジェクトマネージャーをどのセキュリティグループに追加する必要がありますか？

- A. 寄稿者
- B. リーダー
- C. プロジェクトコレクション管理者
- D. プロジェクト管理者

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 141

複数のリソースグループのリソースを含むAzureサブスクリプションがあります。

統合されたビューを提供する監視戦略を設計する必要があります。ソリューションは、次の要件をサポートする必要があります。

\* Azure Active Directory (Azure AD) IDを使用して、役割ベースのアクセス制御 (RBAC) をサポートします。

\* Kusto クエリ言語を使用して生成された Azure Monitor のビジュアルを含めます。

\* マークダウンで書かれたサポートドキュメント。

\* 各ビジュアルで利用可能な最新のデータを使用してください。

統合ビューを作成するには、何を使用する必要がありますか？

- A. Azure モニター
- B. Microsoft Power BI
- C. Azure Data Explorer
- D. Azure ダッシュボード

正解: C ([コメントを发表する](#))

Kusto など、Azure Data Explorer でクエリを実行するために使用できるツールがいくつかあります。

Kusto は、認証されたプリンシパルがロールにマップされ、割り当てられたロールに従ってアクセスを取得する、ロールベースのアクセス制御 (RBAC) モデルを使用します。

注: Azure Data Explorer は、高度にスケーラブルで安全な分析サービスであり、構造化データと非構造化データを豊富に調査して、即座に洞察を得ることができます。アドホッククエリ用に最適化された Azure Data Explorer は、生データ、構造化データ、および半構造化データに対する豊富なデータ探索を可能にし、洞察までの時間を短縮します。高速でアドホックで高度なクエリ機能を高レート of データボリュームと種類で提供する、最新の直感的なクエリ言語を使用したクエリ参照:

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/data-explorer/tools-integrations-overview>

質問: 142

GitHub リポジトリ用の Azure Pipelines のパイプラインを含む ContosoApp という名前の

Azure DevOps にプロジェクトがあります。Contoso App のパイプラインで障害が発生したときに、開発者が Microsoft Teams の通知を確実に受信するようにする必要があります。Teams で何を実行する必要がありますか？答えるには、答えの中から適切なオプションを選択してください。

注: 正しい選択はそれぞれ 1 ポイントの価値があります。

Answer Area

@azure pipelines	feedback signin subscribe subscriptions	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/ https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_build https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_packaging https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_work-items
------------------	--	---

正解:

Answer Area

@azure pipelines	feedback signin subscribe subscriptions	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/ https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_build https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_packaging https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_work-items
------------------	--	---

質問: 143

投資計画枯渇スイートのリリース保持ポリシーをどのように確認する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Microsoft

Required secrets:

- Certificate
- Personal access token
- Shared Access Authorization token
- Username and password

Storage location:

- Azure Data Lake
- Azure Key Vault
- Azure Storage with HTTP access
- Azure Storage with HTTPS access

正解:

Actions

- Create a fork
- Create a branch
- Add a build validation policy.
- Add a build policy
- Create a repository
- Add an application access policy.

Answer Area

- Create a repository
- Create a branch
- Add a build validation policy.

説明

Required secrets:

- Certificate
- Personal access token
- Shared Access Authorization token
- Username and password

Storage location:

- Azure Data Lake
- Azure Key Vault
- Azure Storage with HTTP access
- Azure Storage with HTTPS access

ストレージサービスに対して行われるすべてのリクエストは、パブリックアクセスまたは署名されたアクセスに利用できるようになっているBLOBまたはコンテナリソースに対するリクエストでない限り、承認する必要があります。リクエストを承認するための1つのオプションは、共有キーを使用することです。

シナリオ :モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービスを呼び出すことができる必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介した基本認証のみをサポートします。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されます。もう1つは顧客が使用します。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/rest/api/storageservices/authorize-with-shared-key>

#### 質問: 144

Azure DevOpsを使用して、Javaベースのアプリケーションのビルドプロセスを自動化しています。

コードカバレッジテストを追加し、結果をパイプラインに公開する必要があります。

何をすべきですか？

- A. コベルトウーラ
- B. ブルズアイカバレッジ
- C. MSTest
- D. 掛け布団

正解: [\(正解を表示します\)](#)

ビルドパイプラインで[コードカバレッジ結果の公開]タスクを使用して、CoberturaまたはJaCoCo形式のビルドによって生成されたコードカバレッジ結果をAzure PipelinesまたはTFSに公開します。

参照 :

**質問: 145**

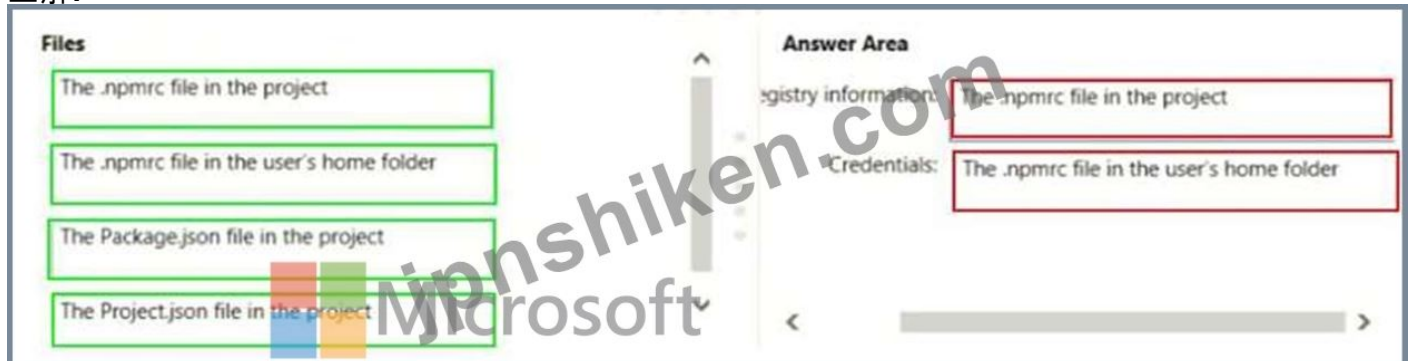
Azure Artifactsを使用して、Node.jsアプリケーションのパッケージ管理ソリューションを実装しています。

パッケージリポジトリに接続するように開発環境を構成する必要があります。このソリューションでは、資格情報が漏洩する可能性を最小限に抑える必要があります。

各接続を構成するためにどのファイルを使用する必要がありますか？答えるには、適切なファイルを正しい接続にドラッグします。各ファイルは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



**正解:**



**Explanation:**

すべてのAzureArtifactsフィードには認証が必要なため、パッケージをインストールまたは公開する前に、フィードのクレデンシャルを保存する必要があります。npmは、.npmrc構成ファイルを使用してフィードのURLと資格情報を保存します。Azure DevOps Servicesでは、2つの.npmrcファイルを使用することをお勧めします。

フィードレジストリ情報 :プロジェクトの.npmrcファイル

1つの.npmrcは、プロジェクトのpackage.jsonに隣接するgitリポジトリのルートに存在する必要があります。フィードの「レジストリ」行が含まれている必要があります。また、gitにチェックインされるため、資格情報は含まれていません。

クレデンシャル :ユーザーのホームフォルダーにある.npmrcファイル

開発マシンでは、LinuxまたはMacシステムの場合は\$ homeに、winシステムの場合は\$env.HOMEに.npmrcもあります。この.npmrcには、接続する必要があるすべてのレジストリの資格情報が含

まれている必要があります。NPMクライアントは、プロジェクトの.npmrcを確認し、レジストリを検出して、一致する資格情報を\$ home/.npmrcまたは\$env.HOME/.npmrcからフェッチします。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/artifacts/npm/npmrc?view=azure-devops&tabs=windows>

#### 質問: 146

ASP.NETCoreアプリのコンテナを作成しています。

イメージをビルドするには、Dockerfileファイルを作成する必要があります。ソリューションでは、画像のサイズを最小化する必要があります。

ファイルをどのように構成する必要がありますか？答えるには、適切な値を正しいターゲットにドラッグします。各値は、1回使用するか、複数回使用するか、まったく使用しないでください。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area

Values

- dotnet publish -c Release -o out
- dotnet restore
- microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
- Microsoft/dotnet:2.2-sdk

FROM [ ] As build-env

COPY ./app/

WORKDIR /app

RUN [ ]

FROM [ ]

COPY --from=build-env /app/out /app

WORKDIR /app

ENTRYPOINT ["dotnet", "MvcMovie.dll"]

正解:

Answer Area

Values

- dotnet publish -c Release -o out
- dotnet restore
- microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
- Microsoft/dotnet:2.2-sdk

FROM Microsoft/dotnet:2.2-sdk As build-env

COPY ./app/

WORKDIR /app

RUN dotnet restore

FROM microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime

COPY --from=build-env /app/out /app

WORKDIR /app

ENTRYPOINT ["dotnet", "MvcMovie.dll"]

Explanation:

ボックス1 microsoft.com/dotnet/sdk:2.3

行の最初のグループは、その上にコンテナを構築するために使用するベースイメージを宣言しま

す。ローカルシステムにこのイメージがまだない場合、dockerは自動的にイメージをフェッチしようとしています。mcr.microsoft.com/dotnet/core/sdk:2.1には、.NET Core 2.1 SDKがインストールされたパッケージが付属しているため、バージョン2.1を対象としたASP.NETCoreプロジェクトを構築する必要があります。

#### ボックス2 :ドットネットの復元

次の命令は、コンテナ内の作業ディレクトリを/ appに変更するため、これに続くすべてのコマンドはこのコンテキストで実行されます。

コピー\*.csproj./

dotnetrestoreを実行する

#### ボックス3 .microsoft.com/dotnet/2.2-aspnetcore-runtime

コンテナイメージを構築するときは、本番ペイロードとその依存関係のみをコンテナイメージに含めることをお勧めします。.NETコアランタイムのみが必要なため、最終イメージに.NETコアSDKを含めたくないため、dockerfileは、build-envと呼ばれるSDKにパッケージ化された一時コンテナを使用してアプリをビルドするように記述されています。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/de-DE/virtualization/windowscontainers/quick-start/building-sample-app>

#### 質問: 147

Project4を実装する必要があります。

あなたは最初に何をすべきですか？

- A. DockerfileファイルにFROM命令を追加します。
- B. ビルドアーティファクトのコピーと公開タスクをビルドパイプラインに追加します。
- C. Dockerタスクをビルドパイプラインに追加します。
- D. DockerfileファイルにMAINTAINER命令を追加します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

シナリオ :Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerRegistryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
-----------	--

Azure Container Registry Tasksコマンドを使用して、Azure内でネイティブにDockerコンテナイメージをすばやくビルド、プッシュ、および実行し、内部ループ「開発サイクルをクラウドにオフロードする方法を示します。ACR Tasksは、Azure Container Registry内の一連の機能であり、コンテナのライフサイクル全体でコンテナイメージを管理および変更するのに役立ちます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/container-registry/container-registry-quickstart-task-cli>

#### 質問: 148

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べら

れた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

条件を含む承認プロセスがあります。この条件では、リリースを展開する前に、チームリーダーがリリースを承認する必要があります。

承認は8時間以内に行う必要があるというポリシーがあります。

承認に2時間以上かかると、展開が失敗することがわかります。

承認に8時間以上かかる場合にのみ、展開が失敗することを確認する必要があります。

解決策：展開前の条件から、[ゲートの再評価間の時間]オプションを変更します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: **A** ([コメントを發表する](#))

説明/参照：

Explanation:

ゲートを使用すると、外部サービスからヘルスシグナルを自動的に収集し、すべてのシグナルが同時に成功したときにリリースをプロモートするか、タイムアウト時に展開を停止できます。通常、ゲートは、インシデント管理、問題管理、変更管理、監視、および外部承認システムに関連して使用されます。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/approvals/gates> 承認とゲートを使用すると、展開パイプラインの開始と完了をさらに制御できます。

リリースパイプラインの各ステージは、ユーザーが手動で展開を承認または拒否するのを待つことや、特定の条件が確認されるまで他の自動システムで確認することなど、展開前および展開後の条件で構成できます。

#### 質問: 149

注：この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。このセクションの質問に回答すると、その質問に戻ることはできなくなります。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

条件を含む承認プロセスがあります。この条件では、リリースを展開する前に、チームリーダーがリリースを承認する必要があります。

承認は8時間以内に行う必要があるというポリシーがあります。

承認が2時間以上かかると、展開が失敗することがわかります。

承認に8時間以上かかる場合にのみ、展開が失敗することを確認する必要があります。

解決策：展開前の条件から、展開前の承認のタイムアウト設定を変更します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

代わりに承認の代わりにゲートを使用してください。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/approvals/gates>

質問: 150

RBAC対応クラスターでHelmandTitle to Azure Kubemets Service (AKS)を使用して、グラフを展開するためのソリューションを推奨する必要があります。

m系列で実行することをお勧めする3つのコマンドはどれですか？回答するには、適切なコマンドをコマンドのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Commands	Answer Area
helm install	
kubectl create	
helm completion	
helm init	
helm serve	

正解:

Answer Area
kubectl create
helm init
helm install

1-Kubectl create

2-ヘルム初期化

3-ヘルムインストール

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/kubernetes-helm>

[https://docs.helm.sh/using\\_helm/#tiller-namespaces-and-rbac](https://docs.helm.sh/using_helm/#tiller-namespaces-and-rbac)

質問: 151

az400-9940427-mainという名前のAzureWebアプリがローリングアップグレードをサポートしていることを確認する必要があります。このソリューションでは、az400-9940427-mainに接続するユーザーの10%のみがアプリの更新バージョンを使用するようにする必要があります。

ソリューションは、管理作業を最小限に抑える必要があります。

このタスクを完了するには、Microsoft Azureポータルにサインインします。

正解:

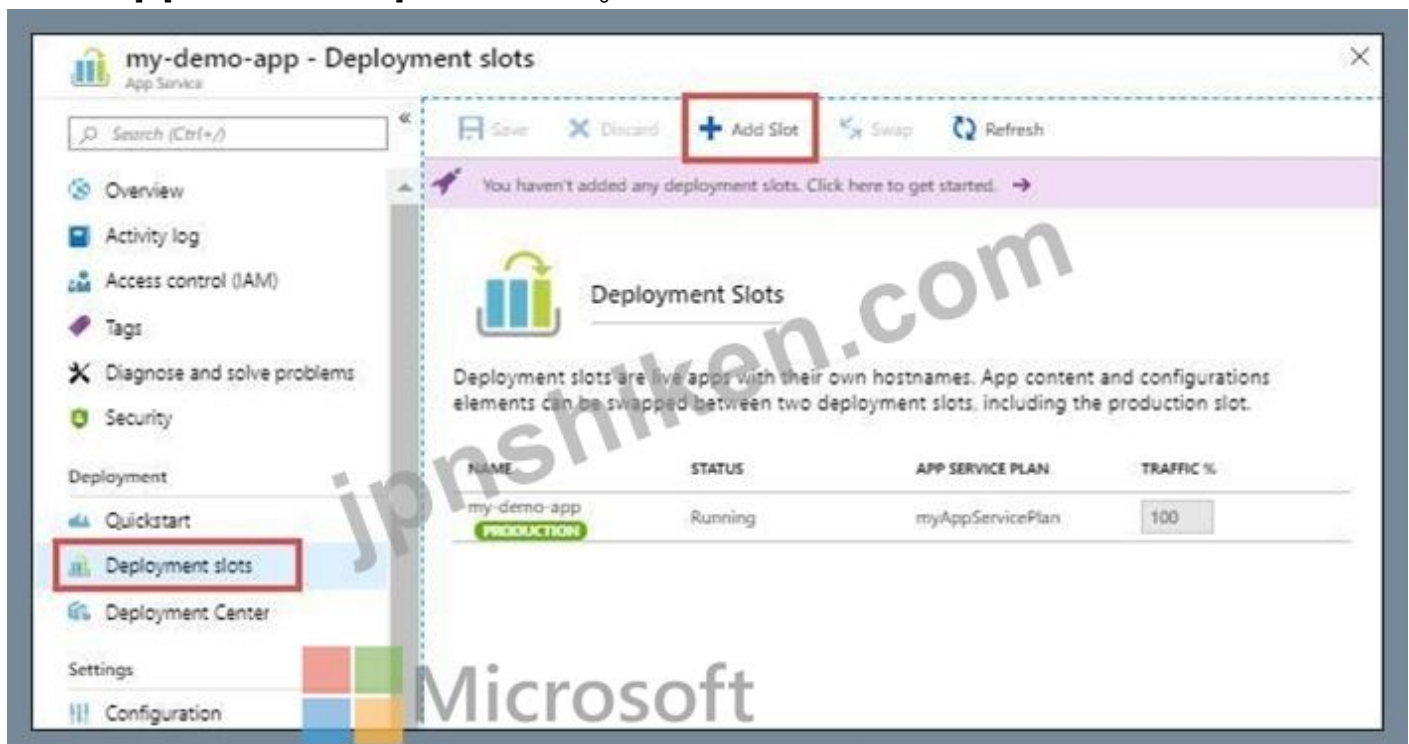
以下の解決策を参照してください。

説明

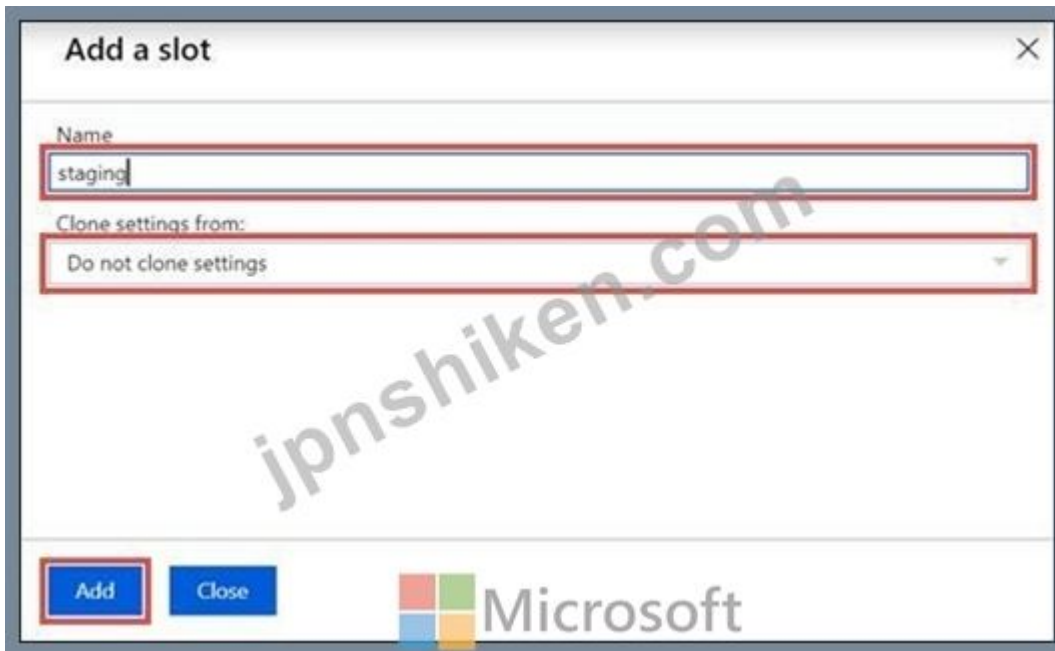
AzureAppServiceでステージング環境をセットアップする

1. Microsoft Azureポータルを開きます

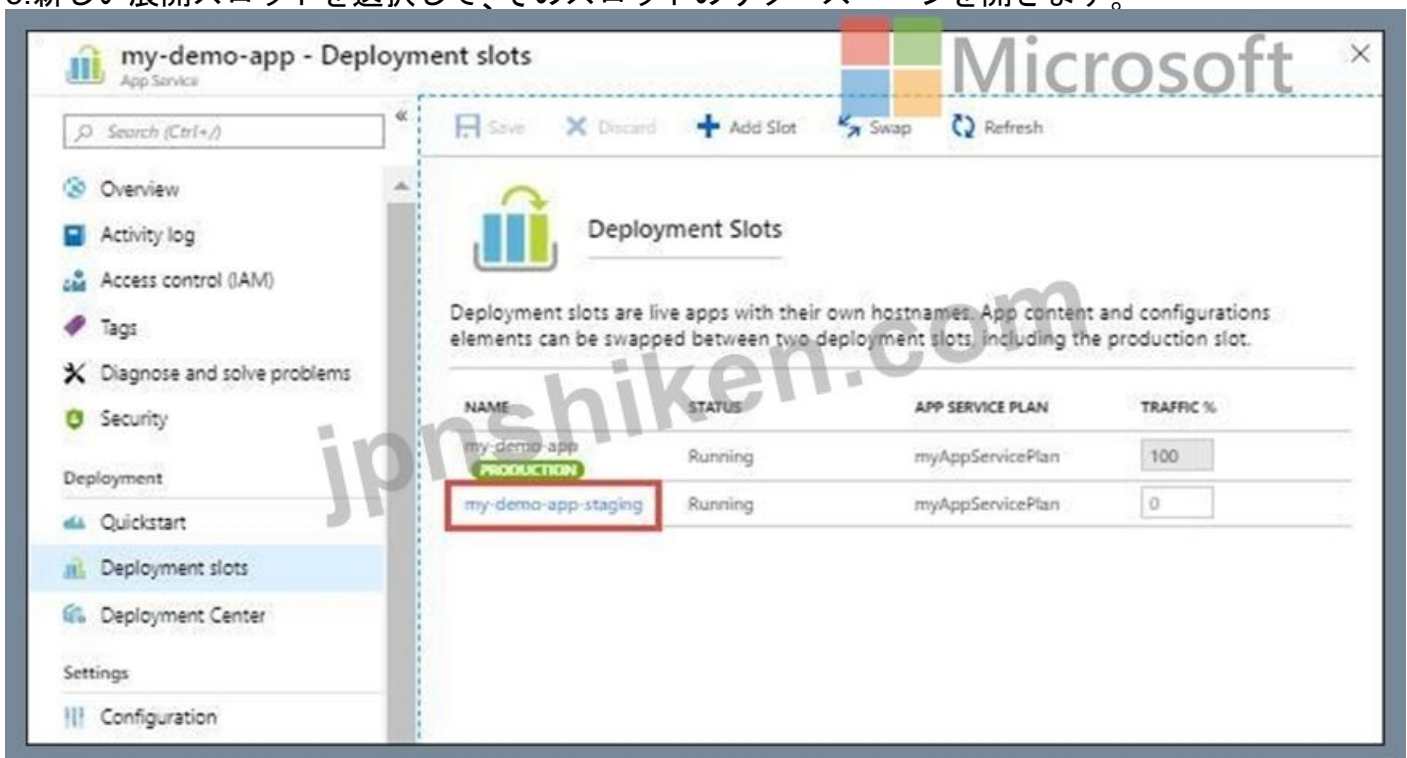
2. Azureアカウントにログインし、アプリのリソースページを選択し、左側のウィンドウで[展開スロット]>[スロットの追加]を選択します。



3. [スロットの追加]ダイアログボックスで、スロットに名前を付け、別の展開スロットからアプリ構成を複製するかどうかを選択します。[追加]を選択して続行します。



4. スロットを追加したら、[閉じる]を選択してダイアログボックスを閉じます。これで、新しいスロットが[展開スロット]ページに表示されます。デフォルトでは、新しいスロットのトラフィック%は0に設定されており、すべての顧客トラフィックは本番スロットにルーティングされます。
5. 新しい展開スロットを選択して、そのスロットのリソースページを開きます。



6. トラフィック%を10に変更します

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/deploy-staging-slots>

有効的なAZ-400問題集はJPNTTest.com提供され、AZ-400試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新AZ-400試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここでAZ-400問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> 625問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 152

あなたの会社は、Azure Application Insightsを使用して、ユーザーの行動がアプリケーションにどのように影響するかを理解したいと考えています。

各動作を分析するには、どのアプリケーションインサイトツールを使用する必要がありますか？

答えるには、適切なツールを正しい動作にドラッグします。各ツールは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Tools

- Impact
- User Flows
- Users

Answer Area

- Feature usage:
- User actions by day:
- The effect that the performance of the application has on the usage of a page or a feature:

正解:

Tools

- Impact
- User Flows
- Users

Answer Area

- Feature usage: User Flows
- User actions by day: Users
- The effect that the performance of the application has on the usage of a page or a feature: Impact

Explanation:

ボックス1 :ユーザーフロー

ユーザーフローツールは、ユーザーがサイトのページと機能の間をどのように移動するかを視覚化します。次のような質問に答えるのに最適です。

ユーザーはどのようにしてサイトのページから移動しますか？

ユーザーはあなたのサイトのページをクリックしますか？

ユーザーがあなたのサイトから最も離れている場所はどこですか？

ユーザーが同じアクションを何度も繰り返す場所がありますか？

ボックス2 :ユーザー

ボックス3 : 影響

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/app/usage-flows>

質問: 153

App1の認証を構成する必要があります。ソリューションは、計画された変更をサポートする必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、すべてのアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions Commands Cmdlets Statements

Answer Area

Create an app.

Add a secret.

Create a credential.

Configure the ID and secret for App1.

Create a managed service identity.

正解:

Answer Area

Create an app.

Create a managed service identity.

Configure the ID and secret for App1.

1-アプリを作成します。

2-マネージドサービスIDを作成します。

3-App1のIDとシークレットを構成します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/active-directory/develop/howto-create-service-principal-portal>

#### 質問: 154

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

条件を含む承認プロセスがあります。この条件では、リリースを展開する前に、チームリーダーがリリースを承認する必要があります。

承認は8時間以内に行う必要があるというポリシーがあります。

承認に2時間以上かかると、展開が失敗することがわかります。

承認に8時間以上かかる場合にのみ、展開が失敗することを確認する必要があります。

解決策 :デプロイメント後の条件から、デプロイメント後の承認のタイムアウト設定を変更します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

説明

代わりに、展開前の条件を使用してください。

代わりに承認の代わりにゲートを使用してください。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/approvals/gates>

#### 質問: 155

あなたの会社はGitソースコードリポジトリを使用しています。

ワークフロー戦略としてGitFlowを実装することを計画しています。

ストラテジーの実動コードと実動前コードに使用されているブランチタイプを特定する必要があります。

コードタイプごとにどのブランチタイプを特定する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area

Production code: Master  
Feature  
Develop

Preproduction code: Master  
Feature  
Develop



正解:

Answer Area

Production code: Master  
Feature  
Develop

Preproduction code: Master  
Feature  
Develop



参照:

<https://medium.com/@patrickporto/4-branching-workflows-for-git-30d0aee7bf>

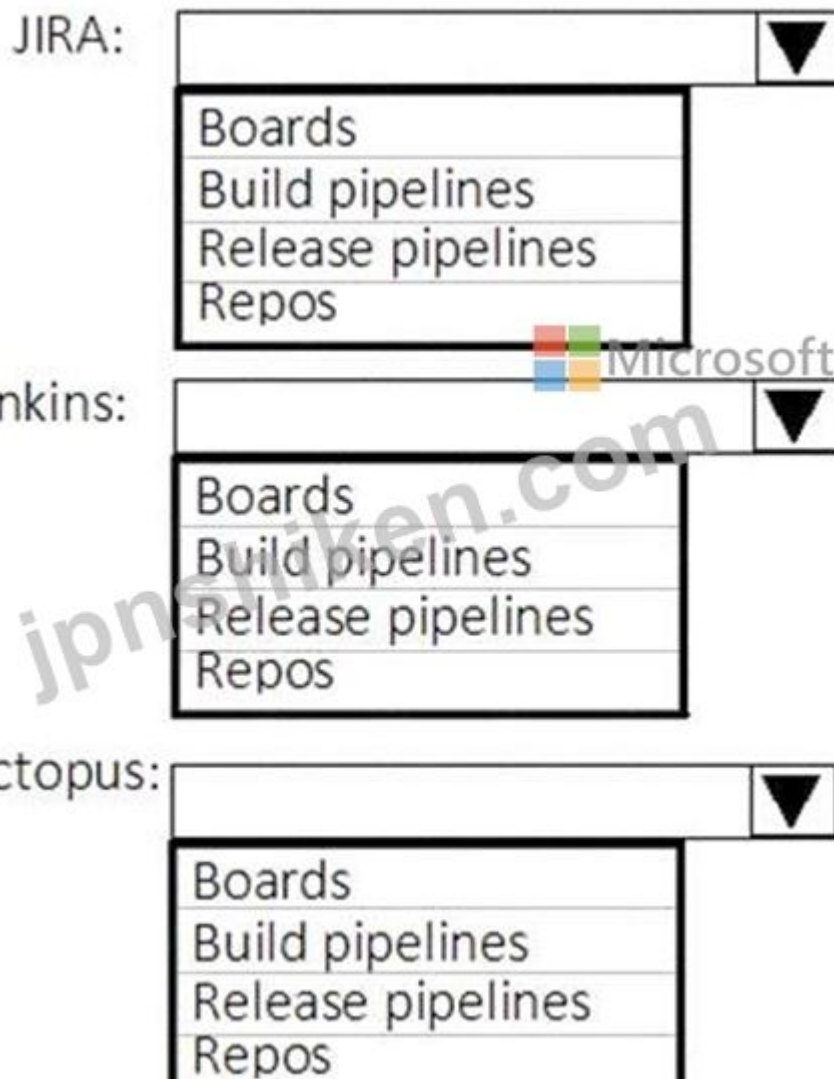
質問: 156

現在、DevOpsプロセスの一部としてJIRA、Jenkins、およびOctopusを使用しています。

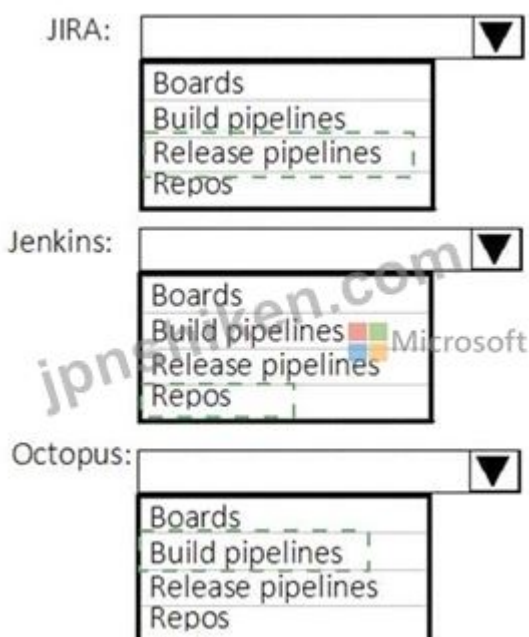
これらのツールの代わりにAzureDevOpsを使用する予定です。

各ツールを置き換えるためにどのAzureDevOpsサービスを使用する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

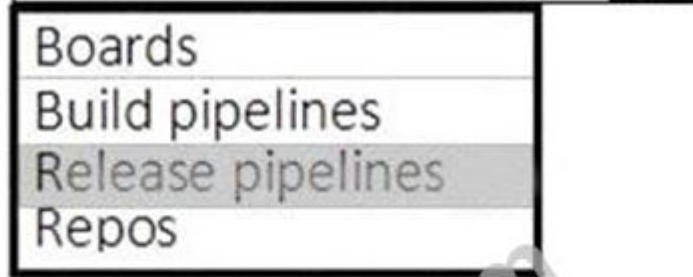


正解:

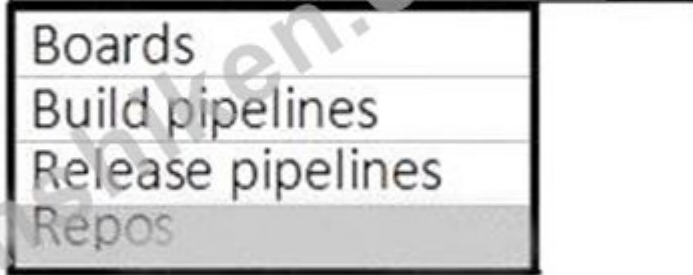


説明

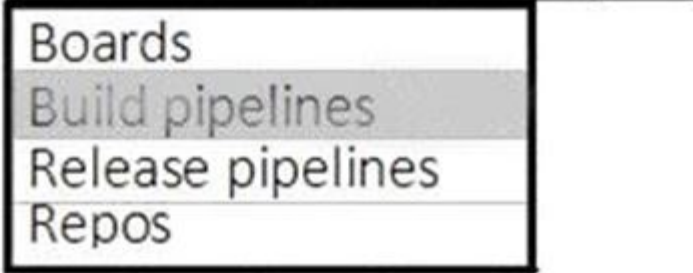
JIRA:



Jenkins:



Octopus:



### JIRA パイプラインをリリース

AtlassianのJiraSoftwareは、チームがソフトウェアリリースを計画、追跡、および管理するのに役立つ人気のあるアプリケーションです。一方、Octopus Deployは、チームが開発および運用プロセスを高速で反復可能かつ信頼性の高い方法で自動化するのに役立ちます。これらを組み合わせることで、チームはアイデアから本番環境までのソフトウェアパイプラインをエンドツーエンドで把握できるようになります。

### ジェンキンス :リポジトリ

JenkinsをAzurePipelinesと統合する1つの方法は、JenkinsでCIジョブを個別に実行することです。これには、JenkinsでのCIパイプラインの構成と、ソースコードがリポジトリまたはブランチにプッシュされたときにCIプロセスを呼び出すAzureDevOpsでのWebフックの構成が含まれます。

### タコ :パイプラインを構築する

参照 :

<https://octopus.com/blog/octopus-jira-integration>

<https://www.azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/jenkins/>

## 質問: 157

AzureAppServiceでホストされているWebアプリがあります。Webアプリは、データをAzureSQLデータベースに格納します。

データベースへの同時接続が10,000ある場合は、アラートを生成する必要があります。ソリューションは、開発の労力を最小限に抑える必要があります。

データベースの診断設定でどのオプションを選択する必要がありますか？

A. LogAnalyticsに送信

B. mストレージアカウントにアーカイブ

C. イベントハブにストリーミング

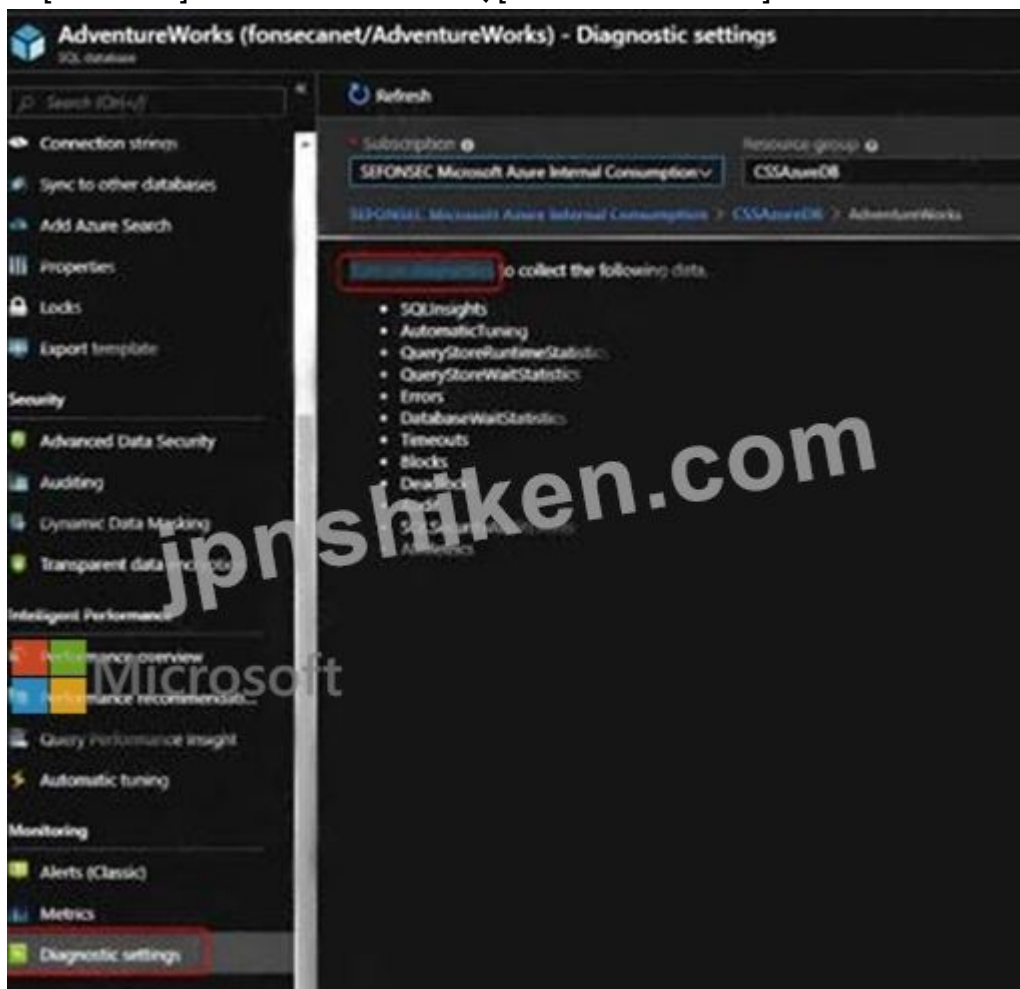
正解: [A \(コメントを发表する\)](#)

### 説明

分析をログに記録するための診断を有効にする

この構成はデータベースごとに行われます

1. [診断設定]をクリックしてから、[診断をオンにする]をクリックします



2. [ログ分析に送信]を選択し、[ログ分析]ワークスペースを選択します。このサンプルでは、エラー



参照：

<https://techcommunity.microsoft.com/t5/azure-database-support-blog/azure-sql-db-and-log-analytics-better-toget>

#### 質問: 158

Azure Pipelinesを使用して、プロジェクトのビルドとデプロイを管理します。

新しいビルドのリリースの準備ができたときに、Azure Pipelines for Microsoft Teamsを使用して、法務チームに通知することを計画しています。Microsoft TeamsのAzureパイプラインをサポートするには、Azure DevOpsで組織設定を構成する必要があります。何をオンにすべきですか？

- A. Azure Active Directoryの条件付きアクセスポリシーの検証
- B. 代替認証資格情報
- C. OAuthを介したサードパーティアプリケーションへのアクセス
- D. SSH認証

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Azure PipelinesアプリはOAuth認証プロトコルを使用し、組織を有効にするには、OAuthを介したサードパーティアプリケーションへのアクセスが必要です。この設定を有効にするには、[組織の設定]>[セキュリティ]>[ポリシー]に移動し、組織設定のOAuthを介したサードパーティアプリケーションアクセスを[オン]に設定します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/integrations/microsoft-teams>

#### 質問: 159

Project1という名前のAzure DevOpsプロジェクトと、Sub1という名前のAzureサブスクリプションがあります。Sub1には、VMSS1という名前のAzure仮想マシンスケールセットが含まれていま

す。VMSS1は、WebApp1という名前のWebアプリケーションをホストします。WebApp1はステートフルセッションを使用します。

WebApp1のインストールは、カスタムスクリプト拡張機能を使用して管理されます。スクリプトは、sa1という名前のAzureStorageアカウントにあります。

WebApp1のUIエレメントに小さな変更を加え、その変更に関するユーザーフィードバックを収集することを計画しています。

VMSS1で新しいバージョンのWebApp1の限定的なユーザーテストを実装する必要があります。実行する必要がある3つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. VMSS1を再デプロイします。
- B. VMSS1のロードバランサー設定を変更します。
- C. VMSS1の仮想マシンの構成を更新します。
- D. カスタムスクリプトファイルをsa1にアップロードします。
- E. VMSS1のカスタムスクリプト拡張設定を変更します。

正解: **A,D,E** ([コメントを发表する](#))

#### 質問: 160

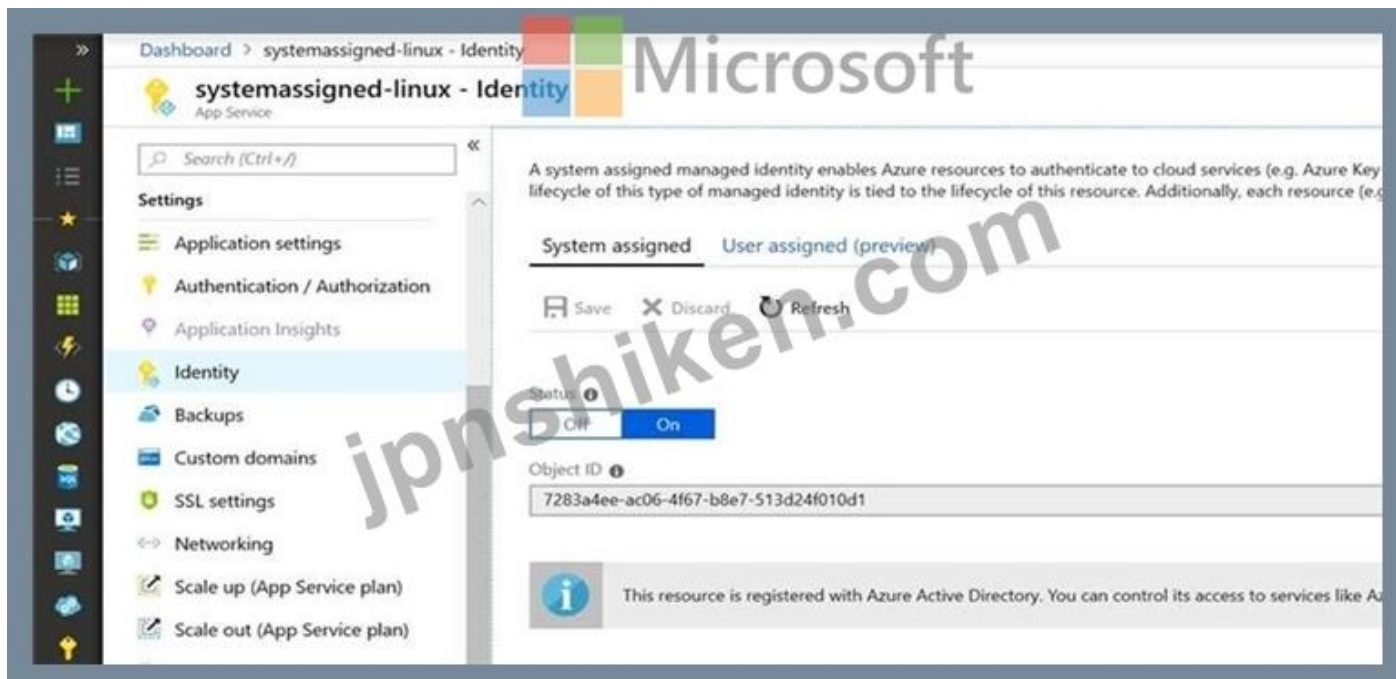
az400-9940427-mainという名前のAzureWebアプリが、システム管理のIDを使用して、az400-9940427-kv1という名前のAzureキーボールドからシークレットを取得できることを確認する必要があります。

ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

正解:

1. Azureポータルで、az400-9940427-メインアプリに移動します。
2. 左側のナビゲーションの[設定]グループまで下にスクロールします。
3. 管理対象IDを選択します。
4. [システム割り当て]タブで、[ステータス]を[オン]に切り替えます。[保存]をクリックします。

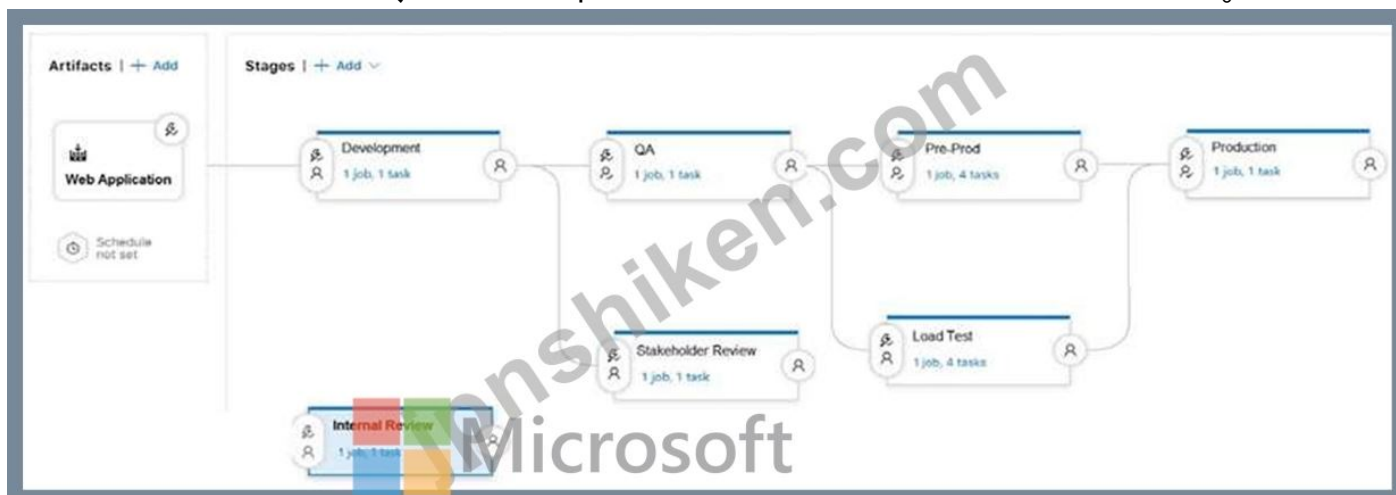


参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/overview-managed-identity>

質問: 161

展示に示されているように、AzureDevOpsでリリースパイプラインを構成しています。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各質問に回答する回答の選択肢を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

How many stages have triggers set?

Which component should you modify to enable continuous delivery?

正解:

How many stages have triggers set?

Which component should you modify to enable continuous delivery?

説明

How many stages have triggers set?

Which component should you modify to enable continuous delivery?

ボックス1 5

開発、QA、実稼働前、負荷テスト、実稼働の5つの段階があります。それらはすべてトリガーを持っています。

ボックス2 : 内部レビュー段階

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/triggers>

質問: 162

Webapp1という名前のAzureWebアプリがあります。

Azure Monitorクエリを使用して、失敗したWebapp1の上位10ページの詳細を示すレポートを作成する必要があります。

クエリをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

exceptions
pageViews
requests
traces

| where

duration == 0
itemType == "availabilityResult"
resultCode == "200"
success == false

```
| summarize failedCount=sum(itemCount) by name, resultCode  
| top 10 by failedCount desc  
| render barchart
```

正解:

exceptions
pageViews
requests
traces

| where

duration == 0
itemType == "availabilityResult"
resultCode == "200"
success == false

```
| summarize failedCount=sum(itemCount) by name, resultCode  
| top 10 by failedCount desc  
| render barchart
```

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/platform/app-insights-metrics>

**質問: 163**

多層アプリケーションを開発しています。アプリケーションは、フロントエンドとしてAzure App Service Webアプリを使用し、バックエンドとしてAzureSQLデータベースを使用します。アプリケーションはAzure関数を使用して、一部のデータをAzureStorageに書き込みます。フロントエンドがステータスコード200を返さない場合は、AzureDevOpsチームにメールメッセージを送信する必要があります。

どの機能を使用する必要がありますか？

- A. AzureLogAnalyticsのサービスマップ
- B. AzureApplicationInsightsのプロファイラー
- C. AzureApplicationInsightsでの可用性テスト
- D. AzureApplicationInsightsのアプリケーションマップ

正解: ([正解を表示します](#))

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/app/monitor-web-app-availability>

**質問: 164**

あなたの会社はJavaで新しいソリューションを構築しています。同社は現在、SonarQubeサーバーを使用して.NETソリューションのコードを分析しています。Javaソリューションのコード品質を分析および監視する必要があります。どのタスクタイプをビルドパイプラインに追加する必要がありますか？

- A. Grunt
- B. シェフ
- C. Maven
- D. ガルプ

正解: ([正解を表示します](#))

SonarQubeは、コードの改善領域を特定するために使用できる静的アナライザーのセットです。これにより、プロジェクトの技術的負債を分析し、将来的に追跡することができます。MavenおよびGradleビルドタスクを使用すると、新規または既存のAzureDevOpsServicesビルドタスクで最小限のセットアップでSonarQube分析を実行できます。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/java/sonarqube?view=azure-devops>

**質問: 165**

現在の技術的な問題を解決するには、Register-AzureRmAutomationDscNodeコマンドをどのように実行する必要がありますか？

- A. ConfigurationModeパラメーターの値を変更します。
- B. Register-AzureRmAutomationDscNodeコマンドレットを次のように置き換えます

登録-AzureRmAutomationScheduledRunbook

- C. AllowModuleOverwriteパラメーターを追加します。

D. DefaultProfileパラメーターを追加します。

正解: A (コメントを公表する)

ConfigurationModeパラメーターをApplyOnlyからApplyAndAutocorrectに変更します。

Register-AzureRmAutomationDscNodeコマンドレットは、Azure仮想マシンをAPS Desired State Configuration (DSC)ノードとしてAzureAutomationアカウントに登録します。

シナリオ：現在の技術的な問題

テストサーバーは、最初に展開されたときに正しく構成されていますが、時間の経過とともに構成がドリフトします。Azure AutomationStateConfigurationは構成の修正に失敗します。

Azure Automation State Configurationノードは、次のコマンドを使用して登録されます。

```
Register-AzureRmAutomationDscNode  
-ResourceGroupName 'TestResourceGroup'  
-AutomationAccountName 'LitwareAutomationAccount'  
-AzureVMName $vmname  
-ConfigurationMode 'ApplyOnly'
```

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurerms/automation/register-azurermsautomationdscnode?view=azurermps-6.13.0>

質問: 166

あなたの会社は、3つのモバイルアプリケーションのスイートを作成しています。

アプリケーションビルドへのアクセスを制御する必要があります。ソリューションは組織レベルで管理する必要があります何を使用する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

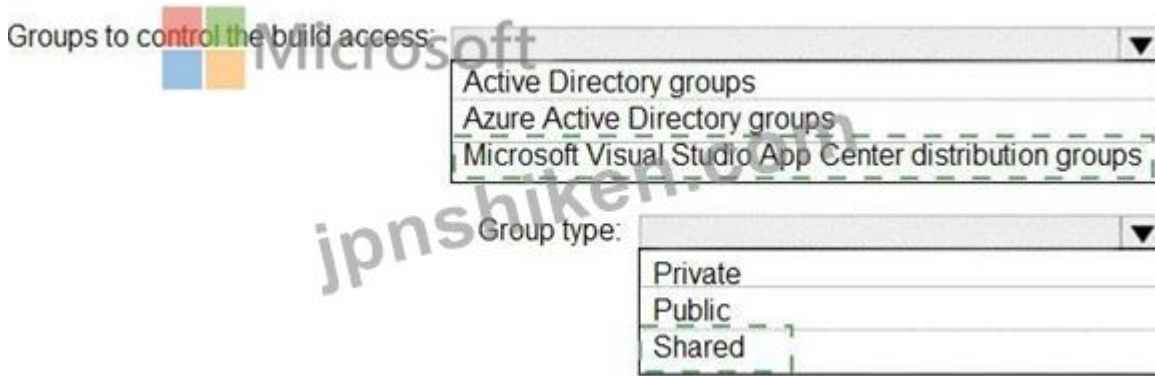
Groups to control the build access:

- Active Directory groups
- Azure Active Directory groups
- Microsoft Visual Studio App Center distribution groups

Group type:

- Private
- Public
- Shared

正解:



## 説明



### ボックス1 :Microsoft Visual StudioAppCenter配布グループ

配布グループは、リリースへのアクセスを制御するために使用されます。配布グループは、共同で管理でき、リリースへの共通アクセスを持つことができる一連のユーザーを表します。配布グループの例としては、QAチームや外部ベータテスターなどのユーザーのチームや、ステージングなどのリリースのステージやリングを表すことができます。

### ボックス2 : 共有

共有配布グループは、単一の組織内の複数のアプリ間で共有されるプライベートまたはパブリック配布グループです。共有配布グループにより、複数のアプリ間で配布グループを複製する必要がなくなります。

注 :Visual Studio TeamServicesの[AppCenterを使用したデプロイ]タスクを使用すると、Azure DevOps (旧称STS)からAppCenterにアプリをデプロイできます。App Centerにデプロイすることで、ビルドをユーザーに配布できるようになります。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/appcenter/distribution/groups>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

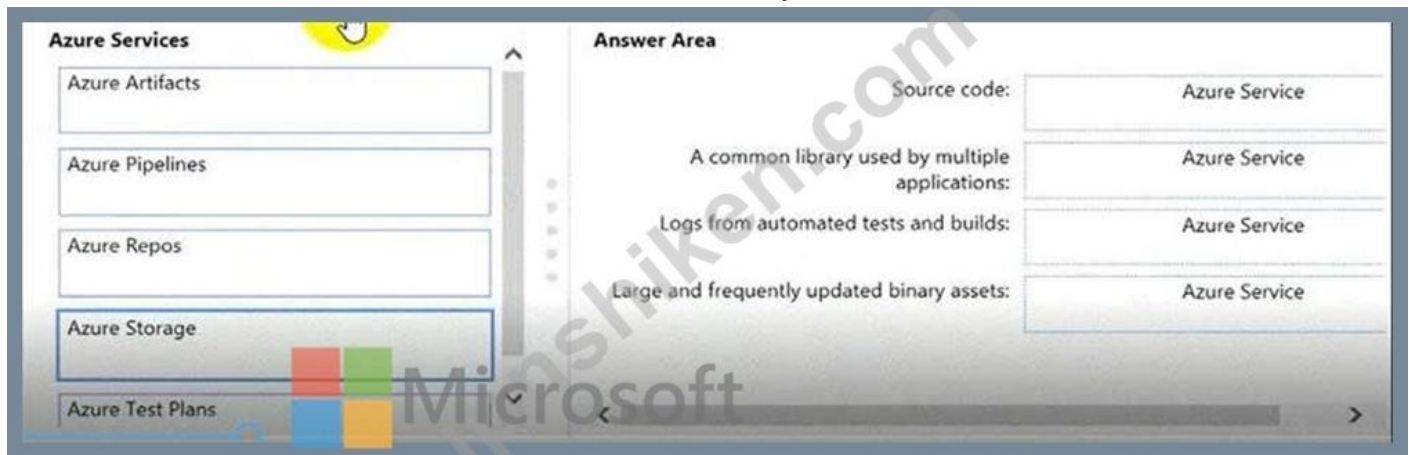
質問: 167

次のアセットを持つアプリケーションを構築しています。

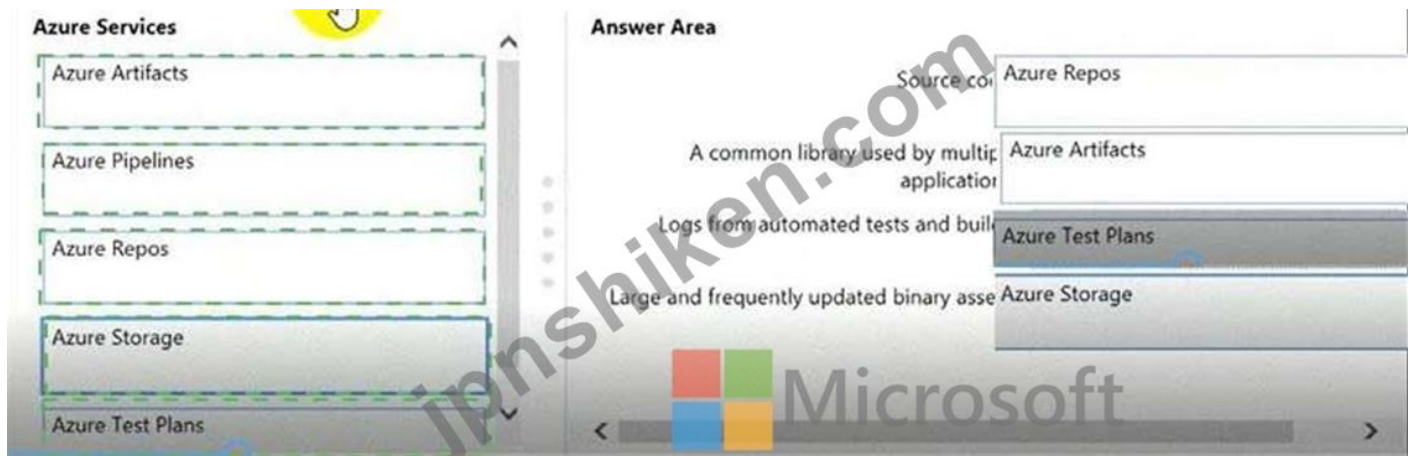
- \* ソースコード
- \* 自動テストとビルドからのログ
- \* 大きくて頻繁に更新されるバイナリアセット
- \* 複数のアプリケーションで使用される共通のライブラリ

各アセットはどこに保存する必要がありますか？回答するには、適切なAzureサービスを正しいアセットにドラッグします。各サービスは1回使用できます。コンテンツを表示するには、ページ間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

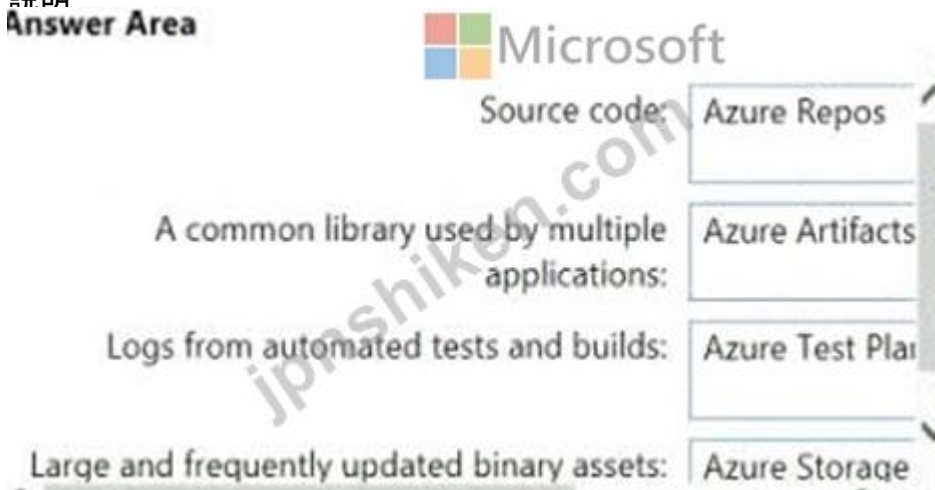
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



説明



質問: 168

あなたの会社には、新しいアプリケーション用のプロジェクトがAzureDevOpsにあります。アプリケーションは、WindowsServer2016を実行する複数のAzure仮想マシンに展開されます。仮想マシンの展開戦略を推奨する必要があります。戦略は、次の要件を満たす必要があります。

\*仮想マシンが一貫した構成を維持していることを確認します。

\*仮想マシンを構成するための管理作業を最小限に抑える

推奨事項には何を含める必要がありますか？

- A. デプロイYAMLおよびAzureパイプラインステージテンプレート
- B. AzureResourceManagerテンプレートとWindows用のPowerShellDesiredState Configuration (DSC) 拡張機能
- C. AzureResourceManagerテンプレートとWindows用のカスタムスクリプト拡張機能
- D. デプロイYAMLおよびAzureパイプラインデプロイメントグループ

正解: (正解を表示します)

質問: 169

Group7のコンピューター用にAzureAutomationを構成する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Answer Area

正解:

## 説明

Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of .ps1.

Run the `Import-AzureRmAutomationDscConfiguration` Azure PowerShell cmdlet.

Run the `Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob` Azure PowerShell cmdlet.

手順1 : 拡張子が.ps1のDesired State Configuration (DSC) 構成ファイルを作成します。

手順2 : `Import-AzureRmAutomationDscConfiguration` Azure Powershellコマンドレットを実行する  
`Import-AzureRmAutomationDscConfiguration`コマンドレットは、APSの望ましい状態の構成 (DSC) 構成をAzureAutomationにインポートします。単一のDSC構成を含むAPSスクリプトのパスを指定します。

例 :

```
PS C:\> Import-AzureRmAutomationDscConfiguration -AutomationAccountName
```

```
"Contoso17"-ResourceGroupName "ResourceGroup01" -SourcePath "C:\DSC\client.ps1" -
```

`Force`このコマンドは、`client.ps1`という名前のファイルのDSC構成をContoso17という名前の自動化アカウントにインポートします。このコマンドは、`Force`パラメーターを指定します。既存のDSC構成がある場合は、このコマンドがそれを置き換えます。

手順3 : `Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob` Azure Powershellコマンドレットを実行する  
`Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob`コマンドレットは、Azure AutomationでAPSの必要な状態の構成 (DSC) 構成をコンパイルします。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurermsautomation/import-azurermsautomationdscconfiguration>

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurermsautomation/start-azurermsautomationdsccompilationjob>

### 質問: 170

RBAC対応のAzure Kubernetes Service (AKS) 実装があります。AKS実装でコンテナを実行するために、ホストされた開発環境としてAzureコンテナインスタンスを使用することを計画しています。

AKSでコンテナを実行するためのホスト環境としてAzureコンテナインスタンスを呼び出す必要があります。

m系列を実行する必要がある3つのアクションはどれですか？

回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions	Answer Area
Run helm init.	
Run az aks install-connector.	
Create a YAML file.	
Run az role assignment create	
Run kubectl apply.	

正解:

Actions	Answer Area
Run helm init.	
Run az aks install-connector.	
Create a YAML file.	Create a YAML file.
Run az role assignment create	Run kubectl apply.
Run kubectl apply.	Run helm init.

説明

Create a YAML file.
Run kubectl apply.
Run helm init.

ステップ1:YAMLファイルを作成します。

AKSクラスターでRBACが有効になっている場合は、Tillerで使用するためのサービスアカウントとロールバインディングを作成する必要があります。

サービスアカウントとロールバインディングを作成するには、rbac-virtual-kubelet.yamlという名前のファイルを作成します。ステップ2 kubectlapplyを実行します。

サービスアカウントを適用し、kubectl applyを使用してバインドし、rbac-virtual-kubelet.yamlファイルを指定します。

ステップ3 helminitを実行します。

ティラーサービスアカウントを使用するようにHelmを構成します。

helm init --service-accounttiler

これで、引き続きVirtualKubeletをAKSクラスターにインストールできます。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/virtual-kubelet>

質問: 171

AzureDevOpsのダッシュボードのプロジェクトメトリックを推奨する必要があります。  
各指標に対してどのチャートウィジェットを推奨する必要がありますか？回答するには、適切なグラフウィジェットを正しい指標にドラッグします。各グラフウィジェットは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Chart Widgets Answer Area Microsoft

Burndown	The elapsed time from the creation of work items to their completion:	<input type="text"/>
Cycle Time		
Lead Time	The elapsed time to complete work items once they are active:	<input type="text"/>
Velocity	The remaining work:	<input type="text"/>

正解:

Chart Widgets Answer Area Microsoft

Burndown	The elapsed time from the creation of work items to their completion:	Lead Time
Cycle Time		
Lead Time	The elapsed time to complete work items once they are active:	Cycle Time
Velocity	The remaining work:	Burndown

説明

Answer Area Microsoft

The elapsed time from the creation of work items to their completion:	Lead Time
The elapsed time to complete work items once they are active:	Cycle Time
The remaining work:	Burndown

ボックス1 :リードタイム

リードタイムは、作業項目の作成から完了までに経過した合計時間を測定します。

ボックス2 :サイクルタイム

サイクルタイムは、チームが積極的に作業を開始してから作業項目を完了するのにかかる時間を測定します。

ボックス3 :バーンダウン

アジャイルダウンチャートは、特定の期間内の残りの作業に焦点を当てています。

質問: 172

あなたはあなたの会社の開発プロセスを設計しています。

問題があることがわかっている一般的なコードパターンを見つけるために、会社のコードベースを継続的に検査するためのソリューションを推奨する必要があります。

推奨事項には何を含める必要がありますか？

A. Microsoft Visual Studioのテストプラン

B. Gradleラッパースクリプト

C. SonarCloud分析

D. JavaScriptタスクランナー

正解: C ([コメントを发表する](#))

SonarCloudは、SonarSourceが提供し、SonarQubeに基づくクラウドサービスです。SonarQubeは広く採用されているオープンソースプラットフォームであり、ソースコードの品質を継続的に検査し、20以上の異なる言語でバグ、脆弱性、コードの臭いを検出します。

注 :SonarCloud Azure DevOps拡張機能は、SonarCloudでプロジェクトを非常に迅速に分析するために必要なすべてのものを提供します。

不正解 :

A :テスト計画は、テストスイートと個々のテストケースをグループ化するために使用されます。これには、静的テストスイート、要件ベースのスイート、およびクエリベースのスイートが含まれます。

参照 :

<https://docs.travis-ci.com/user/sonarcloud/>

<https://sonarcloud.io/documentation/integrations/vsts/>

質問: 173

D \Deploy.jsonという名前のテンプレートをDeploy-lod9940427という名前のリソースグループにデプロイすることを計画しています。

次の要件を満たすようにテンプレートを変更してから、テンプレートを展開する必要があります。

\*合計256個のIPアドレスのみをサポートするには、アドレス空間を減らす必要があります。

\*合計64個のIPアドレスのみをサポートするには、サブネットアドレススペースを減らす必要があります。

このタスクを完了するには、Microsoft Azureポータルにサインインします。

正解:

以下の解決策を参照してください。

説明

- 1.ポータルにサインインし、
- 2.テンプレートDeploy-lod9940427を選択します
3. [テンプレートの編集]を選択し、JSONテンプレートコードをコードウィンドウに貼り付けます。
- 4.合計256個のIPアドレスのみをサポートするために、ASddressPrefixesを10.0.0.0/24に変更します。

```
addressSpace " {" addressPrefixes " [{" 10.0.0.0/24 "}]}
```

- 5.firstSubnetアドレスプレフィックスを10.0.0.0/26に変更して、合計64個のIPアドレスのみをサポートします。

```
"サブネット" {
```

```
{
```

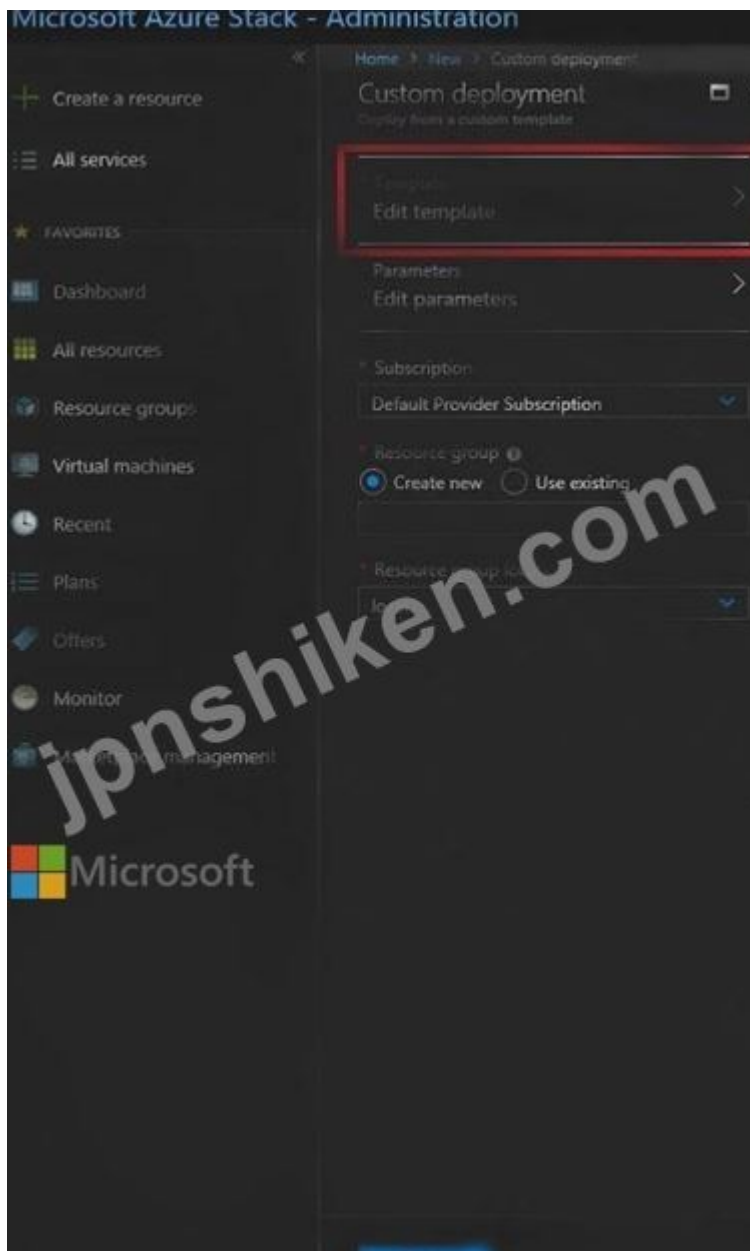
```
"名前" : "firstSubnet"、
```

```
"プロパティ" {
```

```
"addressPrefix" : "10.0.0.0/24"
```

```
}
```

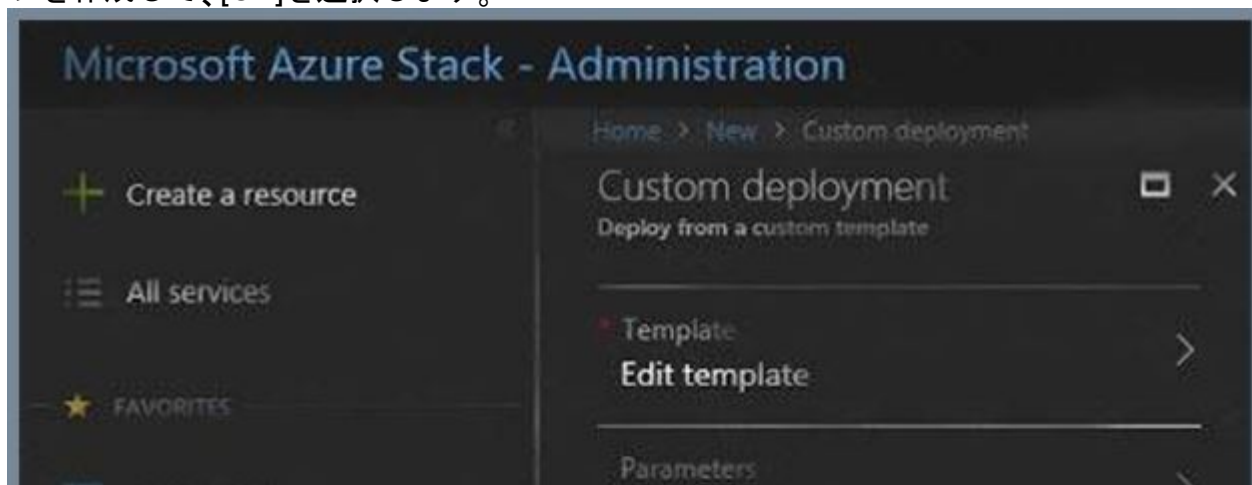
- 6.[保存]を選択します。

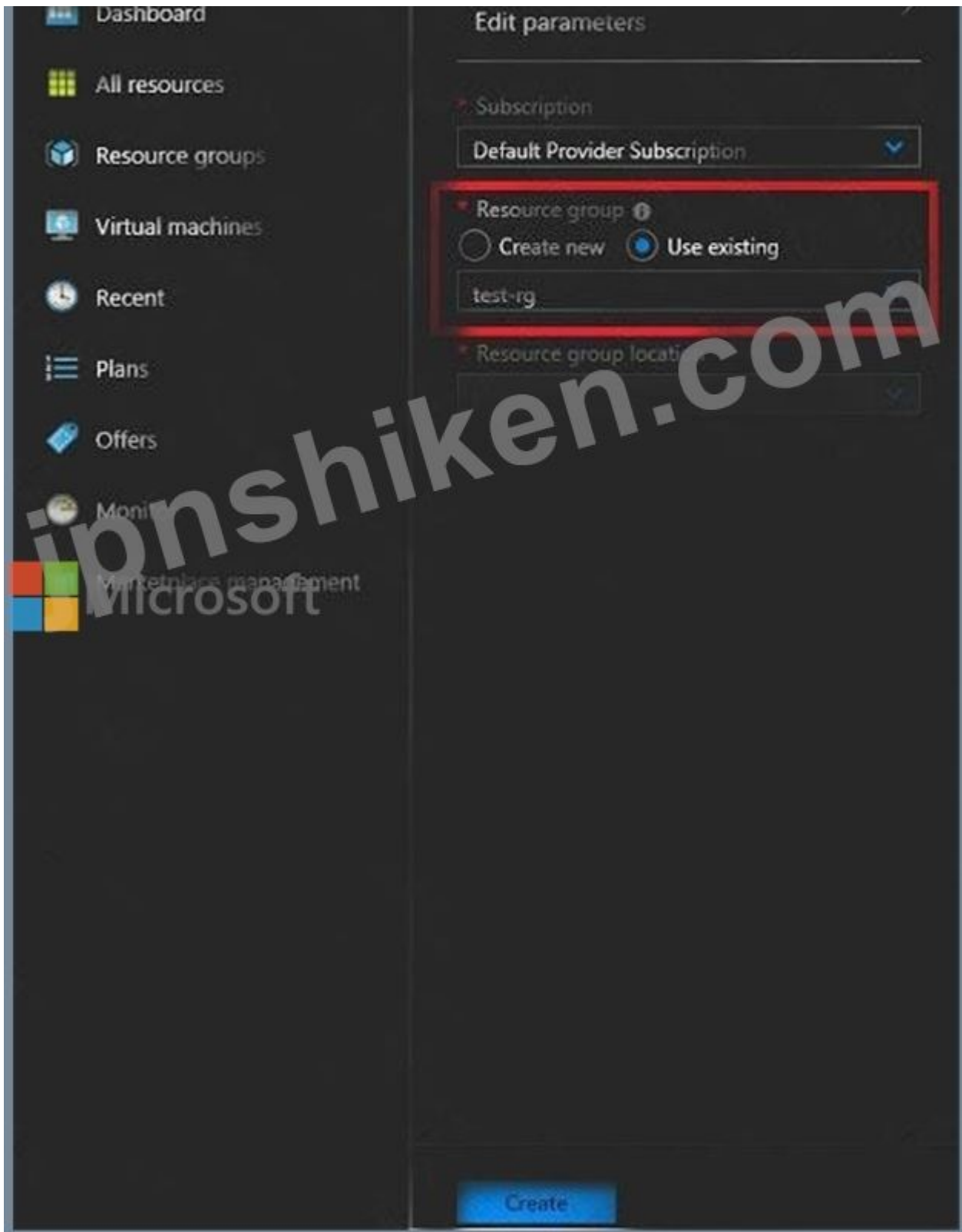


7. [パラメーターの編集]を選択し、表示されているパラメーターの値を指定して、[OK]を選択します。

8. [サブスクリプション]を選択します。使用するサブスクリプションを選択し、[OK]を選択します。

9. リソースグループを選択します。既存のリソースグループを選択するか、新しいリソースグループを作成して、[OK]を選択します。





10.[作成]を選択します。ダッシュボードの新しいタイルは、テンプレートの展開の進行状況を追跡します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure-stack/user/azure-stack-deploy-template-portal?view=azs-1908>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/architecture/building-blocks/extending-templates/update-resource>

質問: 174

Project2のコードフロー戦略をAzureDevOpsに実装する必要があります。  
順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

- Create a repository
- Add a build policy for the fork.
- Create a branch.
- Add a build policy for the master branch.
- Add an application access policy.
- Create a fork.

Answer Area

正解:

Actions

- Create a repository
- Add a build policy for the fork.
- Create a branch.
- Add a build policy for the master branch.
- Add an application access policy.
- Create a fork.

Answer Area

- Create a repository
- Add a build policy for the master branch.
- Create a branch.

説明


Answer Area

- Create a repository
- Add a build policy for the master branch.
- Create a branch.

質問: 175

ASP.NETCoreアプリのコンテナを作成しています。  
イメージをビルドするには、Dockerfileファイルを作成する必要があります。ソリューションでは、画像のサイズを最小化する必要があります。  
ファイルをどのように構成する必要がありますか？答えるには、適切な値を正しいターゲットにドラッグします。各値は、1回使用するか、複数回使用するか、まったく使用しないでください。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

 Microsoft

Values

- dotnet publish -c Release -o out
- dotnet restore
- microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
- Microsoft/dotnet:2.2-sdk

Answer Area

```
FROM [ ] As build-env
COPY . /app/
WORKDIR /app
RUN [ ]
FROM [ ]
COPY --from=build-env /app/out /app
WORKDIR /app
ENTRYPOINT ["dotnet", "MvcMovie.dll"]
```

正解:

Values

- dotnet publish -c Release -o out
- dotnet restore
- microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
- Microsoft/dotnet:2.2-sdk

Answer Area

```
FROM Microsoft/dotnet:2.2-sdk As build-env
COPY . /app/
WORKDIR /app
RUN dotnet restore
FROM microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
COPY --from=build-env /app/out /app
WORKDIR /app
ENTRYPOINT ["dotnet", "MvcMovie.dll"]
```

説明

```
FROM Microsoft/dotnet:2.2-sdk As build-env
COPY . /app/
WORKDIR /app
RUN dotnet restore
FROM microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
COPY --from=build-env /app/out /app
WORKDIR /app
ENTRYPOINT ["dotnet", "MvcMovie.dll"]
```

ボックス1 microsoft.com/dotnet/sdk:2.3

行の最初のグループは、その上にコンテナを構築するために使用するベースイメージを宣言しま

す。ローカルシステムにこのイメージがまだない場合、dockerは自動的にイメージをフェッチしようとしています。mcr.microsoft.com/dotnet/core/sdk:2.1は、.NET Core 2.1 SDKがインストールされた状態でパッケージ化されているため、バージョン2.1を対象とするASP .NETコアプロジェクトを構築するタスクがあります。ボックス2 :dotnetrestore次の手順の変更コンテナ内の作業ディレクトリは/appであるため、これに続くすべてのコマンドはこのコンテキストで実行されます。

コピー\*.csproj./

dotnetrestoreを実行する

ボックス3 :microsoft.com/dotnet/2.2-aspnetcore-runtime

コンテナイメージを構築するときは、本番ペイロードとその依存関係のみをコンテナイメージに含めることをお勧めします。.NETコアランタイムのみが必要なため、最終イメージに.NETコアSDKを含めたくないため、dockerfileは、build-envと呼ばれるSDKにパッケージ化された一時コンテナを使用してアプリをビルドするように記述されています。

参照：

<https://docs.microsoft.com/de-DE/virtualization/windowscontainers/quick-start/building-sample-app>

#### 質問: 176

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Azure Resource Managerテンプレートを使用して、Azureリソースをデプロイするリリースパイプラインを作成することを計画しています。リリースパイプラインは、次のリソースを作成します。

\*2つのリソースグループ

\*1つのリソースグループに4つのAzure仮想マシン

\*他のリソースグループにある2つのAzureSQLデータベース

リソースをデプロイするためのソリューションを推奨する必要があります。

解決策：一方のリソースグループにリソースをデプロイするメインテンプレートと、もう一方のリソースグループにリソースをデプロイするネストされたテンプレートを作成します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

ネストされたテンプレートの代わりに、2つのリンクされたテンプレートを使用します。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-group-linked-templates>

質問: 177

シミュレーション

db1という名前のAzureSQLデータベースを使用するアプリがいくつかあります。db1へのクエリが時間の経過とともにAzureによって調整されていることを確認する必要があります。ソリューションはdb1にのみ適用する必要があります。

このタスクを完了するには、Microsoft Azureポータルにサインインします。

A. 1.単一のデータベースで自動調整を有効にするには、Azureポータルでデータベースに移動し、[自動調整]を選択します。

2.有効にする自動調整オプションを選択し、[適用]を選択します。

注：個々の自動チューニング設定は、データベースごとに個別に構成できます。

B. 1.単一のデータベースで自動調整を有効にするには、Azureポータルでデータベースに移動し、[自動調整]を選択します。

2.有効にする自動調整オプションを選択し、[適用]を選択します。

注：個々の自動チューニング設定は、データベースごとに個別に構成できます。個々の自動調整オプションを手動で構成することも、オプションがサーバーから設定を継承するように指定することもできます。

正解: B ([コメントを发表する](#))

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/automatic-tuning-enable>

質問: 178

Azure仮想マシンを使用する新しいアプリケーションをデプロイしています。

仮想マシンでDesiredStateConfiguration (DSC) 拡張機能を使用することを計画しています。

仮想マシンに常に同じWindows機能がインストールされていることを確認する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

- Load the file to Azure Files.
- Create a PowerShell configuration file.
- Create a YAML configuration file.
- Configure the Custom Script Extension on the virtual machines.
- Configure the DSC extension on the virtual machines.
- Load the file to Azure Blob storage.

Answer Area

正解:



手順1 :PowerShell構成ファイルを作成する

単純なPowerShellDSC構成ファイルを作成します。

手順2 :ファイルをAzureBlobストレージに読み込む

モジュールをパッケージ化して、パブリックにアクセス可能なBLOBコンテナURLに公開しま

す。ステップ3 : 仮想マシンでカスタムスクリプト拡張機能を構成します。

カスタムスクリプト拡張機能は、Azure仮想マシンにスクリプトをダウンロードして実行します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/automation/automation-dsc-getting-started>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/virtual-machines/extensions/custom-script-windows>

#### 質問: 179

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

あなたの会社は、新しいWebアプリケーション用のプロジェクトをAzureDevOpsに持っています。

コードがチェックインされたときに、ビルドが自動的に実行されることを確認する必要があります。

解決策 :ビルドパイプラインの[トリガー]タブから、[継続的インテグレーションを有効にする]を選択します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参照 :

Explanation:

Visual Designerでは、次の方法で継続的インテグレーション (CI) を有効にします。

1.[トリガー]タブを選択します。

2.継続的インテグレーションを有効にします。

ビルドパイプラインでの継続的インテグレーショントリガーは、コードの変更がコミットされる

たびに、システムが新しいビルドを自動的にキューに入れる必要があることを示します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/get-started-designer>

#### 質問: 180

注：この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

あなたの会社には、新しいWebアプリケーション用のAzureDevOpsの知事があります。

コードがチェックインされたときに、ビルドが自動的に実行されることを確認する必要があります。

解決策：ビルドパイプラインの[トリガー]タブで、[継続的インテグレーションを有効にする]を選択します。目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/get-started-designer>

#### 質問: 181

あなたの会社は新しいWebアプリケーションを構築しています。

提供されている機能について、パイロットユーザーからフィードバックを収集する予定です。すべてのパイロットユーザーは、GoogleChromeとMicrosoftTest&Feedback拡張機能がインストールされた企業のコンピューターを持っています。パイロットユーザーは、Chromeを使用してアプリケーションをテストします。

開発者がパイロットユーザーからフィードバックを要求して収集できるようにするには、どのアクセスレベルが必要かを特定する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

Azure DevOpsのどのアクセスレベルを特定する必要がありますか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/organizations/security/access-levels?view=vsts>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%**ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **182**

あなたの会社には、サードパーティのパブリッククラウドでLinuxを実行する2つの仮想マシンがあります。

会社のAzureAutomationState Configuration実装を使用して、2つの仮想マシンを管理し、構成のドリフトを検出することを計画しています。

Linux仮想マシンをオンボードする必要があります。

PowerShellのDesiredStateConfiguration (DSC)を仮想マシンにインストールしてから、register.pyを実行します。

次に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、アクションのリストから回答領域にアクションを移動し、正しい順序に並べます。



正解:



説明

ステップ1 :DSCメタ構成を作成する

DSC構成をAzureAutomationにロードします。

手順2 :メタ構成を仮想マシンにコピーします。

ノード構成をLinuxホストにリンクする

手順3 :AzureAutomationで仮想マシンをDSCノードとして追加します。

[DSCノード]に移動し、ノードを選択して、[ノード構成の割り当て]をクリックします。このステップでは、DSC構成をLinuxマシンに割り当てます。

次は、ノード構成をホストにリンクします。ホストに移動し、[ノードの割り当て...]ボタンを押します。次に、ノード構成を選択できます。

質問: 183

Azureリポジトリで新しいGitリポジトリの設定を構成しています。

ブランチ内のプルリクエストがマージされる前に、次の基準を満たしていることを確認する必要があります。

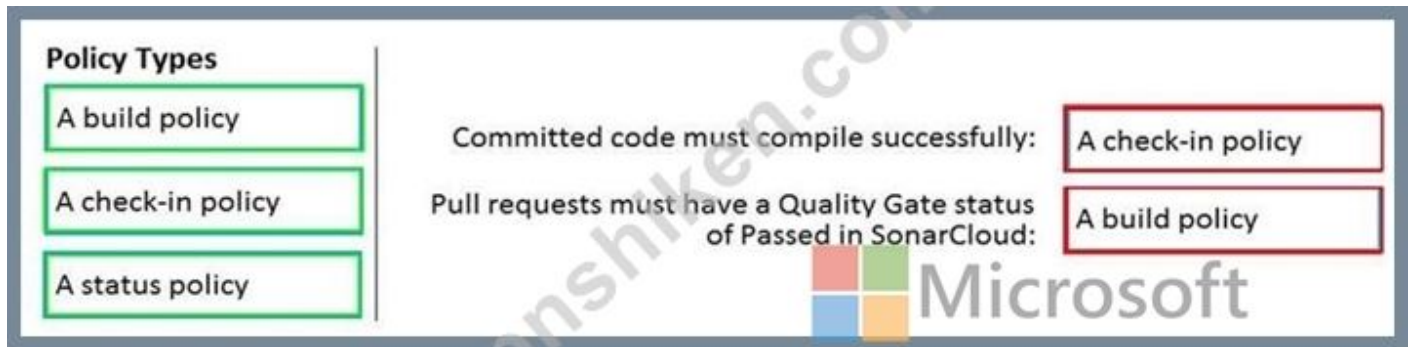
コミットされたコードは正常にコンパイルする必要があります。

プルリクエストは、SonarCloudでPassedのQualityGateステータスを持っている必要があります。

要件ごとにどのポリシータイプを構成する必要がありますか？答えるには、適切なポリシータイプを正しい要件にドラッグします。各ポリシータイプは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

正解:



参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/tfvc/add-check-policies>

<https://azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/sonarcloud/>

#### 質問: 184

あなたの会社は、開発者がオープンソースライブラリを導入すると、ライセンスコンプライアンスの問題が発生することを懸念しています。

ビルドパイプラインに自動化されたプロセスを追加して、一般的なオープンソースライブラリがコードベースに追加されたことを検出する必要があります。

何を使うべきですか？

- A. SourceGear Vault
- B. ジェンキンス
- C. Microsoft Visual SourceSafe
- D. WhiteSource Bolt

正解: ([正解を表示します](#))

説明

WhiteSourceは、AzureDevOpsおよびAzureDevOpsServerとの統合のために特別に開発された軽量のオープンソースセキュリティおよび管理ソリューションであるWhiteSourceBoltを提供します。

注 :WhiteSourceは、継続的なオープンソースソフトウェアのセキュリティおよびコンプライアンス管理のリーダーです。

WhiteSourceは、プログラミング言語、ビルドツール、または開発環境に関係なく、ビルドプロセスに統合されます。これは、バックグラウンドで自動的、継続的、サイレントに動作し、オープンソースコンポーネントのセキュリティ、ライセンス、および品質を、オープンソースリポジトリのWhiteSourceの絶えず更新されるdenitiveデータベースと照合します。

参照：

<https://www.azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/whitesource/>

#### 質問: 185

Project1という名前のAzureDevOpsプロジェクトと、Sub1という名前のAzureサブスクリプションがあります。Sub1には、DB1という名前のAzureSQLデータベースが含まれています。

Azure SQLDatabaseDeploymentタスクを使用してDB1を更新するリリースパイプラインを作成する必要があります。

どのアーティファクトをデプロイする必要がありますか？

- A. BACPAC
- B. DACPAC
- C. LDFファイル
- D. MDFファイル

正解: ([正解を表示します](#))

ビルドまたはリリースパイプラインでAzureSQLデータベースの展開タスクを使用して、DACPACを使用してAzure SQL DBに展開するか、SQLCMDを使用してスクリプトを実行します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/tasks/deploy/sql-azure-dacpac-deployment>依存関係管理テストの実装1ケーススタディこれはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するために必要なだけ多くの試験時間を使用することができます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。あなたはあなたが提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。各質問は、このケーススタディの他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、独立系ソフトウェアベンダー (SV) です。Litwareには、本社と5つの支社があります。

既存の環境

アプリケーションアーキテクチャ

同社の主なアプリケーションは、VB.NETで記述されたロジックを使用するASP.NET Webフォームに基づく単一のモノリシック退職基金管理システムです。アプリケーションのいくつかの新しいセクションはC#で書かれています。

アプリケーションのバリエーションは、個々の顧客向けに作成されています。現在、アプリケー

ションのコードベースには80を超えるライブコードブランチがあります。

このアプリケーションは、Microsoft Visual Studioを使用して開発されました。ソースコードは、本社のTeam Foundation Server (TFS)に保存されています。ブランチオフィスは、TFSプロキシサーバーを使用してソースコードにアクセスします。

#### アーキテクチャ上の問題

Litwareは、顧客向けの新しいコードの作成に重点を置いています。既存のコードをリファクタリングまたは削除するためのリソースは提供されていません。依存関係は個々の開発者には明らかではないため、コードベースの変更には長い時間がかかります。

コードのマージ操作には数か月かかることが多く、多くの開発者が関与します。コードをマージすると、見つけて解決するのが難しいバグが頻繁に発生します。

顧客は、退職基金管理システムの所有コストが継続的に増加していると報告しています。無関係なコードをマージする必要があるため、コードの小さな変更でさえコストがかかります。

顧客は、バグ報告が非常に複雑であると報告しています。

#### 要件

##### 計画された変更

Litwareは、投資計画のための新しいアプリケーションスイートの開発を計画しています。投資計画アプリケーションでは、既存の退職基金管理システムとのわずかな統合のみが必要になります。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されます。もう1つは顧客が使用します。

Litwareは、よりアジャイルな開発方法論に移行することを計画しています。共有コードは一連のパッケージに抽出されます。

Litwareは、内部クラウド変換プロセスを開始し、適切な場合はいつでもクラウドベースのサービスを使用することを計画しています。

Litwareは、顧客のバグレポートを常に待つのではなく、障害の検出に積極的になりたいと考えています。

#### 技術要件

会社の投資計画アプリケーションスイートは、次の要件を満たしている必要があります。

\*ファイアウォールを介した新しい着信接続は最小限に抑える必要があります。

\* Developersという名前のグループのメンバーは、パッケージをインストールできる必要があります。

\*すべての権限の割り当てには、最小特権の原則を使用する必要があります。

\*新しい機能を単独で開発することをサポートする分岐戦略を使用する必要があります。

\*チームリーダーという名前のグループのメンバーは、新しいパッケージを作成し、パッケージフィードの権限を編集できる必要があります。

\* Visual Studio App Centerを使用して、モバイルアプリケーションのクラッシュと使用中のデバイスタイプのレポートを一元化する必要があります。

\*デフォルトでは、60日間保持する必要がある本番リリースを除き、すべてのリリースを30日間使用可能にする必要があります。

\*コードの品質とリリースの品質は重要です。リリース中にアクティブなバグがリリースに対してログに記録されている場合、リリース中に展開をステージ間で進めてはなりません。

\*モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービスを呼び出すことができない必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介した基本認証のみをサポートします。

\*テストサーバーに必要なオペレーティングシステムの構成は毎週変更されます。Azure Automation State Configurationを使用して、サーバーが定期的に作成およびチェックされるたびに、各テストサーバーのオペレーティングシステムが同じように構成されていることを確認する必要があります。

#### 現在の技術的な問題

テストサーバーは、最初に展開されたときに正しく構成されていますが、時間の経過とともに構成がドリフトします。

Azure AutomationStateConfigurationは構成の修正に失敗します。

Azure Automation State Configurationノードは、次のコマンドを使用して登録されます。

```
Register-AzureRMAutomationDscNode
-ResourceGroupName 'TestResourceGroup'
-AutomationAccountName 'LitwareAutomationAccount'
-AzureVMName $vname
-ConfigurationMode 'ApplyOnly'
```

#### 依存関係管理を実装する

##### テストレット2

##### ケーススタディ

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するために必要なだけ多くの試験時間を使用することができます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。あなたはあなたが提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。各質問は、このケーススタディの他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

##### ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることを注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問

に戻ります。

## 概要

Contoso、Ltd.は、シカゴに本社を置く製造会社です。

## 既存の環境

Contosoは、Azure DevOpsの原則を実装することにより、IT開発および運用プロセスを改善することを計画しています。ContosoにはAzureサブスクリプションがあり、AzureDevOps組織を作成します。

AzureDevOps組織には次のものが含まれます。

### \*Docker拡張機能

\* WindowsServer2016を実行する10台のAzure仮想マシンを含むPool7という名前の展開プール  
AzureサブスクリプションにはAzureAutomationアカウントが含まれています。

## 要件

### 計画された変更

Contosoは、次の表に示すように、AzureDevOpsでプロジェクトを作成することを計画しています。

Project name	Project details
Project 1	Project1 will provide support for incremental builds and third-party SDK components
Project 2	Project2 will use an automatic build policy. A small team of developers named Team2 will work independently on changes to the project. The Team2 members will not have permissions to Project2.
Project 3	Project3 will be integrated with SonarQube
Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
Project 5	Project5 will contain a Git repository in Azure Reports and a continuous integration trigger that will initiate a build in response to any change except for changes within /folder1 of the repository.
Project 6	Project6 will provide support for build and deployment pipelines. Deployment will be allowed only if the number of current work items representing active software bugs is 0.
Project 7	Project7 will contain a target deployment group named Group7 that maps to Pool7. Project7 will use Azure Automation State Configuration to maintain the desired state of the computers in Group7.

## 技術要件

Contosoは、次の技術要件を識別します。

\*Project1のビルドエージェントを実装します。

\*可能な限り、Azureリソースを使用してください。

\*非推奨のテクノロジーの使用は避けてください。

\*Project2のコードフロー戦略を実装します。

-Team2がProject2のプルリクエストを送信できるようにします。

-Team2がProject2のコピーへの変更を独立して処理できるようにします。

-Project2のコピーに対してTeam2によって実行される中間変更には、Project2のビルドポリシー

で定義されているものと同じ制限が適用されることを確認してください。

\*可能な限り、自動化を実装し、管理作業を最小限に抑えます。

\*計画された変更に基づいて、Project3、Project5、Project6、およびProject7を実装します

\* Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerRegistryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

依存関係管理を実装する

質問セット3

質問: 186

あなたの会社は、ソフトウェア開発にアジャイルアプローチを使用することを計画しています。世界中の場所で働く開発チームのメンバー間のコミュニケーションを提供するアプリケーションを推奨する必要があります。アプリケーションは、次の要件を満たしている必要があります。

\*さまざまなプロジェクトチームのメンバーを個別のコミュニケーションチャンネルに分離し、それらのチャンネル内のチャットの履歴を保持する機能を提供します。

\* Windows 10、Mac OS、iOS、およびAndroidオペレーティングシステムで利用できます。

\*プロジェクトに外部の請負業者やサプライヤーを追加する機能を提供します。

\*AzureDevOpsと直接統合します。

何をお勧めしますか？

A. Microsoft Project

B. 竹

C. Microsoft Lync

D. Microsoft Teams

正解: D ([コメントを發表する](#))

説明

\*各チーム内で、ユーザーはさまざまなチャンネルを作成して、トピックごとにコミュニケーションを整理できます。各チャンネルには、数人のユーザーを含めることも、数千人のユーザーに拡張することもできます。

\* Microsoft Teamsは、Android、iOS、Mac、およびWindowsのシステムとデバイスで動作します。また、Chrome、Firefox、Internet Explorer 11、およびMicrosoftEdgeWebブラウザーでも機能します。

\* Microsoft Teamsのゲストアクセス機能を使用すると、ユーザーは組織外の人々を招待して、メッセージング、会議、およびファイル共有のための内部チャンネルに参加させることができます。この機能は、企業間プロジェクト管理を容易にするのに役立ちます。

\*TeamsはAzureDevOpsと統合されています。

参照 <https://searchunifiedcommunications.techtarget.com/definition/Microsoft-Teams>

質問: 187

あなたの会社は、開発者がオープンソースライブラリを導入すると、ライセンスコンプライアンスの問題が発生することを懸念しています。

ビルドパイプラインに自動化されたプロセスを追加して、一般的なオープンソースライブラリが

コードベースに追加されたことを検出する必要があります。

何を使うべきですか？

- A. Microsoft Visual SourceSafe
- B. コードスタイル
- C. ブラックダック
- D. ジェンキンス
- E. SourceGea
- F. OWASP ZAP

正解: ([正解を表示します](#))

オープンソースソフトウェアの保護と管理

Black Duckは、組織がアプリケーションとコンテナのポートフォリオ全体でオープンソースのセキュリティ、ライセンスコンプライアンス、およびコード品質のリスクを特定して軽減するのに役立ちます。

BlackDuckHubとそのTeamFoundationServer (TFS) プラグインを使用すると、ビルドプロセス中にオープンソースのセキュリティの脆弱性を自動的に検出して修正できるため、リスクをプロアクティブに管理できます。統合により、Black Duck Hubポリシー違反が発生したときに、アラートを受信してビルドを失敗させることができます。

注 :WhiteSourceも良い答えですが、ここではオプションではありません。

参照 :

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=black-duck-software.hub-tfs>

質問: 188

ASP.NETCoreアプリのコンテナを作成しています。

イメージをビルドするには、Dockerfileファイルを作成する必要があります。ソリューションでは、画像のサイズを最小化する必要があります。

ファイルをどのように構成する必要がありますか？答えるには、適切な値を正しいターゲットにドラッグします。各値は、1回使用するか、複数回使用するか、まったく使用しないでください。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Microsoft

Values

- dotnet publish -c Release -o out
- dotnet restore
- microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
- Microsoft/dotnet:2.2-sdk

Answer Area

```

FROM [ ] As build-env
COPY . /app/
WORKDIR /app
RUN [ ]
FROM [ ]
COPY --from=build-env /app/out /app
WORKDIR /app
ENTRYPOINT ["dotnet", "MvcMovie.dll"]

```

正解:

Version Control Systems

- Git
- Perforce
- Subversion
- Team Foundation Version Control

Answer Area

```

Project 1: [ Team Foundation Version Control ]
Project 2: [ Team Foundation Version Control ]
Project 3: [ Git ]
Project 4: [ Team Foundation Version Control ]

```

説明

```

FROM [ Microsoft/dotnet:2.2-sdk ] As build-env
COPY . /app/
WORKDIR /app
RUN [ dotnet restore ]
FROM [ microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime ]
COPY --from=build-env /app/out /app
WORKDIR /app
ENTRYPOINT ["dotnet", "MvcMovie.dll"]

```

ボックス1 microsoft.com/dotnet/sdk:2.3

行の最初のグループは、その上にコンテナを構築するために使用するベースイメージを宣言します。ローカルシステムにこのイメージがまだない場合、dockerは自動的にイメージをフェッチしようとしています。mcr.microsoft.com/dotnet/core/sdk:2.1は、.NET Core 2.1 SDKがインストールされた状態でパッケージ化されているため、バージョン2.1を対象とするASP .NETコアプロジェクトを構築するタスクがあります。ボックス2 dotnetrestore次の手順の変更コンテナ内の作業ディレクトリは/appであるため、これに続くすべてのコマンドはこのコンテキストで実行されます。

コピー\*.csproj./

dotnetrestoreを実行する

ボックス3 microsoft.com/dotnet/2.2-aspnetcore-runtime

コンテナイメージを構築するときは、本番ペイロードとその依存関係のみをコンテナイメージに含めることをお勧めします。.NETコアランタイムのみが必要なため、最終イメージに.NETコアSDKを含めたくないため、dockerfileは、build-envと呼ばれるSDKにパッケージ化された一時コンテナを使用してアプリをビルドするように記述されています。

参照：

<https://docs.microsoft.com/de-DE/virtualization/windowscontainers/quick-start/building-sample-app>

質問: 189

あなたの会社には、Subscription1という名前のAzureサブスクリプションがありません。Subscription1は、contoso.comという名前のAzureActiveDirectoryテナントに関連付けられています。

Subscription1でAzureKubernetesServices (AKS) クラスタをプロビジョニングし、contoso.comのIDを参照するRBACロールを使用してクラスタのアクセス許可を設定する必要があります。どの3つのオブジェクトを順番に作成する必要がありますか？回答するには、適切なオブジェクトをオブジェクトのリストから回答領域に移動し、正しい順序で配置します。

**Answer Area**

**Objects**

- a system-assigned managed identity
- a cluster
- an application registration in contoso.com
- an RBAC binding

Microsoft

正解:



Objects

a system-assigned managed identity

a cluster

an application registration in contoso.com

an RBAC binding

Answer Area

a cluster

a system-assigned managed identity

an RBAC binding

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/developer/ansible/aks-configure-rbac>

### 質問: 190

あなたの会社には、AzureとAzureStackのハイブリッドクラウドがあります。

同社は、CI/CDパイプラインにAzureDevOpsを使用しています。一部のアプリケーションは、アールンとハックを使用して構築されています。

ハイブリッドクラウド全体のビルド戦略の一部として、アールンとハックがサポートされていることを確認する必要があります。このソリューションでは、管理のオーバーヘッドを最小限に抑える必要があります。

ビルドパイプラインを実行するには何を使用する必要がありますか？

- A. AzureDevTestLabs仮想マシン上のAzureDevOpsセルフホストエージェント。
- B. AzureStackで実行される仮想マシン上のAzureDevOpsセルフホストエージェント
- C. Hyper-V仮想マシン上のAzureDevOpsセルフホストエージェント
- D. Microsoftがホストするエージェント

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Azure Stackは、仮想マシン (VM) をオンデマンドのスケラブルなコンピューティングリソースの一種として提供します。コンピューティング環境をさらに制御する必要がある場合は、VMを選択できます。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-stack/user/azure-stack-compute-overview>

### 質問: 191

AzureDevOpsにプライベートプロジェクトがあります。

プロジェクトマネージャーがプロジェクトの進行状況を報告するためのカスタム作業項目クエリを作成できることを確認する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

プロジェクトマネージャーをどのセキュリティグループに追加する必要がありますか？

- A. プロジェクトコレクション管理者
- B. リーダー
- C. プロジェクト管理者

#### D. 寄稿者

正解: (正解を表示します)

コントリビューターには、プロジェクトコードベースとワークアイテムの追跡に完全に貢献する権限があります。彼らが持っていない主な権限、またはリソースを管理または管理する権限。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/organizations/security/permissions>

質問: 192

次の表に示すように、2つのアプリケーションのリリース戦略を定義しています。

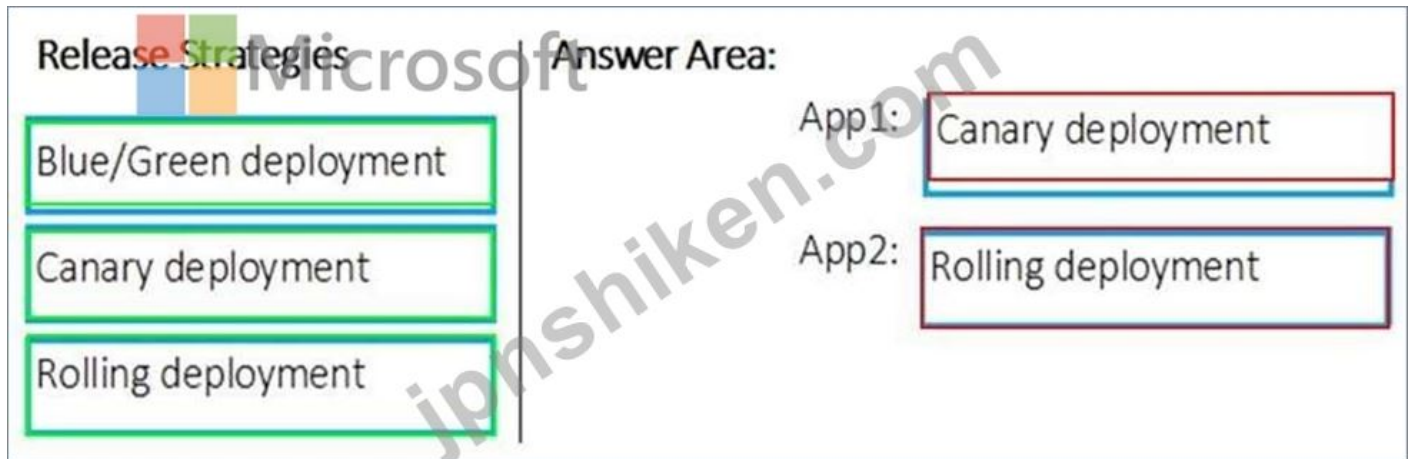
Application name	Goal
App1	Failure of App1 has a major impact on your company. You need a small group of users, who opted in to a testing App1, to test new releases of the application.
App2	You need to minimize the time it takes to deploy new releases of App2, and you must be able to roll back as quickly as possible.

各アプリケーションにどのリリース戦略を使用する必要がありますか？答えるには、適切なリリース戦略を正しいアプリケーションにドラッグします。各リリース戦略は、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ページ間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Release Strategies	Answer Area:
<input type="checkbox"/> Blue/Green deployment	App1: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> Canary deployment	App2: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> Rolling deployment	

正解:



参照 :

<https://dev.to/mostlyjason/intro-to-deployment-strategies-blue-green-canary-and-more-3a3>

### 質問: 193

あなたの会社は、ビルドにクラウドでホストされているJenkinsを使用しています。JenkinsがAzureリポジトリからソースコードを取得できることを確認する必要があります。実行する必要がある3つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. JenkinsでWebhookを作成します。
- B. Team Foundation Server (TFS) プラグインをJenkinsに追加します。
- C. Jenkinsアカウントに個人アクセストークンを追加します。
- D. Azure DevOpsアカウントにパーソナルアクセストークン (PAT)を作成します。
- E. AzureDevOpでサービスフックを作成します

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参照 :

Explanation:

B :Jenkinsには、TFSに接続し、プロジェクトの更新を確認するためのプラグインが必要です。Jenkinsの組み込みGitプラグインまたはTeamFoundationServerプラグインは、数分ごとにTeam Servicesリポジトリをポーリングし、変更が検出されたときにジョブをキューに入れることができます。

C :Azure DevOps / Visual StudioTeamServicesを使用してパーソナルアクセストークンを作成します。

D :Visual Studio Team Servicesを使用してクレデンシャルを生成した後、Jenkinsでそれらのクレデンシャルを使用する必要があります。

参照 :

<http://www.aisoftwarellc.com/blog/post/how-to-setup-automated-builds-using-jenkins-and-visual-studio-team-foundation-server/2044>

### 質問: 194

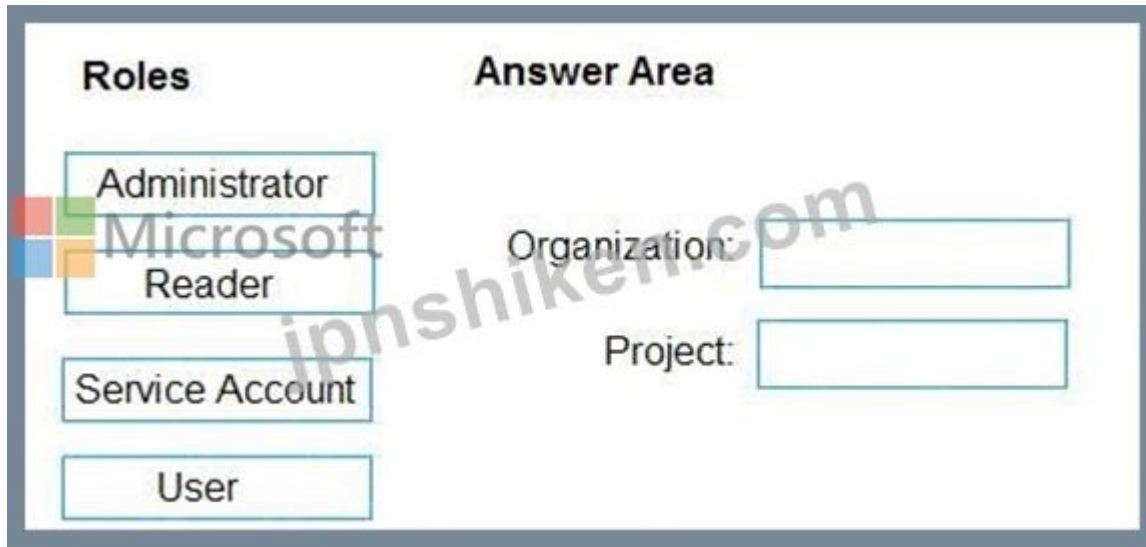
転送要件を満たすには、AzureDevOpsAgentプールへのアクセスを構成する必要があります。

\*ビルドリリースパイプラインを作成するときは、プロジェクトエージェントプールを使用します。

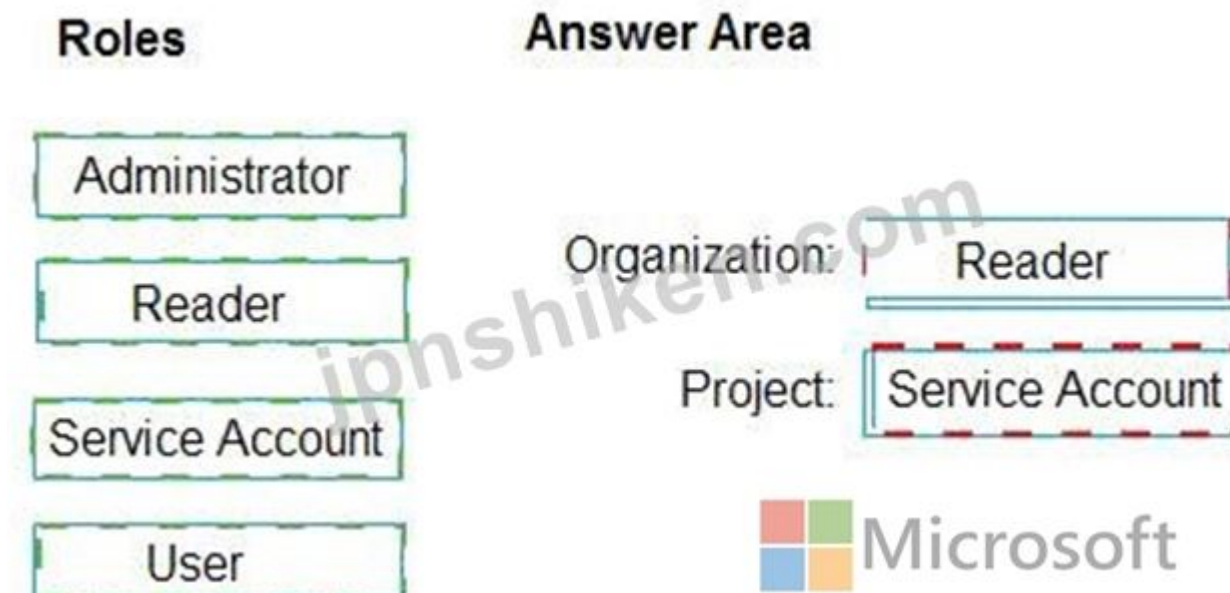
\*組織のエージェントプールとエージェントを表示します。

\*最小特権の原則を使用します。

Azure DevOps組織とプロジェクトに必要なロールメンバーシップはどれですか？回答するには、適切なロールメンバーシップを正しいターゲットにドラッグします。各役割のメンバーシップは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。ペイン間で分割バーをドラッグするか、コンテンツまでスクロールする必要がある場合があります。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



説明



ボックス1 :リーダー

リーダーロールのメンバーは、組織のエージェントプールとエージェントを表示できます。通常、これを使用して、エージェントとそのヘルスの監視を担当するオペレーターを追加します。

ボックス2 :サービスアカウント

サービスアカウントロールのメンバーは、組織エージェントプールを使用して、プロジェクトにプロジェクトエージェントプールを作成できます。上記のガイドラインに従って新しいプロジェクトエージェントプールを作成する場合、通常、ここにメンバーを追加する必要はありません。

質問: 195

監視には、Azure SQL DatabaseIntelligentInsightsとAzureApplicationInsightsを使用します。監視データに対してアドホッククエリを作成する必要があります。

どのクエリ言語を使用する必要がありますか？

- A. Kustoクエリ言語 (KQL)
- B. PL / pgSQL
- C. PL / SQL
- D. Transact-SQL

正解: A ([コメントを公表する](#))

説明

AzureMonitorLogsはAzureDataExplorerに基づいており、ログクエリは同じKustoクエリ言語 (KQL) を使用して書き込まれます。これは読みやすく、作成しやすいように設計された豊富な言語であり、最小限のガイダンスで使い始めることができるはずです。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/log-query/log-query-overview>

質問: 196

AzureDevOpsのダッシュボードのプロジェクトメトリックを推奨する必要があります。各指標に対してどのチャートウィジェットを推奨する必要がありますか？回答するには、適切なグラフウィジェットを正しい指標にドラッグします。各グラフウィジェットは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

**Chart Widgets**      **Answer Area**

**Burndown**      The elapsed time from the creation of work items to their completion:

**Cycle Time**

**Lead Time**      The elapsed time to complete work items once they are active:

**Velocity**      The remaining work:

正解:

**Chart Widgets**      **Answer Area**

**Burndown**      The elapsed time from the creation of work items to their completion:

**Cycle Time**

**Lead Time**      The elapsed time to complete work items once they are active:

**Velocity**      The remaining work:

説明

**Answer Area**      Microsoft

The elapsed time from the creation of work items to their completion:

The elapsed time to complete work items once they are active:

The remaining work:

ボックス1 :リードタイム

リードタイムは、作業項目の作成から完了までに経過した合計時間を測定します。

ボックス2 :サイクルタイム

サイクルタイムは、チームが積極的に作業を開始してから作業項目を完了するのにかかる時間を測定します。

ボックス3 :バーンダウン

アジャイルダウンチャートは、特定の期間内の残りの作業に焦点を当てています。

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 197

RBACが有効になっているAzureKubernetesService (AKS) クラスタをプロビジョニングします。クライアントアプリケーションのHelmチャートがあります。

クラスタでHelmとTillerを構成し、チャートをインストールする必要があります。

順番に実行することをお勧めする3つのコマンドはどれですか？回答するには、適切なコマンドをコマンドのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

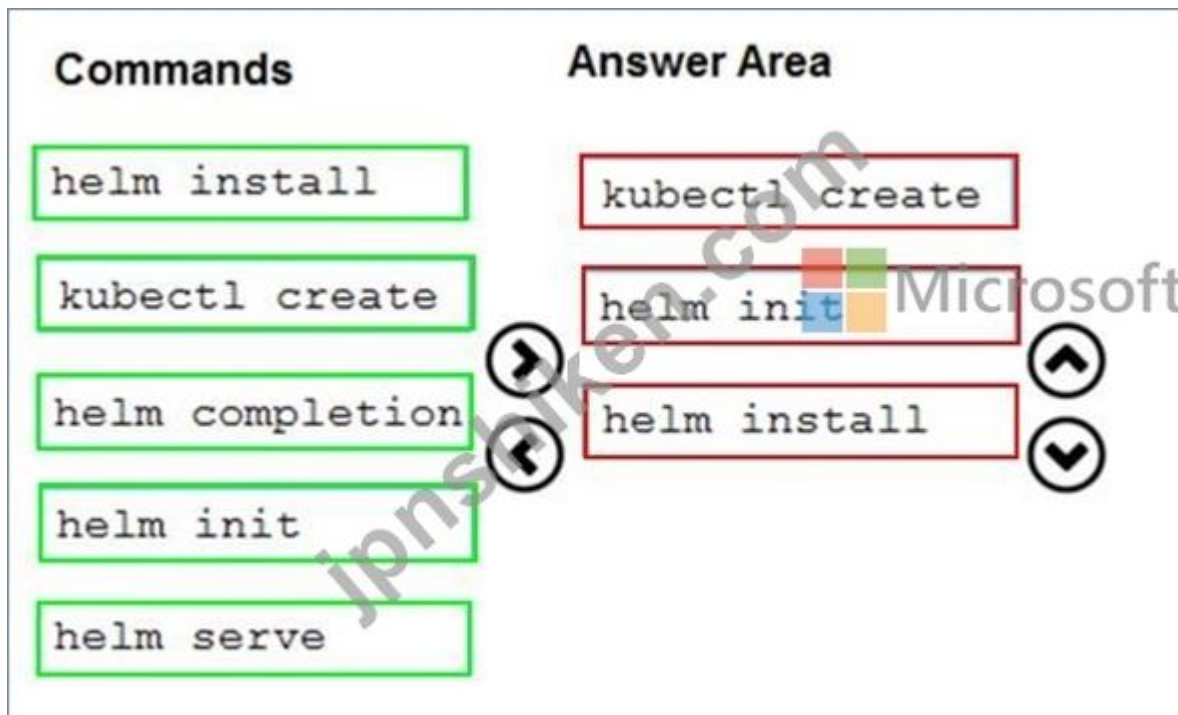
### Commands

### Answer Area

helm install	
kubectl create	
helm completion	
helm init	
helm serve	

Navigation arrows: Right arrow between the 3rd and 4th rows, Left arrow between the 4th and 3rd rows, Up arrow between the 2nd and 3rd rows, Down arrow between the 3rd and 2nd rows.

正解:



Explanation:

ステップ1 :Kubectl create

Helmの構成中に--service-account<NAME>フラグを使用してTillerにサービスアカウントを追加できません（以下の手順2）。前提条件として、事前に設定されているロールとサービスアカウント名を指定するロールバインディングを作成する必要があります。

例 :cluster-adminロールを持つサービスアカウント

```
$ kubectl create -f rbac-config.yaml
```

```
serviceaccount filler」が作成されました
```

```
clusterrolebinding ティラー」が作成されました
```

```
$ helm init --service-accounttiler
```

ステップ2 :ヘルム初期化

基本的なティラーをAKSクラスターにデプロイするには、helminitコマンドを使用します。

ステップ3 :ヘルムのインストール

Helmを使用してチャートをインストールするには、helm installコマンドを使用して、インストールするチャートの名前を指定します。

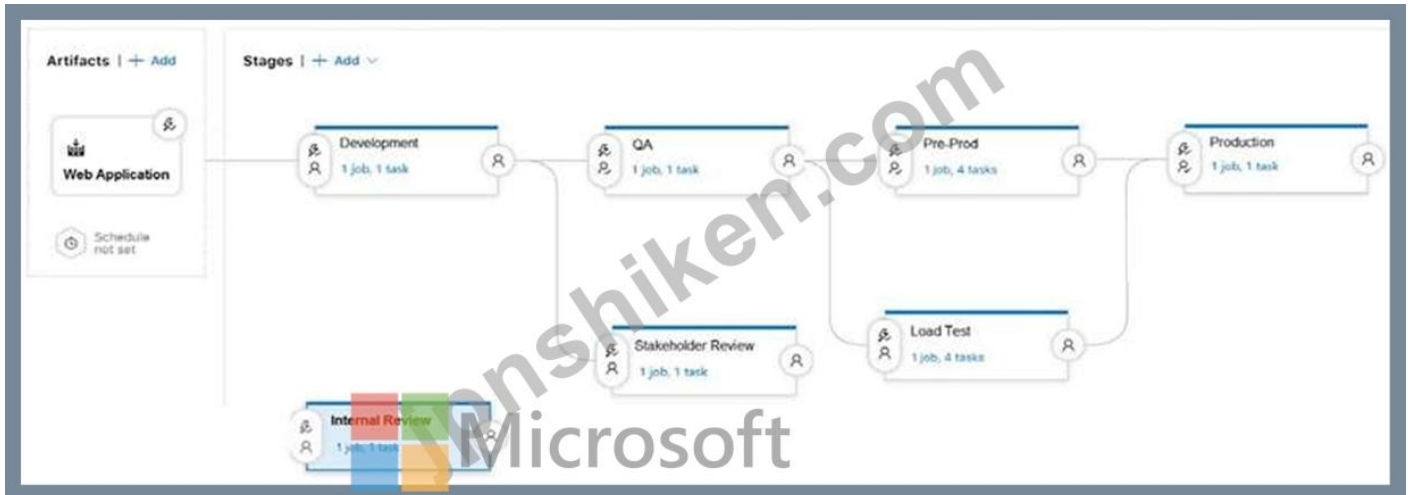
参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/aks/kubernetes-helm>

[https://docs.helm.sh/using\\_helm/#tiller-namespaces-and-rbac](https://docs.helm.sh/using_helm/#tiller-namespaces-and-rbac)

質問: 198

展示に示されているように、AzureDevOpsでリリースパイプラインを構成しています。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各質問に回答する回答の選択肢を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

How many stages have triggers set?

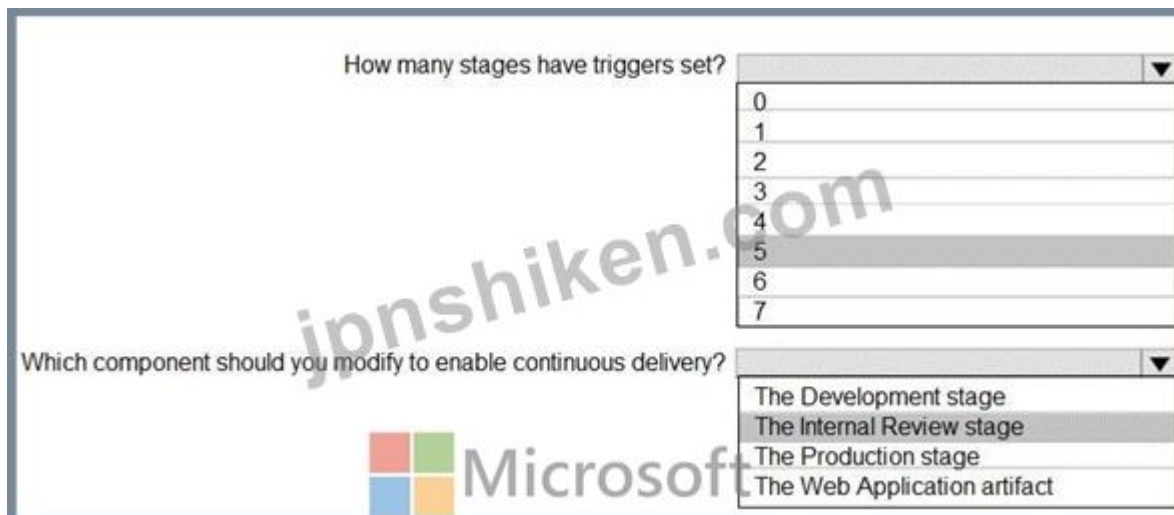
Which component should you modify to enable continuous delivery?

正解:

How many stages have triggers set?

Which component should you modify to enable continuous delivery?

説明



ボックス1 5

開発、QA、実稼働前、負荷テスト、実稼働の5つの段階があります。それらはすべてトリガーを持っています。

ボックス2：内部レビュー段階

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/release/triggers>

質問: 199

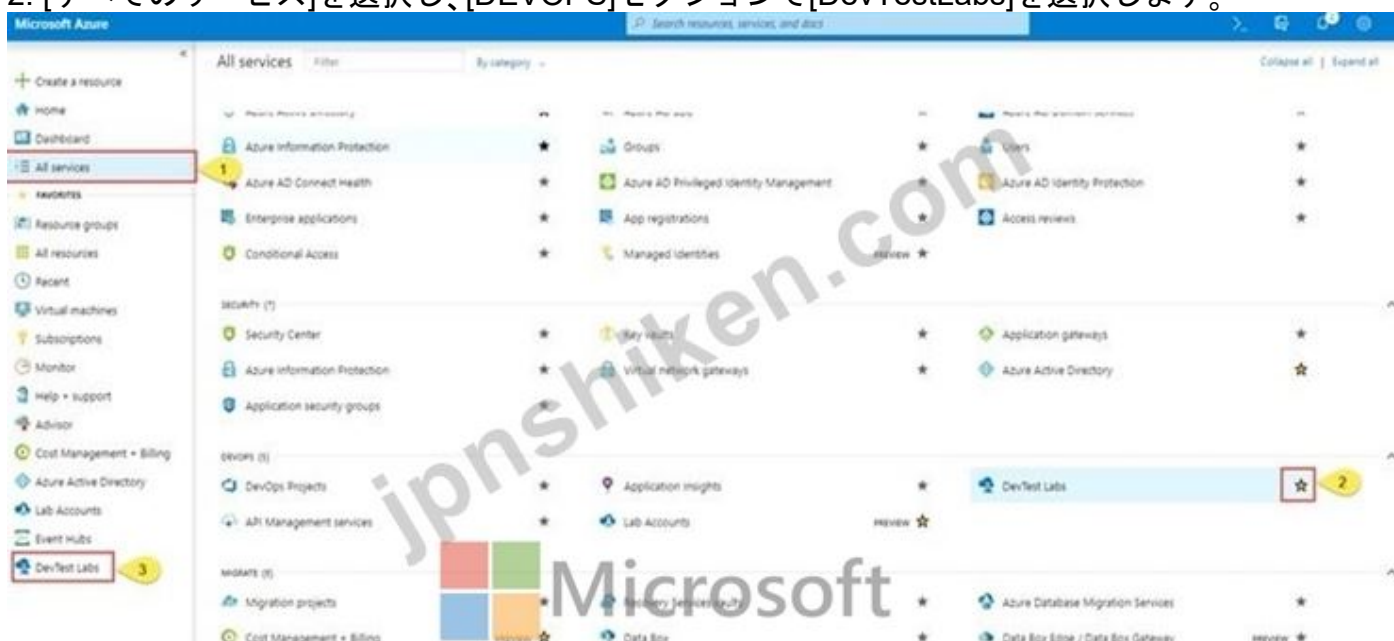
シミュレーション

AzureDevTestLabs環境でaz400-9940427-dtl1という名前の仮想マシンテンプレートを作成する必要があります。テンプレートは、Windows Server2016Datacenterに基づいている必要があります。テンプレートから作成された仮想マシンには、SeleniumツールとGoogleChromeブラウザが含まれている必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

A. 1.MicrosoftAzureポータルを開きます

2. [すべてのサービス]を選択し、[DEVOPS]セクションで[DevTestLabs]を選択します。

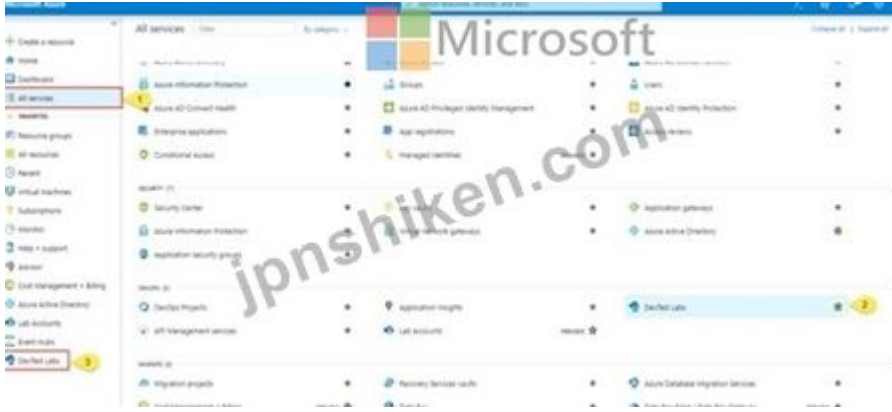


3. ラボのリストから、az400-9940427-dtl1ラボを選択します

4. ラボのホームページで、ツールバーの[+]を選択します。
5. VMのWindowsServer2016データベースイメージを選択します。
6. ページ下部の[送信]ボタンの上にある自動化オプションを選択します。
7. 仮想マシンを作成するためのAzureResourceManagerテンプレートが表示されます。
8. リソースセクションのJSONセグメントには、前に選択した画像タイプの定義があります。

**B. 1. Microsoft Azureポータルを開きます**

2. [すべてのサービス]を選択し、[DEVOPS]セクションで[DevTestLabs]を選択します。



3. ラボのリストから、az400-9940427-dtl1ラボを選択します
4. ラボのホームページで、ツールバーの[+]を選択します。
5. 仮想マシンを作成するためのAzureResourceManagerテンプレートが表示されます。
6. リソースセクションのJSONセグメントには、前に選択した画像タイプの定義があります。

正解: ([正解を表示します](#))

参照 :

<https://docs.microsoft.com/bs-cyrl-ba/azure//lab-services/devtest-lab-vm-powershell>

**質問: 200**

あなたの会社はGitソース管理にAzureDevOpsを使用しています。  
次のリポジトリを含むContosoAppという名前のプロジェクトがAzureDevOpsにあります。

<https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/core-api>

<https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/core-spa>

<https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/core-db>

Contosoアプリ用に作成されたプルリクエストがある場合、開発者がSlack通知を確実に受信するようにする必要があります。

Slackで何を実行する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

/azrepos



正解:



参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/integrations/repos-slack>

質問: 201

あなたの会社はWebアプリケーションを作成します。

アプリケーションで発生する例外の毎日の要約をMicrosoft Teamsに自動的に送信するソリューションを推奨する必要があります。

どの2つのAzureサービスをお勧めしますか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. Azure Logic Apps
- B. Azureパイプライン
- C. Microsoft Visual Studio App Center
- D. AzureDevOpsプロジェクト
- E. Azure Application Insights

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参照 :

Explanation:

E :ライブWebアプリの例外は、Application Insightsによって報告されます。

注：定期的なレポートは、ビジネスクリティカルなサービスがどのように実行されているかをチームに通知するのに役立ちます。

開発者、DevOps / SREチーム、およびそのマネージャーは、ポータルにサインインする必要なしに、洞察を確実に提供する自動レポートで生産性を高めることができます。このようなレポートは、アラートルールをトリガーしない可能性のある遅延、負荷、または障害率の段階的な増加を特定するのに役立ちます。

A :プログラムでApplication Insightsデータをクエリして、スケジュールに従ってカスタムレポートを生成できます。

次のオプションは、すぐに始めるのに役立ちます。

Microsoft Flowを使用してレポートを自動化する

Logic Appsを使用してレポートを自動化する

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/app/asp-net-exceptions>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/app/automate-custom-reports>

質問: 202

チームの開発プロセスのセキュリティを強化する必要があります。

開発プロセスの各段階で、どのタイプのセキュリティツールを推奨する必要がありますか？答えるには、適切なセキュリティトウアウトを正しいステージにドラッグします。各セキュリティツールは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Security Tools	Answer Area
Penetration testing	Pull request: <input type="text"/>
Static code analysis	Continuous integration: <input type="text"/>
Threat modeling	Continuous delivery: <input type="text"/>

正解:

Security Tools	Answer Area
Penetration testing	Pull request: Threat modeling
Static code analysis	Continuous integration: Static code analysis
Threat modeling	Continuous delivery: Penetration testing

説明

Answer Area
Pull request: Threat modeling
Continuous integration: Static code analysis
Continuous delivery: Penetration testing

ボックス1：脅威モデリング

脅威モデリングのモットーは、「早いほど良いが、遅すぎず、決して無視しない」ということです。

ボックス2：静的コード分析CI/CDでの検証は、開発者がコードをコミットする前に開始されます。IDEの静的コード分析ツールは、セキュリティの脆弱性がCI/CDプロセスに導入されないようにするための最初の防衛線を提供します。

ボックス3：侵入テスト

コードの品質が検証され、アプリケーションが開発やQAなどの下位環境にデプロイされたら、プロセスは実行中のアプリケーションにセキュリティの脆弱性がないことを検証する必要があります。これは、実行中のアプリケーションに対して自動侵入テストを実行して、脆弱性をスキャンすることで実現できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/articles/security-validation-cicd-pipeline?view=vsts>

### 質問: 203

あなたの会社はAzureDevOpsにプロジェクトを持っています。

AzureResourceManagerテンプレートを使用してリソースをデプロイするリリースパイプラインを作成することを計画しています。

テンプレートは、AzureKeyVaultに格納されているシークレットを参照します。

展開中にキーボルトに保存されているシークレットにアクセスするためのソリューションを推奨する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

推奨事項には何を含める必要がありますか？答えるには、適切な構成を正しいターゲットにドラッグします。各構成は、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Configurations	Answer Area
<input type="checkbox"/> A Key Vault access policy	Enable key vaults for template deployment by using: <input type="text"/>
<input checked="" type="checkbox"/> A Key Vault advanced access policy	Restrict access to the secrets in Key Vault by using: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> RBAC	

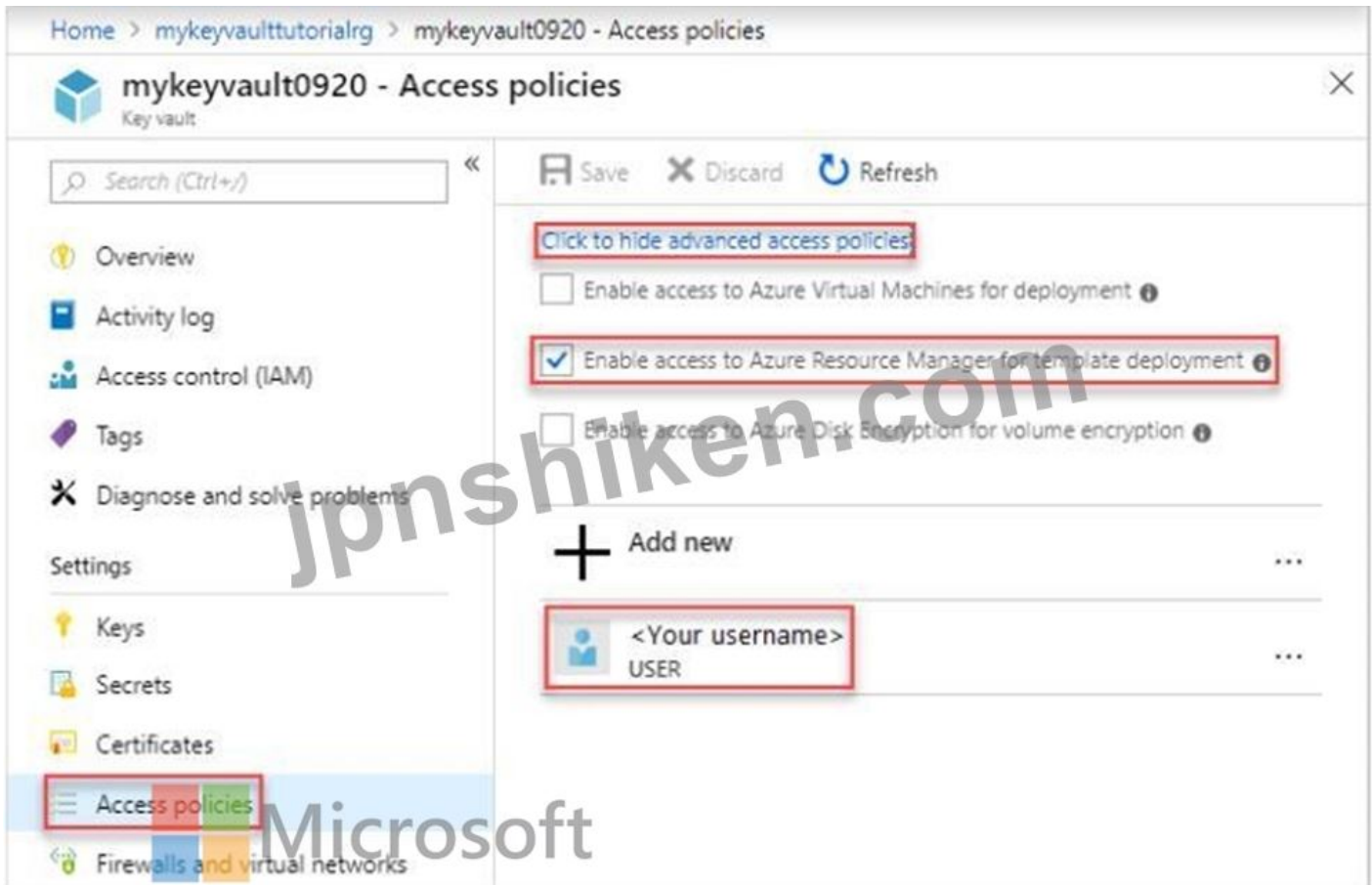
正解:

Configurations	Answer Area
<input type="checkbox"/> A Key Vault access policy	Enable key vaults for template deployment by using: <input type="text" value="A Key Vault advanced access policy"/>
<input checked="" type="checkbox"/> A Key Vault advanced access policy	Restrict access to the secrets in Key Vault by using: <input type="text" value="RBAC"/>
<input type="checkbox"/> RBAC	

説明

Answer Area
Enable key vaults for template deployment by using: <input type="text" value="A Key Vault advanced access policy"/>
Restrict access to the secrets in Key Vault by using: <input type="text" value="RBAC"/>

ボックス1：主要なVaultの高度なアクセスポリシー



## ボックス2 :RBAC

管理プレーンのアクセス制御はRBACを使用します。

管理プレーンは、次のようなキーボールド自体に影響を与える操作で構成されます。

\*キーボールドの作成または削除。

\*サブスクリプション内のボールドのリストを取得します。

\* Key Vaultのプロパティ (\$SKUやタグなど)を取得しています。

\*キーとシークレットへのユーザーとアプリケーションのアクセスを制御するKeyVaultアクセスポリシーを設定します。


参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-manager-tutorial-use-key-vault>

## 質問: 204


投資計画枯渇スイートのリリース保持ポリシーをどのように確認する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Required secrets:  Certificate  
 Personal access token  
 Shared Access Authorization token  
 Username and password

Storage location: Azure Data Lake  
 Azure Key Vault  
 Azure Storage with HTTP access  
 Azure Storage with HTTPS access

正解:

Required secrets:  Certificate  
 Personal access token  
 Shared Access Authorization token  
 Username and password

Storage location: Azure Data Lake  
 Azure Key Vault  
 Azure Storage with HTTP access  
 Azure Storage with HTTPS access

Explanation:

ストレージサービスに対して行われるすべてのリクエストは、パブリックアクセスまたは署名されたアクセスに利用できるになっているBLOBまたはコンテナリソースに対するリクエストでない限り、承認する必要があります。リクエストを承認するための1つのオプションは、共有キーを使用することです。

シナリオ :モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービスを呼び出すことができる必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介した基本認証のみをサポートします。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイル

アプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されま  
す。もう1つは顧客が使用します。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/rest/api/storageservices/authorize-with-shared-key>

トピック2、概要

既存の環境

Contoso、Ltd.は、シカゴに本社を置く製造会社です。

要件

Contosoは、AzureDevOpsの原則を実装するIT開発および運用プロセスを改善することを計画して  
います。ContosoにはAzureサブスクリプションがあり、AzureDevOps組織を作成します。

AzureDevOps組織には次のものが含まれます。

\*Docker拡張機能

\* WindowsServer2016を実行する10台のAzure仮想マシンを含むPool7という名前の展開プール。  
Azureサブスクリプションには、AzureAutomationアカウントが含まれています。

計画された変更

Contosoは、次の表に示すように、AzureDevOpsでプロジェクトを作成することを計画していま  
す。

Project name	Project details
Project 1	Project1 will provide support for incremental builds and third-party SDK components
Project 2	Project2 will use an automatic build policy. A small team of developers named Team2 will work independently on changes to the project. The Team2 members will not have permissions to Project2.
Project 3	Project3 will be integrated with SonarQube
Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
Project 5	Project5 will contain a Git repository in Azure Reports and a continuous integration trigger that will initiate a build in response to any change except for changes within /folder1 of the repository.
Project 6	Project6 will provide support for build and deployment pipelines. Deployment will be allowed only if the number of current work items representing active software bugs is 0.
Project 7	Project7 will contain a target deployment group named Group7 that maps to Pool7. Project7 will use Azure Automation State Configuration to maintain the desired state of the computers in Group7.

技術要件

Contosoは、次の技術要件を識別します。

\*ビルドエージェントrotProject1を実装します。

\*可能な限り、Azureリソースを使用してください

\*廃止されたテクノロジーの使用は避けてください

\*Project2のコードフロー戦略を実装します。

\*チーム2がProject2のプルリクエストを送信できるようにします。

- \*チーム2がプロジェクトのコピーへの変更独立完成して取り組むことができるようにしますか？
- \* Project2のコピーに対してTram2によって実行される中間変更には、Project2のビルドポリシーで無視されたものと同じ制限が適用されることを確認してください。
- \* いつでも可能なとき。自動化を実装し、管理作業を最小限に抑えます。
- \*計画された変更に基づいて、Protect3、Project5、Project6、およびProject7を実装します。
- \* Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerReentryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

**質問: 205**

現在、DevOpsプロセスの一部としてJIRA、Jenkins、およびOctopusを使用しています。

これらのツールの代わりにAzureDevOpsを使用する予定です。

各ツールを置き換えるためにどのAzureDevOpsサービスを使用する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

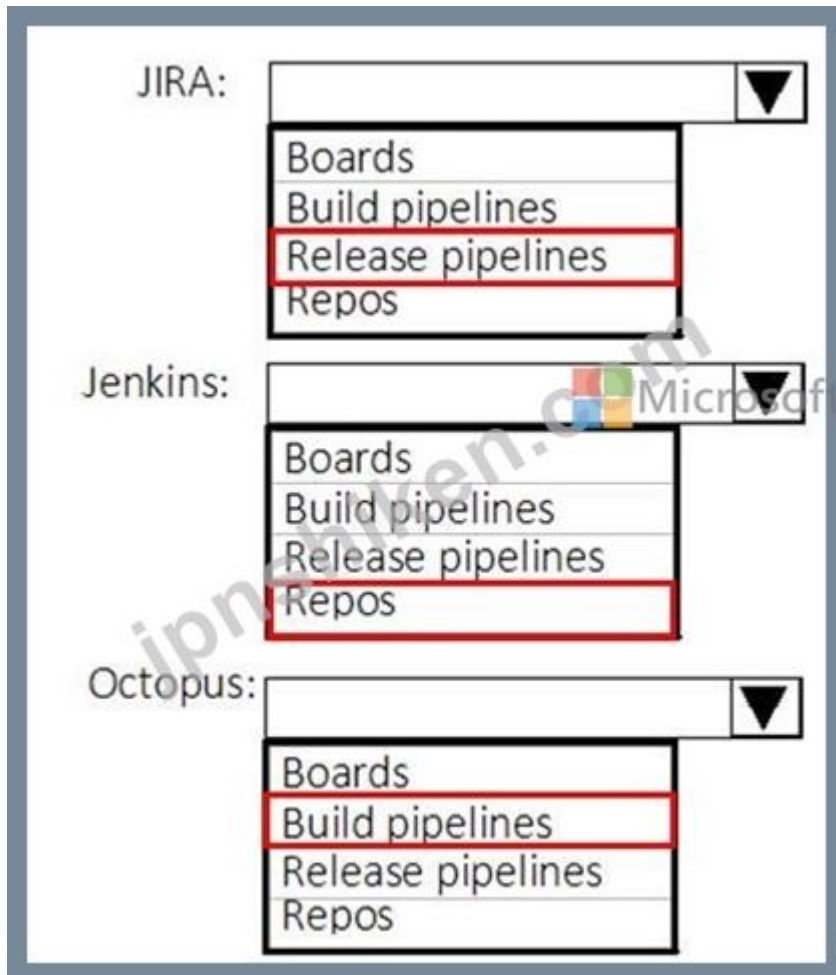
JIRA: [Dropdown menu with options: Boards, Build pipelines, Release pipelines, Repos]

Jenkins: [Dropdown menu with options: Boards, Build pipelines, Release pipelines, Repos]

Octopus: [Dropdown menu with options: Boards, Build pipelines, Release pipelines, Repos]

Microsoft

正解:



Explanation:

JIRA パイプラインをリリース

AtlassianのJiraSoftwareは、チームがソフトウェアリリースを計画、追跡、および管理するのに役立つ人気のあるアプリケーションです。一方、Octopus Deployは、チームが開発および運用プロセスを高速で反復可能かつ信頼性の高い方法で自動化するのに役立ちます。これらを組み合わせることで、チームはアイデアから本番環境までのソフトウェアパイプラインをエンドツーエンドで把握できるようになります。

ジェンキンス :リポジトリ

JenkinsをAzurePipelinesと統合する1つの方法は、JenkinsでCIジョブを個別に実行することです。これには、JenkinsでのCIパイプラインの構成と、ソースコードがリポジトリまたはブランチにプッシュされたときにCIプロセスを呼び出すAzureDevOpsでのWebフックの構成が含まれます。

タコ パイプラインを構築する

参照 :

<https://octopus.com/blog/octopus-jira-integration>

<https://www.azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/jenkins/>

質問: 206

あなたの会社は、ソフトウェア開発にアジャイルアプローチを使用することを計画しています。世界中の場所で働く開発チームのメンバー間のコミュニケーションを提供するアプリケーション

を推奨する必要があります。アプリケーションは、次の要件を満たしている必要があります。

\*遠心性プロジェクトチームのメンバーを個別のコミュニケーションチャンネルに分離し、それらのチャンネル内のチャットの履歴を保持する機能を提供します。

\* Windows 10、Mac OS、iOS、およびAndroidオペレーティングシステムで利用できます。

\*プロジェクトに外部の請負業者やサプライヤーを追加する機能を提供します。

\*AzureDevOpsと直接統合します。

何をお勧めしますか？

- A. タコ
- B. 竹
- C. Microsoft Project
- D. たるみ

正解: ([正解を表示します](#))

Slackは人気のあるチームコラボレーションサービスであり、すべてのコミュニケーションを1か所にまとめ、事実上どこからでも簡単に検索できるようにすることで、チームの生産性を高めます。すべてのメッセージ、ファイル、およびTwitter、Dropbox、Google Docs、AzureDevOpsなどのすべてを一緒に。Slackには、iOSとAndroid向けの完全にネイティブなアプリもあり、どこにいてもSlackの全機能を利用できます。

AzureDevOpsと統合

この統合により、チームはAzureDevOpsプロジェクトで発生しているアクティビティを常に把握できます。この統合により、コードチェックイン、プルリクエスト、作業項目の更新、ビルドイベントがチームのSlackチャンネルに直接表示されます。

注 Microsoft Teamsも正解ですが、ここではオプションではありません。

参照：

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ms-vsts.vss-services-slack>

質問: 207

az400-9940427-mainという名前のAzureWebアプリがローリングアップグレードをサポートしていることを確認する必要があります。このソリューションでは、az400-9940427-mainに接続するユーザーの10%のみがアプリの更新バージョンを使用するようにする必要があります。

ソリューションは、管理作業を最小限に抑える必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

正解:

AzureAppServiceでステージング環境をセットアップする

1. MicrosoftAzureポータルを開きます
2. Azureアカウントにログインし、アプリのリソースページを選択し、左側のウィンドウで[展開スロット]>[スロットの追加]を選択します。

my-demo-app - Deployment slots

Search (Ctrl+F)

Save Discard **+ Add Slot** Swap Refresh

You haven't added any deployment slots. Click here to get started. →

### Deployment Slots

Deployment slots are live apps with their own hostnames. App content and configurations elements can be swapped between two deployment slots, including the production slot.

NAME	STATUS	APP SERVICE PLAN	TRAFFIC %
my-demo-app <b>PRODUCTION</b>	Running	myAppServicePlan	100

Microsoft

3. [スロットの追加]ダイアログボックスで、スロットに名前を付け、別の展開スロットからアプリ構成を複製するかどうかを選択します。[追加]を選択して続行します。

Add a slot

Name  
staging

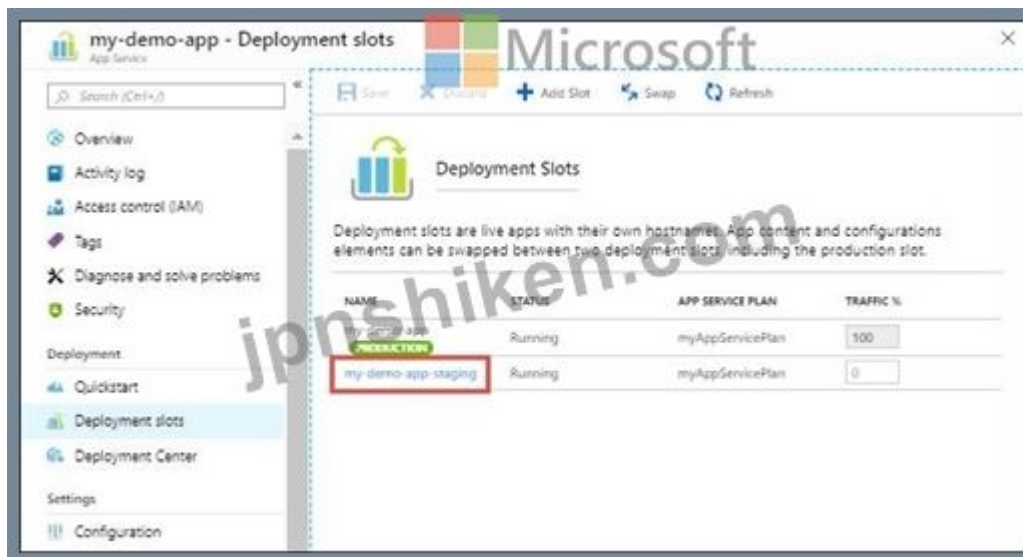
Clone settings from:  
Do not clone settings

Microsoft

Add Close

4. スロットを追加したら、[閉じる]を選択してダイアログボックスを閉じます。これで、新しいスロットが[展開スロット]ページに表示されます。デフォルトでは、新しいスロットのトラフィック率は0に設定されており、すべての顧客トラフィックは本番スロットにルーティングされます。

5. 新しい展開スロットを選択して、そのスロットのリソースページを開きます。



6. トラフィック%を10に変更します

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/app-service/deploy-staging-slots>

質問: 208

AzureAppServiceでホストされる5つのアプリをサポートする構成管理ソリューションを設計しています。

各アプリは、開発、テスト、本番の3つの環境で利用できます。

次の要件を満たす構成管理ソリューションを推奨する必要があります。

機能フラグをサポート

過去30日間の構成変更を追跡します

階層構造の構成値を格納します

ロールベースのアクセス制御 (RBAC) アクセス許可を使用して構成へのアクセスを制御するすべてのアプリで使用できるキーと値のペアとして共有値を格納する構成管理ソリューションとしてどのAzureサービスを推奨する必要がありますか？

A. Azure Cosmos DB

B. Azure App Service

C. Azureアプリの構成

D. Azure Key Vault

正解: (正解を表示します)

Azureポータルアプリ構成用の機能マネージャーは、アプリケーションで使用する機能フラグを作成および管理するためのUIを提供します。

アプリの構成には、次の利点があります。

数分でセットアップできるフルマネージドサービス

柔軟なキー表現とマッピング

ラベルによるタグ付け

設定のポイントインタイムリプレイ

機能フラグ管理専用のUI

カスタム定義のディメンションでの2セットの構成の比較

Azureで管理されたIDによるセキュリティの強化

保管中および転送中の機密情報の暗号化

人気のあるフレームワークとのネイティブ統合

アプリの構成は、アプリケーションのシークレットを格納するために使用されるAzureKeyVaultを補完します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-app-configuration/overview>

### 質問: 209

GitHubリポジトリ用のAzurePipelinesのパイプラインを含むContosoAppという名前のAzureDevOpsにプロジェクトがあります。Contoso Appのパイプラインで障害が発生したときに、開発者がMicrosoftTeamsの通知を確実に受信する必要がある場合があります。Teamsで何を実行する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area

@azure pipelines	feedback signin subscribe subscriptions	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/ https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_build https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_packaging https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_work-items
------------------	--	---

正解:

Answer Area

@azure pipelines	feedback signin subscribe subscriptions	https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/ https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_build https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_packaging https://dev.azure.com/contoso/contoso-app/_work-items
------------------	--	---

### 質問: 210

あなたの会社はGitソースコードリポジトリを使用しています。

ワークフロー戦略としてGitFlowを実装することを計画しています。

ストラテジーの実動コードと実動前コードに使用されているブランチタイプを特定する必要があります。

コードタイプごとにどのブランチタイプを特定する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Answer Area	
	Production code: Master Feature Develop
	Preproduction code: Master Feature Develop

正解:



ボックス1 :マスター

マスターブランチには本番コードが含まれています。すべての開発コードは、いつかマスターにマージされます。

ボックス2 : 開発

Developブランチには、実動前のコードが含まれています。機能が終了すると、それらは開発にマージされます。

参照 :

<https://medium.com/@patrickporto/4-branching-workflows-for-git-30d0aaee7bf>

### 質問: 211

注 :この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

あなたの会社は、新しいWebアプリケーション用のプロジェクトをAzureDevOpsに持っています。

コードがチェックインされたときに、ビルドが自動的に実行されることを確認する必要があります。

解決策 :リリースパイプラインの展開前条件設定から、ビルドの進行中にバッチ変更を選択します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: (正解を表示します)

代わりに、Visual Designerでは、次の方法で継続的インテグレーション (CI) を有効にします。

1.[トリガー]タブを選択します。

2.継続的インテグレーションを有効にします。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/get-started-designer>

有効的なAZ-400問題集はJPNTTest.com提供され、AZ-400試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新AZ-400試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここでAZ-400問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> 625問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 212

Group7のコンピューター用にAzureAutomationを構成する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

Actions

Answer Area



Run the Import-AzureRmAutomationDscConfiguration Azure PowerShell cmdlet.

Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of .ps1.

Run the New-AzureRmResourceGroupDeployment Azure PowerShell cmdlet.

Run the Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob Azure PowerShell cmdlet.

Create an Azure Resource Manager template file that has an extension of .json.

正解:

Run the Import-AzureRmAutomationDscConfiguration Azure PowerShell cmdlet.

Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of .ps1.

Run the New-AzureRmResourceGroupDeployment Azure PowerShell cmdlet.

Run the Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob Azure PowerShell cmdlet.

Create an Azure Resource Manager template file that has an extension of .json.

Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of .ps1.

Run the Import-AzureRmAutomationDscConfiguration Azure PowerShell cmdlet.

Run the Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob Azure PowerShell cmdlet.

説明

Create a Desired State Configuration (DSC) configuration file that has an extension of .ps1.

Run the `Import-AzureRmAutomationDscConfiguration` Azure PowerShell cmdlet.

Run the `Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob` Azure PowerShell cmdlet.

手順1 : 拡張子が .ps1 の Desired State Configuration (DSC) 構成ファイルを作成します。

手順2 : `Import-AzureRmAutomationDscConfiguration` Azure PowerShell コマンドレットを実行する `Import-AzureRmAutomationDscConfiguration` コマンドレットは、APS の望ましい状態の構成 (DSC) 構成を Azure Automation にインポートします。単一の DSC 構成を含む APS スクリプトのパスを指定します。

例 :

```
PS C:\> Import-AzureRmAutomationDscConfiguration -AutomationAccountName  
"Contoso17" -ResourceGroupName "ResourceGroup01" -SourcePath "C:\DSC\client.ps1" -
```

`Force` このコマンドは、`client.ps1` という名前のファイルの DSC 構成を `Contoso17` という名前の自動化アカウントにインポートします。このコマンドは、`Force` パラメーターを指定します。既存の DSC 構成がある場合は、このコマンドがそれを置き換えます。

手順3 : `Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob` Azure PowerShell コマンドレットを実行する `Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob` コマンドレットは、Azure Automation で APS の必要な状態の構成 (DSC) 構成をコンパイルします。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurermsautomation/import-azurermsautomationdscconfiguration>

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurermsautomation/start-azurermsautomationdsccompilationjob>

### 質問: 213

あなたの会社は、開発者がオープンソースライブラリを導入すると、ライセンスコンプライアンスの問題が発生することを懸念しています。

ビルドパイプラインに自動化されたプロセスを追加して、一般的なオープンソースライブラリがコードベースに追加されたことを検出する必要があります。

何をすべきですか？

- A. コードスタイル
- B. Microsoft Visual SourceSafe
- C. ブラックダック

## D. ジェンキンス

正解: ([正解を表示します](#))

説明

オープンソースソフトウェアの保護と管理

Black Duckは、組織がアプリケーションとコンテナのポートフォリオ全体でオープンソースのセキュリティ、ライセンスコンプライアンス、およびコード品質のリスクを特定して軽減するのに役立ちます。

BlackDuckHubとそのTeamFoundationServer (TFS) プラグインを使用すると、ビルドプロセス中にオープンソースのセキュリティの脆弱性を自動的に検出して修正できるため、リスクをプロアクティブに管理できます。統合により、Black Duck Hubポリシー違反が発生したときに、アラートを受信してビルドを失敗させることができます。

注 :WhiteSourceも良い答えですが、ここではオプションではありません。

参照 :

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=black-duck-software.hub-tfs>

### 質問: 214

投資計画枯渇スイートのリリース保持ポリシーをどのように確認する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注 : 正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Required secrets:

Certificate
Personal access token
Shared Access Authorization token
Username and password

Storage location:

Azure Data Lake
Azure Key Vault
Azure Storage with HTTP access
Azure Storage with HTTPS access

Required secrets:

Certificate
Personal access token
Shared Access Authorization token
Username and password

Storage location:

Azure Data Lake
Azure Key Vault
Azure Storage with HTTP access
Azure Storage with HTTPS access

説明

Required secrets:

Certificate
Personal access token
Shared Access Authorization token
Username and password

Storage location:

Azure Data Lake
Azure Key Vault
Azure Storage with HTTP access
Azure Storage with HTTPS access

ストレージサービスに対して行われるすべてのリクエストは、パブリックアクセスまたは署名されたアクセスに利用できるようになっているBLOBまたはコンテナリソースに対するリクエストでない限り、承認する必要があります。リクエストを承認するための1つのオプションは、共有キーを使用することです。

シナリオ :モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービスを呼び出すことができる必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介した基本認証のみをサポートします。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されます。もう1つは顧客が使用します。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/rest/api/storageservices/authorize-with-shared-key>

#### 質問: 215

WhiteSourceを使用してスキャンする50個のNode.jsベースのプロジェクトがあります。各プロジェクトには、Package.json、Package-lock.json、およびNpm-shrinkwrap.jsonファイルが含まれています。

WhiteSourceによるライブラリレポートの数を、明示的に参照するライブラリのみを最小化する必要があります。

あなたは何をすべきか？

- A. ファイルシステムエージェントプラグインを設定します。
- B. パッケージlock.jsonを削除します。
- C. Artifactoryプラグインを構成します。
- D. devDependenciesセクションをPackage-lock.jsonに追加します。

正解: D ([コメントを发表する](#))

依存関係を分離する

package.jsonファイル内で、npmの依存関係をdevDependenciesと（本番の）依存関係に分割してください。重要なのは、npmパッケージをインストールするときに--productionフラグを使用する必要があるということです。--productionフラグは、devDependenciesセクションで定義されたすべてのパッケージを除外します。

参照 <https://blogs.msdn.microsoft.com/visualstudioalmrangers/2017/06/08/manage-your-open-source-usage-and-security-as-reported-by-your-cicd-pipeline/>

#### 質問: 216

多層アプリケーションをデプロイするAzureResourceManagerテンプレートがあります。展開を実行するユーザーが、アプリケーションで使用されるアカウントの資格情報と接続文字列を表示できないようにする必要があります。

何を使うべきですか？

- A. AzureResourceManagerパラメーターファイル
- B. AzureStorageテーブル
- C. Appsettings.jsonファイル
- D. Azure Key Vault
- E. Web.configファイル

正解: [\(正解を表示します\)](#)

展開中にパラメーターとして安全な値（パスワードなど）を渡す必要がある場合は、AzureKeyVaultから値を取得できます。パラメータファイルのキーボルトとシークレットを参照して値を取得します。キーボルトIDのみを参照するため、値が公開されることはありません。キーボルトは、デプロイ先のリソースグループとは異なるサブスクリプションに存在する可能性があります。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-manager-keyvault-parameter>

#### 質問: 217

転送要件を満たすには、AzureDevOpsAgentプールへのアクセスを構成する必要があります。  
\*ビルドリリースパイプラインを作成するときは、プロジェクトエージェントプールを使用します。

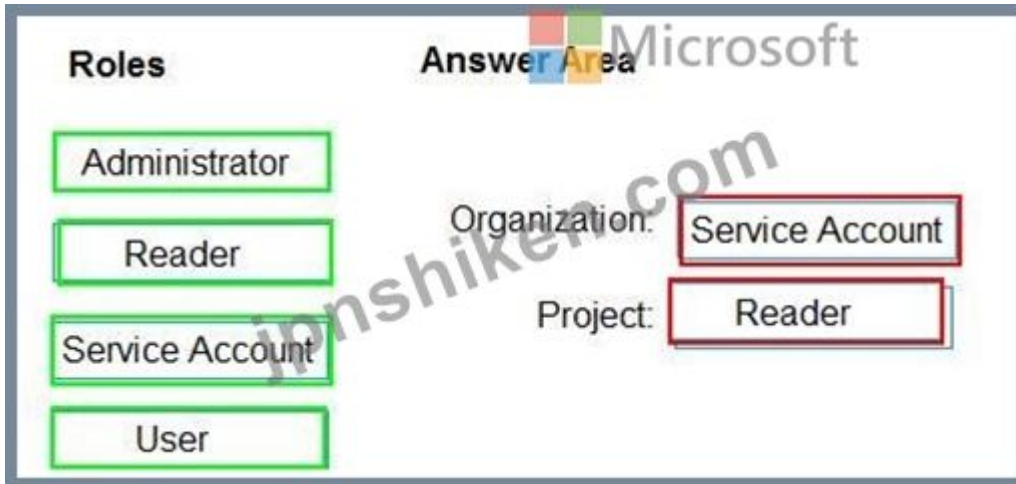
\*組織のエージェントプールとエージェントを表示します。

\*最小特権の原則を使用します。

Azure 0e%Oos組織とプロジェクトに必要なロールメンバーシップはどれですか？回答するには、適切なロールメンバーシップを正しいターゲットにドラッグします。各役割のメンバーシップは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。ペイン間で分割バーをドラッグするか、コンテンツまでスクロールする必要がある場合があります。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/agents/pools-queues>

質問: 218

AzureDevOpsのプロジェクトにブランドポリシーがあります。ポリシーでは、コードが常に正常にビルドされる必要があります。

コードのコンパイルに失敗した場合でも、特定のユーザーが常に変更をマスターブランチにマージできるようにする必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

あなたは何をするべきか？

- A. リポジトリのセキュリティ設定から、ユーザーのアクセス制御を変更します。
- B. ブランチのセキュリティ設定から、ユーザーのアクセス制御を変更します。
- C. ユーザーをBuildAdministratorsグループに追加します。
- D. ユーザーをProjectAdministratorsグループに追加します

正解: (正解を表示します)

説明

場合によっては、ポリシー要件をバイパスして、ブランチポリシーが満たされていない場合でも、変更をブランチに直接プッシュしたり、プルリクエストを完了したりできるようにする必要があります。このような状況では、前のリストから必要な権限をユーザーまたはグループに付与します。この権限は、プロジェクト全体、リポジトリ、または単一のブランチにスコープできます。この権限を他のGit権限と一緒に管理します。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/git/branch-policies>

質問: 219

Webapp1という名前のAzureWebアプリがあります。

Azure Monitorクエリを使用して、失敗したWebapp1の上位10ページの詳細を示すレポートを作成する必要があります。

クエリをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

exceptions
pageViews
requests
traces

| where

duration == 0
itemType == "availabilityResult"
resultCode == "200"
success == false

```
| summarize failedCount=sum(itemCount) by name, resultCode  
| top 10 by failedCount desc  
| render barchart
```

正解:

exceptions
pageViews
requests
traces

where

duration == 0
itemType == "availabilityResult"
resultCode == "200"
success == false

```
| summarize failedCount=sum(itemCount) by name, resultCode  
| top 10 by failedCount desc  
| render barchart
```

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/platform/app-insights-metrics>

質問: 220

ASP.NETCoreアプリのコンテナを作成しています。

イメージをビルドするには、Dockerfileファイルを作成する必要があります。ソリューションでは、画像のサイズを最小化する必要があります。

ファイルをどのように構成する必要がありますか？答えるには、適切な値を正しいターゲットにドラッグします。各値は、1回使用するか、複数回使用するか、まったく使用しないでください。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Microsoft

Values

- dotnet publish -c Release -o out
- dotnet restore
- microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
- Microsoft/dotnet:2.2-sdk

Answer Area

```
FROM [ ] As build-env
COPY . /app/
WORKDIR /app
RUN [ ]
FROM [ ]
COPY --from=build-env /app/out /app
WORKDIR /app
ENTRYPOINT [\"dotnet\", \" MvcMovie.dll\"]
```

正解:

Microsoft

Values

- dotnet publish -c Release -o out
- dotnet restore
- microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
- Microsoft/dotnet:2.2-sdk

Answer Area

```
FROM Microsoft/dotnet:2.2-sdk As build-env
COPY . /app/
WORKDIR /app
RUN dotnet restore
FROM microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
COPY --from=build-env /app/out /app
WORKDIR /app
ENTRYPOINT [\"dotnet\", \" MvcMovie.dll\"]
```

説明

```
FROM Microsoft/dotnet:2.2-sdk As build-env
COPY . /app/
WORKDIR /app
RUN dotnet restore
FROM microsoft/dotnet:2.2-aspnetcore-runtime
COPY --from=build-env /app/out /app
WORKDIR /app
ENTRYPOINT ["dotnet", "MvcMovie.dll"]
```

ボックス1 microsoft.com/dotnet/sdk:2.3

行の最初のグループは、その上にコンテナを構築するために使用するベースイメージを宣言します。ローカルシステムにこのイメージがまだない場合、dockerは自動的にイメージをフェッチしようとしています。mcr.microsoft.com/dotnet/core/sdk:2.1は、.NET Core 2.1 SDKがインストールされた状態でパッケージ化されているため、バージョン2.1を対象とするASP .NETコアプロジェクトを構築するタスクがあります。ボックス2 dotnetrestore次の手順の変更コンテナ内の作業ディレクトリは/appであるため、これに続くすべてのコマンドはこのコンテキストで実行されます。

コピー\*.csproj./

dotnetrestoreを実行する

ボックス3 microsoft.com/dotnet/2.2-aspnetcore-runtime

コンテナイメージを構築するときは、本番ペイロードとその依存関係のみをコンテナイメージに含めることをお勧めします。.NETコアランタイムのみが必要なため、最終イメージに.NETコアSDKを含めたくないため、dockerfileは、build-envと呼ばれるSDKにパッケージ化された一時コンテナを使用してアプリをビルドするように記述されています。

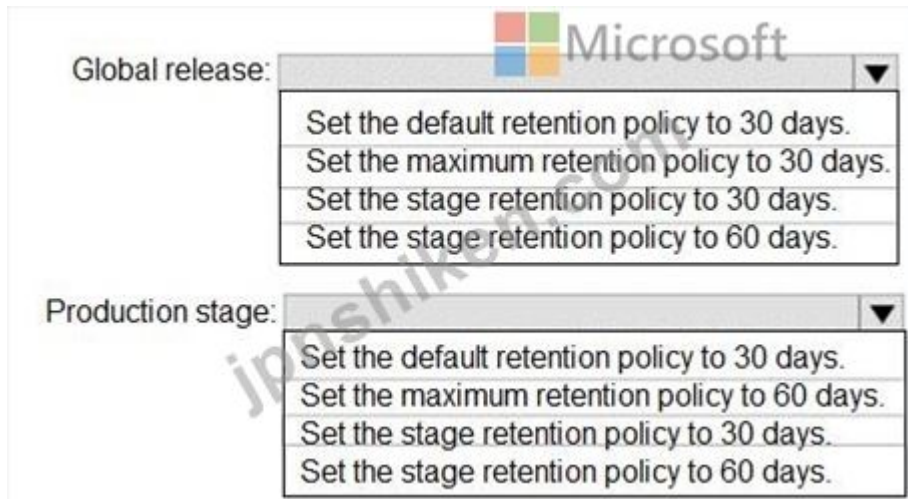
参照：

<https://docs.microsoft.com/de-DE/virtualization/windowscontainers/quick-start/building-sample-app>

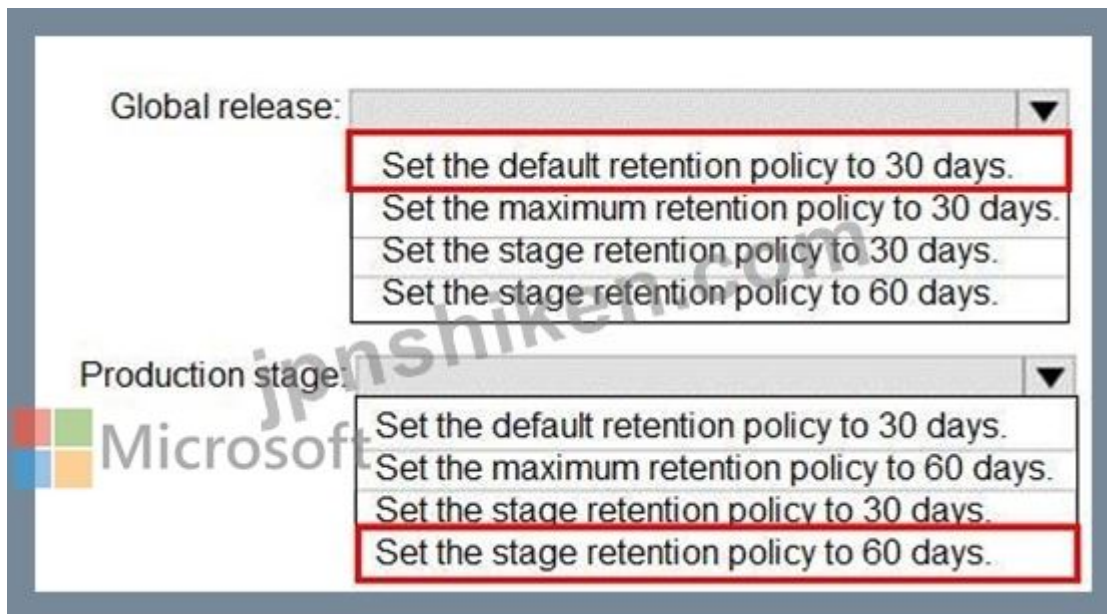
質問: 221

投資計画アプリケーションスイートのリリース保持ポリシーをどのように構成する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



Explanation:

シナリオ :デフォルトでは、60日間保持する必要がある本番リリースを除いて、すべてのリリースを30日間使用可能にする必要があります。

ボックス1 :デフォルトの保持ポリシーを30日に設定します

グローバルデフォルト保持ポリシーは、すべてのビルドパイプラインのデフォルト保持値を設定します。ビルドパイプラインの作成者は、これらの値をオーバーライドできます。

ボックス2 :ステージ保持ポリシーを60日に設定します

特定のステージにデプロイされたリリースをさらに保持することをお勧めします。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/policies/retention>

質問: 222

リリースパイプラインを持つAzureDevOpsのプロジェクトがあります。

次の要件を満たすには、作業項目の追跡とアジャイルプロジェクト管理システムを統合する必要があります。

\*開発者がコミットが本番環境にデプロイされているかどうかを追跡できるようにします。

\*展開ステータスを報告します。

\*統合の労力を最小限に抑えます。

どのシステムを使用する必要がありますか？

- A. Basecamp
- B. Jira
- C. アサナ
- D. Trello

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 223

認証を必要とするMicrosoftASP.NETアプリケーションを構築しています。Azure Active Directory (Azure AD)を使用してユーザーを認証する必要があります。あなたは最初に何をすべきですか？

- A. AzureSQLデータベースにメンバーシップデータベースを作成します。
- B. エンタープライズアプリケーションをユーザーとグループに割り当てます。
- C. AzureADでアプリ登録を作成します。
- D. SAMLエンドポイントを使用するようにアプリケーションを構成します。
- E. アプリケーションから新しいOAuthトークンを作成します。

正解: C ([コメントを發表する](#))

アプリケーションを登録して、AzureActiveDirectoryを使用します。アプリケーションを登録すると、開発者はAzure ADを使用してユーザーを認証し、電子メール、カレンダー、ドキュメントなどのユーザーリソースへのアクセスを要求できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/active-directory/manage-apps/developer-guidance-for-integrating-applications>

質問: 224

AzureDevOpsでプロジェクトのセキュリティ検証戦略を設計しています。

既知のセキュリティ問題があり、次の方法で解決できるパッケージの依存関係を特定する必要があります。

アップデート。

何をを使うべきですか？

- A. Octopus Deploy
- B. ジェンキンス
- C. Gradle
- D. SonarQube

正解: ([正解を表示します](#))

参照：

<https://octopus.com/docs/packaging-applications>

質問: 225

Azure Application Insightsを使用して、AzureWebアプリの正常性とパフォーマンスを監視しています。

Webアプリのパフォーマンスの問題や障害が突然増加したときに、アラートが送信されるようにする必要があります。

何をすべきですか？

- A. カスタムイベント
- B. Application Insights Profiler
- C. 使用状況分析
- D. スマート検出
- E. 継続的なエクスポート

正解: **D** ([コメントを发表する](#))

説明

Smart Detectionは、Webアプリケーションの潜在的なパフォーマンスの問題と障害の異常を自動的に警告します。アプリがApplicationInsightsに送信するテレメトリのプロアクティブな分析を実行します。障害率が突然上昇した場合、またはクライアントまたはサーバーのパフォーマンスに異常なパターンが発生した場合は、アラートが表示されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-monitor/app/proactive-diagnostics>

質問: **226**

あなたの会社はAzureDevOpsにプロジェクトを持っています。


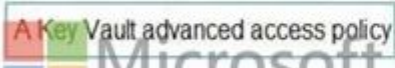

AzureResourceManagerテンプレートを使用してリソースをデプロイするリリースパイプラインを作成することを計画しています。

テンプレートは、AzureKeyVaultに格納されているシークレットを参照します。

展開中にキーボルトに保存されているシークレットにアクセスするためのソリューションを推奨する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

推奨事項には何を含める必要がありますか？答えるには、適切な構成を正しいターゲットにドラッグします。各構成は、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーをドラッグするか、スクロールする必要があります。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

Configurations	Answer Area
	Enable key vaults for template deployment by using: <input type="text"/>
 	Restrict access to the secrets in Key Vault by using: <input type="text"/>

正解:

Configurations	Answer Area
A Key Vault access policy	Enable key vaults for template deployment by using: A Key Vault advanced access policy
A Key Vault advanced access policy	Restrict access to the secrets in Key Vault by using: RBAC
RBAC	

説明

**Answer Area**

Enable key vaults for template deployment by using: A Key Vault advanced access policy

Restrict access to the secrets in Key Vault by using: RBAC

ボックス1：主要なVaultの高度なアクセスポリシー

ボックス2 :RBAC

管理プレーンのアクセス制御はRBACを使用します。

管理プレーンは、次のようなキーボールド自体に影響を与える操作で構成されます。

\*キーボールドの作成または削除。

\*サブスクリプション内のボールドのリストを取得します。

\* Key Vaultのプロパティ (\$SKUやタグなど)を取得しています。

\*キーとシークレットへのユーザーとアプリケーションのアクセスを制御するKeyVaultアクセス

ポリシーを設定します。

参照：

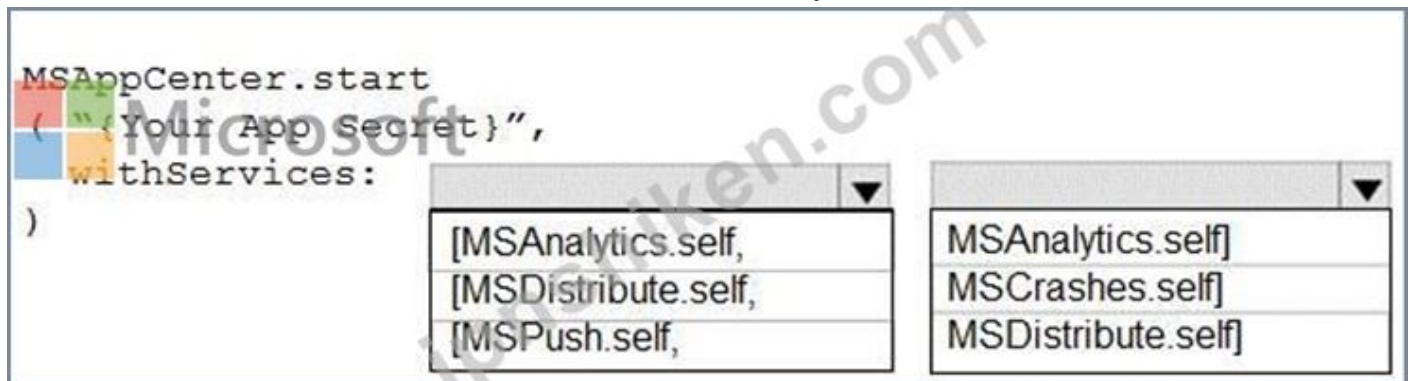
<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-manager-tutorial-use-key-vault>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード：**JPNshiken**」

質問: 227

モバイルアプリケーションでAppCenterを初期化するためのコードをどのように完成させる必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

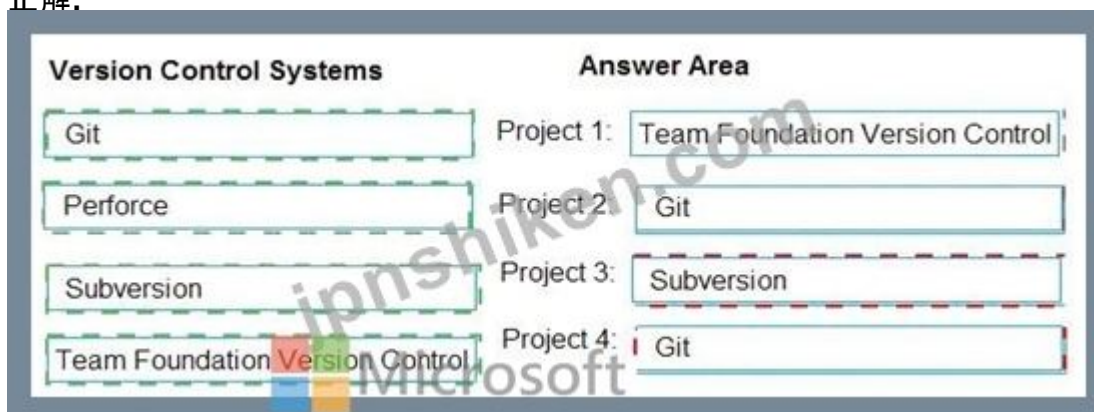
注 :それぞれの正しい選択は1ポイントの価値があります。



```
MSAppCenter.start  
( "{Your App Secret}",  
  withServices:  
)
```

The image shows a code editor with a dropdown menu for 'withServices'. The dropdown is open, showing three options: [MSAnalytics.self, MSDistribute.self, MSPush.self], [MSAnalytics.self, MSCrashes.self, MSDistribute.self], and [MSAnalytics.self, MSCrashes.self, MSDistribute.self].

正解:



The image shows the 'Answer Area' for the question. It has two columns: 'Version Control Systems' and 'Answer Area'. The 'Version Control Systems' column has four options: Git, Perforce, Subversion, and Team Foundation Version Control. The 'Answer Area' column has four projects: Project 1: Team Foundation Version Control, Project 2: Git, Project 3: Subversion, and Project 4: Git. The correct answers are highlighted with dashed boxes: Git, Subversion, and Git.

説明



```
MSAppCenter.start  
( "{Your App Secret}",  
  withServices:  
)
```

The image shows a code editor with a dropdown menu for 'withServices'. The dropdown is open, showing three options: [MSAnalytics.self, MSDistribute.self, MSPush.self], [MSAnalytics.self, MSCrashes.self, MSDistribute.self], and [MSAnalytics.self, MSCrashes.self, MSDistribute.self].

シナリオ :Visual Studio App Centerを使用して、モバイルアプリケーションのクラッシュと使用

中のデバイスタイプのレポートを一元化する必要があります。

App Centerを使用するには、使用するサービスにオプトインする必要があります。つまり、デフォルトではサービスは開始されず、SDKの起動時に各サービスを明示的に呼び出す必要があります。

次の行を挿入して、didFinishLaunchingWithOptionsメソッドのアプリのAppDelegateクラスでSDKを開始します。

MSAppCenter.start ("{Your App Secret}", withServices [MSAnalytics.self, MSCrashes.self]) 参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/appcenter/sdk/getting-started/ios>

#### 質問: 228

ソースコードリポジトリとしてGitHubを使用しています。

commit-msgイベントでクライアント側のGitフックを作成します。フックでは、各コミットメッセージにカスタム作業項目タグが含まれている必要があります。

作業項目タグのないコミットを行う必要があります。

どのgitcommitパラメーターを使用する必要がありますか？

- A. -スカッシュ
- B. --no-verify
- C. --message"
- D. --no-post-rewrite

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

commit-msgフックはgit-commitとgit-mergeによって呼び出され、-no-verifyオプションを使用してバイパスできます。

参照 :

<https://git-scm.com/docs/githooks>

#### 質問: 229

あなたの会社はOS用のアプリを開発しています。アプリのすべてのユーザーは、Microsoft Visual StudioAppCenterのプライベート配布グループのメンバーであるデバイスを持っています。

アプリの新しいリリースを配布する予定です。

AppCenterから新しいリリースを配布するために必要な証明書ファイルを特定する必要があります。

どのファイルタイプをAppCenterにアップロードする必要がありますか？

- A. .cer
- B. .pvk
- C. .pfx
- D. .p12

正解: ([正解を表示します](#))

IOSデバイスのビルドが成功すると、ipaファイルが生成されます。ビルドをデバイスにインストールするには、有効なプロビジョニングプロファイルと証明書で署名する必要があります。ブランチから生成されたビルドに署名するには、構成ペインでコード署名を有効にし、プロビジョニングプロファイル (mobileprovision) と有効な証明書 (.p12) を、証明書のパスワードとともに

アップロードします。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/appcenter/build/xamarin/ios/>

### 質問: 230

転送要件を満たすには、AzureDevOpsAgentプールへのアクセスを構成する必要があります。

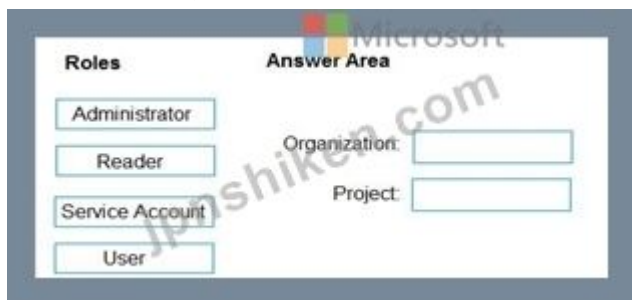
\*ビルドリリースパイプラインを作成するときは、プロジェクトエージェントプールを使用します。

\*組織のエージェントプールとエージェントを表示します。

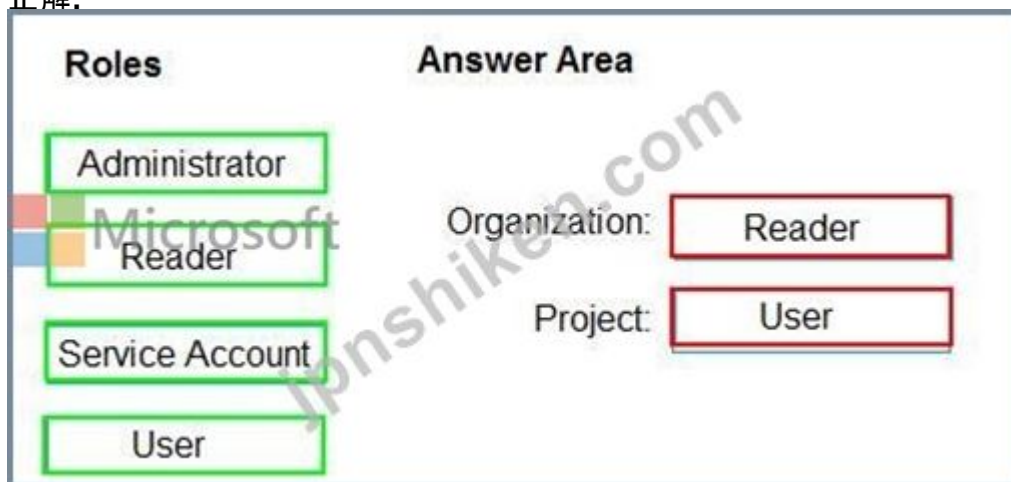
\*最小特権の原則を使用します。

Azure DevOps組織とプロジェクトに必要なロールメンバーシップはどれですか？回答するには、適切なロールメンバーシップを正しいターゲットにドラッグします。各役割のメンバーシップは、1回使用することも、複数回使用することも、まったく使用しないこともできます。分割バーをペイン間でドラッグするか、コンテンツまでスクロールする必要がある場合があります

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



Explanation:

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/agents/pools-queues>

### 質問: 231

注：この質問は、同じシナリオを提示する一連の質問の一部です。シリーズの各質問には、述べられた目標を達成する可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります

す。

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

AzureDevOpsプロジェクトがあります。

ビルドプロセスにより、いくつかのアーティファクトが作成されます。

アーティファクトをオンプレミスサーバーにデプロイする必要があります。

解決策 :Dockerビルドをオンプレミスサーバーにデプロイします。ビルドアーティファクトのダウンロードタスクをデプロイメントパイプラインに追加します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: (正解を表示します)

代わりに、Azureセルフホストエージェントをオンプレミスサーバーにデプロイする必要があります。

注 :Azure Pipelinesを使用してコードをビルドしたり、ソフトウェアをデプロイしたりするには、少なくとも1つのエージェントが必要です。

オンプレミス環境にMicrosoftがホストするエージェントプールへの接続がない場合 (これは通常、中間ファイアウォールが原因です)、オンプレミスコンピューターでセルフホストエージェントを手動で構成する必要があります。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/agents/agents?view=azure-devops>

質問: 232

Project2のコードフロー戦略をAzureDevOpsに実装する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。

#### Actions

Create a repository

Add a build policy for the fork.

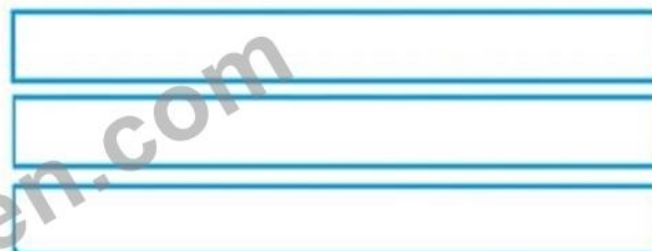
Create a branch.

Add a build policy for the master branch.

Add an application access policy.

Create a fork.

#### Answer Area



正解:

## Actions

Create a repository
Add a build policy for the fork.
Create a branch.
Add a build policy for the master branch.
Add an application access policy.
Create a fork.

## Answer Area

Create a repository
Add a build policy for the master branch.
Create a branch.

### 質問: 233

あなたの会社はAzureDevOpsを使用して、アプリケーションのビルドおよびリリースプロセスを管理しています。

アプリケーションのソース管理にはGitリポジトリを使用します。

既存のプルリクエストから新しいブランチを作成することを計画しています。後で、プルリクエストの新しいブランチとターゲットブランチをマージすることを計画しています。

新しいブランチを作成するには、プルリクエストアクションを使用する必要があります。ソリューションでは、ブランチがプルリクエストのコードの一部のみを使用するようにする必要があります。

どのプルリクエストアクションを使用する必要がありますか？

- A. デフォルトのブランチとして設定
- B. 提案で承認する
- C. チェリーピック
- D. 再アクティブ化
- E. 元に戻す

正解: [\(正解を表示します\)](#)

### 説明

プルリクエストをチェリーピック

プルリクエストで行われた変更をリポジトリ内の別のブランチにコピーするには、次の手順に従います。

\*完了したプルリクエストでは、Cherry-pickを選択します。アクティブなプルリクエストの場合は、からCherry-pickを選択します。

...メニュー。この方法でプルリクエストをチェリーピッキングすると、コピーされた変更を含む新しいブランチが作成されます。2番目のプルリクエストでターゲットブランチにマージします。

\* [ターゲットブランチ]に、コピーした変更をマージするブランチを入力します。

\* [トピックブランチ名]に、コピーした変更を含む新しいブランチを入力し、[チェリーピック]を選択します。

\* [プルリクエストの作成]を選択して、トピックブランチをターゲットブランチにマージし、チェ

リーピックを完了します。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/repos/git/pull-requests>

**質問: 234**

あなたの会社はTeamFoundationServer 2013 (TFS 2013)を使用しています。

AzureDevOpsへの移行を計画しています。

次の要件を満たす移行戦略を推奨する必要があります。

\*TeamFoundationバージョン管理チェンジセットの日付を保持します

\* Pは、作業項目の改訂の変更日を予約します

\*移行の労力を最小限に抑える

\*すべてのTFSアーティファクトを移行します

何をお勧めしますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

On the TFS server:

- Install the TFS Java SDK.
- Upgrade TFS to the most recent RTW release.
- Upgrade to the most recent version of PowerShell Core.

To perform the migration:

- Copy the assets manually.
- Use public API-based tools.
- Use the TFS Database Import Service.
- Use the TFS Integration Platform.

正解:

On the TFS server:

- Install the TFS Java SDK.
- Upgrade TFS to the most recent RTW release.
- Upgrade to the most recent version of PowerShell Core.

To perform the migration:

- Copy the assets manually.
- Use public API-based tools.
- Use the TFS Database Import Service.
- Use the TFS Integration Platform.

Explanation:

ボックス1 :TFSを最新のRTMリリースにアップグレードします。

Team Foundation Serverデータベースを移行するための主要な前提条件の1つは、データベース

スキーマのバージョンをAzureDevopsServicesに現在デプロイされているものにできるだけ近づけることです。

ボックス2 :TFSデータベースインポートサービスを使用する

移行プロジェクトのフェーズ3では、TeamFoundationServerをAzureDevopsServicesのデータベースインポートサービスでサポートされているバージョンの1つにアップグレードします。

参照 :TeamFoundationServerからAzureDevopsServicesへの移行ガイド

#### 質問: 235

あなたの会社は次のリソースを使用しています。

\* AzureContainerRegistryでホストされているWindowsServer2019コンテナイメージ

\*最新バージョンのUbuntuAnAzureを実行するAzure仮想マシン

\*LogAnalyticsワークスペースAzureActiveDirectory (Azure AD)

\*Azureキーボールド

Azure Security Centerで脆弱性評価を受け取ることができる2つのリソースはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

A. AzureLogAnalyticsワークスペース

B. Azureキーボールド

C. 最新バージョンのUbuntuを実行するAzure仮想マシン

D. Azure Active Directory (Azure AD)

E. AzureContainerRegistryでホストされているWindowsServer2019コンテナイメージ

Ubuntuがサポートするバージョン :12.04 LTS、14.04 LTS、15.x、16.04 LTS、18.04 LTS

正解: ([正解を表示します](#))

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/security-center/deploy-vulnerability-assessment-vm>

#### 質問: 236

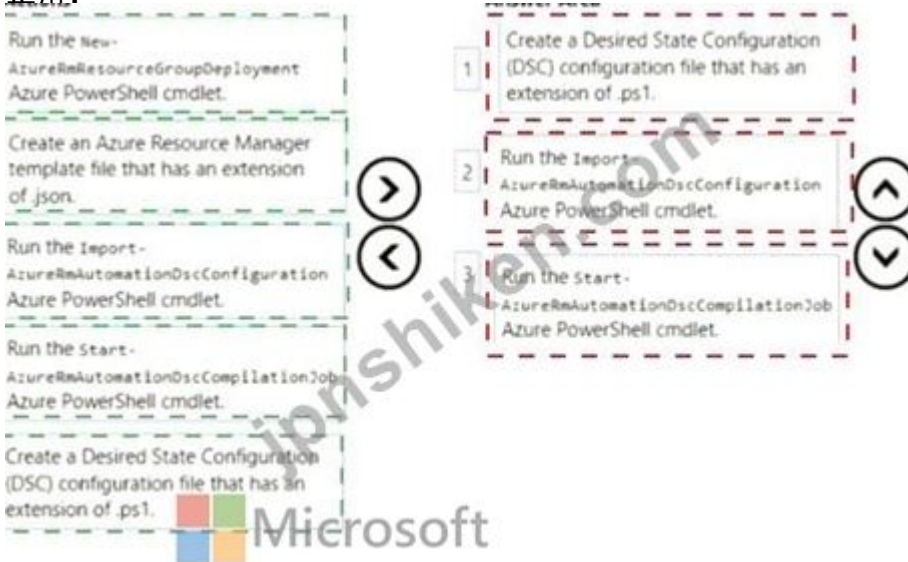
共有を呼び出すためにモバイルアプリケーションに必要なシークレットを保存するようにクラウドサービスを構成する必要があります。

ソリューションに何を含める必要がありますか？回答するには、回答の内容に応じて適切なオプションを選択してください。注 :

それぞれの正しい選択は1ポイントの価値があります。



正解:



説明



ストレージサービスに対して行われるすべてのリクエストは、パブリックアクセスまたは署名されたアクセスに利用できるようになっているBLOBまたはコンテナリソースに対するリクエストでない限り、承認する必要があります。リクエストを承認するための1つのオプションは、共有キーを使用することです。

シナリオ :モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービスを呼び出すことができる必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介し

た基本認証のみをサポートします。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されま  
す。もう1つは顧客が使用します。

参照 <https://docs.microsoft.com/en-us/rest/api/storageservices/authorize-with-shared-key>

**質問: 237**

多層アプリケーションをデプロイするAzureResourceManagerテンプレートがあります。  
展開を実行するユーザーが、アプリケーションで使用されるアカウントの資格情報と接続文字列  
を表示できないようにする必要があります。

何を使うべきですか？

- A. AzureResourceManagerパラメーターファイル
- B. AzureStorageテーブル
- C. Appsettings.jsonファイル
- D. Azure Key Vault
- E. Web.configファイル

正解: ([正解を表示します](#))

説明

展開中にパラメーターとして安全な値 (パスワードなど)を渡す必要がある場合  
は、AzureKeyVaultから値を取得できます。パラメータファイルのキーボルトとシークレットを  
参照して値を取得します。キーボルトIDのみを参照するため、値が公開されることはありません。  
キーボルトは、デプロイ先のリソースグループとは異なるサブスクリプションに存在する  
可能性があります。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-resource-manager/resource-manager-keyvault-parameter>

**質問: 238**

GitHubでリリースを完成させています。

次のラベルをリリースに適用する必要があります。

名前

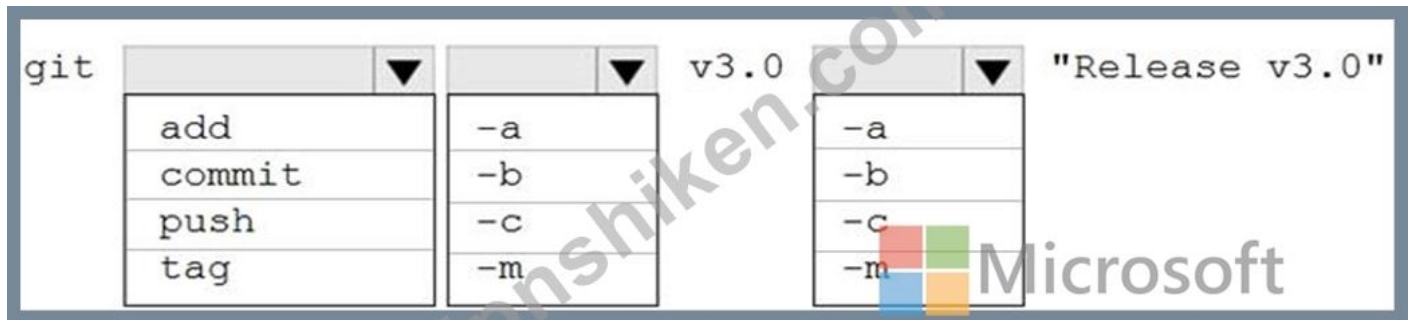
Eメール

リリースv3.0

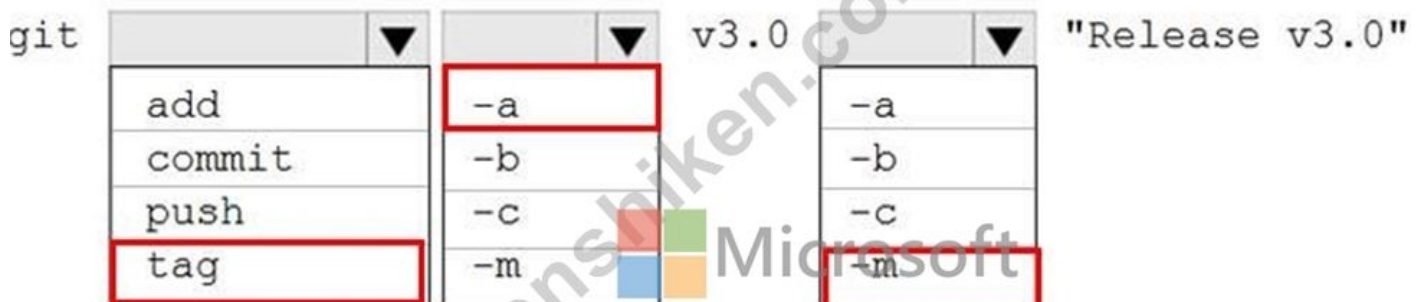
発売日

gitコマンドをどのように完了する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



参照 :

<https://git-scm.com/book/en/v2/Git-Basics-Tagging>

質問: 239

Azure Pipelinesには、さまざまなジョブを使用して10の異なるアーキテクチャ用のアプリケーションをコンパイルするビルドパイプラインがあります。

ビルドパイプラインが完了するまでに約1日かかります。

ビルドパイプラインの実行にかかる時間を短縮する必要があります

実行する必要がある2つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります

- A. 青/緑の展開パターンに移動します。
- B. エージェントプールを作成します。
- C. 展開グループを作成します。
- D. リポジトリのサイズを縮小します。
- E. 並列ジョブの数を増やしてください。

正解: ([正解を表示します](#))

質問 :より多くのホストされたビルドリソースが必要です。私に何が出来る？

Azure Pipelinesプールは、すべてのAzureDevOps組織にクラウドでホストされるビルドエージェントを提供します

毎月無料のビルド分。より多くのMicrosoftがホストするビルドリソースが必要な場合、またはより多くのジョブを並行して実行する必要がある場合は、次のいずれかを実行できます。

管理するインフラストラクチャで独自のエージェントをホストします。

追加の並列ジョブを購入します。

参照 :

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/pipelines/agents/pools-queues>

質問: 240

あなたの会社はTeamFoundationServer 2013 (TFS 2013)を使用しています。  
AzureDevOpsへの移行を計画しています。

次の要件を満たす移行戦略を推奨する必要があります。

\*TeamFoundationバージョン管理チェンジセットの日付を保持します

\*作業項目の改訂の変更日を保持します

\*移行の労力を最小限に抑える

\*すべてのTFSアーティファクトを移行します

何をお勧めしますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

On the TFS server:

- Install the TFS Java SDK.
- Upgrade TFS to the most recent RTW release.
- Upgrade to the most recent version of PowerShell Core.

To perform the migration:

- Copy the assets manually.
- Use public API-based tools.
- Use the TFS Database Import Service.
- Use the TFS Integration Platform.

正解:

On the TFS server:

- Install the TFS Java SDK.
- Upgrade TFS to the most recent RTW release.
- Upgrade to the most recent version of PowerShell Core.

To perform the migration:

- Copy the assets manually.
- Use public API-based tools.
- Use the TFS Database Import Service.
- Use the TFS Integration Platform.

Explanation:

ボックス1 :TFSを最新のRTMリリースにアップグレードします。

Team Foundation Serverデータベースを移行するための主要な前提条件の1つは、データベーススキーマのバージョンをAzureDevOpsServicesに現在デプロイされているものにできるだけ近づけることです。

ボックス2 :TFSデータベースインポートサービスを使用する

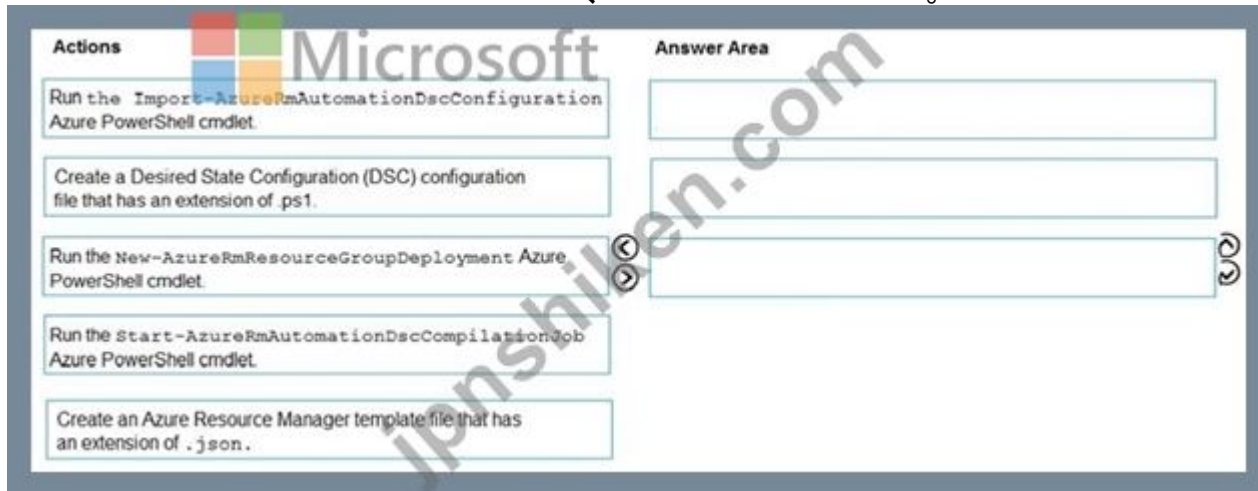
移行プロジェクトのフェーズ3では、TeamFoundationServerをAzureDevOpsServicesのデータ

ベースインポートサービスでサポートされているバージョンの1つにアップグレードします。  
参照 :TeamFoundationServerからAzureDevopsServicesへの移行ガイド

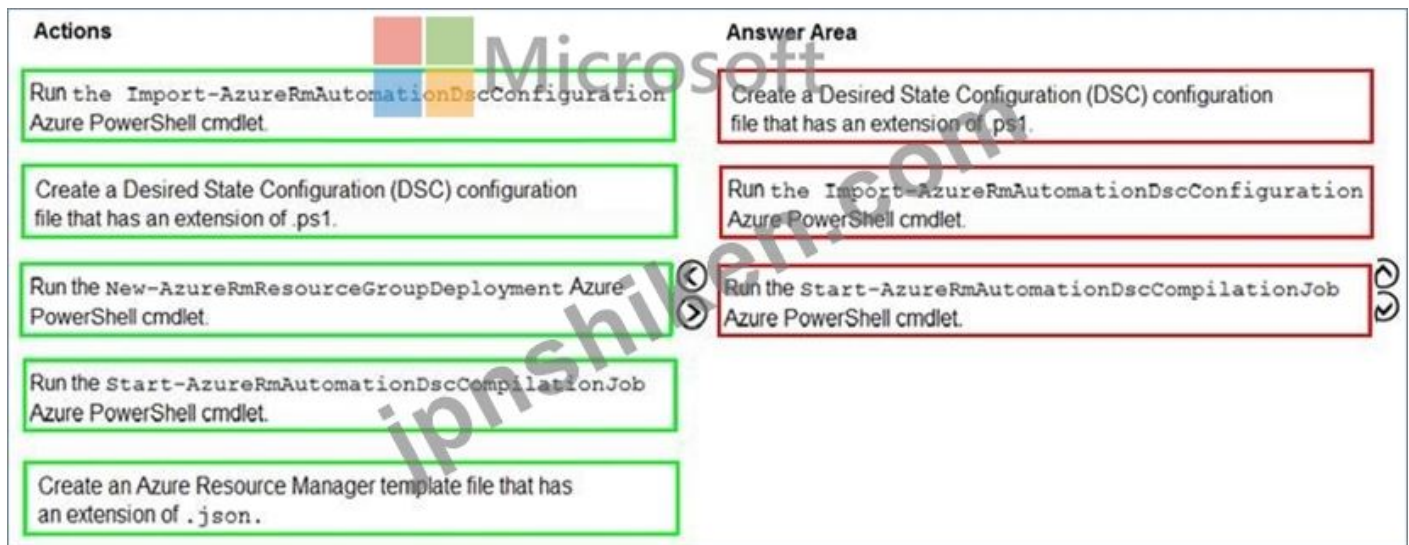
質問: 241

Group7のコンピューター用にAzureAutomationを構成する必要があります。

順番に実行する必要がある3つのアクションはどれですか？回答するには、適切なアクションをアクションのリストから回答領域に移動し、正しい順序に並べます。



正解:



Explanation:

手順1 : 拡張子.ps1のDesired State Configuration (DSC) 構成ファイルを作成します。

手順2 : Import-AzureRmAutomationDscConfiguration Azure Powershellコマンドレットを実行する Import-AzureRmAutomationDscConfigurationコマンドレットは、APSの望ましい状態の構成 (DSC) 構成をAzureAutomationにインポートします。単一のDSC構成を含むAPSスクリプトのパスを指定します。

例 :

```
PS C:\> Import-AzureRmAutomationDscConfiguration -AutomationAccountName "Contoso17"-ResourceGroupName "ResourceGroup01" -SourcePath "C:\DSC\client.ps1" -Force
```

このコマンドは、client.ps1という名前のファイルのDSC構成をContoso17。このコマンドは、Forceパラメーターを指定します。既存のDSC構成がある場合は、このコマンドがそれを置き換えます。

手順3 Start-AzureRmAutomationDscCompilationJob Azure Powershellコマンドレットを実行するStart-AzureRmAutomationDscCompilationJobコマンドレットは、Azure AutomationでAPSの必要な状態の構成 (DSC) 構成をコンパイルします。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurerem.automation/import-azureremautomationdscconfiguration>

<https://docs.microsoft.com/en-us/powershell/module/azurerem.automation/start-azureremautomationdsc compilationjob>

有効的なAZ-400問題集はJPNTTest.com提供され、AZ-400試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新AZ-400試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここでAZ-400問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> 625問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 242

あなたの会社は新しいWebアプリケーションを構築しています。

提供されている機能について、パイロットユーザーからフィードバックを収集する予定です。

すべてのパイロットユーザーは、GoogleChromeとMicrosoftTest&Feedback拡張機能がインストールされた企業のコンピューターを持っています。パイロットユーザーは、Chromeを使用してアプリケーションをテストします。

開発者がパイロットユーザーからフィードバックを要求して収集できるようにするには、どのアクセスレベルが必要かを特定する必要があります。ソリューションは、最小特権の原則を使用する必要があります。

Azure DevOpsのどのアクセスレベルを特定する必要がありますか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



The screenshot shows the Azure DevOps interface with two dropdown menus. The first dropdown is labeled 'Developers:' and the second is labeled 'Pilot users:'. Both dropdowns are open, showing two options: 'Basic' and 'Stakeholder'. A watermark 'JPNTshiken.com' is visible across the image.

正解:



Explanation:

ボックス1：基本

Basicを、TFS CAL、Visual Studio Professionalサブスクリプションを使用しているユーザー、および組織内のAzure Boards&Reposの料金を支払っているユーザーに割り当てます。

ボックス2：利害関係者

限られた機能セットにアクセスする必要がある、ライセンスまたはサブスクリプションのないユーザーに利害関係者を割り当てます。

ノート：

ユーザーまたはユーザーのグループを次のいずれかのアクセスレベルに割り当てます。

基本 :ほとんどの機能へのアクセスを提供します

VS Enterprise :プレミアム機能へのアクセスを提供します

利害関係者：部分的なアクセスを提供し、無制限のユーザーに無料で割り当てることができます参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/organizations/security/access-levels?view=vsts>

質問: 243

db1という名前のAzureSQLデータベースを使用するアプリがいくつかあります。

db1へのクエリが時間の経過とともにAzureによって調整されていることを確認する必要があります。ソリューションはdb1にのみ適用する必要があります。

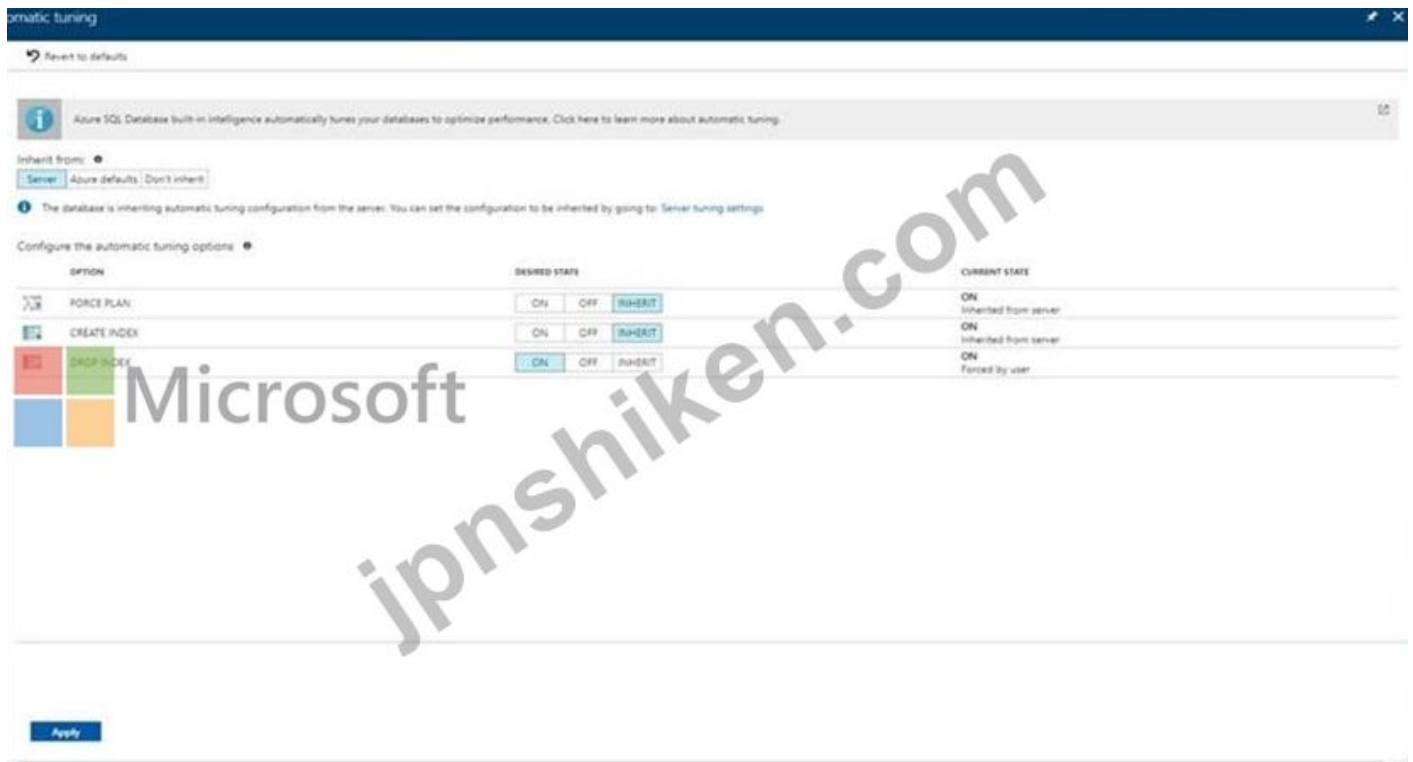
このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

正解:

以下の解決策を参照してください。

説明

1.単一のデータベースで自動調整を有効にするには、Azureポータルでデータベースに移動し、[自動調整]を選択します。



2.有効にする自動調整オプションを選択し、[適用]を選択します。

注：個々の自動チューニング設定は、データベースごとに個別に構成できます。個々の自動調整オプションを手動で構成することも、オプションがサーバーから設定を継承するように指定することもできます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/azure-sql/database/automatic-tuning-enable>

#### 質問: 244

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Contosoという名前のAzureDevOps組織とAzureサブスクリプションがあります。サブスクリプションには、自動スケーリング用に構成されたVMSS1という名前のAzure仮想マシンスケールセットが含まれています。

AzureDevOpsにProject1という名前のプロジェクトがあります。Project1は、App1という名前のWebアプリを構築し、App1をVMSS1にデプロイするために使用されます。

VMSS1がスケールインまたはスケールアウトするたびに、電子メールアラートが生成されるようにする必要があります。

解決策 Azure Monitorから、アクショングループを作成します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: B ([コメントを發表する](#))

#### 質問: 245

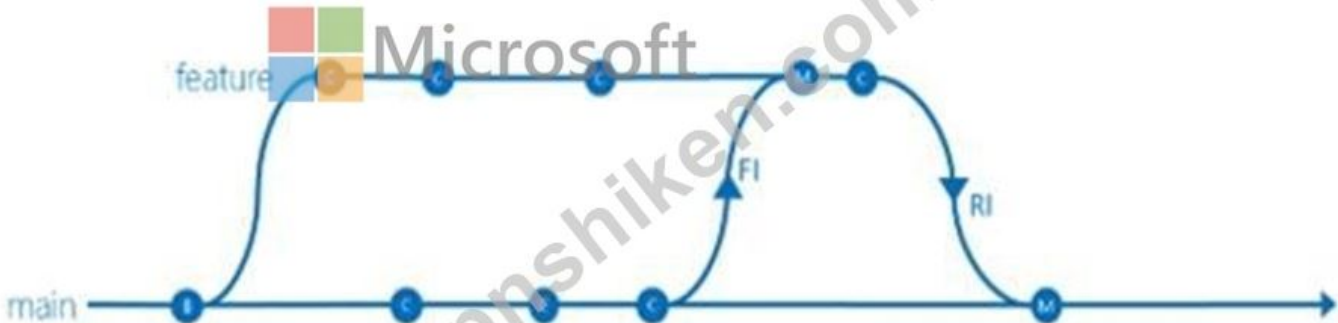
投資計画アプリケーションスイートに推奨する分岐戦略はどれですか？

- A. リリース分離
- B. メインのみ
- C. 開発の分離
- D. 機能の分離

正解: C ([コメントを发表する](#))

説明

シナリオ：新しい機能を単独で開発することをサポートする分岐戦略を使用する必要があります。機能の分離は、開発の分離の特別な派生物であり、示されているように、メインから、または開発ブランチから1つ以上の機能ブランチを分岐できます。



特定の機能に取り組む必要がある場合は、機能ブランチを作成することをお勧めします。

トピック2、ケーススタディ 2概要

既存の環境

これはケーススタディです。ケーススタディは個別に制限されていません。各ケースを完了するために、必要なだけ試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。あなたはあなたが提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません。

ケーススタディに含まれる質問に答えるには、ケーススタディで提供される情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれる場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

ケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を組み合わせることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、に表示される情報は、後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

要件

Contosoは、AzureDevOpsの原則を実装するIT開発および運用プロセスを改善することを計画して

います。

ContosoにはAzureサブスクリプションがあり、AzureDevOps組織を作成します。

AzureDevOps組織には次のものが含まれます。

\*Docker拡張機能

\*WindowsServerを実行する10台のAzure仮想マシンを含むPool7という名前の展開プール  
2016年。

Azureサブスクリプションには、AzureAutomationアカウントが含まれています。

計画された変更

Contosoは、次の表に示すように、AzureDevOpsでプロジェクトを作成することを計画しています。

Project name	Project details
Project 1	Project1 will provide support for incremental builds and third-party SDK components
Project 2	Project2 will use an automatic build policy. A small team of developers named Team2 will work independently on changes to the project. The Team2 members will not have permissions to Project2.
Project 3	Project3 will be integrated with SonarQube
Project 4	Project4 will provide support for a build pipeline that creates a Docker image and pushes the image to the Azure Container Registry. Project4 will use an existing Dockerfile.
Project 5	Project5 will contain a Git repository in Azure Reports and a continuous integration trigger that will initiate a build in response to any change except for changes within /folder1 of the repository.
Project 6	Project6 will provide support for build and deployment pipelines. Deployment will be allowed only if the number of current work items representing active software bugs is 0.
Project 7	Project7 will contain a target deployment group named Group7 that maps to Pool7. Project7 will use Azure Automation State Configuration to maintain the desired state of the computers in Group7.

技術要件

Contosoは、次の技術要件を識別します。

\*ビルドエージェントProject1を実装します。

\*可能な限り、Azureリソースを使用してください

\*廃止されたテクノロジーの使用は避けてください

\*Project2のコードフロー戦略を実装します。

\*チーム2がProject2のプルリクエストを送信できるようにします。

\*チーム2がプロジェクトのコピーへの変更に独立して取り組むことができるようにしますか？

\* Project2のコピーに対してTeam2によって実行される中間変更には、Project2のビルドポリシーで無視されたものと同じ制限が適用されることを確認してください。

\* いつでも可能なとき。自動化を実装し、管理作業を最小限に抑えます。

\*計画された変更に基づいて、Project3、Project5、Project6、およびProject7を実装します。

\* Project4を実装し、DockerイメージをAzureContainerRegistryにプッシュするようにプロジェクトを構成します。

## 質問: 246

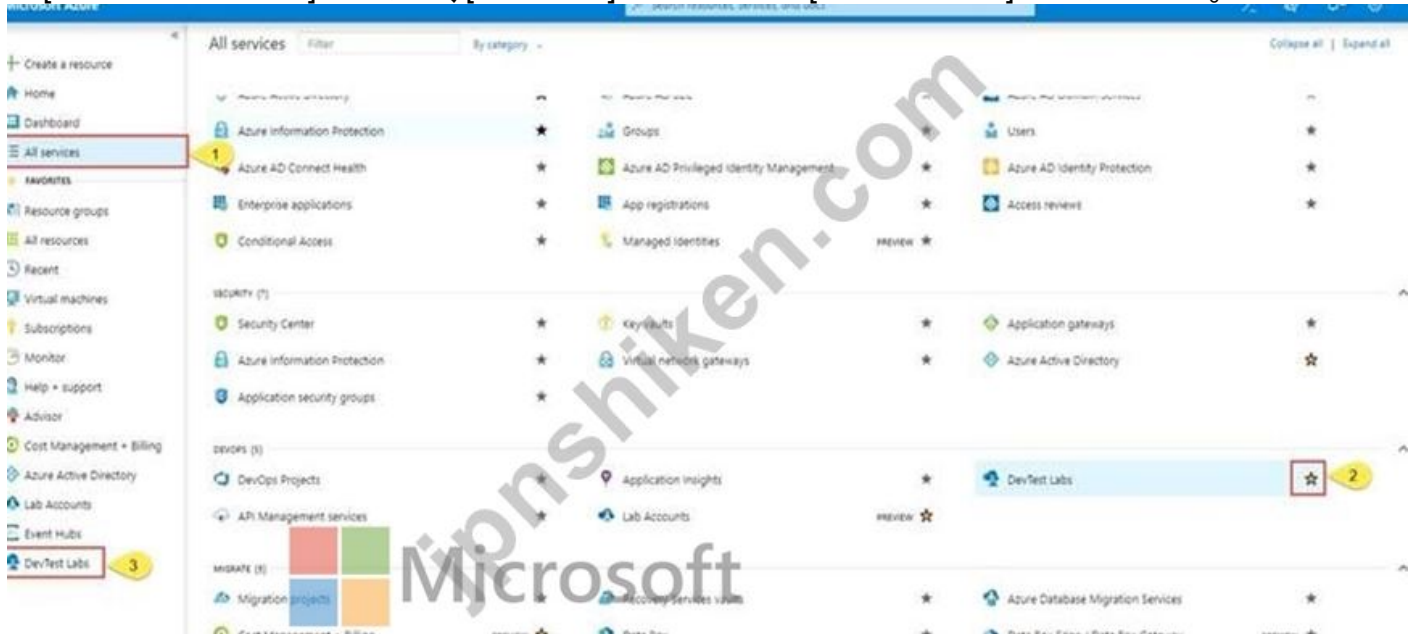
### シミュレーション

AzureDevTestLabs環境でaz400-9940427-dtl1という名前の仮想マシンテンプレートを作成する必要があります。テンプレートは、Windows Server2016Datacenterに基づいている必要があります。テンプレートから作成された仮想マシンには、SeleniumツールとGoogleChromeブラウザが含まれている必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

**A.** 1. MicrosoftAzureポータルを開きます

2. [すべてのサービス]を選択し、[DEVOPS]セクションで[DevTestLabs]を選択します。



3. ラボのリストから、az400-9940427-dtl1ラボを選択します

4. ラボのホームページで、ツールバーの[+]を選択します。

5. VMのWindowsServer2016データベースベースイメージを選択します。

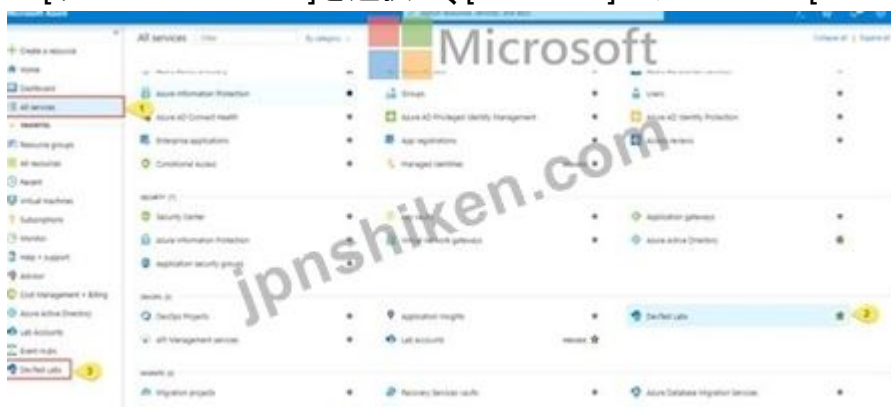
6. ページ下部の[送信]ボタンの上にある自動化オプションを選択します。

7. 仮想マシンを作成するためのAzureResourceManagerテンプレートが表示されます。

8. リソースセクションのJSONセグメントには、前に選択した画像タイプの定義があります。

**B.** 1. MicrosoftAzureポータルを開きます

2. [すべてのサービス]を選択し、[DEVOPS]セクションで[DevTestLabs]を選択します。



3. ラボのリストから、az400-9940427-dtl1ラボを選択します

4. ラボのホームページで、ツールバーの[+]を選択します。

- 5.仮想マシンを作成するためのAzureResourceManagerテンプレートが表示されます。
- 6.リソースセクションのJSONセグメントには、前に選択した画像タイプの定義があります。

正解: ([正解を表示します](#))

参照 :

<https://docs.microsoft.com/bs-cyrl-ba/azure//lab-services/devtest-lab-vm-powershell>

#### 質問: 247

このセクションの質問に回答した後は、その質問に戻ることはできません。その結果、これらの質問はレビュー画面に表示されません。

Azure Pipelinesを使用して、Reactjsアプリケーションを構築およびテストします。

単一のジョブを持つパイプラインがあります。

npmからJavaScriptパッケージをインストールするには、パイプラインを実行するたびに約5分かかることがわかります。

パイプラインの実行時間を短縮するためのソリューションを推奨する必要があります。

解決策 パイプラインの並列ジョブを有効にすることをお勧めします。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

代わりに、パイプラインキャッシュを有効にしてください。

ノート :

npm-cacheは、npm、bower、jspm、composerを介してインストールされた依存関係をキャッシュするコマンドラインユーティリティです。

ビルドプロセスの一部として毎回[npm|bower | composer|jspm]インストールを実行するビルドプロセスに役立ちます。依存関係は頻繁に変更されないため、これは多くの場合、ビルド時間が遅くなることを意味します。npm-cacheは、ビルドマシンに以前にインストールされた依存関係をキャッシュすることにより、この問題を軽減するのに役立ちます。

参照 :

<https://www.npmjs.com/package/npm-cache>

#### 質問: 248

az400-9940427-mainという名前のAzureApplicationInsightsのインスタンスを作成

し、az400-9940427-mainという名前のAzureWebアプリからテレメトリデータを受信するようにインスタンスを構成する必要があります。

このタスクを完了するには、MicrosoftAzureポータルにサインインします。

正解:

以下の解決策を参照してください。

説明

手順1 AzureApplicationInsightsのインスタンスを作成する

1.MicrosoftAzureポータルを開きます

2. Azureアカウントにログインし、[リソースの作成]>[開発者ツール]>[ApplicationInsights]を選択します。

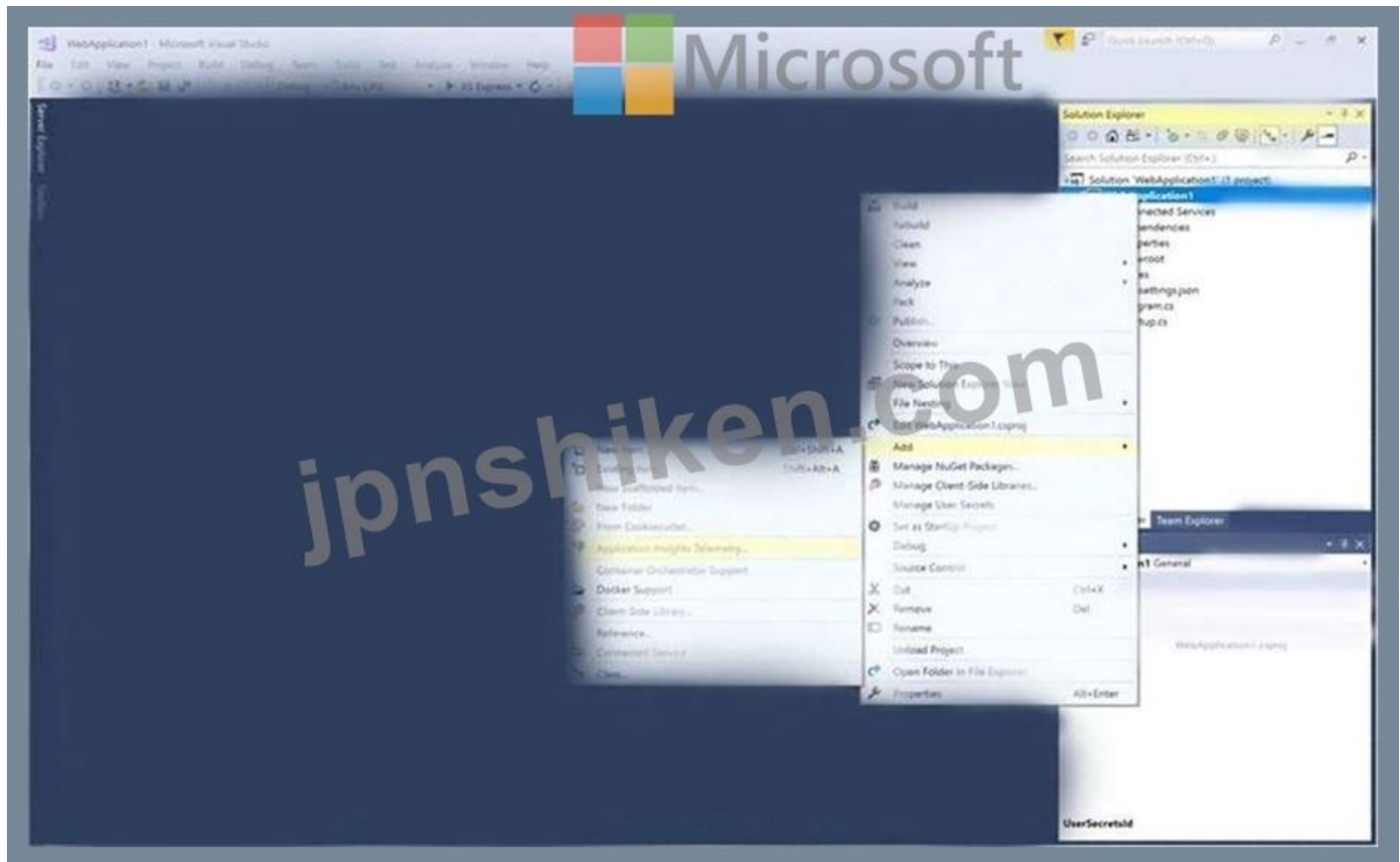


3. 次の設定を入力し、[レビュー]+[作成]を選択します。

名前 az400-9940427-メイン

手順2 AppInsightsSDKを構成する

4. VisualStudioでASP.NETCoreWeb Appプロジェクトを開き、ソリューションエクスプローラーでAppNameを右クリックし、[追加]> [ApplicationInsightsTelemetry]を選択します。



5.[開始]ボタンをクリックします

6.アカウントとサブスクリプションを選択します>Azureポータルで作成した既存のリソースを選択します>[登録]をクリックします。

参照：

<https://docs.microsoft.com/bs-latn-ba/azure/azure-monitor/learn/dotnetcore-quick-start?view=vs-2017>

質問: 249

Contosoという名前のAzureDevOps組織と、Project1という名前のAzureDevOpsプロジェクトがあります。

Microsoftがホストするエージェントを使用して、Project1のYAMLパイプラインで完全なMicrosoft.NETFrameworkアプリをホストするコンテナイメージを構築することを計画しています。

Microsoftがホストするエージェントプールに使用できる2つの可能な仮想マシンイメージは何ですか？それぞれの正解は完全な解決策を提示します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

A. vs2017-win2016

B. ubuntu-16.04

C. win1803

D. macOS-10.13

E. vs.2015-win2012r2

正解: ([正解を表示します](#))

<https://github.com/microsoft/azure-pipelines-image->

generation/blob/d80f81d6c98f8ce2c74b034309bb774ea8d31cfb/images/win/Vs2015-Server2012R2-Readme.md

https://github.com/actions/virtual-environments/blob/master/images/win/Windows2016-Readme.md

### 質問: 250

Project1という名前のAzureDevOpsプロジェクトと、Sub1という名前のAzureサブスクリプションがあります。Sub1には、VMSS1という名前のAzure仮想マシンスケールセットが含まれていません。VMSS1は、WebApp1という名前のWebアプリケーションをホストします。WebApp1はステートフルセッションを使用します。

WebApp1のインストールは、カスタムスクリプト拡張機能を使用して管理されます。スクリプトは、sa1という名前のAzureStorageアカウントにあります。

WebApp1のUIエレメントに小さな変更を加え、その変更に関するユーザーフィードバックを収集することを計画しています。

VMSS1で新しいバージョンのWebApp1の限定的なユーザーテストを実装する必要があります。実行する必要がある3つのアクションはどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

- A. VMSS1のロードバランサー設定を変更します。
- B. VMSS1を再デプロイします。
- C. カスタムスクリプトファイルをsa1にアップロードします。
- D. VMSS1のカスタムスクリプト拡張設定を変更します。
- E. VMSS1の仮想マシンの構成を更新します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

### 質問: 251

あなたの会社は新しいAzureDevOpsチームを作成します。

スプリントの計画にAzureDevOpsを使用することを計画しています。

アジャイル手法を使用して、作業の流れを視覚化する必要があります。

どのAzureDevOpsコンポーネントを使用する必要がありますか？

- A. かんばんボード
- B. スプリント計画
- C. 配送計画
- D. ポートフォリオのバックログ

正解: ([正解を表示します](#))

かんばんボードのカスタマイズ

一貫して高品質のソフトウェアを提供するチームの能力を最大化するために、かんばんは2つの主要なプラクティスを強調しています。1つ目は、作業の流れを視覚化することです。チームのワークフローステージをマッピングし、それに合わせてかんばんボードを構成する必要があります。

かんばんボードは、バックログをインタラクティブな看板に変え、視覚的な作業の流れを提供します。

参照：

<https://azuredevopslabs.com/labs/azuredevops/agile/>

DevOps開発プロセスを実装する

テストレット1

ケーススタディ

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングが調整されていません。各ケースを完了するために必要なだけ多くの試験時間を使用することができます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。あなたはあなたが提供された時間内にこの試験に含まれるすべての質問を完了することができることを確実にするためにあなたの時間を管理しなければなりません。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたなら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

Litware、Inc.は、独立系ソフトウェアベンダー (SV) です。Litwareには、本社と5つの支社があります。

既存の環境

アプリケーションアーキテクチャ

同社の主なアプリケーションは、VB.NETで記述されたロジックを使用するASP.NET Webフォームに基づく単一のモノリシック退職基金管理システムです。アプリケーションのいくつかの新しいセクションはC#で書かれています。

アプリケーションのバリエーションは、個々の顧客向けに作成されています。現在、アプリケーションのコードベースには80を超えるライブコードブランチがあります。

このアプリケーションは、Microsoft Visual Studioを使用して開発されました。ソースコードは、本社のTeam Foundation Server (TFS)に保存されています。ブランチオフィスは、TFSプロキシサーバーを使用してソースコードにアクセスします。

アーキテクチャ上の問題

Litwareは、顧客向けの新しいコードの作成に重点を置いています。既存のコードをリファクタリングまたは削除するためのリソースは提供されていません。依存関係は個々の開発者には明らかではないため、コードベースの変更には長い時間がかかります。

コードのマージ操作には数か月かかることが多く、多くの開発者が関与します。コードをマージすると、見つけて解決するのが難しいバグが頻繁に発生します。

顧客は、退職基金管理システムの所有コストが継続的に増加していると報告しています。無関係なコードをマージする必要があるため、コードの小さな変更でさえコストがかかります。

顧客は、バグ報告が非常に複雑であると報告しています。

## 要件

### 計画された変更

Litwareは、投資計画のための新しいアプリケーションスイートの開発を計画しています。投資計画アプリケーションでは、既存の退職基金管理システムとのわずかな統合のみが必要になります。

投資計画アプリケーションスイートには、1つの多層Webアプリケーションと2つのiOSモバイルアプリケーションが含まれます。1つのモバイルアプリケーションが従業員によって使用されます。もう1つは顧客が使用します。

Litwareは、よりアジャイルな開発方法論に移行することを計画しています。共有コードは一連のパッケージに抽出されます。

Litwareは、内部クラウド変換プロセスを開始し、適切な場合はいつでもクラウドベースのサービスを使用することを計画しています。

Litwareは、顧客のバグレポートを常に待つのではなく、障害の検出に積極的になりたいと考えています。

## 技術要件

会社の投資計画アプリケーションスイートは、次の要件を満たしている必要があります。

\*ファイアウォールを介した新しい着信接続は最小限に抑える必要があります。

\* Developersという名前のグループのメンバーは、パッケージをインストールできる必要があります。

\*すべての権限の割り当てには、最小特権の原則を使用する必要があります。

\*新しい機能を単独で開発することをサポートする分岐戦略を使用する必要があります。

\*チームリーダーという名前のグループのメンバーは、新しいパッケージを作成し、パッケージフィードの権限を編集できる必要があります。

\* Visual Studio App Centerを使用して、モバイルアプリケーションのクラッシュと使用中のデバイスタイプのレポートを一元化する必要があります。

\*デフォルトでは、60日間保持する必要がある本番リリースを除き、すべてのリリースを30日間使用可能にする必要があります。

\*コードの品質とリリースの品質は重要です。リリース中にアクティブなバグがリリースに対してログに記録されている場合、リリース中に展開をステージ間で進めてはなりません。

\*モバイルアプリケーションは、既存の退職基金管理システムの株価サービスを呼び出すことができる必要があります。システムがアップグレードされるまで、サービスはHTTPSを介した基本認証のみをサポートします。

\*テストサーバーに必要なオペレーティングシステムの構成は毎週変更されます。Azure Automation State Configurationを使用して、サーバーが定期的に作成およびチェックされるたびに、各テストサーバーのオペレーティングシステムが同じように構成されていることを確認する必要があります。

現在の技術的な問題

テストサーバーは、最初に展開されたときに正しく構成されていますが、時間の経過とともに構成がドリフトします。

Azure AutomationStateConfigurationは構成の修正に失敗します。

Azure Automation State Configurationノードは、次のコマンドを使用して登録されます。

```
Register-AzureRmAutomationDscNode  
-ResourceGroupName 'TestResourceGroup'  
-AutomationAccountName 'LitwareAutomationAccount'  
-AzureVMName $vname  
-ConfigurationMode 'ApplyOnly'
```

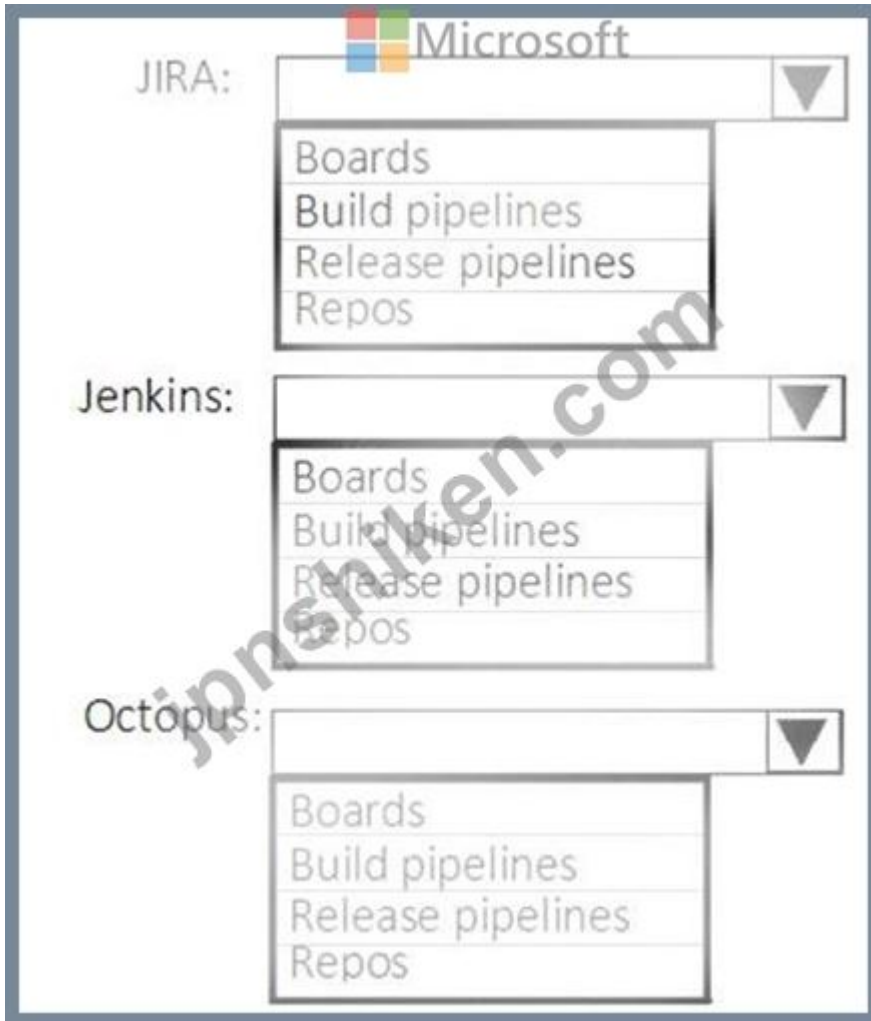
質問: 252

現在、DevOpsプロセスの一部としてJIRA、Jenkins、およびOctopusを使用しています。

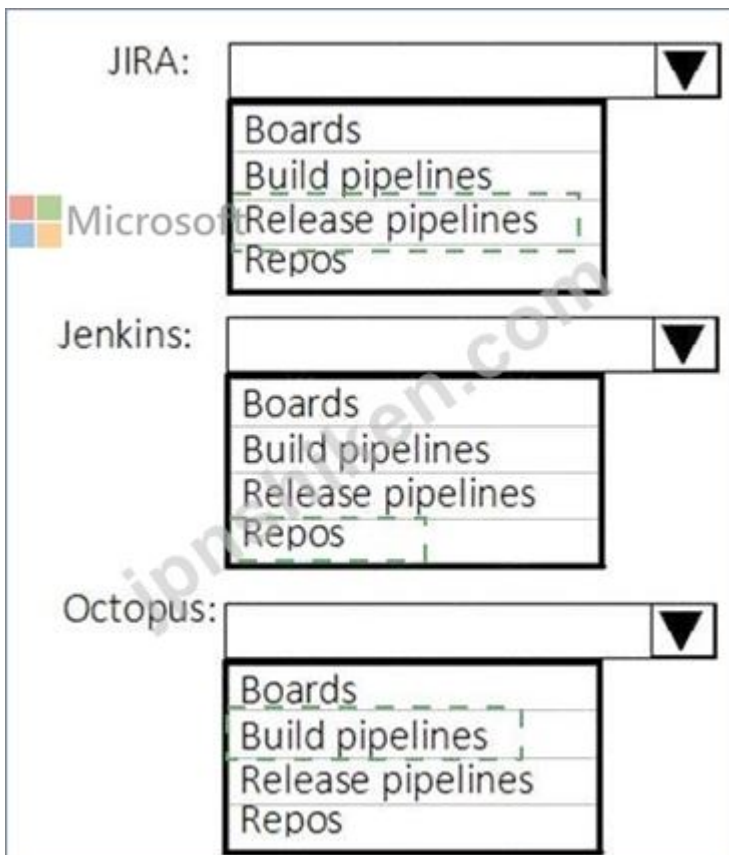
これらのツールの代わりにAzureDevOpsを使用する予定です。

各ツールを置き換えるためにどのAzureDevOpsサービスを使用する必要がありますか？回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。

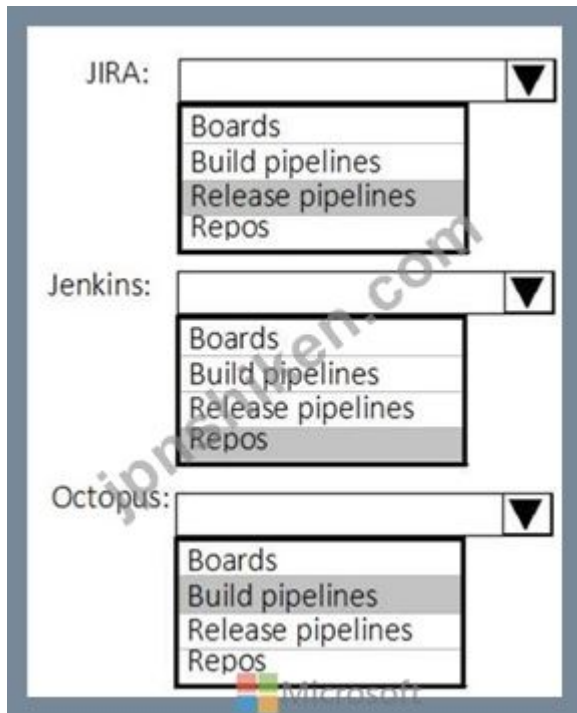
注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。



正解:



説明



### JIRA :パイプラインをリリース

AtlassianのJiraSoftwareは、チームがソフトウェアリリースを計画、追跡、および管理するのに役立つ人気のあるアプリケーションです。一方、Octopus Deployは、チームが開発および運用プロセスを高速で反復可能かつ信頼性の高い方法で自動化するのに役立ちます。これらを組み合わせることで、チームはアイデアから本番環境までのソフトウェアパイプラインをエンドツーエンドで把握できるようになります。

### ジェンキンス :リポジトリ

JenkinsをAzurePipelinesと統合する1つの方法は、JenkinsでCIジョブを個別に実行することです。これには、JenkinsでのCIパイプラインの構成と、ソースコードがリポジトリまたはブランチにプッシュされたときにCIプロセスを呼び出すAzureDevOpsでのWebフックの構成が含まれます。

### タコ :パイプラインを構築する

参照 :

<https://octopus.com/blog/octopus-jira-integration>

<https://www.azuredevopslabs.com/labs/vstsextend/jenkins/>

### 質問: 253

次の要件を満たすDockerコンテナビルド戦略を推奨する必要があります

\*画像の訴えを最小限に抑える

\*最終画像のセキュリティ表面積を最小化します

推奨事項に何を含める必要がありますか？

- A. 多段階ビルド
- B. シングルステージビルド
- C. PowerShellの望ましい状態の構成 (DSC)
- D. Docker Swarm

正解: A (コメントを发表する)

マルチステージビルドは、デーモンとクライアントにDocker17.05以降を必要とする新機能です。マルチステージビルドは、Dockerfileの読み取りと保守を容易に保ちながら、Dockerfileを最適化するのに苦労している人に役立ちます。

参照：

<https://docs.docker.com/develop/develop-images/multistage-build/>

有効的な**AZ-400**問題集はJPNTTest.com提供され、**AZ-400**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**AZ-400**試験問題集を提供します。JPNTTest.com AZ-400試験問題集はもう更新されました。ここで**AZ-400**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/AZ-400-mondaishu> **625**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」